別記様式第２号（その１の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画		
事項	記入欄	備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更	
フリガナ 設置者	ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ ｼﾏﾈﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人　島根大学	
フリガナ 大学の名称	ｼﾏﾈﾀﾞｲｶﾞｸ 島根大学（Shimane University）	
大学本部の位置	島根県松江市西川津町1060	
大学の目的	豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と高度な専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行う。	
新設学部等の目的	島根県内の医師充足率は85.1％であり、中山間地・離島をはじめとした地域における医師不足状況は続き、県西部地区の充足率も東部地区に比べ低く、医療の地域間格差は依然として大きな問題である。島根県の医師不足の解消と定着率の向上に対して継続して取り組む必要があることから、令和８年度までの１年間の再度の定員増を行うものである。	

新設

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	年	人	年次 人	人			年 月 第　年次	
医学部 【Faculty of Medicine】								
医学科 【School of Medicine】	6	102 (90)	3年次 5 2年次 5	597 (585)	学士(医学) 【Bachelor of Medicine】	医学関係	令和8年4月 第1年次	島根県出雲市塩冶町89-1
看護学科 【School of Nursing】	4	60		240	学士(看護学) 【Bachelor of Nursing】	保健衛生学関係 （看護学関係）	平成16年度	島根県出雲市塩冶町89-1
法文学部 【Faculty of Law and Literature】								
法経学科 【Department of Law and Economics】	4	76		304	学士（法経） 【Bachelor of Law and Economics】	法学関係 経済学関係	平成16年度	島根県松江市西川津町1060
社会文化学科 【Department of Socio-cultural Studies】	4	47		188	学士（社会科学） 【Bachelor of Social Sciences】	社会学・ 社会福祉学関係	平成16年度	島根県松江市西川津町1060
言語文化学科 【Department of Language and Culture】	4	52		208	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	文学関係	平成16年度	島根県松江市西川津町1060
学部共通			3年次10	20				
教育学部 【Faculty of Education】 学校教育課程 【Course of School Teacher Training】	4	130		520	学士（教育学） 【Bachelor of Education】	教育学・ 保育学関係	平成16年度	島根県松江市西川津町1060

医学部医学科の今回の12名の入学定員の増員は、令和８年度までの臨時定員増である。
また、医学部医学科の令和７年度における収容定員は657人である。

（人）	入学定員	収容定員
令和７年度	102	657
令和８年度	102	657
令和９年度	90	645
令和10年度	90	633
令和11年度	90	621
令和12年度	90	609
令和13年度	90	597
令和14年度	90	585

学部等の概要	人間科学部 【Faculty of Human Sciences】 人間科学科 【Department of Human Sciences】	4	80		320	学士（人間科学） 【Bachelor of Human Sciences】	学際領域	平成29年度	島根県松江市西川津町1060	
	総合理工学部 【Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering】 総合理工学科 【Interdisciplinary Department of Science and Engineering】	4	370	3年次 12	1,504	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	理学関係 工学関係	令和7年4月 第1年次 令和9年4月 第3年次	島根県松江市西川津町1060	
	材料エネルギー学部 【Faculty of Materials for Energy】 材料エネルギー学科 【Department of Materials for Energy】	4	80	3年次 5	330	学士（工学） 【Bachelor of Engineering】	工学関係	令和5年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次	島根県松江市西川津町1060	
	生物資源科学部 【Faculty of Life and Environmental Science】									
	生命科学科 【Department of Life Sciences】	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	理学関係 農学関係	平成30年度	島根県松江市西川津町1060	
	農林生産学科 【Department of Agricultural and Forest Sciences】	4	60	3年次 9	258	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	理学関係 農学関係	平成30年度	島根県松江市西川津町1060	
	環境共生科学科 【Department of Environmental and Sustainability Sciences】	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	理学関係 農学関係	平成30年度	島根県松江市西川津町1060	
	計		1,197 (1,185)	3年次 47 2年次 5	5,061 (5,049)					
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）										

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位	

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
	教授	准教授	講師	助教	計			
医学部医学科	46 (46)	26 (26)	12 (12)	56 (56)	140 (140)	0 (0)	284 (284)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	46 (46)	26 (26)	12 (12)	56 (56)	140 (140)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 105人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	46 (46)	26 (26)	12 (12)	56 (56)	140 (140)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	46 (46)	26 (26)	12 (12)	56 (56)	140 (140)			
医学部看護学科	7 (7)	4 (4)	4 (4)	10 (10)	25 (25)	0 (0)	46 (46)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	4 (4)	4 (4)	10 (10)	25 (25)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ９人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	7 (7)	4 (4)	4 (4)	10 (10)	25 (25)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	7 (7)	4 (4)	4 (4)	10 (10)	25 (25)			
法文学部法経学科	7 (7)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	239 (239)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 11人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	7 (7)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	16 (16)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	7 (7)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	16 (16)			

法文学部社会文化学科	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	229 (229)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 11人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			
法文学部言語文化学科	5 (5)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	206 (206)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (5)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 8人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	5 (5)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	5 (5)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	17 (17)			
教育学部学校教育課程	27 (27)	18 (18)	13 (13)	5 (5)	63 (63)	0 (0)	250 (250)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	27 (27)	18 (18)	13 (13)	5 (5)	63 (63)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 39人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	27 (27)	18 (18)	13 (13)	5 (5)	63 (63)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	27 (27)	18 (18)	13 (13)	5 (5)	63 (63)			
人間科学部人間科学科	5 (6)	6 (6)	9 (10)	0 (0)	20 (22)	0 (0)	238 (238)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	5 (6)	6 (6)	9 (10)	0 (0)	20 (22)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 9人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	5 (6)	6 (6)	9 (10)	0 (0)	20 (22)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	5 (6)	6 (6)	9 (10)	0 (0)	20 (22)			

総合理工学部総合理工学科	31 (31)	29 (29)	7 (7)	27 (27)	92 (92)	0 (1)	241 (241)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	31 (31)	29 (29)	7 (7)	27 (27)	92 (92)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 18人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	31 (31)	29 (29)	7 (7)	27 (27)	92 (92)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	31 (31)	29 (29)	7 (7)	27 (27)	92 (92)			
材料エネルギー学部材料エネルギー学科	13 (13)	6 (6)	1 (1)	8 (8)	28 (28)	0 (0)	171 (171)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	13 (13)	6 (6)	1 (1)	8 (8)	28 (28)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 11人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	13 (13)	6 (6)	1 (1)	8 (8)	28 (28)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	13 (13)	6 (6)	1 (1)	8 (8)	28 (28)			
生物資源科学部生命科学科	13 (13)	9 (9)	0 (0)	4 (4)	26 (26)	0 (0)	237 (237)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	13 (13)	9 (9)	0 (0)	4 (4)	26 (26)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	13 (13)	9 (9)	0 (0)	4 (4)	26 (26)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	13 (13)	9 (9)	0 (0)	4 (4)	26 (26)			
生物資源科学部農林生産学科	4 (4)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	21 (21)	0 (0)	242 (242)	
a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	4 (4)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	21 (21)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ６人
b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（ａ～ｂ）	4 (4)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	21 (21)			
c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（ａ～ｄ）	4 (4)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	21 (21)			

	生物資源科学部環境共生学科	8 (8)	10 (10)	1 (1)	6 (6)	25 (25)	0 (0)	240 (240)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	8 (8)	10 (10)	1 (1)	6 (6)	25 (25)			大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（ａ～ｂ）	8 (8)	10 (10)	1 (1)	6 (6)	25 (25)			
	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（ａ～ｄ）	8 (8)	10 (10)	1 (1)	6 (6)	25 (25)			
	計	173 (174)	143 (143)	53 (54)	122 (122)	489 (491)	0 (1)	― (―)	
既	なし	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	
	a．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，主要授業科目を担当するもの	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
	b．基幹教員のうち，専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａに該当する者を除く）	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
	小計（ａ～ｂ）	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
設	c．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ又はｂに該当する者を除く）	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
	d．基幹教員のうち，専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し，かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって，年間８単位以上の授業科目を担当するもの（ａ，ｂ又はcに該当する者を除く）	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
	計（ａ～ｄ）	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)			
分	計	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	― (―)	
	合　　計	173 (174)	143 (143)	53 (54)	122 (122)	489 (491)	0 (1)	― (―)	

職　　種	専　属	その他	計
事　務　職　員	325人 (325)	0人 (0)	325 (325)
技　術　職　員	1,375 (1,375)	0 (0)	1,375 (1,375)
図　書　館　職　員	12 (12)	0 (0)	12 (12)
そ　の　他　の　職　員	9 (9)	0 (0)	9 (9)
指　導　補　助　者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	1,721 (1,721)	0 (0)	1,721 (1,721)

校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	校舎敷地	352,068㎡	0㎡	0㎡	352,068㎡	
	その他	6,126,723㎡	0㎡	0㎡	6,126,723㎡	
	合　計	6,478,791㎡	0㎡	0㎡	6,478,791㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体
	140,899㎡ (140,899㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	140,899㎡ (140,899㎡)	建物の新増築等による増

教室・教員研究室	教室	128室	教員研究室	548室	大学全体

図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	電子図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	991,816〔222,166〕 (991,816〔222,166〕)	20,420〔17,044〕 (20,420〔17,044〕)	11,725〔2,889〕 (11,725〔2,889〕)	8,647〔7,017〕 (8,647〔7,017〕)	32,421 (32,421)	19 (19)	学部等単位での特定不能のため、大学全体の数
	計	991,816〔222,166〕 (991,816〔222,166〕)	20,420〔17,044〕 (20,420〔17,044〕)	11,725〔2,889〕 (11,725〔2,889〕)	8,647〔7,017〕 (8,647〔7,017〕)	32,421 (32,421)	19 (19)	

スポーツ施設等	スポーツ施設	講堂	厚生補導施設	大学全体
	6,557㎡	2,265㎡	8,350㎡	

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	
	経費の見積り 教員１人当り研究費等		－	－	－	－	－	－	国費（運営費交付金）による。
	経費の見積り 共同研究費等		－	－	－	－	－	－	
	経費の見積り 図書購入費	－	－	－	－	－	－	－	
	経費の見積り 設備購入費	－	－	－	－	－	－	－	
	学生１人当り納付金		第１年次 － 千円	第２年次 － 千円	第３年次 － 千円	第４年次 － 千円	第５年次 － 千円	第６年次 － 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		－						

大学等の名称：島根大学

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
法文学部						1.07		島根県松江市西川津町1060	
法経学科	4	76	－	308	学士（法経）	1.07	平成16年度		令和５年度入学定員減（△４名）
社会文化学科	4	47	－	191	学士（社会科学）	1.11	平成16年度		令和５年度入学定員減（△３名）
言語文化学科	4	52	－	211	学士（文学）	1.15	平成16年度		令和５年度入学定員減（△３名）
学部共通			3年次 10	20					
教育学部						1.10		島根県松江市西川津町1060	
学校教育課程	4	130	－	520	学士（教育学）	≪1.06≫ 1.10	平成16年度		
人間科学部						1.05		島根県松江市西川津町1060	
人間科学科	4	80	－	320	学士（人間科学）	1.05	平成29年度		
医学部						1.03		島根県出雲市塩冶町89-1	
医学科	6	102	3年次 5 2年次 5	657	学士（医学）	1.03	平成15年度		
看護学科	4	60		240	学士（看護学）	1.02	平成15年度		
総合理工学部						1.04		島根県松江市西川津町1060	
総合理工学科	4	370	3年次 12	1,534	学士（総合理工学）	1.04	令和7年度		
材料エネルギー学部						1.02		島根県松江市西川津町1060	
材料エネルギー学科	4	80	3年次 5	245	学士（工学）	1.02	令和5年度		
生物資源科学部						1.05		島根県松江市西川津町1060	
生命科学科	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学）	1.06	平成30年度		
農林生産学科	4	60	3年次 9	258	学士（生物資源科学）	1.05	平成30年度		
環境共生科学科	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学）	1.04	平成30年度		

既設大学等の状況	人間社会科学研究科 （修士課程） 社会創成専攻 臨床心理学専攻	 2 2	 15 10	 － －	 30 20	 修士（法学） 修士（経済学） 修士（人文社会科学） 修士（人間科学） 修士（臨床心理学）	 1.53 1.10	 令和3年度 令和3年度	島根県松江市西川津町1060
	教育学研究科 （専門職学位課程） 教育実践開発専攻	 2	 20	 －	 40	 教職修士（専門職）	 0.67	 平成26年度	島根県松江市西川津町1060
	医学系研究科 （修士課程） 医科学専攻 （博士前期課程） 看護学専攻	 2 2	 15 12	 － －	 30 24	 修士（医科学） 修士（看護学）	 0.76 0.50	 平成15年度 平成15年度	島根県出雲市塩治町89-1
	医学系研究科 （博士課程） 医科学専攻 （博士後期課程） 看護学専攻	 4 3	 30 2	 － －	 120 6	 博士（医学） 博士（看護学）	 1.28 1.50	 平成20年度 平成28年度	島根県出雲市塩治町89-1
	自然科学研究科 （博士前期課程） 理工学専攻 環境システム科学専攻 農生命科学専攻	 2 2 2	 79 78 43	 － － －	 158 156 86	 修士（理学） 修士（工学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（生物資源科学） 修士（生物資源科学）	 1.20 1.10 1.04	 平成30年度 平成30年度 平成30年度	島根県松江市西川津町1060
	自然科学研究科 （博士後期課程） 創成理工学専攻	 3	 15	 －	 45	 博士(理学) 博士(工学)	 1.08	 令和2年度	島根県松江市西川津町1060

（附属学校）

名　　称：附属幼稚園園舎

目　　的：教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに，幼児に関する研究を行うこと。
教育学部の計画に従って，学生の教育実習の実施及びその指導に当たること。
教育研究の成果を広く公開し，地域の幼児教育の振興に寄与すること。

所 在 地：島根県松江市大輪町４１６－４

設置年月：昭和26年4月

規 模 等：建物　912㎡

名　　称：附属義務教育学校

目　　的：児童・生徒の心身の発達に応じて初等・中等教育を施す。また，教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに，初等・中等教育の理論及び実践に関する研究並びにその実証を行うとともに，教育学部の計画に従って，学生の教育実習の実施及びその指導に当たる。さらに，教育研究の成果を広く公開し，公立学校の研究や現職教育に協力して，地域の初等・中等教育の進展に寄与する。

所 在 地：島根県松江市菅田町１６７－１／大輪町４１６－４

設置年月：平成31年4月

規 模 等：建物　13,877㎡

名　　称：学習・生活支援研究センター

目　　的：教育学部附属幼稚園及び附属義務教育学校における特別支援教育の改善，充実を図るとともに，理論研究、実践研究をもとに地域における特別支援教育の推進に資する。

所 在 地：島根県松江市菅田町１６７－１

設置年月：平成27年4月1日

規 模 等：建物　478㎡

（学部等の附属施設）

名　　称：法文学部山陰研究センター

目　　的：法文学部を中心とした，山陰地域における人文・社会科学の研究拠点として，資料の収集及び研究を積極的に推進し，その研究成果を公表することにより，地域の産業経済及び文化の発展に寄与する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成16年4月

規 模 等：建物　法文学部校舎　7,631㎡の一部

名　　称：教育学部附属教育支援センター

目　　的：授業科目の履修指導，生活指導及び教育体験活動にかかる学生指導を通じ，学生の教育実践力を特段に高めるとともに，他の教育機関及び地域社会と連携を図り，学生の教育臨床的態度・技能の指導及び地域社会の教育臨床的問題解決に貢献する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成16年4月

規 模 等：建物　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部

名　　称：教育学部附属教師教育研究センター

目　　的：全学の教職課程を担当し，教職科目の改善を図り，教職課程関連カリキュラムを一元的に管理・運営するとともに，現職教員の資質能力向上に寄与する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成19年4月

規 模 等：建物　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部

名　　称：教育学部附属ＦＤ戦略センター

目　　的：教育学部における教員養成教育の改善，充実に資する教育課程の再編，授業の改善及び事業の企画・実施等のＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の活動を企画・立案，実施することを通して，山陰地域における教員養成基幹学部としての使命を達成する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成19年6月

規 模 等：建物　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部

名　　称：医学部附属病院

目　　的：診療を通じて医学の教育及び研究に資する。

所 在 地：島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：昭和54年4月

規 模 等：建物　65,276㎡（附属病院棟）

名　　称：医学部統合腎疾患制御研究・開発センター

目　　的：腎臓老化制御を標的とした尖る研究を推進し、大学改革・産学連携とともに地域産業振興の好循環の醸成と社会的インパクトを生む自律的経営環境を構築する。

所 在 地：島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：令和6年2月

規 模 等：建物　動物実験施設　3,944㎡の一部
　　第四共同研究棟　415㎡の一部

名　　称：生物資源科学部附属生物資源教育研究センター

目　　的：生物資源科学部の附属教育研究施設として，農学・農業，林学・林業及び日本海における生物・海洋に関する教育・研究並びに森林・耕地・海洋を結ぶ生態系をめぐる物質循環の解明などを学際的に科学する教育・研究を行う。

所 在 地：（本部，農業生産科学部門）島根県松江市上本庄町２０５９
（森林科学部門）　島根県大田市三瓶町多根９４１－１
（農業生産科学部門）　島根県出雲市神西沖町字蛇島２４７３－１
（海洋生物科学部門）　島根県隠岐郡隠岐の島町加茂１９４

設置年月：平成9年4月

規 模 等：建物　7,900㎡（総計）

名　　称：地域未来協創本部

目　　的：地域社会における産業技術の振興及び発展等に関する企画・立案・実施等を行い，もって本学の教育・研究及び産学官地域連携の推進並びに地域の未来に関する教育研究活動の支援及び地域社会に向けた情報発信を行う。

所 在 地：（松江キャンパス）島根県松江市北稜町２、西川津町１０６０
（出雲キャンパス）島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：平成30年4月

規 模 等：（松江キャンパス）建物　地域未来協創本部　1,141㎡
　　生物資源科学部２号館　9,853㎡の一部
　　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部
　　法文学部校舎　7,631㎡の一部
（出雲キャンパス）建物　地域未来協創本部
　　（地域医学共同研究部門）　2,268㎡の一部

（教育・学生支援本部）

名　　称：大学教育センター

目　　的：全学的な教学マネジメントの確立のもと，高等教育における諸課題を解決するため，本学の教育改革を推進し，教育の質の保証と向上を達成する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成31年4月

規 模 等：建物　学生センター　1,400㎡の一部
　　建物　法文学部校舎　7,631㎡の一部

名　　称：学生支援センター

目　　的：学生支援業務を統括的に取り扱い，もって学生生活の充実に寄与する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成25年4月

規 模 等：建物　学生支援センター　656㎡

名　　称：障がい学生支援室

目　　的：障がいのある学生の修学に必要な支援を行うとともに，支援の充実を図る。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成28年4月

規 模 等：建物　大学会館　2,166㎡の一部

附属施設の概要	名　　称：国際観光教育推進センター 目　　的：観光業界を中心とした地域産業への貢献、観光人材の育成を図る。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：令和4年4月 規 模 等：建物　学生センター　1,400㎡の一部
	（研究・学術情報本部） 名　　称：戦略的研究推進センター 目　　的：本学が有する知的資産と知的創造力を活用し，地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し，その成果を教育に反映するとともに広く社会に還元する。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：平成28年4月 規 模 等：建物　生物資源科学部１号館　9,098㎡の一部 名　　称：エスチュアリー研究センター 目　　的：汽水域の自然・人文・社会環境の研究等及び汽水域に関する総合的かつ学際的な研究を推進し，本学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに，その研究成果を公表することにより，地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。 所 在 地：（松江キャンパス）島根県松江市西川津町１０６０ （江島団地）　島根県松江市八束町江島字南土手附６９４ 設置年月：平成28年4月 規 模 等：（松江キャンパス）建物　法文学部棟校舎　7,631㎡の一部 エスチュアリー研究センター　774㎡の一部 （江島団地）　建物　377㎡ 名　　称：総合科学研究支援センター 目　　的：生命，環境，物質・材料創成及びその融合領域に関する総合的な科学研究の深化を図るとともに，各学部等における研究を支援する。 所 在 地：（松江キャンパス）島根県松江市西川津町１０６０ （出雲キャンパス）島根県出雲市塩冶町８９－１ 設置年月：平成28年4月 規 模 等：（遺伝子機能解析部門・松江）　建物　遺伝子実験施設　1,514㎡の一部 （実験動物部門・松江）　建物　林産加工場　473㎡の一部 （実験動物部門・出雲）　建物　動物実験施設　3,944㎡の一部 （生体情報・RI実験部門・出雲）建物　臨床・共同研究棟　6,959㎡の一部 第二研究棟　3,715㎡の一部 動物実験施設　3,944㎡の一部 （物質機能分析部門・松江）　建物　総合理工学部1･2･3号館の一部 名　　称：総合情報処理センター 目　　的：センターに置かれた情報処理システムを整備運用し，学内外の情報ネットワークとの連携を図り，本学における教育，研究その他の情報処理のための利用に供するとともに，学術情報システム等の開発を行い，あわせて人材の育成を支援し，本学における情報処理の進展に資する。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：平成28年4月 規 模 等：建物　683㎡

名　　称：地域包括ケア教育研究センター

目　　的：地域住民の健康維持に関する総合的かつ学際的な研究を推進し，大学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに，その研究成果を公表することにより，地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。

所 在 地：島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：平成29年4月

規 模 等：建物　地域未来協創本部（地域医学共同研究部門）　2,268㎡の一部
講義棟　1,965㎡の一部
動物実験施設　3,944㎡の一部

名　　称：総合博物館

目　　的：本学における標本資料類などを大学所有の有形知的財産として位置づけ，それらを収集，整理・保管及び調査研究をしたうえで，展示公開などによる教育，普及啓発，情報発信の促進及び地域貢献を行う。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成30年6月

規 模 等：建物　生物資源科学部３号館　3,391㎡の一部

名　　称：自然災害軽減教育研究センター

目　　的：「地球環境災害軽減に関するユネスコチェア」の目的である「地球環境と社会のより良好な関係の構築」に向けた教育と研究を促進し，本学の教育研究活動及び国際的学術交流の活性化を図るとともに，社会の発展に資する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成30年4月

規 模 等：建物　総合理工学部３号館　17,381㎡の一部

名　　称：数理・データサイエンス教育研究センター

目　　的：エビデンスに基づく意思決定，価値創造を行うことができるデータ駆動型の人材を幅広く養成するため，数理・データサイエンスに関する研究の推進及び支援を行うとともに，数理・データサイエンス教育を全学的に推進することにより，本学の数理・データサイエンス教育研究活動の充実発展に資する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成30年4月

規 模 等：建物　生物資源科学部３号館　3,391㎡の一部

名　　称：新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

目　　的：新型コロナウイルス感染症など国産のワクチン・治療用抗体の開発を図る。

所 在 地：島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：令和4年4月

規 模 等：建物　基礎研究棟　4,997㎡の一部

（グローバル化推進本部）

名　　称：国際センター

目　　的：本学の国際化及び国際交流の推進に向けて，各種事業の企画・立案をするとともに，外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し，積極的な支援等を行うことにより，本学の国際交流の推進に寄与する。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成25年4月

規 模 等：建物　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部

名　　称：外国語教育センター

目　　的：外国語教育の知的拠点として，言語的コミュニケーション能力を培う教育を行うことのほか，外国語教育を通じて総合的な知性・教養・人格を形成し，異文化理解と共生文化の創造に資する教育を行う。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成25年4月

規 模 等：建物　総合理工学部２号館　5,964㎡の一部
教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部
生物資源科学部３号館　3,391㎡の一部

名　　称：島根大学・寧夏大学国際共同研究所

目　　的：都市と農村との地域間格差問題，中山間地域（条件不利地域）の活性化，開発と環境問題などを主要なテーマとして共同研究を行い，研究成果をアジアをはじめとする世界に発信するとともに，人材の育成・交流の積極的な展開，国内外の研究者に開かれた中国・西部地域研究の拠点づくりを目指す。

所 在 地：中国，寧夏，銀川市西夏区賀蘭山西路４８９号　寧夏大学Ａ区

設置年月：平成16年4月

規 模 等：建物　生物資源科学部３号館　3,391㎡の一部

名　　称：オープンイノベーション推進本部

目　　的：産学官連携の推進を図り，外部研究資金等の獲得力の強化，並びに知的財産戦略・コンプライアンス体制の充実により，本学の自律的経営を確立すると共に，本学の研究成果の社会実装を強化することを目的とする。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：令和３年４月

規 模 等：建物　生物資源科学部２号館　9,853㎡の一部

名　　称：先端マテリアル研究開発協創機構

目　　的：材料科学分野における研究力向上や人材育成の推進を図り，国内外の研究機関・研究者及び企業等と協創することで，我が国において同分野をけん引する国際的研究開発機関となるとともに，研究成果を地域に還元することにより，地域産業の振興を図ることを目的とする。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０
島根県松江市北陵町２

設置年月：令和6年1月

規 模 等：建物　法文学部校舎　7,631㎡の一部
産学協創インキュベーションセンター　1,944㎡の一部
地域未来協創本部　1,141㎡の一部

名　　称：次世代たたら協創センター

目　　的：企業等と連携して，金属材料評価技術等の研究及び新たな金属材料や複合材料等の研究・開発を行い，その成果を実用化に結び付けていくと共に，金属材料関連の専門人材を育成することを目的とする。

所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０

設置年月：平成30年10月

規 模 等：建物　次世代たたら協創センター　1,845㎡
建物　生物資源科学部２号館（大学院棟）　1,214㎡の一部

名　　称：附属図書館

目　　的：図書，学術雑誌その他必要な資料を収集，組織，保管し，これを利用者の教育・研究・学習等の要求に対して提供し，併せて学術情報システム活用の場として機能することにより，島根大学における教育研究活動を支援するとともに，地域社会の知的情報拠点としての役割を果たす。

所 在 地：（松江キャンパス）島根県松江市西川津町１０６０
（出雲キャンパス）島根県出雲市塩冶町８９－１

設置年月：（松江キャンパス）平成28年4月
（出雲キャンパス）平成28年4月

規 模 等：（松江キャンパス）建物　6,826㎡
（出雲キャンパス）建物　2,232㎡

	名　　称：こころとそだちの相談センター 目　　的：心の健康に関する相談に応じて地域社会に貢献するとともに，心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に資する。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 島根県出雲市塩冶町８９－１ 設置年月：平成29年4月 規 模 等：（松江キャンパス）建物　教育学部実験研究棟　16,554㎡の一部 （出雲キャンパス）建物　第二研究棟　3,715㎡の一部
	名　　称：ダイバーシティ推進室 目　　的：島根大学において，ダイバーシティの推進，女性研究者支援及びワーク・ライフ・バランスの推進に関する具体的事業を企画・立案・実施することにより，より多様な人材がその能力を発揮できる環境を整え，本学の教育・研究の質をより一層向上させる。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：令和元年10月15日 規 模 等：建物　法文学部校舎　7,631㎡の一部
	名　　称：ハラスメント対策室 目　　的：ハラスメント対策室は，島根大学の全学的なハラスメント防止とハラスメント事案への対応の充実を図り，ハラスメントのない健全で快適な環境づくりに資する。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：平成29年4月 規 模 等：建物　本部棟　2,799㎡の一部
	名　　称：松江保健管理センター 目　　的：保健管理に関する専門的業務を一体的に行い，学生及び職員の健康の保持増進を図る。 所 在 地：島根県松江市西川津町１０６０ 設置年月：平成25年4月 規 模 等：建物　479㎡
	名　　称：出雲保健管理センター 目　　的：保健管理に関する専門的業務を一体的に行い，学生及び職員の健康の保持増進を図る。 所 在 地：島根県出雲市塩冶町８９－１ 設置年月：平成25年4月 規 模 等：建物　大学会館（出雲）　1,998㎡の一部

（注）
1　共同学科の認可の申請及び届出の場合，「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
2　「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
3「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとすること。
4　私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
5　大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
6　「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
7　空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

島根大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和8年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
島根大学				島根大学				
法文学部	175	3年次 10	720	法文学部	175	3年次 10	720	
法経学科	76	－	304	法経学科	76	－	304	
社会文化学科	47	－	188	社会文化学科	47	－	188	
言語文化学科	52	－	208	言語文化学科	52	－	208	
学部共通		10	20	学部共通		10	20	
教育学部	130	－	520	教育学部	130	－	520	
学校教育課程	130	－	520	学校教育課程	130	－	520	
人間科学部	80	－	320	人間科学部	80	－	320	
人間科学科	80	－	320	人間科学科	80	－	320	
医学部	150	2年次 5 3年次 5	825	医学部	162	2年次 5 3年次 5	837	「地域の医師確保等の観点からの令和8年度医学部入学定員の増加について（通知）」に基づき、令和7年度の増加と同様の枠組みによる医学部入学定員を引き続き確保。
医学科	90	2年次 5 3年次 5	585	医学科	102	2年次 5 3年次 5	597	
看護学科	60	－	240	看護学科	60	－	240	
総合理工学部	370	3年次 12	1,504	総合理工学部	370	3年次 12	1,504	
総合理工学科	370	12	1,504	総合理工学科	370	12	1,504	
材料エネルギー学部	80	3年次 5	330	材料エネルギー学部	80	3年次 5	330	
材料エネルギー学科	80	5	330	材料エネルギー学科	80	5	330	
生物資源科学部	200	3年次 15	830	生物資源科学部	200	3年次 15	830	
生命科学科	70	3	286	生命科学科	70	3	286	
農林生産学科	60	9	258	農林生産学科	60	9	258	
環境共生科学科	70	3	286	環境共生科学科	70	3	286	
計	1,185	2年次 5 3年次 47	5,049	計	1,197	2年次 5 3年次 47	5,061	
島根大学大学院				島根大学大学院				
人間社会科学研究科	25		50	人間社会科学研究科	25		50	
社会創成専攻（M）	15		30	社会創成専攻（M）	15		30	
臨床心理学専攻（M）	10		20	臨床心理学専攻（M）	10		20	
教育学研究科	20		40	教育学研究科	20		40	
教育実践開発専攻（P）	20		40	教育実践開発専攻（P）	20		40	
医学系研究科	59		180	医学系研究科	59		180	
医科学専攻（M）	15		30	医科学専攻（M）	15		30	
医科学専攻（D）	30		120	医科学専攻（D）	30		120	
看護学専攻（M）	12		24	看護学専攻（M）	12		24	
看護学専攻（D）	2		6	看護学専攻（D）	2		6	
自然科学研究科	215		445	自然科学研究科	215		445	
理工学専攻（M）	79		158	理工学専攻（M）	79		158	
環境システム科学専攻（M）	78		156	環境システム科学専攻（M）	78		156	
農生命科学専攻（M）	43		86	農生命科学専攻（M）	43		86	
創成理工学専攻（D）	15		45	創成理工学専攻（D）	15		45	
計	319		715	計	319		715	

〇都道府県内における位置関係の図面

島根県



●・・・島根大学松江キャンパスの位置
●・・・島根大学出雲キャンパスの位置

○最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

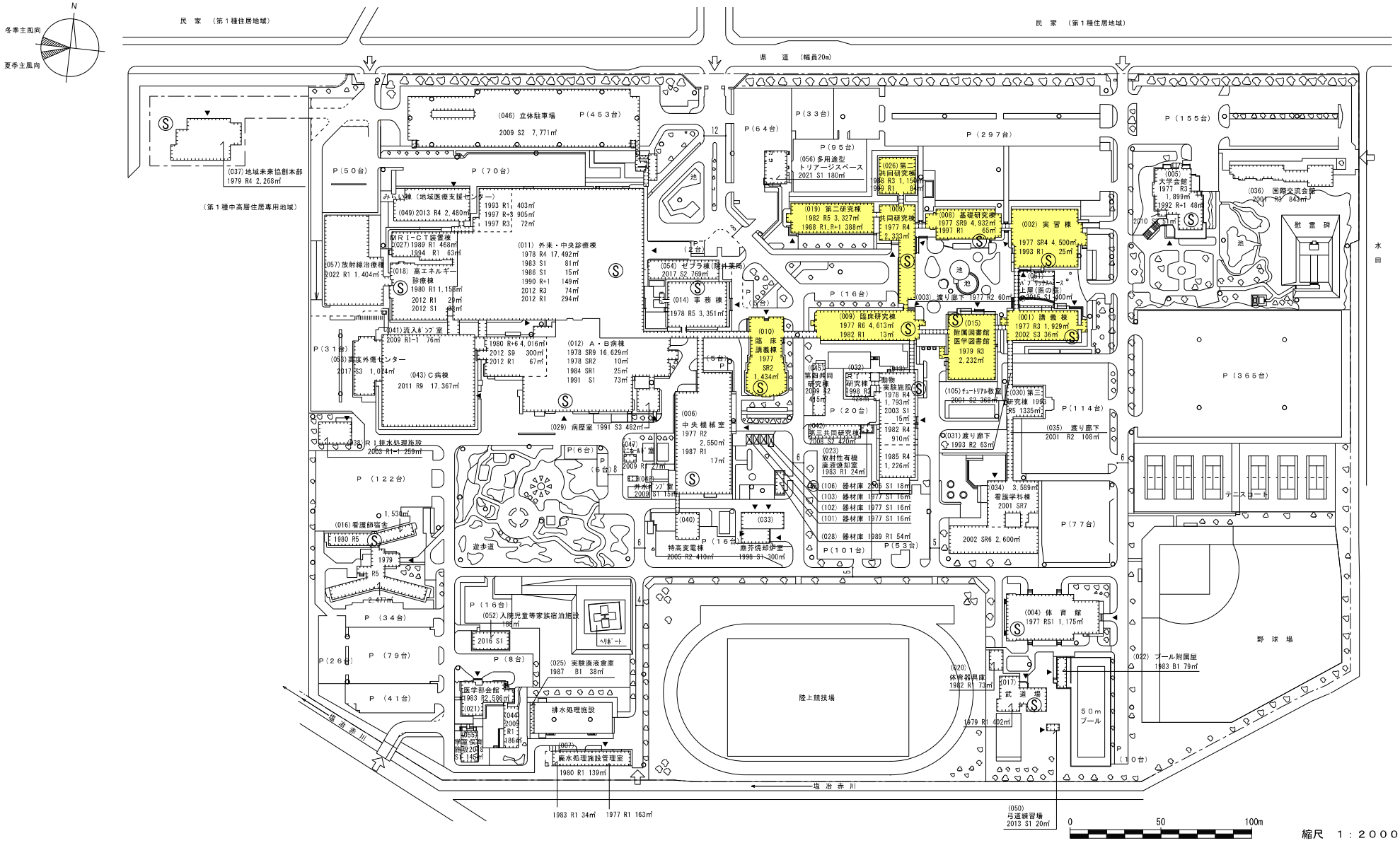


ＪＲ出雲市駅より　　距離：1.7km

一畑バス：島根大学病院前下車　約 10 分

国立大学法人等施設実態調査（様式２）

配　置　図



敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地名	学校番号	学校名	作成年度
２２２，６２５㎡	４４，４６５㎡	１３４，６１５㎡	２０．０％	６０．５％	１，０７７人	医学部（医学科）、医学部（医学科以外の学科） 大学図書館、医学部附属病院本院、地域未来協創本部 研究・学術情報本部、大学院医学研究科 国際交流会館、大学センター等	２０１	塩冶	出雲市塩冶町８９－１	０５１２	島根大学	Ｒ７

整理番号	２ — ５１２ — ２０１

管理学則（案）

（平成１６年島大学則第１号）
（平成１６年　４月　１日　　制定）
〔令和　７年　３月２１日最終改正〕
機密性１

目　次
第１章　法人
　第１節　総則（第１条・第２条）
　第２節　役員及び職員組織等（第３条－第４条の７）
　第３節　会議（第５条－第８条）
第２章　大学
　第１節　大学の構成（第９条―第２１条）
　第２節　職員組織その他（第２２条―第３８条）
　第３節　会議（第３９条―第４１条）
　第４節　削除
　第５節　学部の収容定員（第４２条）
第３章　大学院
　第１節　大学院の構成等（第４３条―第４６条）
　第２節　大学院の収容定員（第４７条）
　第３節　職員組織（第４８条―第５０条）
第４章　教育内容等の改善のための組織的な研修等（第５１条）
第５章　雑則（第５２条）
附　則

第１章　法人

第１節　総則

（法人の目的）

第１条　国立大学法人島根大学（以下「法人」という。）は，島根大学を設置し，大学の教育研究に対する国民の要請にこたえるとともに，我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。

（業務の範囲等）

第２条　法人は，次の各号に掲げる業務を行う。

一　島根大学（以下「本学」という。）を設置し，これを運営すること。

二　学生に対し，修学，進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。

三　法人以外の者から委託を受け，又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。

四　公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。

五　島根大学における研究の成果を普及し，及びその活動を推進すること。

六　島根大学における技術に関する研究の成果の活用を促進する事業であって国立大学法人法施行令（平成１５年政令第４７８号）で定めるものを実施する者に出資すること。

七　前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

第２節　役員及び職員組織等

（役員）

第３条　法人に，国立大学法人法（平成１５年法律第１１２号。以下「法人法」という。）第１０条に基づき，役員として学長，監事及び理事を置く。

２　役員に関し必要な事項は，別に定める。

（副理事）

第３条の２　法人に副理事を置くことができる。

２　副理事に関し必要な事項は，別に定める。

（特別顧問）

第３条の３　法人に特別顧問を置くことができる。
２　特別顧問に関し必要な事項は，別に定める。
（職員）
第４条　法人に次の職員を置く。
一　一般職員
二　教育職員
三　医療職員
四　特別職員
五　その他の職員
２　職員の職務は，学校教育法（昭和２２年法律第２６号）の定めるところによるほか，学長が定めるものとする。
３　第１項第２号の教育職員のうち，教授，准教授，講師，助教及び助手を教員という。
４　職員に関し必要な事項は，別に定める。
（学長室）
第４条の２　法人に，学長の戦略的経営を支援するため学長室を置く。
２　学長室に関し，必要な事項は，別に定める。
（学術研究院）
第４条の３　法人に，教員組織として学術研究院を置く。
２　学術研究院に次の学系を置く。
人文社会科学系
教育学系
人間科学系
医学・看護学系
理工学系
環境システム科学系
農生命科学系
教育研究推進学系
機能強化推進学系
３　学術研究院に関し，必要な事項は，別に定める。
（学術研究院長）
第４条の４　学術研究院に学術研究院長を置き，学長をもって充てる。
（学系長）
第４条の５　学系に学系長を置く。
２　学系長は，その学系に関する校務をつかさどる。
（事務組織）
第４条の６　法人に，その事務を処理するため事務組織を置く。
２　事務組織に関し，必要な事項は，別に定める。
（事務局長）
第４条の７　学長の下に，事務組織を総括するために事務局長を置く。
２　前項の規定にかかわらず，学長が指名する理事に事務組織を総括させることができる。
第３節　会議
（役員会）
第５条　法人に，法人法第１１条第３項に基づき，法人の重要事項について学長の意思決定に先立ち議決を行う機関として，役員会を置く。
２　役員会に関し，必要な事項は，別に定める。
（経営協議会）
第６条　法人に，法人法第２０条に基づき，法人の経営に関する重要事項を審議する機関として，経営協議会を置く。
２　経営協議会に関し，必要な事項は，別に定める。
（教育研究評議会）
第７条　法人に，法人法第２１条に基づき，本学の教育研究に関する重要事項を審議する機関として，教育研究評議会を置く。
２　教育研究評議会に関し，必要な事項は，別に定める。

（学長選考・監察会議）
第８条　法人に，法人法第１２条第２項及び第１７条第５項に基づき，学長の選考又は解任に係る申出を行う機関として，学長選考・監察会議を置く。
２　学長選考・監察会議に関し，必要な事項は，別に定める。
第２章　大学
第１節　大学の構成
（学部）
第９条　本学に次の学部を置く。
法文学部
教育学部
人間科学部
医学部
総合理工学部
材料エネルギー学部
生物資源科学部
（学科・課程及び講座）
第10条　法文学部に次の学科及び講座を置く。
法経学科
　法経
社会文化学科
　社会文化
言語文化学科
　言語文化
２　教育学部に次の課程を置く。
学校教育課程
３　人間科学部に次の学科を置く。
人間科学科
４　医学部に次の学科，系及び講座を置く。
医学科
　基礎医学系
　　解剖学，生理学，生化学，生命科学
　臨床基礎医学系
　　薬理学，病理学，微生物学，免疫学
　社会医学系
　　法医学，環境保健医学，医療情報学，医学英語教育学
　臨床医学系
　　内科学，皮膚科学，小児科学，外科学，整形外科学，脳神経外科学，泌尿器科学，精神医学，産科婦人科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，眼科学，放射線医学，麻酔科学，緩和ケア，歯科口腔外科学，臨床検査医学，救急医学，Acute Care Surgery，リハビリテーション医学，地域医療教育学，地域医療政策学
看護学科
　基礎看護学，臨床看護学，地域・老年看護学
５　総合理工学部に次の学科を置く。
総合理工学科
６　材料エネルギー学部に次の学科を置く。
材料エネルギー学科
７　生物資源科学部に次の学科を置く。
生命科学科
農林生産学科
環境共生科学科
第11条　削除
（大学院の設置）
第12条　本学に大学院を置く。

（附属病院）
第13条　医学部附属の教育研究施設として，医学部附属病院（以下「附属病院」という。）を置く。
（附属学校）
第14条　本学に次の学部附属学校を置く。
教育学部　附属幼稚園，附属義務教育学校
２　前項の附属学校に学習生活支援研究センターを置く。
（学部附属の教育研究施設）
第15条　本学に次の学部附属の教育施設又は研究施設を置く。
法文学部　山陰研究センター
教育学部　教育支援センター，教師教育研究センター，ＦＤ戦略センター
医学部　統合腎疾患制御研究・開発センター
生物資源科学部　生物資源教育研究センター
２　前項に掲げる生物資源教育研究センターは，本学の教育研究上支障がないと認められるときは，他の大学の利用に供することができるものとする。
第15条の２　削除
（本部）
第16条　本学に，本学の教育研究に係る全学的な業務を円滑かつ効果的に実施する組織として，次の本部を置く。
教育・学生支援本部
研究・学術情報本部
グローバル化推進本部
地域未来協創本部
オープンイノベーション推進本部
（本部に置くセンター等）
第17条　教育・学生支援本部に次のセンター等を置く。
大学教育センター
国際観光教育推進センター
学生支援センター
障がい学生支援室
２　研究・学術情報本部に次のセンター等を置く。
戦略的研究推進センター
エスチュアリー研究センター
総合科学研究支援センター
総合情報処理センター
地域包括ケア教育研究センター
総合博物館
自然災害軽減教育研究センター
数理・データサイエンス教育研究センター
新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター
３　グローバル化推進本部に次のセンター等を置く。
国際センター
外国語教育センター
島根大学・寧夏大学国際共同研究所
（先端マテリアル研究開発協創機構）
第17条の１の２　本学に，材料科学分野における研究力向上や人材育成の推進を図り，同分野で国際的研究開発拠点を確立するとともに，研究成果を地域及び社会に還元するために先端マテリアル研究開発協創機構を置く。
（次世代たたら協創センター）
第17条の１の３　本学に，金属材料評価技術等の研究・開発を行い，その成果を実用化に結び付けていくと共に，金属材料関連の専門人材を育成するために次世代たたら協創センターを置く。
（附属図書館）
第17条の２　本学に附属図書館を置く。
２　前項の附属図書館に分館を置く。

第17条の３　削除
第17条の４　削除
第17条の５　削除
第17条の６　削除
（ダイバーシティ推進室）
第17条の７　本学に，ダイバーシティの推進及び女性研究者支援に関する具体的事業を企画・立案・実施するためダイバーシティ推進室を置く。
（ハラスメント対策室）
第17条の８　本学に，全学的なハラスメント防止とハラスメント事案への対応の充実を図るためハラスメント対策室を置く。
第17条の９　削除
第18条　削除
第19条　削除
（こころとそだちの相談センター）
第19条の１の２　本学に，心の健康に関する相談に応じて地域社会に貢献するとともに，心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に資するためこころとそだちの相談センターを置く。
第19条の１の３　削除
（松江保健管理センター）
第19条の１の４　本学に，本学松江地区における保健管理並びに学生及び職員の健康の保持増進を図るため，松江保健管理センターを置く。
（出雲保健管理センター）
第19条の１の５　本学に，本学出雲地区における保健管理並びに学生及び職員の健康の保持増進を図るため，出雲保健管理センターを置く。
（寄附講座等）
第19条の２　本学に，寄附講座，寄附研究部門又は寄附研究分野を置くことができる。
（共同研究講座等）
第19条の３　本学に，共同研究講座又は共同研究部門を置くことができる。
第19条の４　削除
第20条　削除
（規則）
第21条　第１３条から前条までに関し必要な事項は，別に定める。
第２節　職員組織その他
（学長）
第22条　本学に学長を置く。
２　学長は，校務をつかさどり，所属職員を統督する。
（副学長）
第23条　本学に副学長を置く。
２　副学長は，学長を助け，命を受けて校務をつかさどる。
（学長特別補佐）
第23条の２　本学に，学長特別補佐を置くことができる。
２　学長特別補佐は，学長の職務を助け，学長が指定する業務を処理する。
（学部長）
第24条　本学の各学部に学部長を置く。
２　学部長は，その学部に関する校務をつかさどる。
（副学部長）
第25条　本学の各学部に副学部長を置く。
２　副学部長は，学部長の職務を助け，学部長の職務のうちあらかじめ定める範囲内の業務を処理する。
（学科長）
第26条　学科に学科長を置くことができる。
２　学科長は，その学科に関する事項を整理する。
（病院長）
第27条　附属病院に病院長を置く。
２　病院長は，附属病院に関する事項を掌理する。

（副病院長）
第28条　附属病院に副病院長を置くことができる。
２　副病院長は，病院長の職務を助ける。
（附属学校園の長）
第29条　附属学校に校長（幼稚園にあっては園長）を置く。
２　附属学校の校長及び園長は，教育学部長の命を受け，その学校及び幼稚園に関する事項を処理する。
（学部附属の教育研究施設の長）
第30条　本学の学部附属の教育施設及び研究施設に長を置く。
２　前項の教育施設及び研究施設の長は，当該学部長の命を受け，その施設に関する事項を処理する。
（本部長）
第30条の２　本学の各本部に本部長を置く。
２　前項の本部長は，その所掌する本部の業務を総括する。
（副本部長）
第30条の３　本学の各本部に副本部長を置くことができる。
２　前項の副本部長は，本部長の職務を助ける。
（機構長）
第31条　本学の各機構に機構長を置く。
２　前項の機構長は，その所掌する機構の業務を総括する。
（副機構長）
第31条の２　本学の各機構に，副機構長を置くことができる。
２　前項の副機構長は，機構長の職務を補佐する。
（本部に置くセンター等の長）
第32条　本部に置くセンター等に長を置く。
２　本部に置くセンター等の長は，その所掌するセンター等の業務を掌理する。
（本部に置くセンター等の副センター長等）
第33条　本部に置くセンター等に副センター長等を置くことができる。
２　副センター長等は，センター等の長の職務を助ける。
第34条　削除
第35条　削除
第36条　削除
第37条　削除
（名誉教授）
第38条　本学の学長，副学長，学部長，教授，准教授又は講師として勤務した者であって，教育上又は学術上特に功績のあった者に対し，名誉教授の称号を授与することができる。
２　名誉教授の称号の授与に関し，必要な事項は，別に定める。
第３節　会議
第39条　削除
（教授会等）
第40条　本学の各学部に教授会を置く。
２　教授会は，学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
一　学生の入学，卒業及び課程の修了
二　学位の授与
三　前２号に掲げるもののほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
３　教授会は，前項に規定するもののほか，学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し，及び学長等の求めに応じ，意見を述べることができる。
４　教授会は，その定めるところにより，教授会に属する職員のうちの一部の者をもって構成される代議員会を置くことができる。
５　教授会は，その定めるところにより，代議員会の議決をもって，教授会の議決とすることができる。
６　教授会に関し，必要な事項は，別に定める。
（学術研究院会議）
第41条　学術研究院に，学術研究院会議を置く。

２　学術研究院会議に関し，必要な事項は，別に定める。

第４節　削除

第５節　学部の収容定員

（収容定員）

第42条　学部，学科等の収容定員は，次のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	入学定員	第２年次 編入学定員	第３年次 編入学定員	収容定員
法文学部	法経学科	７６			３０４
	社会文化学科	４７			１８８
	言語文化学科	５２			２０８
				１０	２０
	計	１７５		１０	７２０
教育学部	学校教育課程	１３０			５２０
	計	１３０			５２０
人間科学部	人間科学科	８０			３２０
	計	８０			３２０
医学部	医学科	９０	５	５	５８５
	看護学科	６０			２４０
	計	１５０	５	５	８２５
総合理工学部	総合理工学科	３７０		１２	１，５０４
	計	３７０		１２	１，５０４
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	８０		５	３３０
	計	８０		５	３３０
生物資源科学部	生命科学科	７０		３	２８６
	農林生産学科	６０		９	２５８
	環境共生科学科	７０		３	２８６
	計	２００		１５	８３０
合計		１，１８５	５	４７	５，０４９

第３章　大学院

第１節　大学院の構成等

（研究科）

第43条　大学院に次の研究科を置く。

人間社会科学研究科

教育学研究科

医学系研究科

自然科学研究科

（課程）

第44条　人間社会科学研究科は，修士課程とする。

２　自然科学研究科は，博士課程とする。

３　自然科学研究科の博士課程は，前期２年の課程（以下「博士前期課程」という。）及び後期３年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分し，博士前期課程は，これを修士課程として取り扱うものとする。

４　医学系研究科は，医学を履修する博士課程（以下「医学博士課程」という。）及び修士課程並びに看護学を履修する博士課程とする。
５　医学系研究科の看護学を履修する博士課程は，博士前期課程及び博士後期課程に区分し，博士前期課程は，これを修士課程として取り扱うものとする。
６　教育学研究科は，専門職学位課程とする。
（専攻）
第45条　研究科に次の専攻を置く。
人間社会科学研究科
社会創成専攻
臨床心理学専攻
教育学研究科
教育実践開発専攻
医学系研究科
医学博士課程
医科学専攻
修士課程
医科学専攻
博士前期課程
看護学専攻
博士後期課程
看護学専攻
自然科学研究科
博士前期課程
理工学専攻
環境システム科学専攻
農生命科学専攻
博士後期課程
創成理工学専攻
第45条の２　削除
（鳥取大学大学院連合農学研究科の教育研究の実施）
第46条　鳥取大学大学院の連合農学研究科の教育研究の実施に当たっては，本学，鳥取大学及び山口大学が協力するものとする。
２　前項の連合農学研究科に置かれる連合講座は，鳥取大学及び山口大学の教員とともに，本学の教員がこれを担当し，又は分担するものとする。
第２節　大学院の収容定員
（収容定員）
第47条　大学院の収容定員は，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	修士課程 博士前期課程		医学博士課程 博士後期課程		専門職学位課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人間社会科学研究科	社会創成専攻	１５	３０	－	－	－	－
	臨床心理学専攻	１０	２０	－	－	－	－
	計	２５	５０	－	－	－	－
教育学研究科	教育実践開発専攻	－	－	－	－	２０	４０
				－	－	－	－
	計			－	－	２０	４０
医学系研究科	医科学専攻	－	－	３０	１２０	－	－

	医科学専攻	１５	３０	－	－	－	－
	看護学専攻	１２	２４	２	６	－	－
	計	２７	５４	３２	１２６	－	－
自然科学研究科	理工学専攻	７９	１５８	－	－	－	－
	環境システム科学専攻	７８	１５６	－	－	－	－
	農生命科学専攻	４３	８６	－	－	－	－
	創成理工学専攻	－	－	１５	４５	－	－
	計	２００	４００	１５	４５	－	－
合計		２５２	５０４	４７	１７１	２０	４０

第３節　職員組織

（研究指導及び授業担当）

第48条　研究科における研究の指導は原則として教授が行い，授業は教授，准教授，講師又は助教が担当する。

（研究科長）

第49条　研究科に研究科長を置く。

２　研究科長（人間社会科学研究科長及び自然科学研究科長を除く。）は，基礎となる学部の学部長をもって充てる。

３　研究科長は，その研究科に関する校務をつかさどる。

（副研究科長）

第49条の２　研究科に副研究科長を置くことができる。

２　副研究科長は，研究科長の職務を助ける。

（専攻長）

第49条の３　専攻に専攻長を置くことができる。

２　専攻長は，その専攻に関する事項を整理する。

（研究科教授会）

第50条　研究科に，教育研究に関する重要事項を審議するため，研究科教授会を置き，第４０条第２項から第５項の規定は，研究科教授会について準用する。

２　前項に定めるもののほか，研究科教授会に関し必要な事項は，各研究科において定める。

第４章　教育内容等の改善のための組織的な研修等

（組織的研修等）

第51条　本学は，学部においては授業の内容及び方法の改善を図るため全学及び学部ごとに，研究科においては授業及び研究指導の内容並びに方法の改善を図るため研究科ごとに，組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第５章　雑則

（学則の改廃）

第52条　この学則の改廃は，役員会の議を経て行う。

２　前項の役員会の審議に先立ち，法人の経営に関する部分については経営協議会において，国立大学法人の経営に関する部分を除く部分については教育研究評議会において審議を行うものとする。

附　則

１　この学則は，平成１６年　４月　１日から施行する。

２　旧島根大学法文学部の法学科及び社会システム学科並びに教育学部の学校教育教員養成課程，生涯学習課程並びに生活環境福祉課程は，第１０条の規定にかかわらず，当該学科又は課程に在学する者が当該学科又は課程に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　法文学部及び教育学部の収容定員並びに全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成１６年度から平成１８年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員

		平成１６年度	平成１７年度	平成１８年度
法文学部	法経学科	９０	１８０	２７０
	社会文化学科	７０	１４０	２１０
	言語文化学科	２７５	２７０	２６５
	法学科	４３５	２９０	１４５
	社会システム学科	２８５	１９０	９５
	計	１，１７５	１，０９０	１，００５
教育学部	学校教育課程	１７０	３４０	５１０
	学校教育教員養成課程	３００	２００	１００
	生涯学習課程	１９５	１３０	６５
	生活環境福祉課程	１０５	７０	３５
	計	７７０	７４０	７１０
合計		５，２３５	５，１２０	５，００５

４　旧島根大学大学院人文社会科学研究科の法学専攻，社会システム専攻及び言語文化専攻は，第４７条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

５　人文社会科学研究科及び医学系研究科医科学専攻の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成１６年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
人文社会科学研究科	法経専攻	６
	言語・社会文化専攻	６
	法学専攻	８
	社会システム専攻	４
	言語文化専攻	４
	計	２８
医学系研究科	医科学専攻	１５
	計	３９
合計		５１３

６　法務研究科の収容定員及び全研究科の専門職学位課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成１６年度及び平成１７年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成１６年度	平成１７年度
法務研究科	法曹養成専攻	３０	６０
	計	３０	６０
合計		３０	６０

附　則（平成１６年１０月　１日一部改正）

この学則は，平成１６年１０月　１日から施行する。

附　則（平成１６年１０月２７日一部改正）

この学則は，平成１７年　４月　１日から施行する。

附　則（平成１６年１２月２２日一部改正）

この学則は，平成１６年１２月２２日から施行する。
附　則（平成１７年　３月　８日一部改正）
この学則は，平成１７年　３月　８日から施行する。
附　則（平成１７年　３月　８日一部改正）
この学則は，平成１７年　４月　１日から施行する。
附　則（平成１７年　３月２２日一部改正）
この学則は，平成１７年　３月２２日から施行する。
附　則（平成１７年１０月２６日一部改正）
この学則は，平成１７年１０月２６日から施行する。
附　則（平成１７年１２月２８日一部改正）
この学則は，平成１７年１２月２８日から施行する。
附　則（平成１７年１２月２８日一部改正）
この学則は，平成１８年　１月　１日から施行する。
附　則（平成１８年　３月　８日一部改正）

１　この学則は，平成１８年　４月　１日から施行する。

２　この学則による改正後の国立大学法人島根大学管理学則第１５条の法文学部に係る規定は，平成１６年４月２１日から適用し，医学部に係る規定は，平成１６年４月１日から適用する。

附　則（平成１８年　３月２２日一部改正）
この学則は，平成１８年　４月　１日から施行する。
附　則（平成１８年１２月１９日一部改正）
この学則は，平成１９年　４月　１日から施行する。
附　則（平成１９年　３月２６日一部改正）
この学則は，平成１９年　４月　１日から施行する。
附　則（平成１９年　６月１９日一部改正）
この学則は，平成１９年　６月１９日から施行する。
附　則（平成２０年　３月２５日一部改正）

１　この学則は，平成２０年　４月　１日から施行する。

２　教育学研究科の学校教育専攻及び教科教育専攻，医学系研究科の形態系専攻，機能系専攻，生態系専攻並びに生物資源科学研究科の生物科学専攻，生態環境科学専攻，生命工学専攻，農業生産学専攻及び地域開発科学専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　教育学研究科及び生物資源科学研究科の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２０年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
教育学研究科	教育実践開発専攻	２０
	教育内容開発専攻	２０
	学校教育専攻	５
	教科教育専攻	３０
	計	７５
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	２０
	農林生産科学専攻	２２
	環境資源科学専攻	１８
	生物科学専攻	１２
	生態環境科学専攻	１８
	生命工学専攻	１２
	農業生産学専攻	１２
	地域開発科学専攻	２２

	計	１３６
合計		５１３

４　医学系研究科博士課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２０年度から平成２２年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員		
		平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度
医学系研究科	医科学専攻	３０	６０	９０
	形態系専攻	２４	１６	８
	機能系専攻	４５	３０	１５
	生態系専攻	２１	１４	７
	計	１２０	１２０	１２０

附　則（平成２０年　７月２２日一部改正）

この学則は，平成２０年　７月２２日から施行する。

附　則（平成２１年　３月１７日一部改正）

１　この学則は，平成２１年　４月　１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２１年度から平成３４年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員						
		平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
医学部	医学科	９５	９５	９５	９５	９５	９５	９５
	計	１５５	１５５	１５５	１５５	１５５	１５５	１５５
合計		１，１５０	１，１５０	１，１５０	１，１５０	１，１５０	１，１５０	１，１５０

学部	学科又は課程	入学定員						
		平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度
医学部	医学科	９５	９５	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１５５	１５５	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１５０	１，１５０	１，１４５	１，１４５	１，１４５	１，１４５	１，１４５

学部	学科又は課程	収容定員						
		平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
医学部	医学科	５６０	５７０	５８０	５９０	６００	６１０	６１０
	計	８２０	８３０	８４０	８５０	８６０	８７０	８７０
合計		４，９００	４，９１０	４，９２０	４，９３０	４，９４０	４，９５０	４，９５０

学部	学科又は課程	収容定員						
		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成

		２８年度	２９年度	３０年度	３１年度	３２年度	３３年度	３４年度
医学部	医学科	６１０	６１０	６０５	６００	５９５	５９０	５８５
	計	８７０	８７０	８６５	８６０	８５５	８５０	８４５
合計		４，９５０	４，９５０	４，９４５	４，９４０	４，９３５	４，９３０	４，９２５

附　則（平成２１年　４月２１日一部改正）

この学則は，平成２１年　４月２１日から施行する。

附　則（平成２２年　１月２６日一部改正）

この学則は，平成２２年　４月　１日から施行する。

附　則（平成２２年　３月１７日一部改正）

１　この学則は，平成２２年　４月　１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２２年度から平成３６年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部	医学科	１００	１００	１００	１００	１００
	計	１６０	１６０	１６０	１６０	１６０
合計		１，１５５	１，１５５	１，１５５	１，１５５	１，１５５

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１度
医学部	医学科	１００	１００	１００	９５	９５
	計	１６０	１６０	１６０	１５５	１５５
合計		１，１５５	１，１５５	１，１５５	１，１５０	１，１５０

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度	平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		1，１４５	1，１４５	1，１４５	1，１４５	1，１４５

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
医学部	医学科	５７５	５９０	６０５	６２０	６３５
	計	８３５	８５０	８６５	８８０	８９５
合計		４，９１５	４，９３０	４，９４５	４，９６０	４，９７５

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
医学部	医学科	６４０	６４０	６４０	６３５	６３０
	計	９００	９００	９００	８９５	８９０
合計		４，９８０	４，９８０	４，９８０	４，９７５	４，９７０

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度	平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	６２０	６１０	６００	５９０	５８５
	計	８８０	８７０	８６０	８５０	８４５
合計		４，９６０	４，９５０	４，９４０	４，９３０	４，９２５

３　法務研究科の収容定員及び全研究科の専門職学位課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２２年度及び平成２３年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成２２年度	平成２３年度
法務研究科	法曹養成専攻	８０	７０
	計	８０	７０
合計		８０	７０

附　則（平成２３年　３月２３日一部改正）

１　この学則は，平成２３年　４月　１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員及び収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２３年度から平成３６年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
医学部	医学科	１０２	１０２	１０２	１０２	１０２
	計	１６２	１６２	１６２	１６２	１６２
合計		１，１５７	１，１５７	１，１５７	１，１５７	１，１５７

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度
医学部	医学科	１０２	１０２	９７	９７	９０
	計	１６２	１６２	１５７	１５７	１５０
合計		１，１５７	１，１５７	１，１５２	１，１５２	１，１４５

学部	学科又は課程	入学定員			
		平成３３年度	平成３４年度	平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	９０	９０	９０	９０
	計	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		1，１４５	1，１４５	1，１４５	1，１４５

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
医学部	医学科	５９２	６０９	６２６	６４３	６５０
	計	８５２	８６９	８８６	９０３	９１０
合計		４，９３２	４，９４９	４，９６６	４，９８３	４，９９０

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度
医学部	医学科	６５２	６５２	６４７	６４２	６３０
	計	９１２	９１２	９０７	９０２	８９０
合計		４，９９２	４，９９２	４，９８７	４，９８２	４，９７０

学部	学科又は課程	収容定員			
		平成３３年度	平成３４年度	平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	６１８	６０６	５９４	５８７
	計	８７８	８６６	８５４	８４７
合計		４，９５８	４，９４６	４，９３４	４，９２７

附　則（平成２４年　３月１９日一部改正）

１　この学則は，平成２４年　４月　１日から施行する。

２　総合理工学部の電子制御システム工学科及び材料プロセス工学科並びに生物資源科学部の生態環境科学科，農業生産学科及び地域開発科学科は，第１０条の規定にかかわらず，当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　総合理工学部及び生物資源科学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２４年度から平成２６年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
総合理工学部	機械・電気電子工学科	８０	１６０	２４０
	建築・生産設計工学科	４０	８０	１２０
	電子制御システム工学科	２４０	１６０	８０

	材料プロセス工学科	１２０	８０	４０
	計	１，６３２	１，６２４	１，６２４
生物資源科学部	農林生産学科	８５	１７０	２５５
	地域環境科学科	４５	９０	１３５
	生態環境科学科	１３５	９０	４５
	農業生産学科	９０	６０	３０
	地域開発科学科	１６５	１１０	５５
	計	８４０	８４０	８４０

４　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２４年度から平成３６年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員				
	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度	平成２８年度
合計	４，９４１	４，９５０	４，９６７	４，９７４	４，９７６

	収容定員				
	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度
合計	４，９７６	４，９７１	４，９６６	４，９５４	４，９４２

	収容定員		
	平成３４年度	平成３５年度	平成３６年度
合計	４，９３０	４，９１８	４，９１１

５　総合理工学研究科の物質科学専攻，地球資源環境学専攻，数理・情報システム学専攻，電子制御システム工学専攻及び材料プロセス工学専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

６　総合理工学研究科博士前期課程の収容定員及び全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２４年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
総合理工学研究科	総合理工学専攻	１２４
	物質科学専攻	３６
	地球資源環境学専攻	１４
	数理・情報システム学専攻	２８
	電子制御システム工学専攻	２２
	材料プロセス工学専攻	１２
	計	２３６
合計		５１４

附　則（平成２４年　６月２２日一部改正）

この学則は，平成２４年　７月　１日から施行する。

附　則（平成２５年　３月１４日一部改正）

この学則は，平成２５年　４月　１日から施行する。

附　則（平成２５年　９月　９日一部改正）

この学則は，平成２５年　９月　９日から施行する。

附　則（平成２５年１０月１５日一部改正）

この学則は，平成２５年１０月１５日から施行する。

附　則（平成２６年　１月２９日一部改正）

１　この学則は，平成２６年　２月　１日から施行する。ただし，第１０条第３項の改正規定中地域・老年看護学に係る部分並びに第４５条，第４５条の２，第４７条及び第４９条の３の改正規定は，平成２６年　４月　１日から施行する。

２　総合理工学研究科のマテリアル創成工学専攻及び電子機能システム工学専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　総合理工学研究科博士後期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２６年度及び平成２７年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成２６年度	平成２７年度
総合理工学研究科	総合理工学専攻	１２	２４
	マテリアル創成工学専攻	１２	６
	電子機能システム工学専攻	１２	６
	計	３６	３６

附　則（平成２６年　３月１９日一部改正）

この学則は，平成２６年　４月　１日から施行する。

附　則（平成２６年　７月１４日一部改正）

この学則は，平成２６年　７月１４日から施行し，平成２６年７月１日から適用する。

附　則（平成２７年　１月２９日一部改正）

この学則は，平成２７年　４月　１日から施行する。

附　則（平成２７年　３月１８日一部改正）

１　この学則は，平成２７年　４月　１日から施行する。

２　法務研究科法曹養成専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　法務研究科法曹養成専攻の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２７年度及び平成２８年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		平成２７年度	平成２８年度
法務研究科	法曹養成専攻	４０	２０
	計	４０	２０
合計		４０	２０

附　則（平成２７年　３月２５日一部改正）

この学則は，平成２７年　４月　１日から施行する。

附　則（平成２７年　６月２５日一部改正）

この学則は，平成２７年　７月　１日から施行する。

附　則（平成２７年１０月　１日一部改正）

この学則は，平成２７年１０月　１日から施行する。

附　則（平成２８年　３月１５日一部改正）

１　この学則は，平成２８年　４月　１日から施行する。

２　教育学研究科修士課程の教育実践開発専攻及び教育内容開発専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　教育学研究科修士課程及び教育学研究科専門職学位課程の収容定員並びに全研究科の修士課程及び専門職学位課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２８年度については，次の表の

とおりとする。

研究科名	専攻名	修士課程 博士前期課程	専門職学位課程
		収容定員	収容定員
教育学研究科	教育実践開発専攻	２０	１７
	臨床心理専攻	８	－
	教育内容開発専攻	２０	－
合計		４９４	３７

４　医学系研究科看護学専攻博士後期課程の収容定員及び全研究科の博士後期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成２８年度及び平成２９年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	収容定員
		平成２８年度	平成２９年度
医学系研究科	看護学専攻	２	４
合計		１５８	１６０

附　則（平成２８年　６月２４日一部改正）

この学則は，平成２８年　７月　１日から施行する。

附　則（平成２９年　２月　２日一部改正）

この学則は，平成２９年　２月　２日から施行する。

附　則（平成２９年　２月　２日一部改正）

１　この学則は，平成２９年　４月　１日から施行する。

２　法文学部，教育学部及び人間科学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成２９年度から平成３１年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
法文学部	法経学科	３５０	３４０	３３０
	社会文化学科	２６０	２４０	２２０
	言語文化学科	２５０	２４０	２３０
	計	８８０	８４０	８００
教育学部	学校教育課程	６４０	６００	５６０
	計	６４０	６００	５６０
人間科学部	人間科学科	８０	１６０	２４０
	計	８０	１６０	２４０

附　則（平成２９年　３月１４日一部改正）

この学則は，平成２９年　４月　１日から施行する。ただし，平成２８年島大学則第１号附則第３項の改正規定は，平成２８年　４月　１日から適用する。

附　則（平成３０年　３月１４日一部改正）

１　この学則は，平成３０年　４月　１日から施行する。

２　総合理工学部の物質科学科，地球資源環境学科，数理・情報システム学科及び建築・生産設計工学科並びに生物資源科学部の生物科学科，生命工学科及び地域環境科学科は，第１０条の規定にかかわらず，当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成３０年度から平成３６年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度
医学部	医学科	１０２	１０２	９０	９０	９０
	計	１６２	１６２	１５０	１５０	１５０
合計		１，１５７	１，１５７	１，１４５	１，１４５	１，１４５

学部	学科又は課程	入学定員	
		平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	９０	９０
	計	１５０	１５０
合計		1，１４５	1，１４５

学部	学科又は課程	収容定員				
		平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度
医学部	医学科	６５２	６５２	６４０	６２８	６１６
	計	９１２	９１２	９００	８８８	８７６

学部	学科又は課程	収容定員	
		平成３５年度	平成３６年度
医学部	医学科	６０４	５９２
	計	８６４	８５２

４　総合理工学部及び生物資源科学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成３０年度から平成３２年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	７３	１４６	２２１
	物質化学科	７３	１４６	２２１
	地球科学科	５０	１００	１５１
	数理科学科	５０	１００	１５１
	知能情報デザイン学科	５０	１００	１５２
	機械・電気電子工学科	３０４	２８８	２７４
	建築デザイン学科	４０	８０	１２２

	物質科学科	３９０	２６０	１３０
	地球資源環境学科	１５０	１００	５０
	数理・情報システム学科	３００	２００	１００
	建築・生産設計工学科	１２０	８０	４０
	（第３年次編入学）	２４	２４	１２
	計	１，６２４	１，６２４	１，６２４
生物資源科学部	生命科学科	７０	１４０	２１３
	農林生産学科	３１５	２９０	２７４
	環境共生科学科	７０	１４０	２１３
	生物科学科	９０	６０	３０
	生命工学科	１２０	８０	４０
	地域環境科学科	１３５	９０	４５
	（第３年次編入学）	４０	４０	２０
	計	８４０	８４０	８３５

５　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，平成３０年度から平成３６年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員				
	平成３０年度	平成３１年度	平成３２年度	平成３３年度	平成３４年度
合計	４，９７６	４，９７６	４，９５９	４，９４２	４，９３０

	収容定員	
	平成３５年度	平成３６年度
合計	４，９１８	４，９０６

６　総合理工学研究科博士前期課程総合理工学専攻並びに生物資源科学研究科生物生命科学専攻，農林生産科学専攻及び環境資源科学専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

７　自然科学研究科博士前期課程，総合理工学研究科博士前期課程及び生物資源科学研究科の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，平成３０年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員
自然科学研究科	理工学専攻	７９
	環境システム科学専攻	７８
	農生命科学専攻	４３
	計	２００
総合理工学研究科	総合理工学専攻	１２４
	計	１２４
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	２０
	農林生産科学専攻	２２
	環境資源科学専攻	１８

	計	６０
合計		４７８

附　則（平成３０年　３月２０日一部改正）

この学則は，平成３０年　４月　１日から施行する。

附　則（平成３０年　５月１４日一部改正）

この学則は，平成３０年　６月　１日から施行する。

附　則（平成３０年１０月　４日一部改正）

この学則は，平成３０年１１月　１日から施行する。

附　則（平成３１年　１月２５日一部改正）

この学則は，平成３１年　２月　１日から施行する。

附　則（平成３１年　３月１１日一部改正）

この学則は，平成３１年　４月　１日から施行する。

附　則（平成３１年　３月２２日一部改正）

この学則は，平成３１年　４月　１日から施行する。

附　則（令和元年１０月１５日一部改正）

この学則は，令和元年１０月１５日から施行する。

附　則（令和２年　３月１１日一部改正）

１　この学則は，令和　２年　４月　１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び医学部の収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和２年度から令和８年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員				
		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
医学部	医学科	１０２	１０２	９０	９０	９０
	計	１６２	１６２	１５０	１５０	１５０
合計		１，１５７	１，１５７	１，１４５	１，１４５	１，１４５

学部	学科又は課程	入学定員	
		令和７年度	令和８年度
医学部	医学科	９０	９０
	計	１５０	１５０
合計		1，１４５	1，１４５

学部	学科又は課程	収容定員				
		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
医学部	医学科	６５２	６５２	６４０	６２８	６２１
	看護学科	２５０	２４０	２４０	２４０	２４０
	計	９０２	８９２	８８０	８６８	８６１

学	学科又は	収容定員

部	課程	令和 ７年度	令和 ８年度
医学部	医学科	６０９	５９７
	看護学科	２４０	２４０
	計	８４９	８３７

３　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和２年度から令和８年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員				
	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
合計	４，９６１	４，９４６	４，９３４	４，９２２	４，９１５

	収容定員	
	令和７年度	令和８年度
合計	４，９０３	４，８９１

４　総合理工学研究科博士後期課程総合理工学専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

５　自然科学研究科博士後期課程及び総合理工学研究科博士後期課程の収容定員並びに全研究科の博士後期課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，令和２年度及び令和３年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	収容定員	
		令和２年度	令和３年度
自然科学研究科	創成理工学専攻	１５	３０
	計	１５	３０
総合理工学研究科	総合理工学専攻	２４	１２
	計	２４	１２
合計		１６５	１６８

附　則（令和２年１２月２８日一部改正）

この学則は，令和３年　１月　１日から施行する。

附　則（令和３年　３月２９日一部改正）

１　この学則は，令和３年　４月　１日から施行する。

２　人文社会科学研究科法経専攻及び言語・社会文化専攻並びに教育学研究科臨床心理専攻は，第４５条の規定にかかわらず，当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間，存続するものとする。

３　人間社会科学研究科，人文社会科学研究科及び教育学研究科の収容定員並びに全研究科の修士課程・博士前期課程及び専門職学位課程の収容定員は，第４７条の規定にかかわらず，令和３年度については，次の表のとおりとする。

研究科名	専攻名	修士課程 博士前期課程	専門職学位課程
		収容定員	収容定員
人間社会科学研究科	社会創成専攻	１５	－
	臨床心理学専攻	１０	－
	計	２５	－

人文社会科学研究科	法経専攻	６	－
	言語・社会文化専攻	６	－
	計	１２	－
教育学研究科	教育実践開発専攻	－	３７
	臨床心理専攻	８	－
	計	８	３７
合計		４５	３７

附　則（令和３年９月３０日一部改正）

この学則は，令和３年１０月１日から施行する。

附　則（令和４年３月２２日一部改正）

１　この学則は，令和４年４月１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和４年度から令和９年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１５７	１，１４５	１，１４５	１，１４５	１，１４５	１，１４５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
医学部	医学科	６５２	６４０	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９２	８８０	８７３	８６１	８４９	８３７

３　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和４年度から令和９年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
合計	４，９４６	４，９３４	４，９２７	４，９１５	４，９０３	４，８９１

附　則（令和４年３月２２日一部改正）

この学則は，令和４年４月１日から施行する。

附　則（令和４年１１月２２日一部改正）

この学則は，令和４年１１月２２日から施行する。

附　則（令和５年３月２２日一部改正）

１　この学則は，令和５年４月１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和５年度から令和１０年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和　１０年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０

合計	１，１９７	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度
医学部	医学科	６５２	６４５	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９２	８８５	８７３	８６１	８４９	８３７

３　法文学部，総合理工学部及び材料エネルギー学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和５年度から令和７年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		令和５年度	令和６年度	令和７年度
法文学部	法経学科	３１６	３１２	３０８
	社会文化学科	１９７	１９４	１９１
	言語文化学科	２１７	２１４	２１１
	（３年次編入学）	２０	２０	２０
	計	７５０	７４０	７３０
総合理工学部	物理工学科	２８３	２７０	２５７
	物質化学科	２８３	２７０	２５７
	地球科学科	２０２	２０２	２０２
	数理科学科	１９８	１９４	１９０
	知能情報デザイン学科	２０４	２０４	２０４
	機械・電気電子工学科	２６０	２６０	２６０
	建築デザイン学科	１６４	１６４	１６４
	計	１，５９４	１，５６４	１，５３４
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	８０	１６０	２４５
	計	８０	１６０	２４５

４　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和５年度から令和１０年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度
合計	４，９８６	５，０１９	５，０５２	５，０８５	５，０７３	５，０６１

附　則（令和５年９月２６日一部改正）

この学則は，令和５年１０月１日から施行する。

附　則（令和５年１２月１１日一部改正）

この学則は，令和６年１月１日から施行する。

附　則（令和６年１月２３日一部改正）

この学則は，令和６年２月１日から施行する。

附　則（令和６年３月１９日一部改正）

１　この学則は，令和６年４月１日から施行する。ただし，改正後のこの学則第３１条及び第３１条の２の規定については，令和６年１月１日から適用する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和６年度から令和１１年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１９７	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
医学部	医学科	６５７	６４５	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９７	８８５	８７３	８６１	８４９	８３７

３　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和６年度から令和１１年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度
合計	５，０３１	５，０６４	５，０９７	５，０８５	５，０７３	５，０６１

附　則（令和７年３月２１日一部改正）

１　この学則は，令和７年４月１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和７年度から令和１２年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１９７	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
医学部	医学科	６５７	６４５	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９７	８８５	８７３	８６１	８４９	８３７

３　総合理工学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和７年度から令和９年度については，次の表のとおりとする。

学部名	学科又は課程名	収容定員		
		令和７年度	令和８年度	令和９年度
総合理工学部	総合理工学科	３７０	７４０	１，１２２
	物理工学科	１９７	１２４	６２
	物質化学科	１９７	１２４	６２
	地球科学科	１５２	１０２	５１

	数理科学科	１４４	９４	４７
	知能情報デザイン学科	１５４	１０４	５２
	機械・電気電子工学科	１９６	１３２	６６
	建築デザイン学科	１２４	８４	４２
	計	１，５３４	１，５０４	１，５０４

４　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和７年度から令和１２年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度
合計	５，０７６	５，１０９	５，０９７	５，０８５	５，０７３	５，０６１

附　則（令和８年　月　　日一部改正）

１　この学則は，令和８年４月１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和８年度から令和１３年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１９７	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
医学部	医学科	６５７	６４５	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９７	８８５	８７３	８６１	８４９	８３７

３　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和８年度から令和１３年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
合計	５，１２１	５，１０９	５，０９７	５，０８５	５，０７３	５，０６１

変更事項を記載した書類

学則変更の事由

「地域の医師確保等の観点からの令和８年度医学部入学定員の増加について（令和７年８月５日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、令和８年度までの１年間の再度の定員増を行うため。

学則の変更点

医学部医学科における令和８年度から１年間の再度の定員増に関して、国立大学法人島根大学管理学則の附則において、①令和８年４月１日から施行すること、②令和８年度の入学定員を再度の定員増を行った場合の１０２名に変更すること、③令和８年度の再度の入学定員増を踏まえて令和８年度から令和１３年度までの収容定員の推移を規定する。

管理学則 新旧対照表（案）

改　定（案）

管理学則

附　則（令和８年　月　日一部改正）

１　この学則は，令和８年４月１日から施行する。

２　医学部医学科の入学定員及び収容定員並びに全学部の入学定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和８年度から令和１３年度については，次の表のとおりとする。

学部	学科又は課程	入学定員					
		令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
医学部	医学科	１０２	９０	９０	９０	９０	９０
	計	１６２	１５０	１５０	１５０	１５０	１５０
合計		１，１９７	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５	１，１８５

学部	学科又は課程	収容定員					
		令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
医学部	医学科	６５７	６４５	６３３	６２１	６０９	５９７
	計	８９７	８８５	８７３	８６１	８４９	８３７

３　全学部の収容定員は，第４２条の規定にかかわらず，令和８年度から令和１３年度については，次の表のとおりとする。

	収容定員					
	令和８年度	令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度	令和１３年度
合計	５，１２１	５，１０９	５，０９７	５，０８５	５，０７３	５，０６１

現　行

管理学則

―

―

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア　学則変更（収容定員変更）の内容

島根大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成 29 年度までの期限を付した５名の臨時定員増を、また平成 22 年度に「経済財政改革の基本方針 2009（骨太 2009)」に基づき平成 31 年度までの期限を付した５名の臨時定員増を、さらに平成 23 年度に「新成長戦略」に基づき平成 31 年度までの期限を付した２名の臨時定員増をそれぞれ実施した。この他平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008（骨太 2008)」に基づき５名の恒久定員増を実施した。

また、平成 29 年度を期限とする５名の入学定員について、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、平成 31 年度までの期限付き臨時定員を 12 名とした。その後、この臨時定員 12 名について、令和２年度から令和７年度まで再度の臨時定員増を行った。

今回、「地域の医師確保等の観点からの令和８年度医学部入学定員の増加について（令和７年８月５日付け７文科高第 666 号・医政発 0805 第 5 号)」に基づき、令和８年度までの１年間の再度の定員増を行い、令和８年度の入学定員増を行わなかった場合の 90 名から 102 名に変更する。

これにあわせて、医学科の収容定員についても令和８年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、定員増を行わなかった場合の 585 名から 597 名に変更する。

イ　学則変更（収容定員変更）の必要性

地域社会における医療の確保及び福祉の増進を図ることが求められている中、島根県内の医師充足率は 85.1％（令和６年 10 月１日現在。医育機関である島根大学医学部附属病院を除く。）であり、中山間地・離島をはじめとした地域における医師不足状況は続き、県西部地区の充足率は東部地区に比べ低く、医療の地域間格差は依然として大きな問題である。

本学では、恒久定員の中で、平成 18 年度から島根県内のへき地出身者を対象にした地域枠推薦入試（現：地域枠学校推薦型選抜。以下、地域枠という。）（募集定員：平成 18 年度５名、平成 19 年度より 10 名に拡大）を実施し、また、平成 19 年度から学士入学に地域枠（募集定員：３名、令和２年度より４名）を設置してきた。さらに平成 21 年度から緊急医師確保対策枠推薦入試（現：緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜。以下、緊急医師確保対策枠という。）（募集定員：平成 21 年度５名、令和２年度より９名)、一般選抜において、平成 23 年度から県内定着枠入試（以下、県内定着枠という。）（募集定員：平成 23 年度７名、令和２年度より３名）を実施してきた。このほか、平成 21 年度から５名の恒久的な定員増を行った。

入学者選抜において、臨時定員である県内定着枠は、出身地を問わず、島根県の地域医療に熱意を持つ学生を選抜する。

また、同じく臨時定員である緊急医師確保対策枠では、募集定員９名のうち、５名以内を島根県内枠としている。緊急医師確保対策枠出願者は、出願前に島根県担当者による事前面接を行うことで、将来、島根県の地域医療に従事する意思を確認している。入学後の教育では、地域医療教育に力を入れ、地域枠、緊急医師確保対策枠及び県内定着枠の卒業医師が徐々に医師不足地域に勤務しはじめているが、医師不足の解消には至っていない。

これらの背景により、臨時定員である緊急医師確保対策枠９名及び県内定着枠３名の計 12 名について令和８年度において再度の入学定員増を行い、これに合わせて収容定員の変更を行うものである。

ウ　学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ｱ) 教育課程の変更内容

令和６年度入学生より、６年間一貫した地域医療教育を実施することにより、地域医療を担う医師を養成するため、２年次開講科目に「地域医療学Ⅱ」を新たに追加した。

① １年次開講科目
　早期体験実習、地域医療学Ⅰ

② ２年次開講科目
　地域医療学Ⅱ

③ ３年次開講科目
　環境保健医学Ⅰ、環境保健医学Ⅱ、医学チュートリアル「総合診療・地域医療」、医学チュートリアル「環境保健医学実習」

④ ４～５年次開講科目
　臨床実習Ⅰ

⑤ ５～６年次開講科目
　臨床実習Ⅱ

⑥ １～６年次開講科目
　地域医療体験実習Ⅰ、地域医療体験実習Ⅱ　※いずれも選択必修

(ｲ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

６年間の教育において採用される教育課程編成・実施の方針の概要は、医学科のカリキュラム・ポリシーに定めている。令和５年２月に「教育課程における教育・学習方法に関する方針」を改正し、各年次におけるカリキュラムの方針及び６年間一貫したコース構築について定めた。

また、令和５年６月に「指導教員の手引き」を改訂し、指導教員に求められる役割を明確にした。これにより、指導教員が学生一人一人に対して定期的に面談を行い、履修

等についてきめ細やかな指導を行っていく。

（ｳ）教員組織の変更内容

本学医学部医学科では、基幹教員 140 名（教授 46 名、准教授 26 名、講師 12 名、助教 56 名）、基幹教員以外の教員 284 名を配置し、教員組織を編成している。

上記の教員組織により、令和７年度まで 12 名増員された入学定員 102 名の下で教育を実施してきた実績を有しているため、収容定員変更を行った場合でも、教育の質を十分に担保することが可能である。

（ｴ）大学全体の施設・設備の変更内容

図書館や情報演習室、実習室等の施設・設備について、定員変更前と同等の学習環境を提供することができるため、今回の収容定員変更に伴う大学全体の施設・設備の変更は行わない。

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教育課程等の概要

（医学部医学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員）	
島大STEAM科目群		情報科学	1前	○	2			○			1	1					
		数理・データサイエンス	1前	○	2			○			1	1					クラス別
		分子細胞生物学Ⅰ	1前	○	2			○			1	1		1			
		分子細胞生物学Ⅱ	1後	○	2			○			1	1		1			
		小計（4科目）	－		8	0	0	－			4	4	0	2	0	0	
ユニバーサル科目群	英語	英語ⅠA	1前	○	1				○							1	クラス別
		英語ⅠB	1後	○	1				○							1	クラス別
		英語ⅡA	1前	○	1				○				1			1	クラス別
		英語ⅡB	1後	○	1				○				1			1	クラス別
		基礎医学英語Ⅰ	1前	○	1				○		1						
		基礎医学英語Ⅱ	1後	○	1				○		1						
	初修外国語	ドイツ語Ⅰ	1前			2			○							2	週2回クラス別
		フランス語Ⅰ	1前			2			○							1	週2回クラス別
		中国語Ⅰ	1前			2			○							2	週2回クラス別
		韓国・朝鮮語Ⅰ	1前			2			○							1	週2回クラス別
		医療倫理・プロフェッショナリ	1前	○	2			○			1						
		行動科学	1前	○	2			○			1						
		SDGs入門	1前	○	2			○								1	
		小計（13科目）	－	－	12	8	0	－			4	0	2	0	0	11	
地域創生科目群		地域医療学Ⅰ	1後	○	2			○	○		1			2		1	
		地域医療学Ⅱ	2通	○	1			○	○		1			2		1	
		早期体験実習	1通	○	1					○	1						
		地域医療と地方創生	1前			2		○	○							1	集中
		小計（4科目）	－	－	4	2	0	－			3	0	0	4	0	3	
教養育成科目群		健康科学概論	1後	○	2			○			5					1	
		健康スポーツ	1前	○	2			○		○						1	クラス別
		医科基礎生物学	1前	○	2			○			1	1		1			
		医科基礎化学	1前	○	2			○			1	1		1			
		物理学入門セミナー	1前			2		○								2	
		人間行動論	1前			2		○								1	
		小計（6科目）	－	－	8	4	0	－			7	2	0	2	0	5	
専門基礎科目		生体物質科学	1後	○	2			○				1		1			
		自然科学実習	1後	○	2					○	1	2		2			クラス別
		情報学・統計学演習	1後	○	1				○		1	1					クラス別
		医学英語Ⅰ	2後	○	0.5				○		1					1	クラス別
		医学英語Ⅱ	3前	○	0.5				○		1					1	クラス別
		実用英語演習Ⅰ	2前	○	0.5				○				1	1			クラス別
		実用英語演習Ⅱ	2後	○	0.5				○				1	1			クラス別
		英語論文読解演習	3前	○	0.2				○		1						クラス別
		小計（8科目）	－	－	7.2	0	0	－			5	4	2	5	0	2	
基礎医学系		生化学（講義）	2後	○	(80)			○			2	1	1	2			
		生化学（実習）	1後	○	(72)					○	2	1	1	2			
		医科遺伝学	2前	○	(15)			○				1					
		組織学	1後	○	(64)			○		○	2			4			
		解剖学Ⅰ	2通	○	(125)			○		○	2			4			
		解剖学Ⅱ	2通	○	(165)			○		○	2			4			
		生理学Ⅰ	2通	○	(48)			○		○	1	1		2			
		生理学Ⅱ	2通	○	(40)			○		○		1	1	1		1	
		小計（8科目）	－	－	(609)	0	0	－			11	5	3	19	0	1	
		免疫学（基礎）	1後	○	(28)			○		○	1		1	1			
		免疫学（展開）	2後	○	(15)			○		○	1		1	1			

臨床基礎医学系	薬理学（基礎）		3前	○	(68)			○		○	1	1	1	1			
	臨床薬理学		3前	○	(20)			○		○	1	1	1	1			
	細菌学		2後	○	(29)			○			1	1	1				
	ウイルス学		3前	○	(22)			○			1	1	1				
	微生物学（実習）		3前	○	(16)			○		○	1	1	1				
	病理学		3前	○	(42)			○		○	2		2	1			
	放射線基礎医学		3前	○	(10)			○			1					1	
	小計（9科目）		－	－	(250)	0	0	－			10	5	9	5	0	1	
社会医学系	環境保健医学Ⅰ		3前	○	(15)			○			1		1			3	
	環境保健医学Ⅱ		3前	○	(15)			○			1	1		2		3	
	法医学		3前	○	(13)			○			1		1	2			
	医事法制		3前	○	(7)			○			1		1	2			
	小計（4科目）		－		(50)	0	0	－			4	1	3	6	0	6	
臨床医学系	医学チュートリアル	総合診療・地域医療	3後	○	(30)			○			1						
		呼吸器・感染症	3後	○	(90)			○			2			1			
		循環器	3後	○	(60)			○			2			3			
		消化器	3後	○	(90)			○			2	2		4			
		内分泌・代謝・乳腺	3後	○	(60)			○			2	1		1			
		血液・造血器	3後	○	(60)			○			1						
		神経	3後	○	(90)			○			2		1	2			
		腎・尿路	3後4前	○	(60)			○			2			2			
		膠原病	4前	○	(30)			○			1					1	
		アレルギー・皮膚	4前	○	(30)			○			1	1		1			
		運動器	4前	○	(30)			○			1	1		2			
		感覚器	4前	○	(60)			○			3	2	1	2			
		麻酔・救急・Acute Ca	4前	○	(90)			○			2			4			
		周産期・女性生殖器	4前	○	(60)			○			1			1			
		成長・発達	4前	○	(30)			○			1	1		2			
		精神・行動	4前	○	(30)			○			1	1		3			
		腫瘍・緩和ケア・老年	4前	○	(90)			○			2	1					
		環境保健医学実習	3後4前	○	(30)			○		○	2	1	1	2		3	
		病理実習	3後4前	○	(60)					○	2		2	1			
		PBL	3後4前	○	(90)				○		2						
		診察診断学・共用試験	4後	○	(120)			○	○	○	3						
	臨床実習Ⅰ（入門プログラム,		4後5通	○	(1920)			○	○	○	29	10	2	33		90	
	臨床実習Ⅱ（卒業試験を含む）		5後6前	○	(1120)			○	○	○	29	10	2	33		90	
	小計（23科目）		－		(4330)	0	0	－			94	31	9	97	0	184	
特別系	研究室配属		3後	○	(150)					○	1						
	地域医療体験実習Ⅰ＊		1-6通				(20)			○	1						
	地域医療体験実習Ⅱ＊		1-6通				(20)			○	1						
	医療におけるSDGs		2-6通				(15)	○			1						
	医学研究の基礎		1-6通				(120)			○	1						
	アドバンスト・イングリッシュスキルコース＊＊	上級TOEICセミナーⅠ	1-6通				(20)		○		1						
		上級TOEICセミナーⅡ	1-6通				(20)		○		1						
		グローバルリテラシー	1-6前				(20)		○							1	
		グローバルリテラシー	1-6後				(20)		○							1	
		海外留学セミナー	1-6後				(20)		○				1				
		臨床英語	1-6通				(20)		○		1						
		アカデミックイングリ	1-6前				(20)		○				1				
		アカデミックイングリ	1-6後				(20)		○					1			
		海外研修A	1-6後				(40)			○	1						
		海外研修B	1-6通				(40)			○	1						
		海外研修C	1-6通				(40)			○	1						
	高度総合診療力修得コース	総合診療専攻医体感コ	4-6前				(60)	○	○	○	1					3	
			1-6通				(15)	○	○	○	1					1	
		総合診療医による臨床スキル育成コース	1-3後				(20)	○	○	○	1					3	
			4-6後				(20)	○	○	○	1					3	
		総合診療医によるハンズオンエコーコース	1-3後				(20)	○	○	○	1					1	
			4-6前				(20)	○	○	○	1					1	
		臨床研究コース（学会	1-6通				(15)	○	○	○	1					2	
		胸部画像コース	4-6通				(15)	○	○	○	1					2	

小計（24科目）	－		(150)	0	(640)	0	0	0	19	0	2	1	0	18	
合計（96科目）	－		39.2 (5389)	14	(640)	－			161	52	30	141	0	231	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
(卒業要件) 卒業のために必要な単位数は以下のとおりである。 なお，課程表の単位欄のうち()は時間数を示す。 1.全学基礎教育科目 ○島大STEAM科目群　8単位 ○ユニバーサル科目群　14単位 ・初修外国語はドイツ語Ⅰ，フランス語Ⅰ，中国語Ⅰ，韓国・朝鮮語Ⅰの中から1つを選んで履修する。 ○地域創生科目群　4単位 ○教養育成科目群　8単位 2.専門教育科目 ○専門基礎科目　7.2単位 ○基礎医学系　必修科目609時間 ○臨床基礎医学系　必修科目250時間 ○社会医学系　必修科目50時間 ○臨床医学系　必修科目4330時間 ○特別系　必修科目150時間 *地域人材育成コースに所属する学生は，地域医療体験実習Ⅰまたは地域医療体験実習Ⅱのいずれかの科目を修得しなければならない。 **アドバンスト・イングリッシュスキルコース科目群から合計120時間以上履修した学生には「アドバンストイングリッシュスキルコース修了認定書(Certificate for Advanced English Skills)」を授与する。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	14週
	1時限の授業の標準時間	1年生：50分 2年生以上：60分

（注）

1　学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。

2　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

3　開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。

4　「主要授業科目」の欄は，授業科目が主要授業科目に該当する場合，欄に「○」を記入すること。なお，高等専門学校の学科を設置する場合は，「主要授業科目」の欄に記入せず，斜線を引くこと。

5　「単位数」の欄は，各授業科目について，「必修」，「選択」，「自由」のうち，該当する履修区分に単位数を記入すること。

6　「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。

7　「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。

8　「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員等」と読み替えること。

9　「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は，「専任教員以外の教員（助手を除く）」と読み替えること。

10　課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。

（1）各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学の全課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。

（2）「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。

（3）「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

11　高等専門学校の学科を設置する場合は，高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については，備考欄に「☆」を記入すること。

令和８年度
医学部入学定員増員計画

島大企広第３号
令和７年８月２０日

文部科学省高等教育局長　殿

国立大学法人島根大学
学長　大谷　　浩

「地域の医師確保等の観点からの令和８年度医学部入学定員の増加について（令和７年８月５日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

＜連絡先＞

責任者連絡先	職名・氏名	島根大学医学部総務課長　山崎　健治
	TEL	（0853）20-2011
	FAX	（0853）20-2025
	E-mail	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp

大学名	国公私立
島根大学	国立

1．現在（令和７年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
102	5	5	657

（収容定員計算用）

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
（ア）入学定員	102	102	102	102	102	102	612
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	5	5	5	5	0	0	20
計	112	112	112	112	107	102	657

2．本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和８年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	5	5	585

（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
（ア）入学定員	90	90	90	90	90	90	540
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	5	5	5	5	0	0	20
計	100	100	100	100	95	90	585
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

3．令和８年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
102	5	5	597

（収容定員計算用）

	R8	R9	R10	R11	R12	R13	計
（ア）入学定員	102	90	90	90	90	90	552
（イ）2年次編入学定員	5	5	5	5	5	0	25
（ウ）3年次編入学定員	5	5	5	5	0	0	20
計	112	100	100	100	95	90	597
（臨時的な措置で減員した場合、その人数）							

増員希望人数	**12**

（内訳）

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	**12**
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	**0**
計	**12**

地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数	12

（１）対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	島根県	12
大学所在地以外の都道府県		
計		12

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（２）修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R6地域枠定員（※1）	R6貸与者数（※2）	R7地域枠定員（※1）	R7貸与者数（※2）	R6とR7の貸与者数のうち多い方の数
島根県	12	14	12	19	19
					0
					0
					0
					0
					0
計	12	14	12	19	19

（※1）臨時定員分のみご記入ください。

（※2）恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

（３）令和８年度地域の医師確保のための入学定員増について

１．大学が講ずる措置

１－１．地域枠学生の選抜

①**令和６年度に実施した**地域枠学生（令和７年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	備考
地域枠学校推薦型選抜	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	10	0	大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。 ①小論文試験：出題された文章等に対し、主として論述式により解答を行う問題を課します。 ②面接試験：各志願者に対して、数名の面接委員による１人20分程度を２回、計40分程度の個人面接を行います。	次の(1)から(10)の各号に該当し、かつ、令和７年度大学入学共通テストを受験する者（本学部では、令和７年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって、志願者の出身地に最も関連の深い市町村長の意見を参考に学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者 （１）生まれ育った地域が島根県内のへき地等に該当し、その地域における医療に貢献する強い意志のある者（小中学校時代に概ね５年以上を当該地域で生活した者も含む。） （２）次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月31日までに修了見込みの者 （３）へき地の医療機関及び社会福祉施設で適性評価を受け、市町村長等による面接を受けた者 （４）人物及び学習成績が優秀で、かつ、調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上である者 （５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ、数学Ａ，数学Ｂ及び数学Cを、物理、化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または、文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者 （６）合格した場合は、入学することを確約できる者 （７）合格した場合は島根県の奨学金を受給する者 （８）卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 （９）卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 （10）卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、（９）の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者	無		H21以前	

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	9	9	大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。 ①小論文試験：出題された文章等に対し、主として論述式により解答を行う問題を課します。 ②面接試験：各志願者に対して、数名の面接委員による１人20分程度を２回、計40分程度の個人面接を行います。 ※島根県内枠で出願した者は、島根県内枠において合格とならなかった場合は、一般枠としての選抜の対象とします。	【一般枠】 次の(1)から(10)の各号に該当し、かつ、令和７年度大学入学共通テストを受験する者（本学部では、令和７年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって、学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者 （１）島根県の医療に貢献する強い意志のある者 （２）次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月31日までに修了見込みの者 （３）本学が指定する島根県内の医療機関で適性評価を受け、島根県の担当者による面接を受ける者 （４）人物及び学習成績が優秀で、かつ、調査書の全体の評定平均値が4.1以上である者 （５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ及び数学Cを、物理、化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者 または、文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者 （６）合格した場合は、入学することを確約できる者 （７）合格した場合は、島根県の奨学金を受給する者 （８）卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 （９）卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 （10）卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、（９）の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者 【島根県内枠】 上記一般枠の出願要件に加え、次の要件を満たす者 （１）島根県内の高等学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者 ※島根県内枠の出願者は、一般枠の併願者として取り扱います。	無		H21以前	

一般選抜（県内定着枠）	（ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	3	3	大学入学共通テストでは、英語、数学、理科、社会、国語、情報において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 個別学力試験では、数学、英語の筆記試験を課し、これらの科目の知識、思考力、判断力、表現力を評価し、さらに面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。 なお、県内定着枠では、卒業後は島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献する意欲・使命感を面接によって評価します。	医学部医学科「県内定着枠」に出願できる者は、令和７年度大学入学共通テストを受験した者で、次の①から⑥の要件を満たす者とします。ただし、指定された教科・科目を受験していない場合は、無資格者として取り扱います。 ① 高等学校又は中等教育学校を令和４年3月以降に卒業した者並びに令和７年3月卒業見込みの者 ② 合格した場合は、入学することを確約できる者 ③ 合格した場合は、島根県の奨学金を受給する者 ④ 卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 ⑤ 卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 ⑥ 卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12 年を経過する日までの間に、⑤の期間を含めて9 年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち4 年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者	無		H23	
学士入学（地域枠）	（ⅳ）その他※備考欄に詳細を記入	別枠（区別型）	4	0	(1) 第１次選抜 ① 「筆記学力試験(大学教養教育修了程度)」を実施します。 なお、自然科学総合問題は、化学、生物学などの自然科学系の科目を出題範囲とします。 また、外国語（英語）は、筆記学力試験に加え、TOEICスコアを本学部医学科が定める換算式に基づいて換算し、総合的に評価します。 ② 推薦書などの出願書類とともに総合して判定し、2年次編入学及び3年次編入学それぞれにおいて募集人員の約3.5倍を合格者とします。 (2) 第２次選抜 第１次選抜合格者に対して「面接」を実施します。	【学士入学（２年次編入学）】 出願資格 (1) 一般枠 次の１及び２の各号に該当する者 １ 次の①から④のいずれかに該当する者 ① 大学を卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。） ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。） ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者（医学部 医学科の修了者及び在学者を除く。） ④ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和７年３月修了見込みの者を含む。） ２ 出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており、その得点が600点以上の者 (2) 地域枠 上記一般枠の出願資格に該当し、かつ、次の１および２の各号に該当する者 １ 島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者	無		H21以前	３年次編入学：募集人員５人（うち地域枠２人以内） ２年次編入学：募集人員５人（うち地域枠２人以内）

						（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。） ２　卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 　なお、地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は、地域枠を優先して行い、地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。 【学士入学（３年次編入学）】 出願資格 (1) 一般枠　次の１から３の各号に該当する者 １　次の①から④のいずれかに該当する者 ①　大学を卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。） ②　学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。） ③　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。） ④　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和７年３月修了見込みの者を含む。） ２　歯科医師、獣医師、薬剤師のいずれかの免許を保持する者(令和７年３月末までに取得見込みの者も含む) ３　出願締切日より遡って2年以内のTOEIC L&Rを受験しており、その得点が600点以上の者 (2) 地域枠　上記一般枠の出願資格に該当し、かつ、次の１および２の各号に該当する者 １　島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。） ２　卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 　なお、地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は、地域枠を優先して行い、地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。				
合計			26	12							

（※1）貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②**令和７年度に実施する**地域枠学生（令和８年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	開始年度	備考
地域枠学校推薦型選抜	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	10	0	大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。 ①小論文試験：出題された文章等に対し、主として論述式により解答を行う問題を課します。 ②面接試験：各志願者に対して、数名の面接委員による１人20分程度を２回、計40分程度の個人面接を行います。	次の(1)から(10)の各号に該当し、かつ、令和８年度大学入学共通テストを受験する者（本学部では、令和８年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって、志願者の出身地に最も関連の深い市町村長の意見を参考に学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者 （１）生まれ育った地域が島根県内のへき地等に該当し、その地域における医療に貢献する強い意志のある者（小中学校時代に概ね５年以上を当該地域で生活した者も含む。） （２）次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和６年４月以降に修了した者及び令和８年３月31日までに修了見込みの者 （３）市町村長等による面接を受けた者 （４）人物及び学習成績が優秀で、かつ、調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上である者 （５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ及び数学Cを、物理、化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または、文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者 （６）合格した場合は、入学することを確約できる者 （７）合格した場合は島根県の奨学金を受給する者 （８）卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 （９）卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 （10）卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、(９)の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者	無		H21以前	

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜	（ｉ）学校推薦型選抜	別枠（先行型）	9	9	大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。 ①小論文試験：出題された文章等に対し、主として論述式により解答を行う問題を課します。 ②面接試験：各志願者に対して、数名の面接委員による１人20分程度を２回、計40分程度の個人面接を行います。 ※島根県内枠で出願した者は、島根県内枠において合格とならなかった場合は、一般枠としての選抜の対象とします。	【一般枠】 次の１から１０の各号に該当し、かつ、令和８年度大学入学共通テストを受験する者であって、学校長（教育施設の長）が責任をもって推薦できるもの １ 島根県の医療に貢献する強い意志のある者 ２ 次の①又は②のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和６年４月以降に修了した者及び令和８年３月31 日までに修了見込みの者 ３ 島根県の担当者による面接を受ける者 ４ 人物及び学習成績が優秀で、かつ、調査書の全体の学習成績の状況が4.1 以上である者 ５ 高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ、数学Ａ、数学Ｂ及び数学Cを、物理、化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または、文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者 ６ 合格した場合は、入学することを確約できる者 ７ 合格した場合は、島根県の奨学金を受給する者 ８ 卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 ９ 卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 １０ 卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、９の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者 【島根県内枠】 上記の【一般枠】の出願要件に加え、次の要件を満たす者 １ 島根県内の高等学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者 ※島根県内枠の出願者は、一般枠の併願者として取り扱います。	無		H21以前	

一般選抜（県内定着枠）	（ⅲ）一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	3	3	大学入学共通テストでは、英語、数学、理科、社会、国語、情報において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 　個別学力試験では、数学、英語の筆記試験を課し、これらの科目の知識、思考力、判断力、表現力を評価し、さらに面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。 　なお、県内定着枠では、卒業後は島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献する意欲・使命感を面接によって評価します。	医学部医学科「県内定着枠」に出願できる者は、令和８年度大学入学共通テストを受験した者で、次の①から⑥の要件を満たす者とします。 ただし、指定された教科・科目を受験していない場合は、無資格者として取り扱います。 ① 高等学校又は中等教育学校を令和５年3月以降に卒業した者並びに令和８年3月卒業見込みの者 ② 合格した場合は、入学することを確約できる者 ③ 合格した場合は、島根県の奨学金を受給する者 ④ 卒業後は、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 ⑤ 卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者 ⑥ 卒業後は、医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12 年を経過する日までの間に、⑤の期間を含めて9 年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち4 年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者 ※出願資格の記載内容は変更になることがあります。詳細は学生募集要項（11月下旬公表予定）を必ずご確認ください。	無		H23	

学士入学（地域枠）	（ⅳ）その他※備考欄に詳細を記入	別枠（区別型）	4	0	(1) 第１次選抜 ①「筆記学力試験(大学教養教育修了程度)」を実施します。 なお、自然科学総合問題は、化学、生物学などの自然科学系の科目を出題範囲とします。 また、外国語（英語）は、筆記学力試験に加え、TOEICスコアを本学部医学科が定める換算式に基づいて換算し、総合的に評価します。 ② 推薦書などの出願書類とともに総合して判定し、２年次編入学及び３年次編入学それぞれにおいて募集人員の約3.5倍を合格者とします。 (2) 第２次選抜 第１次選抜合格者に対して「面接」を実施します。	【学士入学（２年次編入学）】 ３ 出願資格 (1) 一般枠 次の１及び２の各号に該当する者 １ 次の①から⑤のいずれかに該当する者 ① 大学を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。） ② 学校教育法（昭和22 年法律第26 号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。） ③ 外国において、学校教育における16 年の課程を修了した者又は令和８年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。） ④ 外国の大学等において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。） ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和８年３月修了見込みの者を含む。） ２ 出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており、その得点が600点以上の者 (2) 地域枠 上記一般枠の出願資格に該当し、かつ、次の１および２の各号に該当する者 １ 島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。） ２ 卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 なお、地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は、地域枠を優先して行い、地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。 【学士入学（３年次編入学）】 ３ 出願資格 (1) 一般枠 次の１から３の各号に該当する者 １ 次の①から⑤のいずれかに該当する者 ① 大学を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。） ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学	無		H21以前	３年次編入学：募集人数５人（うち地域枠２人以内） ２年次編入学：募集人数５人（うち地域枠２人以内）

						士（医学）の学位を授与された者を除く。） ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和８年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。） ④ 外国の大学等において、修業年限が３年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。） ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和８年３月修了見込みの者を含む。） ２ 歯科医師、獣医師、薬剤師のいずれかの免許を保持する者(令和８年３月末までに取得見込みの者も含む) ３ 出願締切日より遡って2年以内のTOEIC L&Rを受験しており、その得点が600点以上の者 (2) 地域枠 上記一般枠の出願資格に該当し、かつ、次の１および２の各号に該当する者 １ 島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。） ２ 卒業後は、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献することを確約できる者 なお、地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は、地域枠を優先して行い、地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。				
合計			26	12						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

１－２．教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和８年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、early exposureとして大学病院での早期体験実習を行い、3年次には県内の地域住民の健康管理を学んでいる。4年次にはチュートリアル教育によるプライマリケアコースを行い、5年次には「臨床実習Ⅰ」で実施される4週間の「総合診療・地域医療学」実習を必修で、6年次では選択実習の一部を希望制で学外の地域医療機関で行っている。その他に、春季・夏季地域医療実習、学生自らが企画するフレキシブル実習等を実施しており、地域枠学生は必須となっている。例年、地域医療機関で実施する臨床実習の振り返りや改善などを目的として、各機関の教員及び事務担当者を招き、地域医療教育連絡会を実施している。 また、令和6年度入学生より、2年次開講科目に「地域医療学Ⅱ」を追加し、6年間一貫した地域医療教育を実施することにより、地域医療を担う医師を養成する。	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和８年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成18年度から医師不足地域出身者による地域枠を開始し、平成21年度から緊急医師確保対策枠、平成23年度からは県内定着枠の増員を開始し、同時期に学内に寄附講座を設置し、（一社）しまね地域医療支援センターとともに県内の医師定着に取り組んできた。令和７年度までに354名の地域枠学生を確保し、そのうち199名が県内の地域医療に貢献している。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和７年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者（※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年	早期体験実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
1年	地域医療学Ⅰ	全員	必修	必修	講義	2	H28
2年	地域医療学Ⅱ	全員	必修	必修	講義	1	R6
3年	環境保健医学	全員	必修	必修	講義	30時間	H21以前
3年	医学チュートリアル総合診療・地域医療	全員	必修	必修	講義	30時間	H21以前
3年～4年	医学チュートリアル環境保健医学実習	全員	必修	必修	実習	30時間	H21以前
4年～5年	臨床実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	1920時間	H21以前
5年～6年	臨床実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	1120時間	H21以前
1年～6年	地域医療体験実習Ⅰ	全員	選択必修	選択	実習	20時間	H29
1年～6年	地域医療体験実習Ⅱ	全員	選択必修	選択	実習	20時間	H29

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者（※1）	都道府県との連携	期間（例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度
1年～6年	地域医療セミナー	全員	島根県との連携	通年	地域医療の魅力を伝える。	H22
1年～6年	ランチョンセミナー	全員	島根県との連携	通年	地域医療で活躍するロールモデルを提示する。	H22

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和７年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
しまね地域医療支援センターの設置	大学と島根県が中心となり、県内の医療機関、自治体等と連携し、同センターを学内に設置し、若手医師の育成・定着を目的に様々な取り組みを行っている。	H24
地域医療系　寄附講座の設置	学生が地域医療に興味を持ち地域医療へのモチベーションを膨らませるため、医師としてのキャリアアップと県内で安心して働ける環境づくりを支援している。	H22
島根県医師会との共同でのキャリア講義	島根県内の医師の労働環境改善ならびに男女共同参画への取り組みについて、本学学生、島根県医師会員へ報告・講義を行っている。	H27

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

２．都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第４条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額　（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定が有る場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
島根県	12	新入生	100,000	10,696,800	医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過するまでの間に、指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて９年間指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事したとき。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	×	無		・貸与人数内訳 緊急医師確保対策枠９名 県内定着枠３名 ・総貸与額内訳 修学費100,000円（月額） 授業料相当額535,800円（年額） 入学金相当額282,000円 ６年間貸与の場合：総額10,696,800円

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3．在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域医療実習	在学生を対象に、島根県と連携し、県内地域医療機関での実習を年2回企画。実習終了後は、参加者が一堂に会する意見交換会を実施。	H21以前
在学者面談	在学中は、毎年、島根県の寄附講座である地域医療支援学講座が、島根県や（一社）しまね地域医療支援センター等と密に連携しながら、学生への個別面談を実施。	H22
キャリア面談	卒業後は、毎年、（一社）しまね地域医療支援センターが、島根県や本学等と密に連携しながら、地域枠医師と面談を行い、地域勤務とキャリア形成の両立を支援。	H25

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

４．その他

１～３に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

令和７年度

学 生 募 集 要 項

医学部医学科

地 域 枠 学 校 推 薦 型 選 抜

出願期間	令和６年１１月１日（金）～１１月７日（木）
試 験 日	令和６年１２月７日（土）・８日（日）

島 根 大 学

学生募集要項
地 域 枠 学 校 推 薦 型 選 抜

目　　次　　ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）・・・・・・　1

Ⅱ　地域枠学校推薦型選抜

1　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

2　出願要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

3　適性評価及び市町村長等による面接・・・・・・・・・・・・　3

4　へき地医療に関する論文　・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

1　入試方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

2　入試日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

3　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点・・・　6

4　採点・評価基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

5　合否判定基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

6　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

7　試験場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

8　受験上の留意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

9　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

10　入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

11　その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

12　入試に関する情報提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

13　授業料について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

14　入学料の徴収猶予　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

15　離脱要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

16　医学生地域医療奨学金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

17　キャリア形成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

18　障がい等を有する志願者との事前相談　・・・・・・・・・・・　15

19　個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

20　地域人材育成コースカリキュラム・・・・・・・・・・・・・・　16

21　インターネット出願の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

位　置　図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23

建物配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）

１．使命と教育理念

島根大学医学部医学科は，「地域に根ざし，地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指す島根大学の理念に基づき，地域の医療を担う優れた人材を育成するとともに，疾病の予防や新たな治療法の開発など医学・医療に関する特色ある研究を推進し，広く人類の医療・福祉の発展に寄与できる人材を育成することを使命としています。

大学教育を通じて発展向上させる力

地域枠学校推薦型選抜にて入学した学生は，地域医療に対するより一層高い意欲と強い使命感を涵養し，地域医療に貢献できる能力の発展向上を目指します。そのために，高大連携から卒前卒後教育・生涯教育の一貫した地域医療人育成のための取組みを積極的に推進し，また，島根県や県内医療機関等と連携し，県内で活躍する医師のキャリア形成支援の充実を図り，安心して地域医療に取り組める体制を整備しています。

２．求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能

1. 高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力

2. 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
3. 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
4. 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
5. 探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
6. 異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
7. 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

8. コミュニケーション能力に長けている。
9. 相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

３．入学者選抜の基本方針

出願前にへき地医療機関等で医療福祉体験活動を行い，適性評価を受けるとともに，市町村長等による面接を受けます。この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。

小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。

面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。

選抜試験における評価項目と評価方法

地域枠学校推薦型選抜

評価方法	知識	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性	地域医療に対する意欲・使命感
推薦書・調査書	★	★	★	★
大学入学共通テスト	◎	○		
小論文	○	◎		
面接		○	◎	◎
地域医療等に関する論文	★	★	★	★
地域の医療機関における適性評価	★	★	★	★
学外第三者*による面接	★	★	★	★

★　　参考とするもの
◎，○　　評価を点数化し，合否判定に用いる（◎ 評価する上で重視するもの，　○ 評価に用いるもの）
＊　　市町村長等

Ⅱ　地域枠学校推薦型選抜

１　募集人員

１０人以内

２　出願要件

次の(1)から(10)の各号に該当し，かつ，令和７年度大学入学共通テスト（６ページに定める６教科８科目）を受験する者（本学部では，令和７年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって，志願者の出身地に最も関連の深い市町村長の意見を参考に学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者

（１）生まれ育った地域が島根県内のへき地等（３ページ「地域枠該当市町村」に掲げる市町村）に該当し，その地域における医療に貢献する強い意志のある者（小中学校時代に概ね５年以上を当該地域で生活した者も含む。）

（２）次の①又は②のいずれかに該当する者

① 高等学校又は中等教育学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者

② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月３１日までに修了見込みの者

（３）へき地の医療機関及び社会福祉施設で適性評価を受け，市町村長等による面接を受けた者

（４）人物及び学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上である者

（５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ及び数学Ｃを，物理，化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または，文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者

（６）合格した場合は，入学することを確約できる者

（７）合格した場合は島根県の奨学金（１２ページ「**16　医学生地域医療奨学金**」を参照）を受給する者

（８）卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

（９）卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者

(10) 卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間に，（９）の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）（１４ページ「主な指定医療機関及び特定地域医療機関」を参照）で医師の業務に従事することを確約できる者

※地域枠該当市町村

地域枠の対象となる本学が指定する地域

松江市 美保関町	安来市	仁多郡 奥出雲町	雲南市	飯石郡 飯南町
出雲市 佐田町	出雲市 多伎町	大田市	邑智郡 川本町	邑智郡 美郷町
邑智郡 邑南町	江津市	浜田市	益田市	鹿足郡 津和野町
鹿足郡 吉賀町	隠岐郡 隠岐の島町	隠岐郡 海士町	隠岐郡 西ノ島町	隠岐郡 知夫村

３　適性評価及び市町村長等による面接

〔１〕適性評価

志願者は，**出願前に**〔４〕の医療機関及び社会福祉施設で医療福祉体験活動を行い，適性評価を受けてください。その評価内容は面接試験の参考とします。

①　へき地の医療機関における適性評価

県内（出身地近辺）のへき地の医療機関（４，５ページ「〔４〕医療機関及び社会福祉施設」に掲げる医療機関。ただし，※印の医療機関を除く。）において，少なくとも合計５日以上の医療体験活動を行い，活動記録と感想文を提出し，当該医療機関の担当者（病院長，診療所長等）の適性評価を受けてください。

②　へき地の社会福祉施設における適性評価

県内（出身地近辺）のへき地の社会福祉施設（４，５ページ「〔４〕医療機関及び社会福祉施設」に掲げる社会福祉施設）において，少なくとも合計３日以上の福祉体験活動を行い，活動記録と感想文を提出し，当該社会福祉施設の担当者（施設長等）の適性評価を受けてください。

③　医療福祉体験活動について

ア　医療福祉体験活動プログラム

〔４〕の医療機関及び社会福祉施設において，それぞれ独自のプログラムが提供されます。

イ　所定の様式で，１日毎に作成し，担当者に提出してください。

ウ 医療福祉体験活動についての感想文

所定の期間の医療福祉体験活動を行い，その感想文を所定の様式に800字程度で記載し，担当者に提出してください。

エ　医療福祉体験活動記録，感想文用紙は，各機関の担当者から配付されます。

オ　医療福祉体験活動を実施するにあたって，日頃から体調管理に留意し，検温を行うなど，各自で感染防止対策を行う他，市町村及び受入れ先の医療機関，社会福祉施設の指示に従って，感染防止対策を行ってください。

また，受入側（医療機関，社会福祉施設，市町村）の方針に従い，事前に抗原定量検査又はＰＣＲ検査等を受けていただく場合がありますが，検査に伴う費用は，原則自己負担とします。

カ　怪我等に備え各自で保険に加入してください。

キ　前年度の同選抜に出願するため医療福祉体験活動をし，適性評価を受けている場合は，医療福祉体験活動を省略することができます。

また，前年度の「緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜」に出願するため医療体験活動をし，適性評価を受けている場合は，医療機関での医療体験活動を省略することができます。ただし，社会福祉施設での福祉体験活動は省略することはできません。

〔２〕市町村長等による面接

志願者は，出身地の市町村長及び本学が指名する地元関係者（医療機関等担当者※，市町村健康福祉担当者等）による面接を，医療福祉体験活動を実施する前と後に受けてください。

この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めるために，医師不足に直面しているへき地市町村関係者により行うものです。市町村長等による面接内容は本学が実施する面接試験の参考とします。

※市町村長等による面接の担当者は，医療福祉体験活動を実施した医療機関や社会福祉施設の担当者とは異なることがあります。

〔３〕申し込み

ア 医療福祉体験活動

志願者は，事前に高等学校の教員を通じて，医療機関，社会福祉施設及び日程等の希望を，出身地にある市町村医療対策担当者及び島根大学医学部学務課入試担当に連絡をしてください。そのうえで，担当者の指示に基づき，**出願前に**適性評価を受けてください。なお，適性評価の実施については，受入れ機関の調整等に時間を要することがあります。

イ 市町村長等による面接

志願者は，事前に高等学校の教員を通じて，出身地にある市町村医療対策担当者に連絡したうえで，担当者の指示に基づき，行ってください。

〔４〕医療機関及び社会福祉施設

医療機関及び社会福祉施設は次のとおりですが，機関の日程等諸事情により医療福祉体験活動等の受け入れを承諾されない場合があります。

なお，下記の医療機関及び社会福祉施設以外での医療福祉体験活動等を希望する場合，機関の承諾があれば活動ができることがありますので，その際は島根大学医学部学務課入試担当に連絡してください。

（１）病院・診療所等

病　院　名　称	所　在　地
安来第一病院	安来市安来町
安来市立病院	安来市広瀬町
奥出雲町立奥出雲病院	仁多郡奥出雲町三成
雲南市立病院	雲南市大東町
飯南町立飯南病院	飯石郡飯南町頓原
出雲市立総合医療センター	出雲市灘分町
大田市立病院	大田市大田町
社会医療法人仁寿会加藤病院	邑智郡川本町川本
公立邑智病院	邑智郡邑南町中野
島根県済生会江津総合病院	江津市江津町
島根整肢学園西部島根医療福祉センター	江津市渡津町
国立病院機構浜田医療センター	浜田市浅井町
益田赤十字病院	益田市乙吉町
益田地域医療センター医師会病院	益田市遠田町
津和野共存病院	鹿足郡津和野町森村
よしか病院	鹿足郡吉賀町六日市
隠岐広域連合立隠岐病院	隠岐郡隠岐の島町
隠岐広域連合立隠岐島前病院	隠岐郡西ノ島町

診療所等名称	所　在　地
浜田市国民健康保険診療所連合体 ※	浜田市
隠岐広域連合立国民健康保険五箇診療所	隠岐郡隠岐の島町
隠岐広域連合立国民健康保険都万診療所	隠岐郡隠岐の島町
隠岐広域連合立国民健康保険中村診療所	隠岐郡隠岐の島町
隠岐広域連合立布施へき地診療所	隠岐郡隠岐の島町
国民健康保険浦郷診療所	隠岐郡西ノ島町
国民健康保険海士診療所	隠岐郡海士町

※あさひ診療所（旭町），波佐診療所（金城町），弥栄診療所（弥栄町）

（２）社会福祉施設

施　設　名	所　在　地
昌寿苑	安来市安来町
伯寿の郷	安来市伯太町
いきいきの郷はくた	安来市伯太町
しらさぎ苑	安来市古川町
美保の里	松江市美保関町
簸の上園	雲南市大東町
笑寿苑	雲南市加茂町
梅里苑	雲南市三刀屋町
えがおの里	雲南市掛合町
奥出雲介護老人保健施設	仁多郡奥出雲町
むらくも苑	仁多郡奥出雲町
あかぎの里	飯石郡飯南町
やまゆり苑	出雲市佐田町
眺峰園	大田市川合町
やすらぎ荘	邑智郡川本町
江川荘	邑智郡川本町

施　設　名	所　在　地
社会福祉法人　吾郷会	邑智郡美郷町
あさぎり	邑智郡邑南町
白寿園	江津市江津町
ミレ青山	江津市二宮町
美川苑	浜田市内村町
かなぎ園	浜田市金城町
清月の里	益田市横田町
「ますだ」ハイツ	益田市高津町
せせらぎ	鹿足郡津和野町
シルバーリーフつわの	鹿足郡津和野町
星の里	鹿足郡津和野町
みろく苑	鹿足郡吉賀町
社会福祉法人　愛宕会	隠岐郡隠岐の島町
社会福祉法人　高田会	隠岐郡隠岐の島町
社会福祉法人　博愛	隠岐郡隠岐の島町
社会福祉法人　ふれあい五箇	隠岐郡隠岐の島町
和光苑	隠岐郡西ノ島町

注）社会福祉法人の場合，実際の受け入れ施設は申し込み後に調整します。

その他，地域枠学校推薦型選抜に関する質問は，下記に問い合わせてください。

島根大学医学部学務課入試担当　　電話 0853-20-2087　FAX 0853-20-2079
E-mail ： nyusi@med.shimane-u.ac.jp

４　へき地医療に関する論文

志願者は，出身地のへき地医療の実態と自分のへき地医療に対する考えを本学所定の様式に2,000字程度にまとめて，本人が自筆で作成し，論文には題名を付けてください。本学所定の様式はホームページからダウンロードしてください。出願期間に，その他の出願書類と一緒に提出してください。

Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

1　入試方法

大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。

①小論文試験：出題された文章等に対し，主として論述式により解答を行う問題を課します。

②面 接 試 験：各志願者に対して，数名の面接委員による１人２０分程度を２回，計４０分程度の個人面接を行います。

2　入試日程

期　　日	教 科 名	時　　間
令和６年１２月７日（土）	小 論 文	9:00 ～ 11:30
令和６年１２月８日（日）	面　　接	9:00 ～ 18:00

3　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

教科等	利　用　科　目　等 大学入学共通テスト （地理歴史，公民，数学及び情報の下線付き科目は，旧教育課程履修者のみ選択可）	配　点 共通テスト	配　点 個別試験
国　　語	「国語」	100	
地理歴史 公　　民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」 「旧世界史Ｂ」，「旧日本史Ｂ」，「旧地理Ｂ」， 「旧現代社会」，「旧倫理」，「旧政治・経済」，「旧倫理，旧政治・経済」 から１	100	
数　　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「旧数学Ⅰ・旧数学Ａ」から１と 「数学Ⅱ・数学Ｂ，数学Ｃ」，「旧数学Ⅱ・旧数学Ｂ」，「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」から１の 計２	300	
理　　科	「物理」，「化学」，「生物」から２	300	
外 国 語	「英語(リスニングを含む)」	200	
情　　報	「情報Ⅰ」，「旧情報」から１	30	
小 論 文			200
面　　接			600
総 合 点	６教科８科目	1,030	800

（備考）

１．地理歴史，公民から２科目を受験している場合は，第１解答科目を採用します。

２．外国語で「英語（リスニングを含む）」については，リーディング（100点満点）を200点に，リスニング（100点満点）を50点に換算し，さらに，換算後の合計得点(250点満点)を200点満点に圧縮して利用します。なお，聴覚障がい者のうち，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，リーディングの換算得点(200点満点)をそのまま利用します。

３．数学の「旧簿記・会計及び旧情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

４．指定された教科・科目を受験しない場合は，選考対象者としません。

４　採点・評価基準

項　　目	採　　点・評　　価　　基　　準
小　論　文	小論文は，主として物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価するものです。
面　　接	面接は，人物，能力，意欲等の観点から，地域医療に従事する者としての適性をみるものです。なお，学校長の推薦書及び調査書，提出された論文，へき地医療機関等における医療福祉体験活動の記録，感想文，適性評価並びに市町村長等による面接内容は，面接の重要な資料として用います。
大学入学共通テスト	大学入学共通テストの成績は，基礎的な学習の達成の程度をみるものです。

５　合否判定基準

小論文，面接の総合点により合否を判定します。
ただし，大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は，不合格とします。

６　出願手続

（１）出願期間

インターネット出願登録の後，下記期間内に必ず届くように書類等を郵送してください。

出願期間は令和６年１１月１日（金）から１１月７日（木）１７時まで。

（インターネットでの「登録」については１０月２１日（月）１０時から可能です。）

出願書類の持参は，出願期間内（土，日及び祝日を除く）の９時から１７時までとします。

郵送（「特定記録・速達」郵便に限る）による場合は，出願期間内必着としますが，これ以降に到着したものについては，１１月６日（水）までの消印のあるものに限り受理します。

（２）出願方法

出願はインターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）のみとします。

１７～２２ページのインターネット出願の流れをよく読み，手続きを行ってください。

志願者はインターネットにより志願者登録を行ったうえで提出書類を出力し，志願者又は学校長が「出願書類提出用封筒」に一括して入れ，厳封のうえ（４）の提出先に提出してください。

（３）出願書類等

①入学検定料

支払期間　令和６年１０月２１日（月）１０時から１１月７日（木）１７時

入学検定料　17,000 円

※災害等により入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「入学検定料免除について」をご確認ください。

本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録後，入学検定料決済を行ってください。入学検定料の支払方法は，「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）　STEP4 入学検定料のお支払」により確認してください。

なお，以下の場合を除き，支払われた入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。

① 出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）したが，受理されなかった場合
該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続きを行ってください。

② 入学検定料を払い込んだが，島根大学に書類を提出しなかった場合

③　入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

上記②又は③に該当する場合は，本人の申し出により支払われた入学検定料を返還することができますので，令和６年 12 月 23 日（月）までに本学のホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「インターネット出願による入学検定料の返還手続き」をご確認のうえ申請してください。

問合せ先：財務部経理・調達課出納担当（TEL：（0852）32-6029）

②出願書類

「出願書類提出用封筒」に，次の書類等をとりそろえて，提出してください。

※出願書類提出用封筒・・・本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行った後，「出願書類提出用封筒宛名シート」をダウンロードし，印刷して市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成してください。**（出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください。）**

入学志願票	本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行ってください。 その後，「入学志願票」をダウンロードし，印刷してください。 なお，入学志願票とともに印刷する「宛名シート」はカラー印刷が望ましいですが，できない場合は「速達」及び「特定記録」は朱書き又はスタンプを押してください。
写真データ（データアップロードのみ）	写真は，本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」にて出願前３か月以内に正面向，上半身，無帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（２１ページの「写真データの提出について」を参照してください。）
調査書	文部科学省所定の様式により学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。
推薦書	本学所定の様式により，学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
論　文	本学所定の様式を使用し，へき地医療に関する論文（2,000 字程度）を本人が自筆で作成し，提出してください。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
参考資料	１　へき地医療機関及び社会福祉施設における医療福祉体験活動記録（各１部） ２　医療福祉体験活動についての感想文（１部） ３　へき地医療機関及び社会福祉施設における医療福祉体験活動にかかる適性評価票（各１部） ４　市町村長等による面接評価票（４部以上）
確約書	本学所定の様式に必要事項を記入してください。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。） **確約書は，地域枠学校推薦型選抜出願要件（9）及び（10）に示す従事要件（３ページ）と，離脱要件（１２ページ）を十分理解した上で記入してください。**

※推薦書，論文及び確約書様式の掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

※出願書類等提出後

成績請求票	**令和７大学入学共通テスト成績請求票（国公立推薦型選抜用）を１２月２０日（金）までに，（４）の出願書類等提出先へ必ず郵送してください。**（裏面に受験番号，氏名を記入し，長形３号の封筒を使用してください。）なお，成績請求票が１２月２０日（金）までに到着しない場合は，（４）の問合せ先へ連絡してください。

③受験票のダウンロード

11 月 14 日（木）以降に受験票ダウンロード及び印刷してください。

①　**令和 6 年 11 月 14 日（木）に，志願者全員に対し，出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します**ので，その後，受験票をダウンロードして印刷してください。（「受験票ダウンロード通知メール」の確認が確実にできるよう，常時利用しているメールアド

レスを登録しておいてください。）
なお，令和６年 11 月 18 日（月）までにメールが届いていない場合は，（４）の問合せ先までご連絡ください。
② **受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。**
③ 詳細なダウンロード方法は，２２ページの「受験票ダウンロードについて」を参照してください。

（４）出願書類等提出先及び問合せ先

〒693―8501　島根県出雲市塩冶町89－１

島根大学医学部学務課入試担当　　電話 0853-20-2087　　FAX 0853-20-2079

（５）出願上の留意事項

① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は，「一つの大学・学部」に限られており，本学の地域枠学校推薦型選抜に出願した者は，本学並びに他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。なお，本学の一般選抜を受験しようとする者は，令和６年１１月下旬発表予定の令和７年度学生募集要項（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）を参照のうえ，あらためて出願してください。
② いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。
③ 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。
④ その他不明な点があれば，島根大学医学部学務課入試担当（出雲キャンパス）へ問い合わせてください。

７　試験場

島根大学医学部（出雲キャンパス）　島根県出雲市塩冶町89－１

（２３，２４ページ「位置図」「建物配置図」を参照してください。）

８　受験上の留意事項

（１）国公立大学の学校推薦型選抜合格者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の個別学力試験を受験しても入学許可は得られません。

ただし，特別の事情があり，学校長を経由して「学校推薦型選抜入学辞退願」を提出し，令和7年2月14日（金）までに辞退を許可された場合を除きます。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については，公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）を参照してください。

（２）入試に不正があった場合には，入学を許可しません。

（３）**受験者は，試験当日必ず島根大学受験票を持参してください。**

（４）試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時の間です。ただし，**建物内へは入れません。**

なお，医学部（出雲キャンパス）構内（講義棟玄関前）に試験室配置図及び注意事項を掲示していますので，確認しておいてください。

９　合格発表

（１）　合格者には合格通知書を送付します。また，学校長（教育施設の長）にも選考結果通知書を送付します。

なお，合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

（ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）

また，メールや電話等による合否の照会には応じません。

（２）合格発表日時

令和７年２月１２日（水）　１３時

（３）合格通知書が令和７年２月１４日（金）までに到着しない場合は，医学部学務課入試担当へ申し出てください。

10　入学手続

（１）入学手続期日

令和７年２月１９日（水）　９時から１７時まで

合格者は，本人が直接来学し次のとおり入学手続を行ってください。

（２）国公立大学の合格者は，一つの国公立大学・学部に入学手続を行った場合には，それ以後，これを辞退して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことができません。

（３）入学手続時に必要な書類等

①入学届（本学所定の様式）

②入学料の「Ⅲ票　振込金証明書（島根大学提出用）」

③大学入学共通テスト受験票

④島根大学受験票

上記以外の書類等，入学手続の詳細については，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

（４）入学手続時に必要な経費

入学料　282,000円（予定額）

※入学手続時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。

※島根県の奨学金（１２ページ「**16　医学生地域医療奨学金**」を参照）を受給する場合であっても，入学手続期日までに入学料を振り込んでいただく必要があります。

（５）ノートパソコンの必携化についてのご案内

本学では，オンライン学修の促進，対面授業の学修効果の向上，情報機器に関する基礎的な知識の習得及び各種配布物や提出物のペーパーレス化等を推進することなどを目的として，ノートパソコンを必携化しています。

ノートパソコンの必携化とは，教員から指示があった場合に，ノートパソコンを活用できる状態にしておくことを言います。

令和7(2025)年度の学部新入生に対する推奨スペックなど詳細については，11月頃に以下のWeb サイトで公表予定です。

https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/note_pc.html

（参考）経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な方へ

経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち，本学が定める条件を満たす希望者には，本学からノートパソコンを１年間無償で貸与します。本学が定める条件については，入学手続書類送付時にお知らせいたします。

（６）入学手続場所

医学部　〒693-8501　出雲市塩冶町89-1（出雲キャンパス）

島根大学医学部学務課入試担当　　電話（0853)20-2087　FAX（0853)20-2079

11　その他の注意事項

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って，学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

12　入試に関する情報提供

（１）本学ホームページ上で，入試情報等を提供しています。

アドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

（２）入学者選抜試験成績の提供

令和７年度地域枠学校推薦型受験者の個人成績については，開示希望者に対して次のとおり開示します。

①開示内容

大学入学共通テストの得点と個別学力試験等の科目ごとの得点並びに総合順位(ランク区分)を開示します。

②申請方法

・ 成績開示を希望する場合は，インターネット出願サイトにおける出願登録時に「入試成績開示申請」の欄を「申請する」と選択してください。なお，**この登録期間以外に開示申請登録を行うことはできませんので，注意してください。**

・ 出願内容の確認画面で，選択が正しく反映されているかご確認ください。

③開示方法

インターネット出願サイトにアクセスし，出願の際に作成したマイページにログインしてください。

「申込内容を確認する」をクリックすると，個人成績が表示されます。

④開示期間

令和７年５月１日（木）～令和７年５月 31 日（土）まで

⑤注意事項

・入試情報の開示には，マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

マイページ登録の際は，必ず次年度以降も使用できるメールアドレスを登録してください。

・総合順位のランク区分は，上位から10名単位を１ランクとして表記します。

○問合せ先　：島根大学医学部学務課入試担当　電話　0853-20-2087

13　授業料について

授業料は，入学後にお支払いいただくことになります。

（１）　授業料の額　（前期分）267,900 円　（後期分）267,900 円　【年額　535,800 円】

※　入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

（２）授業料のお支払方法

授業料のお支払は，預金口座からの「口座振替」を原則としています。

14　入学料の徴収猶予

入学料は，経済的理由により入学手続き時に入学料の支払いが困難であると認められる方については，入学料の徴収が猶予される制度があります。

詳細は，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

15　離脱要件

従事要件（注１）からの離脱は，以下の離脱要件のいずれかに該当した場合に認められます。

（１）死亡したとき。

（２）退学等により，医学科の教育課程を修了する見込みがなくなったとき。

（３）医師国家試験の不合格により，医師になることを断念したとき（注２）。

（４）その他，（１）から（３）に準ずるやむを得ない事由（注３）があるとして，島根県及び島根大学が地域医療対策協議会（島根県地域医療支援会議）に協議した上で離脱を承認したとき。

（注１）従事要件とは，出願要件の（９）及び（１０）を指す。

（注２）（３）により離脱したのち，他の入学枠に基づく医学科の教育課程を修了することなく医師国家試験に合格したことが判明した場合は，離脱承認を取り消す。この場合，島根大学医学部医学科地域枠学校推薦型選抜で入学し卒業した医師として従事要件を履行する。

（注３）心身故障のうち，回復の見込みがない場合を想定している。

16　医学生地域医療奨学金

島根県の地域医療を担う医師育成のために，島根県による奨学金が設けられています。

（１）　貸与目的

へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持ち，地域枠で入学される方に奨学金を貸与し，県内の医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

（２）　貸与額（令和７年度貸与予定額）

入学金相当額　282,000円（入学年のみ）

月額　100,000円

授業料相当額　535,800円（年額）

（３）　貸与期間

大学の課程を修了する月まで貸与します。ただし，６年を超えることはできません。

（４） 返還免除

医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間（返還猶予期間）に，指定医療機関において臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて９年間，指定医療機関（うち４年間は特定地域医療機関）で医師の業務に従事した場合，貸与金全額の返還が免除されます。

指定医療機関及び特定地域医療機関については，１４ページの「主な指定医療機関及び特定地域医療機関(令和６年４月現在)」を参照ください。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。
https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ

問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室

電　話　(0852)22-6684　E-mail　iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

17　キャリア形成について

（１）しまね地域医療支援センター

地域枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。

（しまね地域医療支援センターホームページ http://www.allshimane.jp/）

（２）キャリア形成プログラム

地域枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に，卒業後，必ず参加していただきます。

（キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/）

（３）キャリア形成卒前支援プラン

地域枠学校推薦型選抜の入学者は，学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り，地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に，在学中，参加していただきます。

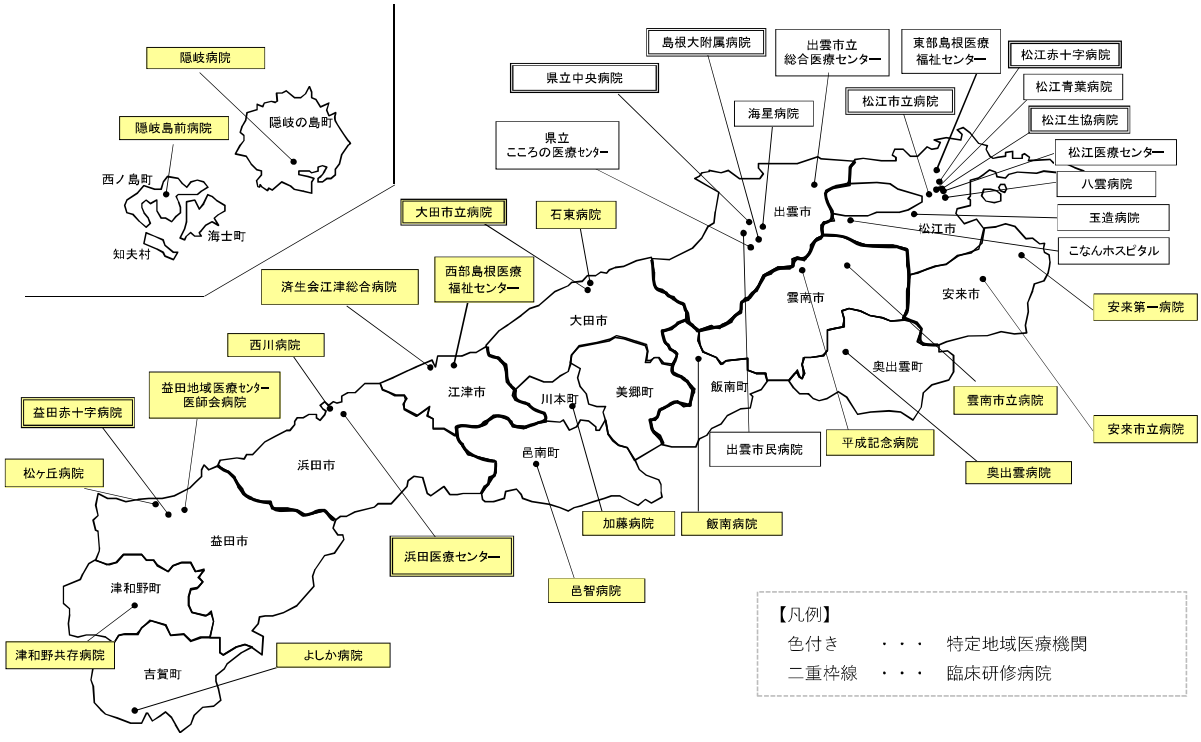
（キャリア形成卒前支援プラン　https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

主な指定医療機関及び特定地域医療機関 （R6年4月現在）

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
松江	松江市立病院	○	
	松江保健生活協同組合総合病院　松江生協病院	○	
	日本赤十字社　松江赤十字病院	○	
	独立行政法人国立病院機構　松江医療センター	○	
	医療法人青葉会　松江青葉病院	○	
	社会福祉法人島根整肢学園　東部島根医療福祉センター	○	
	医療法人仁風会　八雲病院	○	
	地域医療機能推進機構　玉造病院	○	
	医療法人同仁会　こなんホスピタル	○	
	安来市立病院	○	○
	社会医療法人昌林会　安来第一病院	○	○
雲南	雲南市立病院	○	○
	医療法人陶朋会　平成記念病院	○	○
	奥出雲町立　奥出雲病院	○	○
	飯南町立　飯南病院	○	○
出雲	出雲医療生活協同組合　出雲市民病院	○	
	島根県立中央病院	○	
	国立大学法人　島根大学医学部附属病院	○	
	出雲市立総合医療センター	○	
	島根県立こころの医療センター	○	
	医療法人同仁会　海星病院	○	

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
大田	大田市立病院	○	○
	医療法人恵和会　石東病院	○	○
	社会医療法人仁寿会　加藤病院	○	○
	邑智郡公立病院組合　公立邑智病院	○	○
浜田	独立行政法人国立病院機構　浜田医療センター	○	○
	社会医療法人清和会　西川病院	○	○
	社会福祉法人島根整肢学園　西部島根医療福祉センター	○	○
	社会福祉法人恩賜財団済生会　島根県済生会江津総合病院	○	○
益田	日本赤十字社　益田赤十字病院	○	○
	公益社団法人益田市医師会立　益田地域医療センター医師会病院	○	○
	社会医療法人正光会　松ヶ丘病院	○	○
	津和野共存病院	○	○
	よしか病院	○	○
隠岐	隠岐広域連合立　隠岐病院	○	○
	隠岐広域連合立　隠岐島前病院	○	○

※上記のほか、公立診療所（保健所含む）も指定医療機関等に入ります。



18　障がい等を有する志願者との事前相談

本学部に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合，本学での検討及び準備に要する期間が必要なため，事前相談の期限までにご連絡ください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は，次の「（３）連絡先」に相談してください。

（１）事前相談の方法

本学所定の様式（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し，「（２）事前相談の期限」までに「（３）連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

なお，相談書は原則として出身学校を経由して提出してください。

主な配慮事項の例

「解答方法」や「試験時間」に関する配慮	「試験室や座席」に関する配慮	「持参使用するもの」に関する配慮
・代筆解答 ・試験時間の延長	・出入口近くの座席 ・トイレに近い試験室 ・前列の座席	・補聴器 ・杖 ・車椅子 ・読書補助具

（２）　事前相談の期限

令和６ 年 10 月 16 日（水）

※本学からの回答書の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

（３）　連絡先　　医学部（出雲キャンパス）

〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1　　島根大学医学部学務課入試担当

電話 (0853)20-2087　FAX (0853)20-2079　E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

19　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続きを行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

ただし，国公立大学の入学者選抜における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願

先の国公立大学に提供します。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては，下記のＵＲＬを参照してください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

20　地域人材育成コースカリキュラム

地域枠学校推薦型選抜で入学した学生は，実際に所属する学部の専門教育を受けるとともに「地域人材育成コース」に所属し，地域関連科目を系統的に学ぶことで，地域の現状と課題を知り，学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得していきます。

令和７年度

学 生 募 集 要 項

医学部医学科

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜

出願期間	令和６年１１月１日（金）～１１月７日（木）
試 験 日	令和６年１２月７日（土）

島 根 大 学

学生募集要項
緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜

目　　次　　ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）・・・・・・・・・　1
Ⅱ　緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜
　1　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　2　出願要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　3　医療体験活動及び島根県の担当者による面接　・・・・・・・・・　3
　4　島根県の医療に関する論文　・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び
　　個別試験の配点
　1　入試方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　2　入試日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　3　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点・・・　6
　4　採点・評価基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　5　合否判定基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　6　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　7　試験場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　8　受験上の留意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　9　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　10　入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　11　その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　12　入試に関する情報提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　13　授業料について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　14　入学料の徴収猶予　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　15　離脱要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　16　医学生地域医療奨学金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　17　キャリア形成について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
　18　障がい等を有する志願者との事前相談　・・・・・・・・・・・・　14
　19　個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
　20　地域人材育成コースカリキュラム・・・・・・・・・・・・・・・　15
　21　インターネット出願の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
　位　置　図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
　建物配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23

医学部医学科緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の募集人員は，文部科学省に認可申請予定のため，変更になる可能性があります。

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

１．使命と教育理念

島根大学医学部医学科は，「地域に根ざし，地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指す島根大学の理念に基づき，地域の医療を担う優れた人材を育成するとともに，疾病の予防や新たな治療法の開発など医学・医療に関する特色ある研究を推進し，広く人類の医療・福祉の発展に寄与できる人材を育成することを使命としています。

大学教育を通じて発展向上させる力

緊急医師確保対策学校推薦型選抜にて入学した学生は，地域医療に対するより一層高い意欲と強い使命感を涵養し，地域医療に貢献できる能力の発展向上を目指します。そのために，高大連携から卒前卒後教育・生涯教育の一貫した地域医療人育成のための取組みを積極的に推進し，また，島根県や県内医療機関等と連携し，県内で活躍する医師のキャリア形成支援の充実を図り，安心して地域医療に取り組める体制を整備しています。

２．求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能

1. 高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力

2. 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
3. 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
4. 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
5. 探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
6. 異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
7. 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

8. コミュニケーション能力に長けている。
9. 相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

３．入学者選抜の基本方針

県内医療機関等で医療体験活動を行い，適性評価を受けるとともに，島根県担当者による面接を受けます。この面接は，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。

小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。

面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。

選抜試験における評価項目と評価方法

（緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜）

評価方法	知識	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性	地域医療に対する意欲・使命感
推薦書・調査書	★	★	★	★
大学入学共通テスト	◎	○		
小論文	○	◎		
面接		○	◎	◎
地域医療等に関する論文	★	★	★	★
地域の医療機関における適性評価	★	★	★	★
学外第三者*による面接	★	★	★	★

★　　参考とするもの

◎，○　　評価を点数化し，合否判定に用いる（◎ 評価する上で重視するもの，○ 評価に用いるもの）

＊　　島根県担当者

Ⅱ　緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜

１　募集人員

９人以内

内訳　一般枠　　４人

島根県内枠　５人以内

注１　島根県内枠の合格者が５人に満たない場合は，その不足した人員を一般枠の募集人員に加えます。

注２　緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たない場合は，その不足した人員を前期日程（県内定着枠）の募集人員に加えます。

２　出願要件

【一般枠】

次の(1)から(10)の各号に該当し，かつ，令和７年度大学入学共通テスト（6ページに定める６教科８科目）を受験する者（本学部では，令和７年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって，学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者

（１）島根県の医療に貢献する強い意志のある者

（２）次の①又は②のいずれかに該当する者

①　高等学校又は中等教育学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和５年４月以降に修了した者及び令和７年３月３１日までに修了見込みの者

（３）本学が指定する島根県内の医療機関で適性評価を受け，島根県の担当者による面接を受ける者（3～5ページ「３　医療体験活動及び島根県の担当者による面接」を参照）

（４）人物及び学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の評定平均値が4.1以上である者
（５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ及び数学Ｃを，物理，化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者
または，文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者
（６）合格した場合は，入学することを確約できる者
（７）合格した場合は，島根県の奨学金（11ページ「16　医学生地域医療奨学金」を参照）を受給する者
（８）卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者
（９）卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者
（10）卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間に，（９）の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）（13ページ「主な指定医療機関及び特定地域医療機関」を参照）で医師の業務に従事することを確約できる者

【島根県内枠】

上記一般枠の出願要件に加え，次の要件を満たす者
（１）島根県内の高等学校を令和６年３月に卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者
※島根県内枠の出願者は，一般枠の併願者として取り扱います。

３　医療体験活動及び島根県の担当者による面接

〔１〕医療体験活動

※令和７年度学生募集要項公表前に医療体験活動に参加している場合は，改めて参加する必要はありません。

募集要項公表前に医療体験活動に参加していない志願者は，〔２〕の医療機関で医療体験活動を行い，適性評価を受けてください。その評価内容は面接試験の参考とします。

① 適性評価

募集要項公表前に医療体験活動に参加していない志願者は，〔２〕の医療機関において，少なくとも合計５日以上の医療体験活動を行い，医療体験活動記録と感想文を提出し，当該医療機関の担当者（病院長，診療所長等）の適性評価を受けてください。

② 医療体験活動について

ア　医療体験活動プログラム

〔２〕の医療機関において，独自のプログラムが提供されます。

イ　医療体験活動記録

所定の様式で，１日毎に作成し，担当者に提出してください。

ウ　医療体験活動についての感想文

所定の期間の医療体験活動を行い，その感想文を所定の用紙に800字程度で記載し，指定医療機関の担当者に提出してください。

エ 医療体験活動記録，感想文用紙は，各機関の担当者から配付されます。

オ 医療体験活動を実施するにあたって，日頃から体調管理に留意し，検温を行うなど，各自で感染防止対策を行う他，受入れ先の医療機関の指示に従って，感染防止対策を行ってください。
　また，受入れ先の医療機関の方針に従い，事前に抗原定量検査又はＰＣＲ検査等を受けていただく場合がありますが，検査に伴う費用は，原則自己負担とします。詳細については医療体験活動前に連絡します。

カ 怪我等に備え各自で保険に加入してください。

キ 前年度の同選抜もしくは「地域枠学校推薦型選抜」に出願するため医療体験活動をし，適性評価を受けている場合は，医療体験活動を省略することができます。

〔２〕医療体験活動実施医療機関

募集要項公表前に医療体験活動に参加していない志願者は，下記の医療機関で医療体験活動に参加してください。（医療機関の都合により変更になることがありますのでご了承ください。）

実施期間	医療機関	所在地
１０/２１（月）～１０/２５（金）	安来市立病院	安来市広瀬町
	飯南病院	飯石郡飯南町頓原
	公立邑智病院	邑智郡邑南町中野
	江津総合病院	江津市江津町
	浜田市国保診療所連合体*	浜田市
	よしか病院	鹿足郡吉賀町六日市
	隠岐病院	隠岐郡隠岐の島町

＊あさひ診療所（旭町），波佐診療所（金城町），弥栄診療所（弥栄町）

※申込者多数の場合は，上記日程等を変更する場合があります。

〔３〕島根県の担当者による面接

志願者は，島根県の担当者による面接を，医療体験活動に参加した後に受けてください。

この面接は，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めるために，島根県関係者により行うものです。島根県の担当者による面接内容は本学が実施する面接試験の参考とします。

なお，面接の日程等については，〔４〕の申込後に，島根県健康福祉部医療政策課が志願者本人と調整します。

〔４〕医療体験活動及び島根県の担当者による面接の申込

志願者（初めて医療体験活動を希望する者又は前年度医療体験活動実施済の者）は，高等学校の教員を通じて，本学所定の様式（「緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜医療体験活動等申込書」）により，島根大学医学部学務課入試担当に郵送またはＦＡＸにより申し込んでください。前年度医療体験活動実施済の者も，島根県の担当者による面接を受ける必要がありますので，必ず申し込んでください。

申込期限は，令和６年１０月４日（金）１７時 必着 といたします。これ以降は受け付けませんので，

志願者は早めに高等学校に相談してください。

本学所定の申込様式は，ホームページからダウンロードしてください。
掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

※各志願者の受入医療機関は，島根大学医学部学務課入試担当において決定します。
※令和７年度学生募集要項公表前に医療体験活動に参加している場合は，改めて申込む必要はありません。
その他，緊急医療確保対策枠学校推薦型選抜に関する質問は，下記に問い合わせてください。

島根大学医学部学務課入試担当　　電話：0853-20-2087　FAX：0853-20-2079 E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

４　島根県の医療に関する論文

島根県の医療の実態と島根県の医療に対する自分の考えを所定の様式に2,000字程度にまとめて，本人が自筆で作成し，論文には題名を付けてください。本学所定の様式はホームページからダウンロードしてください。出願期間に，その他の出願書類と一緒に提出してください。

Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

１　入試方法

大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。
①小論文試験：出題された文章等に対し，主として論述式により解答を行う問題を課します。
②面 接 試 験：各志願者に対して，数名の面接委員による１人２０分程度を２回，計４０分程度の個人面接を行います。
※島根県内枠で出願した者は，島根県内枠において合格とならなかった場合は，一般枠としての選抜の対象とします。

２　入試日程

期　　日	教 科 名	時　　間
令和６年１２月７日（土）	小 論 文	9:00 ～ 11:30
	面　　接	13:00 ～ 19:00

3　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

教科等	利用科目等 大学入学共通テスト （地理歴史，公民，数学及び情報の下線付き科目は，旧教育課程履修者のみ選択可）	配点 共通テスト	配点 個別試験
国語	「国語」	100	
地理歴史 公民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」 「旧世界史B」，「旧日本史B」，「旧地理B」 「旧現代社会」，「旧倫理」，「旧政治・経済」，「旧倫理，旧政治・経済」 から1	100	
数学	「数学Ⅰ・数学A」，「旧数学Ⅰ・旧数学A」から1と 「数学Ⅱ・数学B，数学C」，「旧数学Ⅱ・旧数学B」，「旧簿記・会計」，「旧情報関係基礎」から1の 計2	300	
理科	「物理」，「化学」，「生物」から2	300	
外国語	「英語(リスニングを含む)」	200	
情報	「情報Ⅰ」，「旧情報」から1	30	
小論文			200
面接			600
総合点	6教科8科目	1,030	800

（備考）
1．地理歴史，公民から2科目を受験している場合は，第1解答科目を採用します。
2．外国語で「英語（リスニングを含む）」については，リーディング（100点満点）を200点に，リスニング（100点満点）を50点に換算し，さらに，換算後の合計得点(250点満点)を200点満点に圧縮して利用します。なお，聴覚障がい者のうち，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，リーディングの換算得点(200点満点)をそのまま利用します。
3．数学の「旧簿記・会計及び旧情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
4．指定された教科・科目を受験しない場合は，選考対象者としません。

4　採点・評価基準

項目	採点・評価基準
小論文	小論文は，主として物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価するものです。
面接	面接は，人物，能力，意欲等の観点から，医学・医療に従事する者としての適性をみるものです。なお，学校長の推薦書及び調査書，提出された論文，指定医療機関における医療体験活動の記録，感想文，適性評価並びに島根県の担当者による面接内容は，面接の重要な資料として用います。
大学入学共通テスト	大学入学共通テストの成績は，基礎的な学習の達成の程度をみるものです。

5　合否判定基準

小論文，面接の総合点により合否を判定します。
ただし，大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は，不合格とします。

６　出願手続

（１）出願期間

インターネット出願登録の後，下記期間内に必ず届くように書類等を郵送してください。

出願期間は令和６年１１月１日（金）から１１月７日（木）１７時まで。

（インターネットでの「登録」については１０月２１日（月）１０時から可能です。）

出願書類の持参は，出願期間内（土，日及び祝日を除く）の９時から17時までとします。

郵送（「特定記録・速達」郵便に限る）による場合は，出願期間内必着としますが，これ以降に到着したものについては，１１月６日（水）までの消印のあるものに限り受理します。

（２）出願方法

出願はインターネット出願（インターネットによる志願者登録）のみとします。16～21ページのインターネット出願の流れをよく読み，手続きを行ってください。

志願者はインターネットにより志願者登録を行ったうえで提出書類を出力し，志願者又は学校長が「出願書類提出用封筒」に一括して入れ，厳封のうえ（４）の提出先に提出してください。

（３）出願書類等

①入学検定料

支払期間　令和６年１０月２１日（月）１０時から１１月７日（木）１７時

入学検定料　17,000 円

※災害等により入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「入学検定料免除について」をご確認ください。

本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録後，入学検定料決済を行ってください。入学検定料の支払方法は，「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）STEP4 入学検定料のお支払」により確認してください。

なお，以下の場合を除き，支払われた入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。

① 出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）したが，受理されなかった場合
該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続きを行ってください。

② 入学検定料を払い込んだが，島根大学に書類を提出しなかった場合

③ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

上記②又は③に該当する場合は，本人の申し出により支払われた入学検定料を返還することができますので，令和６年 12 月 23 日（月）までに本学のホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「インターネット出願による入学検定料の返還手続き」をご確認のうえ申請してください。

問合せ先：財務部経理・調達課出納担当（TEL：（0852）32-6029）

②出願書類

志願者又は学校長は，「出願書類提出用封筒」に，次の書類等をとりそろえて，提出してください。

※出願書類提出用封筒・・・本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行った後，「出願書類提出用封筒宛名シート」をダウンロードし，印刷して市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成してください。**（出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください。）**

入学志願票	本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行ってください。 その後，「入学志願票」をダウンロードし，印刷してください。 なお，入学志願票とともに印刷する「宛名シート」はカラー印刷が望ましいですが，できない場合は「速達」及び「特定記録」は朱書き又はスタンプを押してください。

写真データ（データアップロードのみ）	写真は，本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」にて出願前３か月以内に正面向，上半身，無帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（20 ページの「写真データの提出について」を参照してください。）
調査書	文部科学省所定の様式により学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。
推薦書	本学所定の様式により，学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
論　文	本学所定の様式を使用し，島根県の医療に関する論文（2,000 字程度）を本人が自筆で作成し，提出してください。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
確約書	本学所定の様式に必要事項を記入してください。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。） **確約書は，緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜出願要件（9）及び（10）に示す従事要件（3ページ）と，離脱要件（11ページ）を十分理解した上で記入してください。**

※推薦書，論文及び確約書様式の掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

※出願書類等提出後

成績請求票	**令和７大学入学共通テスト成績請求票（国公立推薦型選抜用）を１２月２０日（金）までに，（４）の出願書類等提出先へ必ず郵送してください。**（裏面に受験番号，氏名を記入し，長形３号の封筒を使用してください。）なお，成績請求票が１２月２０日（金）までに到着しない場合は，（４）の問合せ先へ連絡してください。

③受験票のダウンロード

11 月 14 日（木）以降に受験票ダウンロード及び印刷してください。

① **令和 6 年 11 月 14 日（木）に，志願者全員に対し，出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します**ので，その後，受験票をダウンロードして印刷してください。（「受験票ダウンロード通知メール」の確認が確実にできるよう，常時利用しているメールアドレスを登録しておいてください。）
　なお，令和 6 年 11 月 18 日（月）までにメールが届いていない場合は，（４）の問合せ先までご連絡ください。

② **受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。**

③ 詳細なダウンロード方法は，21 ページの「受験票ダウンロードについて」を参照してください。

（４）出願書類等提出先及び問合せ先

〒693―8501　島根県出雲市塩冶町89－１

島根大学医学部学務課入試担当　　電話 0853-20-2087　　FAX 0853-20-2079

（５）出願上の留意事項

① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は，「一つの大学・学部」に限られており，本学の緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜に出願した者は，本学並びに他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。なお，本学の一般選抜を受験しようとする者は，令和６年１１月下旬発表予定の令和７年度学生募集要項（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）を参照のうえ，あらためて出願してください。

② いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

③ 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。

④ その他不明な点があれば，島根大学医学部学務課入試担当（出雲キャンパス）へ問い合わせてください。

７　試験場

島根大学医学部（出雲キャンパス）　島根県出雲市塩冶町89－１

（22，23ページ「位置図」「建物配置図」を参照してください。）

８　受験上の留意事項

（１）国公立大学の学校推薦型選抜合格者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の個別学力試験を受験しても入学許可は得られません。

ただし，特別の事情があり，学校長を経由して「学校推薦型選抜入学辞退願」を提出し，令和７年２月１４日（金）までに辞退を許可された場合を除きます。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については，公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）を参照してください。

（２）入試に不正があった場合には，入学を許可しません。

（３）**受験者は，試験当日必ず島根大学受験票を持参してください。**

（４）試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時の間です。ただし，建物内へは入れません。

なお，医学部（出雲キャンパス）構内（講義棟玄関前）に試験室配置図及び注意事項を掲示しますので，確認しておいてください。

９　合格発表

（１）合格者には合格通知書を送付します。また，学校長（教育施設の長）にも選考結果通知書を送付します。

なお，合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

（ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）

また，メールや電話等による合否の照会には応じません。

（２）合格発表日時

令和７年２月１２日（水）　１３時

（３）合格通知書が令和７年２月１４日（金）までに到着しない場合は，医学部学務課入試担当へ申し出てください。

10　入学手続

（１）入学手続期日

令和７年２月１９日（水）　９時から17時まで

合格者は，本人が直接来学し次のとおり入学手続を行ってください。

（２）国公立大学の合格者は，一つの国公立大学・学部に入学手続を行った場合には，それ以後，これを辞退して他国公立大学・学部に入学手続を行うことができません。

（３）入学手続時に必要な書類等

①入学届（本学所定の用紙）

②入学料の「Ⅲ票　振込金証明書（島根大学提出用）」

③大学入学共通テスト受験票

④島根大学受験票

上記以外の書類等，入学手続の詳細については，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

（４）入学手続時に必要な経費

入学料　282,000円（予定額）

※入学手続時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。

※島根県の奨学金（11ページ「16　医学生地域医療奨学金」を参照）を受給する場合であっても，入学手続期日までに入学料を振り込んでいただく必要があります。

（５）ノートパソコンの必携化についてのご案内

本学では，オンライン学修の促進，対面授業の学修効果の向上，情報機器に関する基礎的な知識の習得及び各種配布物や提出物のペーパーレス化等を推進することなどを目的として，ノートパソコンを必携化しています。

ノートパソコンの必携化とは，教員から指示があった場合に，ノートパソコンを活用できる状態にしておくことを言います。

令和7(2025)年度の学部新入生に対する推奨スペックなど詳細については，11月頃に以下のWeb サイトで公表予定です。

https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/note_pc.html

（参考）経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な方へ

経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち，本学が定める条件を満たす希望者には，本学からノートパソコンを１年間無償で貸与します。本学が定める条件については，入学手続書類送付時にお知らせいたします。

（６）入学手続場所

医学部　〒693-8501　出雲市塩冶町89-1（出雲キャンパス）

島根大学医学部学務課入試担当　　電話（0853)20-2087　FAX（0853)20-2079

11　その他の注意事項

国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って，学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

12　入試に関する情報提供

（１）本学ホームページ上で，入試情報等を提供しています。

アドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

（２）入学者選抜試験成績の提供

令和７年度緊急医師確保対策枠学校推薦型受験者の個人成績については，開示希望者に対して次のとおり開示します。

①開示内容

大学入学共通テストの得点と個別学力試験等の科目ごとの得点並びに総合順位(ランク区分)を開示します。

②申請方法

・ 成績開示を希望する場合は，インターネット出願サイトにおける出願登録時に「入試成績開示申請」の欄を「申請する」と選択してください。なお，**この登録期間以外に開示申請登録を行うことはできませんので，注意してください。**

・ 出願内容の確認画面で，選択が正しく反映されているかご確認ください。

③開示方法

インターネット出願サイトにアクセスし，出願の際に作成したマイページにログインしてください。「申込内容を確認する」をクリックすると，個人成績が表示されます。

④開示期間

令和７年５月１日（木）～令和７年５月３１日（土）まで

⑤注意事項

・入試情報の開示には，マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。
マイページ登録の際は，必ず次年度以降も使用できるメールアドレスを登録してください。
・総合順位のランク区分は，上位から10名単位を１ランクとして表記します。

○問合せ先　：島根大学医学部学務課入試担当　電話　0853-20-2087

13　授業料について

授業料は，入学後にお支払いいただくことになります。

（１）　授業料の額　（前期分）267,900 円　（後期分）267,900 円　【年額　535,800 円】

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

（２）授業料のお支払方法

授業料のお支払は，預金口座からの「口座振替」を原則としています。

14　入学料の徴収猶予

入学料は，経済的理由により入学手続き時に入学料の支払いが困難であると認められる方については，入学料の徴収が猶予される制度があります。

詳細は，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

15　離脱要件

従事要件（注1）からの離脱は，以下の離脱要件のいずれかに該当した場合に認められます。

（１）死亡したとき。

（２）退学等により，医学科の教育課程を修了する見込みがなくなったとき。

（３）医師国家試験の不合格により，医師になることを断念したとき（注2）。

（４）その他，（１）から（３）に準ずるやむを得ない事由（注3）があるとして，島根県及び島根大学が地域医療対策協議会（島根県地域医療支援会議）に協議した上で離脱を承認したとき。

（注１）従事要件とは，出願要件の（９）及び（１０）を指す。

（注２）（３）により離脱したのち，他の入学枠に基づく医学科の教育課程を修了することなく医師国家試験に合格したことが判明した場合は，離脱承認を取り消す。この場合，島根大学医学部医学科緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜で入学し卒業した医師として従事要件を履行する。

（注３）心身故障のうち，回復の見込みがない場合を想定している。

16　医学生地域医療奨学金

島根県の地域医療を担う医師育成のために，島根県による奨学金が設けられています。

（１）　貸与目的

へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持ち，緊急医師確保対策枠で入学される方に奨学金を貸与し，県内の医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

（２） 貸与額（令和７年度貸与予定額）

入学金相当額　282,000円（入学年のみ）

月額　100,000円

授業料相当額　535,800円（年額）

（３） 貸与期間

大学の課程を修了する月まで貸与します。ただし，６年を超えることはできません。

（４） 返還免除

医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間（返還猶予期間）に，指定医療機関において臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて９年間，指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事した場合，貸与金全額の返還が免除されます。

指定医療機関及び特定地域医療機関については，13ページの「主な指定医療機関及び特定地域医療機関(令和６年４月現在)」を参照ください。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ

問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室

電　話　(0852)22-6684　E-mail　iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

17　キャリア形成について

（１）しまね地域医療支援センター

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。

（しまね地域医療支援センターホームページ：https://www.allshimane.jp/）

（２）キャリア形成プログラム

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に，卒業後，必ず参加していただきます。

（キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/）

（３）キャリア形成卒前支援プラン

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の入学者は，学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り，地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に，在学中，参加していただきます。

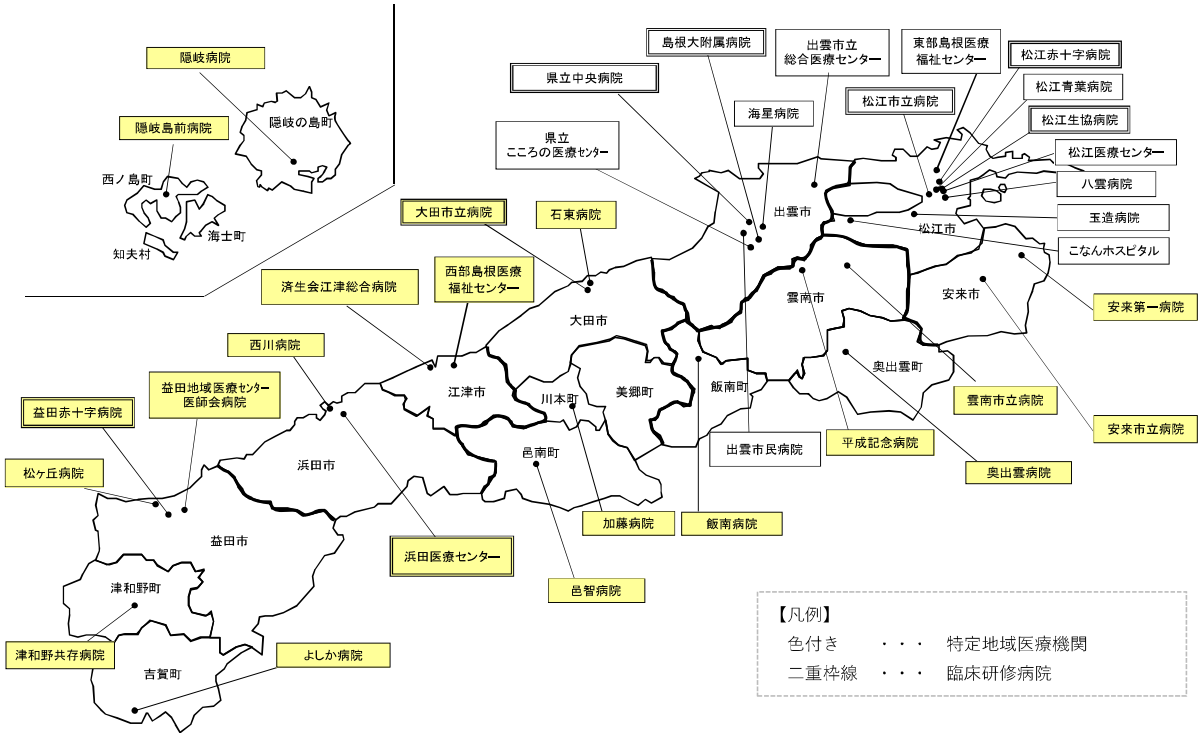
（キャリア形成卒前支援プラン https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

主な指定医療機関及び特定地域医療機関 （R6年4月現在）

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
松江	松江市立病院	○	
	松江保健生活協同組合総合病院　松江生協病院	○	
	日本赤十字社　松江赤十字病院	○	
	独立行政法人国立病院機構　松江医療センター	○	
	医療法人青葉会　松江青葉病院	○	
	社会福祉法人島根整肢学園　東部島根医療福祉センター	○	
	医療法人仁風会　八雲病院	○	
	地域医療機能推進機構　玉造病院	○	
	医療法人同仁会　こなんホスピタル	○	
	安来市立病院	○	○
	社会医療法人昌林会　安来第一病院	○	○
雲南	雲南市立病院	○	○
	医療法人陶朋会　平成記念病院	○	○
	奥出雲町立　奥出雲病院	○	○
	飯南町立　飯南病院	○	○
出雲	出雲医療生活協同組合　出雲市民病院	○	
	島根県立中央病院	○	
	国立大学法人　島根大学医学部附属病院	○	
	出雲市立総合医療センター	○	
	島根県立こころの医療センター	○	
	医療法人同仁会　海星病院	○	

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
大田	大田市立病院	○	○
	医療法人恵和会　石東病院	○	○
	社会医療法人仁寿会　加藤病院	○	○
	邑智郡公立病院組合　公立邑智病院	○	○
浜田	独立行政法人国立病院機構　浜田医療センター	○	○
	社会医療法人清和会　西川病院	○	○
	社会福祉法人島根整肢学園　西部島根医療福祉センター	○	○
	社会福祉法人恩賜財団済生会　島根県済生会江津総合病院	○	○
益田	日本赤十字社　益田赤十字病院	○	○
	公益社団法人益田市医師会立　益田地域医療センター医師会病院	○	○
	社会医療法人正光会　松ヶ丘病院	○	○
	津和野共存病院	○	○
	よしか病院	○	○
隠岐	隠岐広域連合立　隠岐病院	○	○
	隠岐広域連合立　隠岐島前病院	○	○

※上記のほか、公立診療所（保健所含む）も指定医療機関等に入ります。



18　障がい等を有する志願者との事前相談

本学部に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合，本学での検討及び準備に要する期間が必要なため，事前相談の期限までにご連絡ください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は，次の「（３）連絡先」に相談してください。

（１）　事前相談の方法

本学所定の様式（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し，「（２）事前相談の期限」までに「（３）連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

なお，相談書は原則として出身学校を経由して提出してください。

主な配慮事項の例

「解答方法」や「試験時間」に関する配慮	「試験室や座席」に関する配慮	「持参使用するもの」に関する配慮
・代筆解答 ・試験時間の延長	・出入口近くの座席 ・トイレに近い試験室 ・前列の座席	・補聴器 ・杖 ・車椅子 ・読書補助具

（２）　事前相談の期限

令和６年１０月１６日（水）

※本学からの回答書の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

（３）　連絡先　　医学部（出雲キャンパス）

〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1　　島根大学医学部学務課入試担当

電話 (0853)20-2087　FAX (0853)20-2079　E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

19　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続きを行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

ただし，国公立大学の入学者選抜における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テ

ストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては，下記のＵＲＬを参照してください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

20　地域人材育成コースカリキュラム

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜で入学した学生は，実際に所属する学部の専門教育を受けるとともに「地域人材育成コース」に所属し，地域関連科目を系統的に学ぶことで，地域の現状と課題を知り，学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得していきます。

令和7年度

学生募集要項

前期日程，後期日程
専門高校・総合学科卒業生選抜

	前期日程 専門高校・総合学科 卒業生選抜	後期日程
出願期間	令和7年１月27日(月) ～2月5日(水)	
試験日	令和7年2月25日(火) 26日(水) ※26日(水)は医学部のみ	令和7年3月12日(水)
合格発表	令和7年3月7日(金)	令和7年3月22日(土)
入学手続 期間	令和7年3月8日(土) ～15日(土)	令和7年3月23日(日) ～27日(木)

人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

《医学部》

■医学科

●求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能
1. 高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力
2. 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
3. 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
4. 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
5. 探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
6. 異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
7. 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
8. コミュニケーション能力に長けている。
9. 相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	大学入学共通テストでは，英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 個別学力試験では，数学，英語の筆記試験を課し，これらの科目の知識，思考力，判断力，表現力を評価し，さらに面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。 なお，県内定着枠では，卒業後は島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献する意欲・使命感を面接によって評価します。
学校推薦型選抜Ⅱ		大学入学共通テストでは，英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 小論文では，出題された文章等に対し，主として論述式により解答する問題を課し，知識，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。
地域枠 学校推薦型選抜		出願前に<u>へき地医療機関等で医療福祉体験活動を行い，適性評価を受けるとともに(※)</u>，市町村長等による面接を受けます。この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。 小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。
緊急医師確保対策枠 学校推薦型選抜		<u>出願前に県内医療機関等で医療体験活動を行い，適性評価を受けるとともに(※)</u>，島根県担当者による面接を受けます。この面接は，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。 小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性	地域医療に 対する意欲・ 使命感
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		個別学力試験	◎	○		
		面接		○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		推薦書・調査書	★	★	★	★
		大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		○	◎	◎
地域枠 学校推薦型選抜 ・ 緊急医師確保対策枠 学校推薦型選抜		推薦書・調査書	★	★	★	★
		大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		○	◎	◎
		地域医療等に関する論文	★	★	★	★
		地域の医療機関における適性評価(※)	★	★	★	★
		学外第三者*による面接	★	★	★	★

★：参考とするもの
＊：市町村長等または県担当者

※不測の事態等が生じた場合は，医療福祉体験活動の実施方法等の変更を行う場合があります。その場合は，島根大学入試情報HP（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）でお知らせします。

Ⅱ　募集人員

学部	学科・課程・専攻等		入学定員(名)	日程・募集人員(名)													
				一般選抜		専門高校・総合学科卒業生選抜	総合型選抜						学校推薦型選抜	社会人選抜	帰国生選抜	私費外国人留学生選抜	バイリンガル教育コース選抜
							Ⅰ「へるん入試」(共通テストを課さない)						Ⅱ(共通テストを課す)				
				前期日程	後期日程		一般型	地域志向(島根県・鳥取県枠)	地域志向(全国枠)	専門高校	グローバル英語	芸術・スポーツ					
法文学部	法経学科		76	27	19		23	6	6	2	6			若干名	若干名	若干名	
	社会文化学科		47	19	9		13							若干名	若干名	若干名	
	言語文化学科		52	23	8		14							若干名	若干名	若干名	
	小計		175	69	36		50	6	6	2	6			若干名	若干名	若干名	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	小学校教育専攻	130	53	10		28	14									
		特別支援教育専攻															
		国語科教育専攻															
		英語科教育専攻															
		社会科教育専攻															
		数学科教育専攻															
		理科教育専攻															
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻		7								3					
		音楽科教育専攻		5								5					
		美術科教育専攻		3								2					
	小計		130	68	10		28	14				10					
人間学部	人間科学科		80	40	8		21	8		3						若干名	
	小計		80	40	8		21	8		3						若干名	
医学部	医学科		102	58									44				
	看護学科		60	32	10	3以内							15				
	小計		162	90	10	3以内							59				
総合理工学部	総合理工学科	先端ものづくり分野	370	167	55		91	14	4	4	7		20			若干名	若干名
		数理データサイエンス・IT・デジタル分野								4							
		自然環境・住環境分野								4							
	小計		370	167	55		91	14	4	12	7		20			若干名	若干名
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科		80	40	8		12	8		3	3		6			若干名	
	小計		80	40	8		12	8		3	3		6			若干名	
生物資源科学部	生命科学科		70	37	5		22	9	3	5	3				若干名	若干名	
	農林生産学科		60	31	5		15								若干名	若干名	
	環境共生科学科		70	33	9		16			7					若干名	若干名	
	小計		200	101	19		53	9	3	12	3				若干名	若干名	
合計			1,197	575	146	3以内	255	59	13	32	19	10	85	若干名	若干名	若干名	若干名

注 1．教育学部の総合型選抜Ⅰ「へるん入試」地域志向入試（島根県枠・鳥取県枠）は地域教員育成型（島根県枠）７名，地域教員育成型（鳥取県枠）７名の合計１４名です。
2．医学部医学科の前期日程には県内定着枠３名を含んでいます。
3．医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱには，地域枠学校推薦型選抜10名以内及び緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜９名以内を含んでいます。
4．医学部看護学科の学校推薦型選抜Ⅱには地域枠5名を含んでいます。
5．総合型選抜，学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たないときは，不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
6．一般選抜（前期日程）及び一般選抜（後期日程）の募集人員には，社会人選抜，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜及びバイリンガル教育コース選抜の募集人員若干名を含みます。

Ⅲ　入試の方式等

1　入試の方式

(1) 本学の個別学力試験等は，全学部において「分離分割方式」による前期日程，後期日程（教育学部学校教育課程Ⅱ類並びに医学部医学科及び看護学科専門高校・総合学科卒業生選抜を除く。）で実施します。

(2) 本学の令和７年度入試においては，令和７年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。

(3) 学内併願

本学の「前期日程」の学部・学科（課程）又は「専門高校・総合学科卒業生選抜」から一つ，「後期日程」の学部・学科（課程）から一つの，合計二つの学部・学科（課程）との併願を認めます。

2　出願資格

(1) 一般選抜(前期日程，後期日程)

一般選抜へ出願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和７年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅴ-6 入試の実施教科・科目等」(26～50 ページ) 参照〕を受験した者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和７年３月修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和７年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記③に該当する者は，次のとおりです。

ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和７年３月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部科学省告示第 153 号）

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和７年３月 31 日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和７年３月 31 日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号）により，文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和７年３月 31 日までに合格見込みの者で，令和７年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第２項の規定により大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

キ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和７年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

なお，上記「キ」により出願を希望する者は，入学資格審査の申請方法を本学教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。

〔入学資格審査の申請期間は，令和７年１月 20 日（月）～１月 22 日（水）（必着）です。〕

【医学部医学科「県内定着枠」出願資格】

医学部医学科「県内定着枠」に出願できる者は，令和7年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅴ-6 入試の実施教科・科目等」(32～33，45～46 ページ) 参照〕を受験した者で，次の①から⑥の要件を満たす者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月以降に卒業した者並びに令和7年3月卒業見込みの者

② 合格した場合は，入学することを確約できる者

③ 合格した場合は，島根県の奨学金を受給する者

④ 卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

⑤ 卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者

⑥ 卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に，⑤の期間を含めて9年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち4年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者

※ 奨学金の詳細については，66～67ページ参照

●離脱要件について

県内定着枠の卒業後の従事要件(注1)からの離脱は，以下の離脱要件のいずれかに該当した場合に認められます。

（1）死亡したとき。

（2）退学等により，医学科の教育課程を修了する見込みがなくなったとき。

（3）医師国家試験の不合格により，医師になることを断念したとき(注2)。

（4）その他，（1）から（3）に準ずるやむを得ない事由(注3)があるとして，島根県及び島根大学が地域医療対策協議会（島根県地域医療支援会議）に協議した上で離脱を承認したとき。

（注1）従事要件とは，出願資格の⑤及び⑥を指す。

（注2）（3）により離脱したのち，他の入学枠に基づく医学科の教育課程を修了することなく医師国家試験に合格したことが判明した場合は，離脱承認を取り消す。この場合，島根大学医学部医学科県内定着枠で入学し卒業した医師として従事要件を履行する。

（注3）心身故障のうち，回復の見込みがない場合を想定している。

●キャリア形成について

（1）しまね地域医療支援センター

県内定着枠の入学者は，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。

（しまね地域医療支援センターホームページ：https://www.allshimane.jp/）

（2）キャリア形成プログラム

県内定着枠の入学者は，円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に，卒業後，必ず参加していただきます。

（キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/）

（3）キャリア形成卒前支援プラン

県内定着枠の入学者は，学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り，地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に，在学中，参加していただきます。

（キャリア形成卒前支援プラン https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

○県内定着枠に関する問合せ先

島根大学 医学部 学務課 入試担当 TEL：（0853）20-2087 FAX：（0853）20-2079

(2) 専門高校・総合学科卒業生選抜

専門高校・総合学科卒業生選抜へ出願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和7年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅴ-6 入試の実施教科・科目等」(32～33，45～46 ページ)参照〕を受験した者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校の職業に関する学科を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

② 高等学校の総合学科を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

Ⅳ 障がい等を有する志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等(視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等)があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合，本学での検討及び準備に要する期間が必要なため，事前相談の期限までにご連絡ください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合については，「3 連絡先」までお知らせください。

1 事前相談の方法

本学所定の様式（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し，「**2 事前相談の期限**」までに「3 連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

なお，相談書は原則として出身学校を経由して提出してください。

主な配慮事項の例

「解答方法」や「試験時間」に関する配慮	「試験室や座席」に関する配慮	「持参使用するもの」に関する配慮
・代筆解答 ・試験時間の延長	・出入口近くの座席 ・トイレに近い試験室 ・前列の座席	・補聴器 ・杖 ・車椅子 ・読書補助具

2 事前相談の期限

事前相談の期限：令和 7 年 1 月 22 日（水）

本学からの回答書の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

3 連絡先

(1) 法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部（松江キャンパス）

島根大学 教育・学生支援部 入試課

〒690-8504 松江市西川津町 1060 TEL：(0852) 32-6073 FAX：(0852) 32-9726

(2) 医学部（出雲キャンパス）

島根大学 医学部 学務課 入試担当

〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1 TEL：(0853) 20-2087 FAX：(0853) 20-2079

Ⅴ　入試

1　出願手続

(1) 出願方法

出願はインターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）のみとします。71～74 ページの「インターネット出願の流れ」をよく読み，手続きを行ってください。

(2) 出願期間及び書類提出期限

インターネット出願登録の後，下記期間内に必ず書類を郵送してください。

出願期間は令和 7 年 1 月 27 日（月）から 2 月 5 日（水）17 時まで

（インターネットでの「登録」については，1 月 20 日（月）10 時から可能です）

(4)の出願書類は出願期間内に必着するように「特定記録・速達」郵便で郵送してください。出願期間以降に到着したものについては，2 月 4 日（火）までの消印のあるものに限り受理します。

発送時に郵便局で到着予定日時を必ず確認してください。郵便事情等を十分考慮のうえ，早めに送付してください。

出願書類に不備があった場合は出願期間内の再提出が必要になりますので，早めに提出してください。

大学窓口へ出願書類を持参する場合は，下記の日時に限り受付けます。

学　部	キャンパス	受　付　日　時
法文学部 教育学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	松　江	令和 7 年 2 月 5 日（水）9 時から 17 時まで，入試課にて出願を受付けます。
医　学　部	出　雲	令和 7 年 2 月 5 日（水）9 時から 17 時まで，医学部学務課にて出願を受付けます。

(3) 入学検定料

支払期間　令和 7 年 1 月 20 日（月）10 時から 2 月 5 日（水）17 時まで

入学検定料　17,000 円

※災害等により入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「お知らせ」→「入学検定料免除について」をご確認ください。

本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録後，入学検定料決済を行ってください。入学検定料の支払方法は，「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）　Step4 お支払い　支払方法」により確認してください。

なお，以下の場合を除き，支払われた入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。

① 人間科学部人間科学科（後期日程）及び医学部医学科の第 1 段階選抜の不合格者には，13,000 円を返還します。
返還請求手続については第 1 段階選抜結果を通知する際に該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続を行ってください。

② 出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合は，13,000 円を返還します。
該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続を行ってください。

③ 出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）したが，受理されなかった場合該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続きを行ってください。

④ 入学検定料を払い込んだが，島根大学に書類を提出しなかった場合

⑤　入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
上記④又は⑤に該当した場合は，支払われた入学検定料を返還することができますので，3月25日（火）までに本学のホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「お知らせ」→「入学検定料の返還手続きについて」→「インターネット出願による入学検定料の返還手続きについて」をご確認のうえ申請してください。
問合せ先：財務部経理・調達課出納担当（TEL：(0852) 32-6029）

(4) 出願書類

志願者は，「出願書類提出用封筒」に，次の書類等をとりそろえて，提出してください。
※出願書類提出用封筒・・・本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/)」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行った後，「出願書類提出用封筒宛名シート」をダウンロードし，印刷して市販の**角形２号**封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成してください。**（出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください。）**

入学志願票

①　本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/)」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行ってください。
その後，「入学志願票」をダウンロードし，**A4判**で等倍に印刷してください。
なお，入学志願票とともに印刷する「宛名シート」はカラー印刷が望ましいが，できない場合は「速達」及び「特定記録」は朱書き又はスタンプを押してください。
②　大学入学共通テスト成績請求票（前期日程，専門高校・総合学科卒業生選抜は「**前国公立前期日程用**」，後期日程は「**後 国公立後期日程用**」）を所定の箇所に貼ってください。

写真データ（データアップロードのみ）

写真は，本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/)」にて出願前3か月以内に正面向，上半身，無帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（75ページの「写真データの提出について」を参照してください）

調査書等

出願資格（16ページ）を参照し，該当する証明書類を提出してください。
※前期・後期ともに島根大学に出願する場合でも，証明書類は１通ずつ必要です。

出願資格		証明書類
①	高等学校又は中等教育学校卒業(見込)者	調査書(文部科学省所定の様式により学校長が作成し，厳封したもの。) ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えるなどの理由により調査書を提出できない場合は，卒業証明書を提出してください。卒業証明書が提出できない者は，提出できない旨の証明書を出身学校から取り寄せ提出してください。
②	通常の課程による12年の学校教育修了(見込)者	文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの

<table>
<tr><td rowspan="11">調査書等</td><td rowspan="10">③</td><td>ｱ</td><td>外国において学校教育における12年の課程修了(見込)者</td><td>卒業(修了)証明書及び成績証明書
※日本国の高等学校に在学したことがある場合には，在学高等学校の調査書を併せて提出してください。</td></tr>
<tr><td>ｲ</td><td>文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程修了(見込)者</td><td>文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの</td></tr>
<tr><td>ｳ</td><td>文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込)者</td><td>成績証明書</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ｴ</td><td>国際バカロレア資格取得者</td><td>資格証書の写しとＩＢ最終試験6科目の成績証明書</td></tr>
<tr><td>アビトゥア資格取得者</td><td>一般的大学入学資格証明書の写し</td></tr>
<tr><td>フランス共和国のバカロレア資格取得者</td><td>バカロレア資格試験成績証明書の写し</td></tr>
<tr><td>国際Ａレベル資格取得者</td><td>国際Ａレベル資格取得者</td></tr>
<tr><td>ＧＣＥＡレベル資格取得者</td><td>ＧＣＥＡレベル試験の成績評価証明書</td></tr>
<tr><td>欧州バカロレア資格取得者</td><td>バカロレア資格試験成績証明書の写し</td></tr>
<tr><td>ｵ</td><td>国際的な評価団体(WASC,ACSI,CIS，NEASC,Cognia,COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程修了(見込)者</td><td>修了(見込)証明書及び当該教育施設が左記団体から認定を受けていることが明記された成績証明書</td></tr>
<tr><td>ｶ</td><td>高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格者</td><td>合格成績証明書
※免除科目がある場合は，免除に係る証明書類（高校等在学期間中の調査書又は成績証明書，各種技能検定の合格証明書等）を併せて提出してください。</td></tr>
<tr><td colspan="4">※廃校又は被災その他の事情により，出身学校長が作成する調査書を提出することができない場合は，その理由を詳記して，卒業証明書，成績通信簿等，その他志願者が提出できる書類を提出してください。
　該当する者については，個別学力試験等期間内に面接を行うことがあります。
※出願資格(16ﾍﾟｰｼﾞ)③カ及びキに該当する場合は本学へ問い合わせてください。</td></tr>
</table>

以下については，該当者のみ提出が必要です。

伴奏用楽譜	教育学部学校教育課程Ⅱ類音楽科教育専攻志願者で,特技試験において「声楽」を選択した者は，伴奏用楽譜を提出してください。
確約書	医学部医学科の県内定着枠志願者は，本学所定の「確約書」に必要事項を記入し提出してください。 **確約書は，県内定着枠出願要件(16～17ﾍﾟｰｼﾞ)，確約書に記載された従事要件及び離脱要件を十分理解した上で記入してください。**

※確約書（様式）掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

(5) 提出先及び問合せ先

① 法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部（松江キャンパス）

島根大学 教育・学生支援部 入試課
〒690-8504 松江市西川津町 1060
TEL：(0852)32-6073 FAX：(0852)32-9726 E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

② 医学部（出雲キャンパス）

島根大学 医学部 学務課 入試担当
〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1
TEL：(0853)20-2087 FAX：(0853)20-2079 E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

(6) 出願上の注意事項

① 志願者は，「前期日程」又は「専門高校・総合学科卒業生選抜」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの，合計二つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）に出願することができます。したがって，「前期（専門・総合）－前期（専門・総合）」，「後期－後期」の併願はできません。
※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については，公立大学協会ホームページ（https://www.kodaikyo.org/）を参照願います。

② 医学部医学科県内定着枠の出願要件に該当する者は，「一般枠」又は「県内定着枠」どちらの区分でも出願できます。なお，「県内定着枠」出願者は，「一般枠」との併願者として取扱います。

③ 出願受理後の入試区分，志願学部及び学科等の変更は認められません。

④ 出願登録及び書類に虚偽の記入をした者は，入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑤ 出願登録及び書類等に不備がある場合で，出願期間内に不備が解消されない場合は，原則として受理しません。

⑥ 受理した出願書類等については，いかなる理由があっても返還しません。また，出願登録内容及び書類の記載内容の変更も認めません。

⑦ 改姓（名）をした者は，志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された調査書等も使用できます。なお，この場合は改姓（名）された日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。

⑧ 国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜合格者は，他の国公立大学の個別学力試験を受験しても入学許可は得られません。ただし，特別の事情があり，当該大学の定める入学辞退手続により，入学手続期限までに辞退を許可された場合は，この限りではありません。

⑨ 国公立大学・学部の前期日程に合格し，各大学の定める期日までに入学手続を行った者は，後期日程を受験してもその合格者とはなりません。

⑩ 国公立大学の入学者選抜における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

⑪ 大学入学共通テストで，本学が指定した教科・科目〔本要項の「Ⅴ-6 入試の実施教科・科目等」（26～50 ページ）参照〕を受験していない場合は，「出願無資格者」として取扱います。

2　学部，学科等の選定方法

学部，学科等の選定方法は，大学案内等を参照し，志望する１学部を選び，さらに，法文学部，医学部及び生物資源科学部については志望する１学科を，教育学部についてはⅠ類又はⅡ類（志望する１専攻）を，選んでください。

3　医学部医学科県内定着枠の選抜について

医学部医学科前期日程の県内定着枠に出願した者の選抜は県内定着枠を優先して行い，県内定着枠において合格とならなかった場合は一般枠として選抜対象とします。

4　２段階選抜

(1) 第１段階選抜の実施について

入学志願者が募集人員を大幅に上回り，個別学力試験等を適切に実施できない場合に次のとおり第１段階の選抜を行い，その合格者に対して個別学力試験等を課します。

学部・学科	日程	実施倍率	第１段階選抜の内容
人間科学部 人間科学科	後期日程	約 16 倍	・大学入学共通テストの成績 （31 又は 44 ページで指定する教科・科目による配点合計）
医学部 医学科	前期日程	約８倍	・大学入学共通テストの成績 （32～33 又は 45～46 ページで指定する教科・科目による配点合計）

なお，第１段階選抜の実施に際しては，実施倍率を変更（緩和）する場合があります。

(2) 第１段階選抜による結果通知・受験票

※選抜結果に関する電話，メール等の照会には応じません。

第１段階選抜 実施の有無	実施の有無に関する 発表	選考結果通知等	受験票
実施した場合	令和７年２月 12 日（水） ＨＰにて実施した旨を発表	令和７年２月 12 日（水） 郵便で通知 第１段階選抜不合格者には入学検定料返還手続書類等を同封	令和７年２月 12 日（水） 第１段階選抜合格者へ受験票ダウンロード等に関するメールを出願時に登録したアドレスへ送信します。 受験票ダウンロード後，印刷し，切り取り線で切って準備してください。
実施しなかった場合	令和７年２月 12 日（水） ＨＰにて実施しなかった旨を発表		令和７年２月 12 日（水） 志願者全員へ受験票ダウンロード等に関するメールを出願時に登録したアドレスへ送信します。 受験票ダウンロード後，印刷し，切り取り線で切って準備してください。

５　受験票のダウンロード

2 月 12 日（水）以降に受験票をダウンロード及び印刷してください。

① **令和 7 年 2 月 12 日（水）に，以下Ａ，Ｂの該当者に対し，出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので，その後，受験票をダウンロードし，印刷してください。**（「受験票ダウンロード通知メール」の確認が確実にできるよう，常時利用しているメールアドレスを登録しておいてください。）
なお，以下のＡ，Ｂどちらかに該当する方で，令和 7 年 2 月 14 日（金）までにメールが届いていない場合は，(5) の問合せ先までご連絡ください。（メール通知に関する問合せ先は松江キャンパスの入試課までお問合せください。）

Ａ　第１段階選抜が無い場合及び実施しなかった場合，志願者全員
（第１段階選抜の実施の有無については，本学ホームページ上
https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/に掲載します。）

Ｂ　第１段階選抜を実施し，その合格通知書が郵送されてきた方

② **受験票は，試験当日及び入学手続申請の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。**

③ 詳細なダウンロード方法は，76 ページの「受験票ダウンロードについて」を参照してください。

６　入試の実施教科・科目等

新教育課程

医学部

学科名	区分等	教科等	配点		利用科目等		
			共通テスト	個別試験	大学入学共通テスト	個別学力試験等	2段階選抜
医学科	前期日程	国語	200	―	『国語』		約8倍
		地理歴史 公民	100	―	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 ｝から1		
		数学	100	200	『数学Ⅰ，数学A』と 『数学Ⅱ，数学B，数学C』の 計2	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」	
		理科	200	―	『物理』，『化学』，『生物』から2		
		外国語	100	200	『英語（リスニングを含む）』	「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	
		情報	30	―	『情報Ⅰ』		
		面接	―	60		面接	
		合計	730	460	6教科8科目		
看護学科	前期日程	国語	200	―	『国語』		―
		地理歴史 公民	100	―	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 ｝から1		
		数学	100	―	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	―	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※）， 『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	―	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	―	『情報Ⅰ』		
		小論文	―	100		小論文	
		面接	―	60		面接	
		合計	730	160	6教科6科目		
看護学科	後期日程	国語	200	―	『国語』		―
		地理歴史 公民	100	―	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 ｝から1		
		数学	100	―	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	―	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※）， 『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	―	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	―	『情報Ⅰ』		
		面接	―	60		面接	
		合計	730	60	6教科6科目		
	専門高校・総合学科卒業生選抜	国語	100	―	『国語』		―
		地理歴史 公民	100	―	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』， 『歴史総合，世界史探究』， 『公共，倫理』，『公共，政治・経済』， 『地理総合／歴史総合／公共』 ｝から1		
		数学	100	―	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	―	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※）， 『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	100	―	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	―	『情報Ⅰ』		
		小論文	―	100		小論文	
		面接	―	60		面接	
		合計	530	160	6教科6科目		

医学部

備考１　大学入学共通テストについて

⑴　地理歴史，公民及び理科について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，第１解答科目を採用します。

⑵　数学について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，高得点の科目を採用します。

⑶　(※) 看護学科で，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，物理基礎，化学基礎，生物基礎から2出題範囲を選択するものとし，地学基礎を選択することはできません。

２　個別学力試験等について

⑴「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ」は全範囲を，「数学Ｂ」は数列，「数学Ｃ」はベクトル及び平面上の曲線と複素数平面を出題範囲とします。

３　大学入学共通テスト・個別学力試験等の配点等について

⑴　大学入学共通テストの外国語で「英（リスニングを含む）」については，医学科及び看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点）を50点とした後，その合計得点を100点満点に圧縮して利用します。

また，看護学科（前期日程，後期日程）ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点） を50点とした後，その合計得点を200点満点に圧縮して利用します。

なお，聴覚障がい者の内，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，次のとおり取扱います。

①医学科では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

②看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

③看護学科（前期日程，後期日程）では，リーディング（100点満点）の得点を200点満点として利用します。

旧教育課程

【大学入学共通テストにおける利用教科・科目の経過措置について】

旧教育課程履修者等は，「新教育課程に基づく大学入学共通テスト出題科目（6　入試の実施教科・科目等　新教育課程：26～37ページ）」のほか，「旧教育課程による出題科目（6 入試の実施教科・科目等　旧教育課程：39～50ページ）」を選択することができます。

医学部

学科名	区分等	教科等	配点 共通テスト	配点 個別試験	利用科目等 大学入学共通テスト	利用科目等 個別学力試験等	利用科目等 2段階選抜
医学科	前期日程	国語	200	—	『国語』		約8倍
		地理歴史	100	—	『旧世界史B』，『旧日本史B』，『旧地理B』『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』 ┐から1		
		公民					
		数学	100	200	『旧数学Ⅰ・旧数学A』と『旧数学Ⅱ・旧数学B』，『旧簿記・会計』，『旧情報関係基礎』から1の計2	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」	
		理科	200	—	『物理』，『化学』，『生物』から2		
		外国語	100	200	『英語(リスニングを含む)』	「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	
		情報	30	—	『旧情報』		
		面接	—	60		面接	
		合計	730	460	6教科8科目		
看護学科	前期日程	国語	200	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『旧世界史A』，『旧世界史B』，『旧日本史A』，『旧日本史B』，『旧地理A』，『旧地理B』『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』 ┐から1		
		公民					
		数学	100	—	『旧数学Ⅰ・旧数学A』，『旧数学Ⅱ』，『旧数学Ⅱ・旧数学B』，『旧簿記・会計』，『旧情報関係基礎』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	—	『英語(リスニングを含む)』		
		情報	30	—	『旧情報』		
		小論文	—	100		小論文	
		面接	—	60		面接	
		合計	730	160	6教科6科目		
	後期日程	国語	200	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『旧世界史A』，『旧世界史B』，『旧日本史A』，『旧日本史B』，『旧地理A』，『旧地理B』『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』 ┐から1		
		公民					
		数学	100	—	『旧数学Ⅰ・旧数学A』，『旧数学Ⅱ』，『旧数学Ⅱ・旧数学B』，『旧簿記・会計』，『旧情報関係基礎』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	—	『英語(リスニングを含む)』		
		情報	30	—	『旧情報』		
		面接	—	60		面接	
		合計	730	60	6教科6科目		
	専門高校・総合学科卒業生選抜	国語	100	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『旧世界史A』，『旧世界史B』，『旧日本史A』，『旧日本史B』，『旧地理A』，『旧地理B』『旧現代社会』，『旧倫理』，『旧政治・経済』，『旧倫理，旧政治・経済』 ┐から1		
		公民					
		数学	100	—	『旧数学Ⅰ・旧数学A』，『旧数学Ⅱ』，『旧数学Ⅱ・旧数学B』，『旧簿記・会計』，『旧情報関係基礎』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	100	—	『英語(リスニングを含む)』		
		情報	30	—	『旧情報』		
		小論文	—	100		小論文	
		面接	—	60		面接	
		合計	530	160	6教科6科目		

医学部

備考１　大学入学共通テストについて

⑴　地理歴史，公民及び理科について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，第１解答科目を採用します。

⑵　数学について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，高得点の科目を採用します。

⑶　(※) 看護学科で，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，物理基礎，化学基礎，生物基礎から2出題範囲を選択解答するものとし，地学基礎を選択することはできません。

⑷　数学の「旧簿記・会計及び旧情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

２　個別学力試験等について

⑴　個別学力試験等における「数学」及び「外国語」については，新教育課程における科目名を記載していますので，注意してください。

⑵　「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ」は全範囲を，数学Ｂは数列，数学Ｃはベクトル及び平面上の曲線と複素数平面を出題範囲とします。

３　大学入学共通テスト・個別学力試験等の配点等について

⑴　大学入学共通テストの外国語で「英（リスニングを含む）」については，医学科及び看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点）を50点とした後，その合計得点を100点満点に圧縮して利用します。

また，看護学科前期日程及び後期日程ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点） を50点とした後，その合計得点を200点満点に圧縮して利用します。

なお，聴覚障がい者の内，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，次のとおり取扱います。

①医学科では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

②看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

③看護学科前期日程及び後期日程では，リーディング（100点満点）の得点を200点満点として利用します。

（前頁の続き）

学校教育課程Ⅱ類	音楽科教育専攻	前期日程	全員対象試験：次の課題を課します。		
				ピアノ	●特技試験でピアノを選択した者 次の練習曲集から任意の１曲を選択し，繰り返しを省略して演奏してください。楽譜を使用しても構いません。 Czerny: 50番練習曲（Op.740） ●特技試験でピアノを選択しなかった者 次の曲集から任意の１曲を選択し，繰り返しを省略して演奏してください。楽譜を使用しても構いません。 ピアノ曲集『ソナチネ・アルバム１』※に収められているKuhlau, Clementi, Dussek のソナチネの第１楽章 ※ 楽譜は，音楽之友社『新訂 ソナチネ・アルバム１』，カワイ出版『ソナチネ・アルバム１』，全音楽譜出版社『ソナチネ・アルバム（１）〔標準版〕』のいずれかを参照してください。
			【留意事項】 １　実技試験に要する楽器は，各自持参してください。ただし，ピアノ，コントラバス，マリンバについては，本学が準備したものを使用することができます。（マリンバのメーカー及び規格は，KOROGI　UM1500FFです。） ２　演奏は，途中で中止させる場合があります。 ３　試験に関する課題及び内容の詳細については，試験当日発表し，指示します。		

課程	専攻	日程	試験内容	留意事項
学校教育課程Ⅱ類	美術科教育専攻	前期	複数のモティーフによる静物画を水彩によって制作します。水彩絵具については透明水彩あるいはグァッシュとし，アクリル系絵具は不可とします。	1 水彩画については，鉛筆，消しゴム，水彩絵具（透明水彩もしくはグァッシュ），筆，筆洗，雑巾，ティッシュを各自で用意してください。画用紙・画板は本学で用意します。 2 試験に関する課題及び内容の詳細については，試験当日発表し，指示します。

８　ペーパーインタビュー

教育学部

課程	日程	試験内容	備考
学校教育課程Ⅰ類	後期	ペーパーインタビューとは，教職への意欲・適性を重点的に評価する記述式の試験です。 ペーパーインタビューでは，島根大学教育学部を志望する理由や，受験生自身のこれまでの経験や現在の興味，およびそれにもとづいた学びの構想に関して質問を行い，文章記述による回答を求めます。 いずれの質問も，教科等の知識を問うものではありません。教職への意欲・適性を重視するほか，質問に対して明瞭な回答を行う表現力も評価に含まれます。	1 サンプル問題を本学ホームページ上（入試情報）にて公表しています。 2 実際に課される質問について，志願者にその一部をあらかじめ通知します。出願手続き完了後，各志願者に対して通知を行います。

９　面接

学部，学科，課程		日程	方式	備考
人間科学部 人間科学科		後期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	詳細については，当日指示します。
医学部	医学科	前期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10分程度行います。	
医学部	看護学科	前期 専門総合 後期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	
総合理工学部 総合理工学科		後期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	
材料エネルギー学部 材料エネルギー学科		後期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	
生物資源科学部	生命科学科	後期	面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	
生物資源科学部	農林生産学科		面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	
生物資源科学部	環境共生科学科		面接は，各志願者に対して数名の面接委員で，10～15分程度行います。	

10 採点・評価の基準

教科・科目等	学部・学科等	日程	採点・評価基準
国語	全学部	前期	日本語の文章を正確に読み取る能力及び自分の考えを日本語で的確に表現する能力について，採点・評価します。
数学			高校数学に関する記述式問題を課し，数学的思考力，表現力，計算力及び理解度を評価します。
理科 物理			高校物理に関する基礎知識の理解度，物理的思考力及び計算力を総合的に評価します。
理科 化学			高校化学に関する基礎学力及び思考力を総合的に評価します。
理科 生物			高校生物に関する理解度及び知識を基にした科学的な考え方と論理的な思考能力を総合的に評価します。
理科 地学			高校地学における基礎知識の修得度と理解度，さらに科学的思考力について総合的に評価します。
外国語			高等学校における英語学習を前提とした記述式あるいは客観式の問題を課し，英語コミュニケーション能力のうち，読解力及び表現力を中心に採点・評価します。
小論文	教育学部 学校教育課程Ⅰ類	前期	提示された課題に対する理解と文章表現を通して，教職への興味・関心，論理的思考力，表現力について評価します。
小論文	医学部 看護学科	前期 専門総合	日本語で書かれた文章・図表等を出題し，読解力，思考力，論理構成を含めた文章力を評価します。
総合問題	法文学部 法経学科	後期	読解力・表現力などの日本語力と図表等の分析力，論理的思考力および多様な考えを踏まえて自らの意見を述べることのできる主体的な姿勢を評価します。
総合問題	法文学部 社会文化学科		
総合問題	法文学部 言語文化学科		日本語・英語の文章の読解力を測るとともに，論理的思考力，表現力，および多様な考えを踏まえて自らの意見を述べることのできる主体的な姿勢を評価します。
実技	教育学部 保健体育科教育専攻	前期	実技は，入学後専攻での学習に必要な運動能力について試験することを目的とし，技術や能力などを評価します。 特技種目試験と選択種目試験を行います。選択種目試験では基礎的技能を試験し，また特技種目試験では基礎技能と応用技能を試験し，その種目に関する能力や適性を総合的に評価します。
実技	教育学部 音楽科教育専攻		全員対象試験では基礎的音楽能力を，特技試験では音楽表現のための技術的到達度と表現能力を試験します。 実技は，入学後専攻での学習に必要な実技について試験することを目的とし，技術や能力などを総合的に評価します。
実技	教育学部 美術科教育専攻		造形に関する基本的な表現能力を試験します。 実技は，入学後専攻での学習に必要な実技について試験することを目的とし，技術や能力などを総合的に評価します。
ペーパーインタビュー	教育学部 学校教育課程Ⅰ類	後期	志望理由や自身の経験・興味の記述を通して，教職への意欲・適性と表現力を評価します。
面接	人間科学部 人間科学科	後期	本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び（とくに地域社会への関心，主体的な活動体験，他者との協働体験等）に関わって，主体性と協働性について評価します。
面接	医学部 医学科	前期	話し方・態度，目的意識，意欲，思考内容のまとまり等の観点から，将来，医学・医療に従事する者としての適性をみます。
面接	医学部 看護学科	前期 専門総合 後期	話し方・態度，コミュニケーション能力，論理的な思考，意欲等の観点から，将来，看護職に従事する者としての適性をみます。
面接	総合理工学部 総合理工学科	後期	理解力，思考力，表現力，科学的好奇心，意欲，適性を評価します。また，調査書の記載内容を評価の参考とします。学習意欲，論理的思考能力を評価するため，高校で学ぶ各教科の基礎的な内容について問うことがあります。
面接	材料エネルギー学部 材料エネルギー学科	後期	理解力，思考力，表現力，科学的好奇心，意欲，適性を評価します。また，調査書の記載内容を評価の参考とします。理科の基礎的な内容及び材料科学やエネルギー課題に関する興味・関心について問うことがあります。
面接	生物資源科学部 生命科学科	後期	生命科学を学ぶための基礎知識，理解力，科学的思考力，学習意欲及び適性を質疑応答によって評価します。面接の際，調査書の記載内容を参考にします。
面接	生物資源科学部 農林生産学科		本学科が教育対象としている農林水産業について学ぶうえで必要となる基礎知識，目的意識，学習意欲，科学的思考力，理解力などを評価します。面接の際，調査書の記載内容を参考にします。
面接	生物資源科学部 環境共生科学科		環境調和型社会の創造について学ぶための基礎知識・理解力・論理的思考力にくわえて，学習・研究に対する目的意識，学習意欲，適性を評価します。面接の際，調査書の記載内容を参考にします。

11　合否判定の基準

学部・学科			日程	合否判定基準
法文学部	法経学科		前期 後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，個別学力試験の得点の高い者を上位とします。
	社会文化学科			
	言語文化学科			
教育学部	学校教育課程Ⅰ類		前期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，小論文の得点の高い者を上位とします。
			後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，ペーパーインタビューの得点の高い者を上位とします。
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	前期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，実技試験の得点の高い者を上位とします。 なお，実技試験の得点が，次の場合には不合格とします。 ＊特技種目試験もしくは選択種目試験のいずれかの得点が，満点の１／３以下の場合
		音楽科教育専攻	前期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，実技試験の得点の高い者を上位とします。 なお，実技試験の得点が，次の場合には不合格とします。 ＊特技試験もしくは全員対象試験のいずれかの得点が，満点の１／３以下の場合
		美術科教育専攻	前期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，実技試験の得点の高い者を上位とします。 なお，実技試験の得点が，次の場合には不合格とします。 ＊水彩画の得点が，満点の１／３以下の場合
人間科学部 人間科学科			前期 後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，同順位とします。
医学部	医学科		前期	大学入学共通テスト，個別学力試験及び面接の総得点の高い順に合格とします。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とします。 なお，面接では医療人としての適性及び将来性も審査し，その評価が著しく低い場合は不合格とすることがあります。
	看護学科		前期 専門総合	大学入学共通テスト，小論文及び面接の総得点の高い順に合格とします。同点の場合は，小論文及び面接の得点の高い者を上位とします。 なお，面接では医療人としての適性も審査し，その評価が著しく低い場合は不合格とすることがあります。
			後期	大学入学共通テスト及び面接の総得点の高い順に合格とします。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とします。 なお，面接では医療人としての適性も審査し，その評価が著しく低い場合は不合格とすることがあります。
総合理工学部 総合理工学科			前期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，個別学力試験の得点の高い者を上位とします。
			後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，面接の得点の高い者を上位とします。
材料エネルギー学部 材料エネルギー学科			前期 後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，同順位とします。
生物資源科学部	生命科学科		前期 後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，大学入学共通テストの素点の高い者を上位とします。
	農林生産学科		前期 後期	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，同順位とします。
	環境共生科学科		前期 後期	

Ⅵ　個別学力試験及び実技試験等の実施日程等

1　前期日程，専門高校・総合学科卒業生選抜

(1)　タイムテーブル

学部・学科等			令和7年2月25日（火）				令和7年2月26日（水）
法文学部	法経学科		国語 9:00～11:00		外国語 12:00～13:30		
	社会文化学科						
	言語文化学科						
教育学部	学校教育課程Ⅰ類		小論文 9:00～11:00				
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻*1	受付	特技種目試験 9:00～12:00		選択種目試験 13:30～17:00	
		音楽科教育専攻*1 特技試験「作曲」選択者	受付	特技試験 9:30～10:30	全員対象試験 10:45～12:00		
		音楽科教育専攻*1 特技試験「作曲以外」選択者	受付		全員対象試験 10:45～12:00	特技試験 13:00～17:00	
		美術科教育専攻	受付	水彩画 9:00～12:00			
人間科学部 人間科学科			国語 9:00～11:00		外国語 12:00～13:30	数学 15:00～16:30	
医学部	医学科				外国語 12:00～14:00	数学 15:00～17:00	面接 *2 9:00～17:00
	看護学科				小論文 12:00～14:00		面接 *2 9:00～17:00
総合理工学部 総合理工学科					理科/外国語 12:00～13:30	数学 15:00～16:30	
材料エネルギー学部 材料エネルギー学科					理科 12:00～13:30	数学 15:00～16:30	
生物資源科学部	生命科学科				理科/外国語 12:00～13:30		
	農林生産学科				理科/外国語 12:00～13:30	数学 15:00～16:30	
	環境共生科学科				理科/外国語 12:00～13:30	数学 15:00～16:30	

備考　＊１：保健体育科教育専攻及び音楽科教育専攻の試験日程については，志願者数によって変更することがあります。
　　＊２：志願者数により，面接実施時刻を変更することがあります。

(2)　受験者入場時刻等

①　**個別学力試験及び小論文**の受験者の入場時刻は，下記のとおりです。
なお，入場と同時に試験室へ入室することができます。

教科等	国語・小論文（教育学部）	外国語（医学部除く）・理科	外国語（医学部）・小論文（医学部）	数学
入場時刻	8：20～8：40	11：20～11：40	11：00～11：40	14：30～14：40

試験開始時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。
入場時刻は変更となる場合があります。

②　**実技試験（教育学部学校教育課程Ⅱ類）**の受験者は，以下の時間帯に集合場所で受付をしてください。
集合場所において，実技試験の課題・内容等の発表・指示を行います。

専攻	保健体育科教育	音楽科教育		美術科教育
試験項目選択	－	特技試験「作曲」選択者	特技試験「作曲以外」選択者	－
受付時刻	8：20～8：40	8：50～9：10	10：00～10：20	8：20～8：40
集合場所	第１体育館	音楽実技試験控室		美術実技試験控室

受付終了時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

③　**面接（医学部）**の集合時刻等については，本学ホームページに掲載します。
ホームページの閲覧方法については，令和7年2月12日（水）に，出願時に登録したメールアドレスへ送付する「受験票ダウンロード通知メール」と併せて通知いたしますので，確認してください。
集合時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

2　後期日程

(1)　タイムテーブル

<table>
<tr><th colspan="2">学部・学科等</th><th colspan="3">令和7年3月12日（水）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">法文学部</td><td>法経学科</td><td rowspan="3">総合問題
9:00～11:00</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>社会文化学科</td></tr>
<tr><td>言語文化学科</td></tr>
<tr><td colspan="2">教育学部
学校教育課程Ⅰ類</td><td></td><td>ペーパーインタビュー
10:00～11:40</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">人間科学部
人間科学科</td><td></td><td>面接　＊1
9:00～13:00</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">医学部
看護学科</td><td></td><td>面接　*2
9:30～16:30</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">総合理工学部
総合理工学科</td><td></td><td>面接　＊1
9:00～13:00</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">材料エネルギー学部
材料エネルギー学科</td><td></td><td>面接　＊1
9:00～13:00</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">生物資源科学部</td><td>生命科学科</td><td></td><td rowspan="3">面接　＊1
9:00～13:00</td><td></td></tr>
<tr><td>農林生産学科</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>環境共生科学科</td><td></td><td></td></tr>
</table>

備考　＊１：看護学科以外の面接は，志願者数により，終了時刻を変更することがあります。
　　＊２：看護学科の面接は，志願者数により，実施時刻を変更することがあります。

(2)　受験者入場時刻等

①　**総合問題**の受験者の入場時刻は**8：20～8：40**です。
なお，入場と同時に試験室へ入室することができます。
試験開始時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

②　**ペーパーインタビュー**の受験者の入場時刻は**9：20～9：40**です。
なお，入場と同時に試験室へ入室することができます。
試験開始時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

③　**面接（看護学科以外）**の受験者は，**8：20～8：40**の間に受付を済ませ，面接控室へ入室してください。
面接開始時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

④　**面接（看護学科）**の集合時刻については，3月11日（火）13時頃より，医学部構内（講義棟玄関前）に掲示します。
集合時刻に遅刻した場合は，15分以内の遅刻に限り，受験を認めます。遅刻した場合は，係員の指示に従ってください。

3　試験場

法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部：松江キャンパス

〒690-8504　島根県松江市西川津町 1060

医学部：出雲キャンパス

〒693-8501　島根県出雲市塩冶町 89-1

※アクセス方法等は本要項の「Ⅻ　交通案内・キャンパス位置図」（69～70 ページ）参照

【注意事項】

ＪＲ松江駅，米子駅，出雲市駅及び松江キャンパス周辺，出雲キャンパス周辺等で，試験当日等に行われる「合否至急電話連絡」等の勧誘については，本学とは一切関係ありませんので，十分注意してください。

4　受験上の注意事項

(1) 試験場・試験室入室等に関する注意

①　試験場の建物及び試験室等の案内について，試験前日の 13 時から 17 時まで，下表の掲示場所で確認することができます。**ただし，試験場建物内へ入ることはできません。**

学部	キャンパス	掲示場所
法文学部・教育学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	松江	試験場建物：正門付近の掲示板 試験室等の案内：試験場建物入口
医学部	出雲	医学部構内（講義棟玄関前）

②　試験当日に試験場建物へ出入りする際は，『島根大学受験票』及び『大学入学共通テスト受験票』を係員に提示してください。紛失又は忘れた場合は，係員に申し出てください。

なお，試験場建物内へ受験者以外の者が入ることはできません。

(2) 試験に関する注意

①　試験中は，すべて係員の指示に従ってください。

②　次の場合は，手を挙げるなどし，監督者の指示に従ってください。

ア　試験開始時刻から 30 分を経過し，退室しようとする場合

（医学部においては，「イ」を除き試験時間中途の退室は認めません。）

イ　発病等やむを得ない場合

ウ　問題紙等に乱丁，落丁又は印刷に不鮮明の箇所があった場合

③　解答用紙は持ち帰ってはいけません。

④　試験時間中に携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末，タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。

※イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。試験時間中，病気・障がい等により補聴器等を使用したい場合は，事前相談が必要です。（18 ページ）

⑤　**不正行為の取扱いについては，大学入学共通テストに準じます。不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。**なお，不正行為を行った者は，本学の試験全部が無効となり，無資格者として取り扱います。

⑥　定められた受験科目（実技試験や面接等も含みます。）のうち一つでも受験しなかった者は，本学の試験全部が無効となり，無資格者として取り扱います。

⑦　**試験に関する重要なお知らせが生じた場合（災害の発生や大規模な感染症の流行を含む。）は，本学のホームページにて周知を行いますので，必ず確認してください。**

島根大学ホームページ　【　https://www.shimane-u.ac.jp/　**】**

(3) 携行品に関する注意

① **試験当日は，『島根大学受験票』及び『大学入学共通テスト受験票』を必ず持参してください。**

② 試験中，机の上には，「島根大学受験票」，「大学入学共通テスト受験票」，「黒鉛筆（シャープペンシル使用可）」，「鉛筆キャップ」，「消しゴム」，「鉛筆削り（電動式を除く）」，「時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・学習タイマー・大型のものは不可）」及び「メガネ」を置くことができます。これ以外のものについては，各試験場が指定した場所に置いてください。なお，貴重品は各自で保管してください。

③ 「黒鉛筆（シャープペンシル使用可）」，「消しゴム」及び「鉛筆削り（電動式を除く）」は各人で用意し，他人のものを借用したり，共用したりすることはできません。

④ **携帯電話・スマートフォン等の電子機器類は必ず電源を切り，カバンに入れておいてください。**

⑤ 筆記試験中，**英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。**着用している場合には脱いでもらうことがあります。

(4) その他

① 松江キャンパス（法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部）は，受験者及び引率者等の駐車場及び駐輪場（自転車を除きます。）はありません。

出雲キャンパス（医学部）においては，試験当日，自家用車による構内の通行は，係員の指示に従ってください。

② 試験当日は，交通機関の混雑が予想されますので，試験開始時刻又は集合時間に遅れないように注意してください。

③ 受験に際し，大学による宿泊所の紹介や斡旋は行いません。

④ **出雲キャンパスは，松江市内からは１時間以上要しますので，ご注意ください。**

5 合格者の発表

(1) 合格者の発表は，次のとおり本学ホームページで行います。

試験区分	発表日時
前期日程 専門高校・総合学科 卒業生選抜	令和７年３月７日（金）10時
後期日程	令和７年３月22日（土）13時

合格者の受験番号を本学のホームページ及び携帯電話サイトに掲載します。

電話，メール等の照会には応じません。

島根大学ホームページ 【 https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/ 】

島根大学携帯電話サイト【 https://daigakujc.jp/shimane-u/ 】

(2) 合格者には，合格通知書及び入学手続書類等を，合格者の発表後に郵送します。

合格者の発表後，２日を経過しても合格通知書及び入学手続書類等が配達されない場合は，下記に連絡してください。

① 法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部
教育・学生支援部入試課 TEL：(0852)32-6073

② 医学部
医学部学務課入試担当 TEL：(0853)20-2087

Ⅶ　入学手続

1　入学手続

入学手続期限及び場所は，学部及び入試区分（前期日程，専門高校・総合学科卒業生選抜又は後期日程）によって異なります。次の(1)～(3)の各事項に十分注意し，合格者に送付する「入学案内」を参照の上，入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期限

① 前期日程及び専門高校・総合学科卒業生選抜合格者
　令和７年３月15日（土）17時まで（時間厳守）
　※医学部県内定着枠は，令和７年３月14日（金）９時～17時のみ（時間厳守）
② 後期日程合格者
　令和７年３月27日（木）17時まで（時間厳守）

(2) 入学手続方法

入学手続期限までに郵送又は持参により，入学手続に必要な書類を提出してください。郵送の場合も入学手続期限までに必着するように送付してください。（手続期限後に到着した場合は受理できません。）

【入学手続に必要な書類等】
① 令和７年度大学入学共通テスト受験票
② 島根大学受験票
③ 入学届
④ 入学料の「Ⅲ票　振込金証明書（島根大学提出用）」
⑤ 添付の返信用封筒（受験票等の返送に使用します。）

上記以外の書類等，入学手続の詳細については，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

※医学部県内定着枠の入学手続は持参による受付となります。

【注意事項】

① 所定の入学手続期限までに入学手続を完了しなかった者は，本学への入学を辞退したものとして取り扱います。
② 入学手続完了後は，これを辞退して他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）へ入学手続を行うことはできません。
※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については，公立大学協会ホームページを参照願います。（参照先：https://www.kodaikyo.org/）

(3) 提出先及び入学手続場所

① 法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部（松江キャンパス）
　島根大学　教育・学生支援部　入試課
　〒690-8504 松江市西川津町1060　TEL:(0852)32-6073　FAX:(0852)32-9726
② 医学部（出雲キャンパス）
　島根大学　医学部　学務課　入試担当
　〒693-8501 出雲市塩冶町89-1　　TEL:(0853)20-2087　FAX:(0853)20-2079

2　入学時に要する経費等

(1) 入学料について

① 入学料の額
282,000 円（予定額）※入学手続時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。
② 入学料のお支払方法
入学料は，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせする方法によりお支払いください。

【注意事項】

ア　納入された入学料は，入学手続を行わなかった場合以外は，いかなる理由があっても返還することができません。
イ　入学料の減免又は徴収猶予を希望する者は，本要項の【XI-１ 入学料減免，授業料減免制度について】及び【XI-２ 入学料徴収猶予について】(65 ページ) を参照してください。

(2) 授業料について

授業料は入学後にお支払いいただくこととなります。
① 授業料の額
（前期分）267,900 円　（後期分）267,900 円　【年額　535,800 円】
※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。
② 授業料のお支払方法
授業料のお支払いは，預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

【注意事項】

授業料の免除，授業料等奨学融資制度を希望する者は，本要項の【XI-１ 入学料減免，授業料減免制度について】及び【XI-３ 授業料等奨学融資制度（ローン）について】(65 ページ) を参照してください。

(3) ノートパソコンの必携化についてのご案内

本学では，オンライン学修の促進，対面授業の学修効果の向上，情報機器に関する基礎的な知識の習得及び各種配布物や提出物のペーパーレス化等を推進することなどを目的として，ノートパソコンを必携化しています。
ノートパソコンの必携化とは，教員から指示があった場合に，ノートパソコンを活用できる状態にしておくことを言います。
（参考）
令和７(2025) 年度の学部新入生に対する推奨スペックなど詳細については，以下の Web サイトで掲載しています。
https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/note_pc.html

（参考）経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な方へ
経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち，本学が定める条件を満たす希望者には，本学からノートパソコンを１年間無償で貸与します。本学が定める条件については，入学手続書類送付時にお知らせいたします。

(4) その他

入学料，授業料及び学生教育研究災害傷害保険料の外に，任意の経費があります。詳細は合格者に送付する「入学案内」に同封します。

Ⅷ　欠員の補充の方法

１　追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たない場合には，原則として追加合格による欠員補充を行います。追加合格の通知は，令和７年３月 28 日（金）から３月 31 日（月）の間に，電話により出願時に登録された志願者の電話番号に連絡します。その際，本人に入学の意志を確認しますので，連絡が取れるようにしておいてください。

追加合格実施の有無は，ホームページに３月 28 日（金）に掲載します。**（電話，メール等の照会には応じません。）**

２　欠員補充第２次募集

追加合格によっても，なお全入学手続完了者が入学定員に満たない場合には，欠員補充第２次募集を行います。

欠員補充第２次募集は，別途ホームページに発表します。**（電話，メール等の照会には応じません。）**

Ⅸ　入試に関する情報提供

令和７年度入試については，次のとおり公表・提供します。

１　合格者成績情報

各学部，学科，課程・専攻ごとの合格者の最高点，最低点及び平均点を大学入学共通テスト，個別学力試験等別に本学のホームページにより，令和７年４月中に公表します。ただし，募集人員又は合格者が 10 名程度の場合など，公表すると個人が特定できるような場合は公表しません。

令和６年度入試の合格者成績情報は，本学ホームページに掲載中です。

２　試験問題

入試問題の閲覧希望に応えるために，個別学力試験で出題した試験問題を本学ホームページに，令和７年５月以降に掲載します。ただし，著作権の関係で問題を掲載できない場合があります。

なお，令和４年度～令和６年度個別学力試験で出題した試験問題については，本学ホームページに掲載中です。ただし，著作権の関係で問題を掲載していないものがあります。

３　出題意図

個別学力試験で出題した試験問題の出題意図を本学ホームページにより，令和７年５月以降に公表します。

なお，令和４年度～令和６年度個別学力試験で出題した試験問題の出題意図は，本学ホームページに掲載中です。

４　申請により本人に提供する情報

令和７年度一般選抜受験者の個人成績については，開示希望者に対して次のとおり開示します。

(1)開示内容

個別学力試験等の得点並びに総合順位（ランク区分）を開示します。

(2)申請方法

① 成績開示を希望する場合は，インターネット出願サイトにおける出願登録時に「入試成績開示申請」の欄を「申請する」と選択してください。なお，**この登録期間以外に開示申請登録を行うことはできませんので，注意してください。**

② 出願内容の確認画面で，選択が正しく反映されているかご確認ください。

(3)開示方法

インターネット出願サイトにアクセスし，出願の際に作成したマイページにログインしてください。「申込内容を確認する」をクリックすると，個人成績が表示されます。

(4)開示期間

令和７年５月１日（木）～令和７年５月 31 日（土）まで

○　注意事項

(1) 入試情報の開示には，マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。
マイページ登録の際は，必ず次年度以降も使用できるメールアドレスを登録してください。

(2) 総合順位のランク区分は，上位から 10 名単位を１ランクとして表記します。

５　問合せ先

【松江キャンパス】
法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部
教育・学生支援部 入試課　TEL：(0852) 32-6073　FAX：(0852) 32-9726
E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

【出雲キャンパス】医学部
医学部学務課 入試担当　TEL：(0853) 20-2087　FAX：(0853) 20-2079
E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

Ｘ　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報については，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続きを行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

ただし，国公立大学の入学者選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のＵＲＬをご参照ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

Ⅺ　学生支援制度

１　入学料減免，授業料減免制度について

国の高等教育の修学支援新制度により，日本学生支援機構の給付奨学金に採用された方は，入学料減免，授業料減免を受けることができます。本制度の詳細は以下のホームページでご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度の概要（文部科学省 HP）
→　https://www.mext.go.jp/kyufu/
○給付奨学金の制度概要（日本学生支援機構 HP）
→　https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

２　入学料徴収猶予について

次に掲げる「徴収猶予の基準」のいずれかに該当する方については，選考のうえ，入学料の徴収を猶予することがあります。

徴収猶予の基準

① 経済的理由により支払期限までに入学料の支払いが困難であり，かつ，学業優秀と認められる方
② 入学前１年以内において，学資負担者が死亡し，又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により，支払期限までに入学料の支払いが困難であると認められる方

３　授業料等奨学融資制度（ローン）について

学生が，本学の提携銀行である山陰合同銀行から，授業料相当額及び入学料相当額の融資を受け，卒業後返済する制度で，授業料及び入学料の支払いに困らないように学生への支援のひとつとして設けたものです。制度の概要は次のとおりです。

① 在学中は，本学が奨学援助金として利息を負担し，銀行へ支払います。
② 授業料についての申請時期は，前期は７月，後期は翌年１月を予定しています。入学料についての申請時期は，入学料徴収猶予を許可された学生を対象に，４月入学は６月，１０月入学は１２月を予定しています。申請後，本学及び銀行の審査があります。
③ 日本学生支援機構等の奨学金利用者も申請できます。
④ 学生が山陰合同銀行と融資契約を締結します。

4　奨学金制度について

日本学生支援機構，地方公共団体，民間の事業団体による奨学金の貸与，給付を受けることができます。入学前に申し込むものもありますので，早めに調べてみてください。

また，医学部医学科の県内定着枠入学者は，将来の島根県の地域医療を担う医師養成のため「医学生地域医療奨学金」を必ず受給してください。奨学金の概要は次のとおりです。

医学生地域医療奨学金：県内定着枠入学者対象（令和７年度予定）

① 貸与額
入学金相当額　282,000 円（入学年のみ）
月額　100,000 円
授業料相当額　535,800 円（年額）

② 貸与期間
大学の課程を修了する月まで貸与します。ただし，６年を超えることはできません。

③ 返還免除
医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間（返還猶予期間）に，指定医療機関において臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて９年間，指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事した場合，貸与金全額の返還が免除されます。
※指定医療機関及び特定地域医療機関については、67ページの「主な指定医療機関及び特定地域医療機関（令和６年４月現在）」を参照ください。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。
https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ
問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室
TEL：(0852)22-6684　E-mail：iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

主な指定医療機関及び特定地域医療機関　（令和６年４月現在）

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関	圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
松江	松江市立病院	○		大田	大田市立病院	○	○
	松江保健生活協同組合総合病院　松江生協病院	○			医療法人恵和会　石東病院	○	○
	日本赤十字社　松江赤十字病院	○			社会医療法人仁寿会　加藤病院	○	○
	独立行政法人国立病院機構　松江医療センター	○			邑智郡公立病院組合　公立邑智病院	○	○
	医療法人青葉会　松江青葉病院	○		浜田	独立行政法人国立病院機構　浜田医療センター	○	○
	社会福祉法人島根整肢学園　東部島根医療福祉センター	○			社会医療法人清和会　西川病院	○	○
	医療法人仁風会　八雲病院	○			社会福祉法人島根整肢学園　西部島根医療福祉センター	○	○
	地域医療機能推進機構　玉造病院	○			社会福祉法人恩賜財団済生会　島根県済生会江津総合病院	○	○
	医療法人同仁会　こなんホスピタル	○		益田	日本赤十字社　益田赤十字病院	○	○
	安来市立病院	○	○		公益社団法人益田市医師会立　益田地域医療センター医師会病院	○	○
	社会医療法人昌林会　安来第一病院	○	○		社会医療法人正光会　松ヶ丘病院	○	○
雲南	雲南市立病院	○	○		津和野共存病院	○	○
	医療法人陶朋会　平成記念病院	○	○		よしか病院	○	○
	奥出雲町立　奥出雲病院	○	○	隠岐	隠岐広域連合立　隠岐病院	○	○
	飯南町立　飯南病院	○	○		隠岐広域連合立　隠岐島前病院	○	○
出雲	出雲医療生活協同組合　出雲市民病院	○					
	島根県立中央病院	○					
	国立大学法人　島根大学医学部附属病院	○					
	出雲市立総合医療センター	○					
	島根県立こころの医療センター	○					
	医療法人同仁会　海星病院	○					

※上記のほか、公立診療所（保健所含む）も指定医療機関等に入ります。

【凡例】
色付き　・・・　特定地域医療機関
二重枠線　・・・　臨床研修病院

５　学生教育研究災害傷害保険制度・学研災付帯賠償責任保険制度について

学生教育研究災害傷害保険は，インターンシップ・介護体験活動・教育実習等を含む学生の正課中，学校行事中，課外活動中及び学校施設内などでの教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を負った場合に保険金が支払われるものです。

また，同じく上記活動中に他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したことにより，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われる学研災付帯賠償責任保険というものもあり，本学では両方への加入をお勧めしています。

なお，医学部では，両方の保険に全員が加入することになっています。

６　住まいについて

① 学生寮（松江キャンパスのみ）

完全個室型のＡ棟（定員 168 名），半個室型のＢ棟（定員 91 名）・完全個室型のＣ棟（定員 59 名）があります。

令和７年度の募集については，ホームページ等でお知らせします。

担当：学生支援課　TEL（0852)32-6009　又は（0852)32-6062

② アパート・マンション等

【松江キャンパス】

学生生活に適したアパート・マンション等の紹介を島根大学生活協同組合が行っています。

【出雲キャンパス】

医学部については，アパート等の紹介を業者が行っています。

※ 参照先：島根大学公式 HP ＞ 学生生活 ＞ 福利厚生 ＞ 住居

https://www.shimane-u.ac.jp/campus-life/welfare/residence/

７　その他

１～６に関する詳細については，合格者に対して送付する「入学案内」でお知らせします。

令和７年度

学 生 募 集 要 項

医学部医学科

学士入学（２年次編入学）

学士入学（３年次編入学）

島　根　大　学

学生募集要項
学士入学（２年次編入学・３年次編入学）

目　　次

ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）・・・・・・・・　1

Ⅱ　学生募集要項

【学士入学（２年次編入学）】

１　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２　入学の時期及び年次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

３　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

【学士入学（３年次編入学）】

１　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　入学の時期及び年次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

【２年次編入学・３年次編入学　共通事項】

１　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

２　入学者選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

３　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

４　入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

５　欠員の補充方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

６　その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

７　障がい等を有する入学志願者との事前相談　・・・・・・・・・・　8

８　将来研究者を志す方のために　・・・・・・・・・・・・・・・・　9

９　入学者選抜試験成績の提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

10　入試に関する情報提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

11　個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

12　医学生地域医療奨学金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

13　キャリア形成について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

建物配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により，学生募集要項等で公表した入学者選抜試験の方法による実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験日時，選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を以下のホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

島根大学ホームページ入試情報　　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）

１．求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能

１．高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力

２．人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
３．地域医療を担う意欲と使命感を有している。
４．生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
５．探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
６．異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
７．自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

８．コミュニケーション能力に長けている。
９．相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

２．入学者選抜の基本方針

（一般枠）

第１次選抜では，学力試験として大学教養レベルの語学力（英語），自然科学総合（化学，生物学）を課し，試験結果から合格者を決定します。

第２次選抜では面接を課し，第１次選抜結果を総合し，学力，適性，将来性共に優れた人材を合格者とします。

（地域枠）

第１次選抜では，学力試験として大学教養レベルの語学力（英語），自然科学総合（化学，生物学）を課し，試験結果から合格者を決定します。

第２次選抜では面接を課し，第１次選抜結果を総合し，学力，適性，将来性共に優れ，また，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者を合格者とします。

Ⅱ　学生募集要項

【学士入学（２年次編入学）】

１　募集人員

医学部医学科　　５人（うち地域枠２人以内）

なお，地域枠合格者が２人に満たない場合は，その不足した人員を一般枠の募集人員に加えます。

２　入学の時期及び年次

⑴　入学の時期　　令和７年４月

⑵　入学年次　　２年次に編入学

3　出願資格

(1)　一般枠　次の１及び２の各号に該当する者

1　次の①から④のいずれかに該当する者

①　大学を卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。）

②　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）

③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。）

④ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること，その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和７年３月修了見込みの者を含む。）

2　出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており，その得点が600点以上の者

(2)　地域枠　上記一般枠の出願資格に該当し，かつ，次の１および２の各号に該当する者

1　島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。）

2　卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

なお，地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は，地域枠を優先して行い，地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。

※外国の４年制未満の大学を卒業又は卒業見込みで出願希望の方は，令和６年６月13日（木）までに下記書類を作成し，「５ページ 出願手続(4)の照会先」に予め連絡の上，郵送してください。なお，後日，追加の書類を提出いただく場合がありますので，予めご了承ください。

≪提出書類≫

・履歴書

・当該学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書

・当該学校の成績証明書

・該当国の教育システムに関し説明する書類

【学士入学（３年次編入学）】

1　募集人員

医学部医学科　　５人（うち地域枠２人以内）

なお，地域枠合格者が２人に満たない場合は，その不足した人員を一般枠の募集人員に加えます。

2　入学の時期及び年次

(1)　入学の時期　　令和７年４月

(2)　入学年次　　３年次に編入学

3　出願資格

(1)　一般枠　　次の１から３の各号に該当する者

1　次の①から④のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。）

② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）

③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。）

④ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること，その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和７年３月修了見込みの者を含む。）

2　歯科医師，獣医師，薬剤師のいずれかの免許を保持する者（令和７年３月末までに取得見込みの者も含む。）

3　出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており，その得点が600点以上の者

(2)　地域枠　上記一般枠の出願資格に該当し，かつ，次の１および２の各号に該当する者

1　島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していたものを含む。）

2　卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

なお，地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は，地域枠を優先して行い，地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。

※上記(1)２の免許を取得見込みの者は，いずれかの試験に合格した後，免許状の写し又は合格通知の写しを直ちに提出してください。本入学試験に合格しても，令和７年３月末までに免許を取得できなかった場合又はいずれかの試験に合格できなかった場合は，合格を取り消します。

※外国の４年制未満の大学を卒業又は卒業見込みで出願希望の方は，令和６年６月13日（木）までに下記書類を作成し，「５ページ 出願手続(4)の照会先」に予め連絡の上，郵送してください。なお，後日，追加の書類を提出いただく場合がありますので，予めご了承ください。

≪提出書類≫

・履歴書

・当該学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書

・当該学校の成績証明書

・該当国の教育システムに関し説明する書類

【２年次編入学・３年次編入学　共通事項】

1　出願手続

(1)　出願期間

令和６年７月16日（火）から７月19日（金）午後５時まで

(2)　出願方法

(3)の出願書類を封筒（市販の角型２号）に一括して入れ，厳封のうえ，(4)の提出先に**「簡易書留・速達」郵便により提出してください。**

期限後に到着したものについては，令和６年７月18日（木）までの消印のある「簡易書留・速達」郵便に限り受理します。

(3) 出願書類等

提出書類の１，２，３，７，９及び11（11は地域枠のみ）は，本学ホームページからダウンロードした本学所定の用紙を使用してください。

各種様式掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

提出書類		摘要
1	入学志願票 ①及び②	本学所定の用紙に記入してください。 地域枠志願者は，志願票①の高等学校等在学中の住所を必ず記入してください。
2	受験票 写真票	本学所定の用紙のそれぞれに出願区分及び氏名を記入のうえ，所定欄に写真（上半身，無帽，正面向きとし，出願前３ヶ月以内に撮影したもので，大きさは，縦４cm×横３cm）を貼付してください。なお，眼鏡を着用して受験する者は，眼鏡を着用し撮影してください。
3	推薦書 １通	本学所定の用紙を使用し，原則として大学或いは大学院等の指導教員（指導教員に依頼できない場合は志願者の人格，性行，研究意欲など熟知している者）による志願者の人物評価を含めた推薦書で，作成者が厳封したものとします。
4	成績証明書	大学等の成績証明書で，出身大学(学部)等の長が作成し厳封したものとします。 なお，大学院修了者及び在学中の者は，大学等の成績証明書の他に大学院の成績証明書（当該研究科の長が作成し厳封したもの）も提出してください。 令和７年３月卒業見込み又は修了見込みの者は，出願時点での成績証明書とします。 出願資格１の②による出願者については，学位申請時に提出した成績証明書と同様のものを提出してください。
5	卒業証明書 修了証明書	大学等の卒業証明書で，出身大学(学部)等の長が作成し厳封したものとします。 なお，大学院修了者及び在学中の者は，大学等の卒業証明書の他に大学院の修了証明書・修了見込み証明書又は大学院在学証明書（いずれも当該研究科の長が作成し厳封したもの）のいずれかを提出してください。 令和７年３月卒業見込み又は修了見込みの者は，卒業見込み又は修了見込み証明書とします。地域枠志願者は，高等学校等の卒業証明書も提出してください。 また，出願資格１の②による出願者については，学位授与証明書を証明者が厳封したものを提出してください。
6	英語スコア証明書 （TOEIC L&Rの Official Score Certificate（公式認定証））	提出可能なスコア証明書は，令和４年７月20日以降に受験したものとします。 なお，提出された英語スコアの本紙は，受験票送付時に返却します。 注）1　TOEIC S&W，TOEIC Bridge Test 及び団体特別受験制度（IPテスト）により受験したものは対象外とします。 2　提出するスコア証明書は原本のみとし，コピーは認めません。 3　デジタル公式認定証を印刷したものも，紙のスコア証明書と同様に提出可とします。（デジタル認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。）

7	入学検定料 振込金証明書	入学検定料　30,000円 （※災害等による入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「学部入試」→「入学検定料免除について」をご確認ください。） 令和７年度島根大学「入学検定料」振込依頼書等用紙の所定欄に必要事項を記入し，銀行・信用金庫・農協等の金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を利用される場合は，「通帳及び印鑑」が必要です。現金による振込はできません。）で，取扱期間中（令和６年７月11日(木)～７月19日(金)）の窓口取扱時間内に同用紙により，**入学検定料30,000円**を振り込んでください。**ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。** 払込手続後，窓口で返却された**「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」**を同封してください。 **なお，以下の場合以外は，納入された入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。** ①　出願書類等を提出したが，受理されなかった場合 該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続を行ってください。 ②　検定料を振り込んだが，島根大学に出願しなかった場合 ③　検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記②又は③に該当する場合は，本人の申し出により納入された入学検定料を返還することができますので，必ず７月26日（金）（土曜，日曜日を除く９時から17時までの間）までに財務部経理・調達課出納担当（電話 0852-32-6029）へ連絡してください。 なお，返還の手続を行う際に「Ⅱ票　振込金受取書（志願者保管）」及び「Ⅲ票振込金証明書（島根大学提出用）」が必要となりますので，大切に保管しておいてください。この書類がないと振込事実の確認ができず，返還ができないことがあります。
8	返信用封筒 (受験票送付用)	市販の長型３号封筒に，郵便番号，住所，氏名を記入し，514円（特定記録・速達）分の切手を貼付してください。
9	宛　名　票	本学所定の「宛名票」に志願者の郵便番号，住所，氏名及び電話番号を記入してください。記入箇所は①～④の４か所ありますので，全てに記入してください。

以下については，３年次編入学出願者のみ提出が必要です。

10	免許状の写し	歯科医師，獣医師，薬剤師の免許保持者は，いずれかの免許状の写しを提出してください。

以下については，地域枠出願者のみ提出が必要です。

11	確　約　書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。

(4)　出願書類等提出先及び照会先

〒693−8501　島根県出雲市塩冶町89-1
島根大学医学部学務課 入試担当
電話　0853-20-2087　　E-mail　nyusi@med.shimane-u.ac.jp

⑸　出願上の留意事項

① いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

② 出願書類等に不備がある場合は，受理しません。

③ 推薦書及び外国の大学等の証明書については，日本語又は英語で作成してください。

④ 改姓（名）をした者は，志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された調査書等も使用できます。なお，この場合は改姓（名）された日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。

⑤ その他不明な点があれば，前記⑷の「出願書類等提出先及び照会先」へ問い合わせてください。

2　入学者選抜方法

⑴　第１次選抜

①　次の日程で「筆記学力試験(大学教養教育修了程度)」を実施します。
なお，自然科学総合問題は，化学，生物学などの自然科学系の科目を出題範囲とします。
また，外国語（英語）は，筆記学力試験に加え，TOEICスコアを本学部医学科が定める換算式に基づいて換算し，総合的に評価します。

②　推薦書などの出願書類とともに総合して判定し，２年次編入学及び３年次編入学それぞれにおいて募集人員の約3.5倍を合格者とします。

期　　日	教 科 名	時　　間
令和６年８月24日（土）	外国語（英語）	12:20　～ 13:20
	自然科学総合問題	14:00　～ 15:30

（注意）教科ごとの試験時間は変更になることがあります。

⑵　第２次選抜

第１次選抜合格者に対して次の日程で「面接」を実施します。

期　　日	教 科 名	時　　間
令和６年９月21日（土）	面　　接	8:30　～　18:00
令和６年９月22日（日）	面　　接	8:30　～　18:00

（注意）第２次選抜試験の実施方法等は，第１次選抜合格通知の際にお知らせします。

⑶　合格判定

第１次及び第２次選抜の結果を総合的に判断し，学力，適性，将来性共に優れた人材を合格者とします。

⑷　試験場

島根大学医学部（出雲キャンパス）
島根県出雲市塩冶町89-1　（11ページ「位置図」，12ページ「建物配置図」を参照）

3　合格発表

⑴　第１次選抜合格発表　　令和６年９月６日（金）　11時

①　第１次選抜合格者本人には，結果通知書を郵送します。

②　第１次選抜合格者は，結果通知の際に同封する様式により「これまでの研究の概要と医学の研究，教育或いは診療への応用に対する抱負」を800字程度にまとめて，「簡易書留・速達」郵便にて**令和６年９月**

13日（金）（17時必着）までに島根大学医学部学務課入試担当へ送付してください。（これまでの研究の概要は研究のレベルを問うものではありません。）

③　第１次選抜合格者のうち地域枠志願者は，同封する様式により「島根県の地域医療の実態と自分の医療に対する考え」を800字程度にまとめて，「簡易書留・速達」郵便にて，**令和６年９月13日（金）（17時必着）**までに島根大学医学部学務課入試担当へ送付してください。

⑵　合格発表　　令和６年10月９日（水）　11時

合格者本人には合格通知書を郵送します。

注１．上記の(1)，(2)のいずれについても，合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。

（ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）

なお，合格者の受験番号を速報として掲載しますが，正式には合格通知書等により確認してください。

２．上記の(1)，(2)のいずれについても，メールや電話等による合否の照会には応じません。

４　入学手続

⑴　入学手続期間

令和６年10月10日（木）９時から　10月17日（木）午後５時まで

なお，令和６年10月17日（木）午後５時までに到着することを最寄の郵便局で確認し送付してください。

（手続期限後に到着した場合は受理できませんので，特に注意してください。）

詳細については，合格通知書送付の際に連絡します。

⑵　入学手続書類等送付先

〒６９３－８５０１島根県出雲市塩冶町８９－１

島根大学医学部学務課入試担当

⑶　入学手続時の注意事項

入学手続期限までに入学手続を完了しなかった場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

⑷　入学料及び授業料

①　入学料　282,000円（予定額）

※　入学手続き時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。

②　授業料

授業料は，入学後にお支払いいただくことになります。

ア　授業料の額

（前期分）267,900円　（後期分）267,900円　年額　535,800円（予定額）

イ　授業料のお支払方法

授業料のお支払は，預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

※　入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

⑸　歯科医師，獣医師，薬剤師のいずれかの免許取得見込みで３年次編入学に合格した者

３年次編入学に合格した者のうち，歯科医師，獣医師，薬剤師の免許を取得見込みで出願した者は，いず

れかの資格試験に合格した後，免許状の写し又は合格通知の写しを直ちに提出してください。下記期限までに提出がない場合は，入学を辞退したものとみなします。

提出期限：令和７年３月 24 日(月)17 時必着

5　欠員の補充方法

入学辞退により入学者が入学定員に満たない場合は，追加合格により欠員の補充を行います。追加合格者への通知は，令和６年10月18日（金）以降，入学志願票に記載の「本人の連絡先（住所）」への電話連絡によって行います。なお，電話等による照会には応じません。

6　その他の注意事項

(1)　提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には，入学許可を取り消すことがあります。

(2)　試験当日は，受験票を必ず持参してください。また，受験票に同封する「受験上の注意事項」をよく読んでおいてください。

(3)　試験場の下見は，第１次選抜は令和６年８月 23 日（金），第２次選抜は令和６年９月 20 日（金）のそれぞれ 13 時からです。島根大学医学部（出雲キャンパス）構内（講義棟玄関前）に注意事項等を掲示しますので確認しておいてください。ただし，建物内には入れません。

(4)　受験票は令和６年８月７日(水)に発送する予定です。受験票が令和６年８月 16 日（金）までに到着しない場合には，学務課入試担当へ申し出てください。また，第１次選抜合格通知が令和６年９月 10 日（火）までに到着しない場合にも，学務課入試担当へ申し出てください。

(5)　受験に際して，宿泊所等の斡旋は行いません。

7　障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は，９ページの「(3) 連絡先」に相談してください。

(1) 事前相談の方法

次の事項について，「(2) 事前相談の期限」までに本学所定の用紙「島根大学入試受験相談書」（島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し「(3) 連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談を行います。

［1］氏名，志願学部，学科・課程，日程
［2］障がいの種類，程度
［3］受験上配慮を希望する事項
［4］修学上配慮を希望する事項
［5］出身学校でとられていた配慮
［6］日常生活の状況

(2) 事前相談の期限

事前相談の期限：令和６年６月 28 日（金）

「島根大学入試受験相談回答書」の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

(3) 連絡先

島根大学医学部学務課入試担当
〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1
TEL：(0853) 20-2087　FAX：(0853) 20-2079　E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

8　将来研究者を志す方のために

将来研究者を志す方のために，医学科の基礎系，社会医学系，臨床系の各講座のうち希望する講座を選択し，配属された講座の教員の指導のもとで，卒業に必要な授業科目に加えて，自由選択科目「医学研究の基礎」として，医学の研究についての基礎を学ぶことができます。

また，現在，病理医や法医病理医などの基礎医学者の不足は深刻であり，全国的に各大学で早急な養成を目指す機運にありますので，本学でも基礎医学者の育成を重要な課題として取りあげています。

9　入学者選抜試験成績の提供

入学者選抜試験のうち，第１次選抜試験の成績に限り提供します。

提供内容　成績順位をランクで提供します。

申請時の必要書類	
入試情報提供申請書	申請は，医学部学務課入試担当へ郵送により行ってください。 ・入試情報提供申請書は，島根大学ホームページからダウンロードしてください。
受　験　票	受験票は正本のみとし，写しは不可です。なお，通知の際に返却します。
返信用封筒	返信用封筒（長形３号〔12cm×23.5cm〕）には，必ず申請者本人の住所，氏名を明記し，簡易書留分の切手（444円分）を貼ってください。 ※郵便料金は変更になる場合があります。
申請期間	① 令和７年５月１日（木）から５月30日（金）午後５時必着とします。ただし，土曜日，日曜日及び祝日を除きます。 ② 申請書の記入は，必ず本人が自書してください。 ③ 入試情報提供の通知は，郵送により行います。なお，通知書の発送は，申請書の受理後１ヶ月程度を要します。
申請及び提供場所	〒693-8501　島根県出雲市塩冶町89-1 島根大学医学部学務課入試担当　電話　0853-20-2087

10　入試に関する情報提供

入試問題の閲覧希望に応えるために，試験問題を本学ホームページに，令和７年５月以降に掲載します。ただし，著作権の関係で問題を掲載できない場合があります。

https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

11　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報については，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び

入学手続きを行うために利用します。

また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のＵＲＬをご参照ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

12　医学生地域医療奨学金

島根県の地域医療を担う医師育成のために，島根県による奨学金が設けられています。

へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持つ学生に奨学金を貸与し，県内の医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ

問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室

電　話　(0852)22-6684　E-mail　iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

13　キャリア形成について

(1)しまね地域医療支援センター

学士入学地域枠で入学した学生については，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。

（しまね地域医療支援センターホームページ：https://www.allshimane.jp/）

(2)キャリア形成プログラム

学士入学地域枠で入学した学生については，卒業後の円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」が設けられています。

（キャリア形成プログラム　https://www.allshimane.jp/program/）

(3)キャリア形成卒前支援プラン

学士入学地域枠で入学した学生については，学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り，地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的として島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」が設けられています。

（キャリア形成卒前支援プラン　https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

令和８年度

学 生 募 集 要 項

医学部医学科

地 域 枠 学 校 推 薦 型 選 抜

出願期間	令和７年１１月４日（火）～１１月７日（金）
試 験 日	令和７年１２月６日（土）・７日（日）

島 根 大 学

学生募集要項
地 域 枠 学 校 推 薦 型 選 抜

目　　次　　ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）・・・・・・　1
Ⅱ　地域枠学校推薦型選抜
　1　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　2　出願要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　3　市町村長等による面接・・・・・・・・・・・・　3
　4　へき地医療に関する論文　・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び
　個別試験の配点
　1　入試方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　2　入試日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　3　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点・・・　4
　4　採点・評価基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　5　合否判定基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　6　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
　7　試験場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　8　受験上の留意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　9　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　10　入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　11　その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　12　入試に関する情報提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　13　授業料について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　14　入学料の徴収猶予　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　15　離脱要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　16　医学生地域医療奨学金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　17　キャリア形成について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
　18　障がい等を有する志願者との事前相談　・・・・・・・・・・・　13
　19　個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
　20　地域人材育成コースカリキュラム・・・・・・・・・・・・・・　14
　21　インターネット出願の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・　15
　位　置　図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21
　建物配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）

１．使命と教育理念

島根大学医学部医学科は，「地域に根ざし，地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指す島根大学の理念に基づき，地域の医療を担う優れた人材を育成するとともに，疾病の予防や新たな治療法の開発など医学・医療に関する特色ある研究を推進し，広く人類の医療・福祉の発展に寄与できる人材を育成することを使命としています。

大学教育を通じて発展向上させる力

地域枠学校推薦型選抜にて入学した学生は，地域医療に対するより一層高い意欲と強い使命感を涵養し，地域医療に貢献できる能力の発展向上を目指します。そのために，高大連携から卒前卒後教育・生涯教育の一貫した地域医療人育成のための取組みを積極的に推進し，また，島根県や県内医療機関等と連携し，県内で活躍する医師のキャリア形成支援の充実を図り，安心して地域医療に取り組める体制を整備しています。

２．求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能

1. 高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力

2. 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
3. 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
4. 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
5. 探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
6. 異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
7. 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

8. コミュニケーション能力に長けている。
9. 相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

３．入学者選抜の基本方針

出願前に，市町村長等による面接を受けます。この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。

小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。

面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。

選抜試験における評価項目と評価方法

地域枠学校推薦型選抜

評価方法	知識	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性	地域医療に対する意欲・使命感
推薦書・調査書	★	★	★	★
大学入学共通テスト	◎	○		
小論文	○	◎		
面接		○	◎	◎
地域医療等に関する論文	★	★	★	★
学外第三者*による面接	★	★	★	★

★　　参考とするもの
◎，○　　評価を点数化し，合否判定に用いる（◎ 評価する上で重視するもの，　○ 評価に用いるもの）
＊　　市町村長等

Ⅱ　地域枠学校推薦型選抜

１　募集人員

１０人以内

２　出願要件

次の(1)から(10)の各号に該当し，かつ，令和８年度大学入学共通テスト（４ページに定める６教科８科目）を受験する者（本学部では，令和８年度大学入学共通テスト成績のみ利用します。）であって，志願者の出身地に最も関連の深い市町村長の意見を参考に学校長（教育施設の長）が責任を持って推薦できる者

（１）生まれ育った地域が島根県内のへき地等（３ページ「地域枠該当市町村」に掲げる市町村）に該当し，その地域における医療に貢献する強い意志のある者（小中学校時代に概ね５年以上を当該地域で生活した者も含む。）

（２）次の①又は②のいずれかに該当する者
① 高等学校又は中等教育学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者
② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和６年４月以降に修了した者及び令和８年３月３１日までに修了見込みの者

（３）市町村長等による面接を受けた者

（４）人物及び学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上である者

（５）高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ及び数学Ｃを，物理，化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ及び論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または，文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者

（６）合格した場合は，入学することを確約できる者

（７）合格した場合は島根県の奨学金（１０ページ「**16　医学生地域医療奨学金**」を参照）を受給する者

（８）卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

（９）卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者

(10) 卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間に，（９）の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）（１２ページ「主な指定医療機関及び特定地域医療機関」を参照）で医師の業務に従事することを確約できる者

※地域枠該当市町村

地域枠の対象となる本学が指定する地域

松江市 美保関町	安来市	仁多郡 奥出雲町	雲南市	飯石郡 飯南町
出雲市 佐田町	出雲市 多伎町	大田市	邑智郡 川本町	邑智郡 美郷町
邑智郡 邑南町	江津市	浜田市	益田市	鹿足郡 津和野町
鹿足郡 吉賀町	隠岐郡 隠岐の島町	隠岐郡 海士町	隠岐郡 西ノ島町	隠岐郡 知夫村

３　市町村長等による面接

志願者は，出身地の市町村長及び本学が指名する地元関係者（医療機関等担当者，市町村健康福祉担当者等）による面接を受けてください。

この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めるために，医師不足に直面しているへき地市町村関係者により行うものです。市町村長等による面接内容は本学が実施する面接試験の参考とします。

なお，市町村によっては，この面接の参考として，独自の取り組み（説明会，病院見学等）を課されるところもあります。各市町村の担当者の指示に従って，参加してください。

申し込みは，事前に高等学校の教員を通じて，出身地にある市町村医療対策担当者に連絡したうえで，担当者の指示に基づき，行ってください。（面接の日程調整などに時間を要する場合がありますので，可能な限り早めに申し込むようにしてください。）

４　へき地医療に関する論文

志願者は，出身地のへき地医療の実態と自分のへき地医療に対する考えを本学所定の様式に2,000字程度にまとめて，本人が自筆で作成し，論文には題名を付けてください。本学所定の様式はホームページからダウンロードしてください。出願期間に，その他の出願書類と一緒に提出してください。

Ⅲ　入試方法，入試日程及び大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

１　入試方法

大学入学共通テスト及び下記の個別試験を課します。

①小論文試験：出題された文章等に対し，主として論述式により解答を行う問題を課します。

②面 接 試 験：各志願者に対して，数名の面接委員による１人２０分程度を２回，計４０分程度の個人面接を行います。

２　入試日程

期　　日	教 科 名	時　　間
令和７年１２月６日（土）	小 論 文	9:00 ～ 11:30
令和７年１２月７日（日）	面　　接	9:00 ～ 18:00

３　大学入学共通テストの利用教科・科目及び個別試験の配点

教科等	利　用　科　目　等	配　点	
	大学入学共通テスト	共通テスト	個別試験
国　　語	「国語」	100	
地理歴史 公　　民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」 ┐から１	100	
数　　学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B，数学C」の 計２	300	
理　　科	「物理」，「化学」，「生物」から２	300	
外 国 語	「英語(リスニングを含む)」	200	
情　　報	「情報Ⅰ」	30	
小 論 文			200
面　　接			600
総 合 点	６教科８科目	1,030	800

（備考）

１．地理歴史，公民から２科目を受験している場合は，第１解答科目を採用します。

２．外国語で「英語（リスニングを含む）」については，リーディング（100点満点）を200点に，リスニング（100点満点）を50点に換算し，さらに，換算後の合計得点(250点満点)を200点満点に圧縮して利用します。なお，聴覚障がい者のうち，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，リーディングの換算得点(200点満点)をそのまま利用します。

３．指定された教科・科目を受験しない場合は，選考対象者としません。

４　採点・評価基準

項　　目	採　　点・　評　　価　　基　　準
小　論　文	小論文は，主として物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価するものです。
面　　接	面接は，人物，能力，意欲等の観点から，地域医療に従事する者としての適性をみるものです。なお，学校長の推薦書及び調査書，提出された論文，市町村長等による面接内容は，面接の重要な資料として用います。
大学入学共通テスト	大学入学共通テストの成績は，基礎的な学習の達成の程度をみるものです。

５　合否判定基準

小論文，面接の総合点により合否を判定します。
ただし，大学入学共通テストの成績が本学の定める基準に満たない者は，不合格とします。

６　出願手続

（１）出願期間

インターネット出願登録の後，下記期間内に必ず届くように書類等を郵送してください。

出願期間は令和７年１１月４日（火）から１１月７日（金）１７時まで。

（インターネットでの「登録」については１０月２０日（月）１０時から可能です。）

出願書類の持参は，出願期間内（土，日及び祝日を除く）の９時から１７時までとします。

郵送（「特定記録・速達」郵便に限る）による場合は，出願期間内必着としますが，これ以降に到着したものについては，１１月６日（木）までの消印のあるものに限り受理します。

（２）出願方法

出願はインターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）のみとします。１５～２０ページのインターネット出願の流れをよく読み，手続きを行ってください。

志願者はインターネットにより志願者登録を行ったうえで提出書類を出力し，学校長が「出願書類提出用封筒」に一括して入れ，厳封のうえ（４）の提出先に提出してください。

（３）出願書類等

①入学検定料

支払期間　令和７年１０月２０日（月）１０時から１１月７日（金）１７時

入学検定料　17,000 円

※災害等により入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「入学検定料免除について」をご確認ください。

本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録後，入学検定料決済を行ってください。入学検定料の支払方法は，「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）　STEP4 入学検定料のお支払」により確認してください。

なお，以下の場合を除き，支払われた入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。

①　出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）したが，受理されなかった場合

該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続きを行ってください。

② 入学検定料を払い込んだが，島根大学に書類を提出しなかった場合
③ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
上記②又は③に該当する場合は，本人の申し出により支払われた入学検定料を返還することができますので，令和７年１２月２２日（月）までに本学のホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「インターネット出願による入学検定料の返還手続き」をご確認のうえ申請してください。
問合せ先：財務部経理・調達課出納担当（TEL：(0852) 32-6029）

②出願書類

「出願書類提出用封筒」に，次の書類等をとりそろえて，提出してください。
※出願書類提出用封筒・・・本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行った後，「出願書類提出用封筒宛名シート」をダウンロードし，印刷して市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成してください。**（出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください。）**

入学志願票	本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」より出願し，志願者登録，入学検定料決済を行ってください。 その後，「入学志願票」をダウンロードし，印刷してください。 なお，入学志願票とともに印刷する「宛名シート」はカラー印刷が望ましいですが，できない場合は「速達」及び「特定記録」は朱書き又はスタンプを押してください。
写真データ**（データアップロードのみ）**	写真は，本学の「インターネット出願ページ（https://e-apply.jp/ds/shimane-u/）」にて出願前３か月以内に正面向，上半身，無帽，背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。（１９ページの「写真データの提出について」を参照してください。）
調査書	文部科学省所定の様式により学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。
推薦書	本学所定の様式により，学校長（教育施設の長）が作成し，厳封されたもの。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
論　文	本学所定の様式を使用し，へき地医療に関する論文（2,000 字程度）を本人が自筆で作成し，提出してください。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
参考資料	市町村長等による面接評価票（４部以上）
確約書	本学所定の様式に必要事項を記入してください。（本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。） **確約書は，地域枠学校推薦型選抜出願要件（9）及び（10）に示す従事要件（３ページ）と，離脱要件（１０ページ）を十分理解した上で記入してください。**

※推薦書，論文及び確約書様式の掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

※出願書類等提出後

成績請求チケット	**令和８年度大学入学共通テスト成績請求チケット（国公立推薦型選抜用）を１２月１９日（金）までに，（４）の出願書類等提出先へ必ず郵送してください。**（裏面に受験番号，氏名を記入し，長形３号の封筒を使用してください。）なお，１２月１９日（金）までに提出できない場合は，（４）の問合せ先へ連絡してください。 **【重要】成績請求チケットは，大学入学共通テスト出願サイトのマイページから取得し，印刷の上，提出してください。** **※成績請求チケットは，１２月１０日（水）から発行可能です。**

③受験票のダウンロード

１１月１４日（金）以降に受験票ダウンロード及び印刷してください。

① **令和７年１１月１４日（金）に，志願者全員に対し，出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します**ので，その後，受験票をダウンロードして印刷してください。（「受験票ダウンロード通知メール」の確認が確実にできるよう，常時利用しているメールアドレスを登録しておいてください。）

なお，令和７年１１月１７日（月）までにメールが届いていない場合は，（４）の問合せ先までご連絡ください。

② **受験票は，試験当日及び入学手続の際に必要となりますので，大切に保管しておいてください。**

③ 詳細なダウンロード方法は，２０ページの「受験票ダウンロードについて」を参照してください。

（４）出願書類等提出先及び問合せ先

〒693―8501　島根県出雲市塩冶町89－１

島根大学医学部学務課入試担当　　電話 0853-20-2087　　FAX 0853-20-2079

（５）出願上の留意事項

① 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は，「一つの大学・学部」に限られており，本学の地域枠学校推薦型選抜に出願した者は，本学並びに他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。なお，本学の一般選抜を受験しようとする者は，令和７年１１月下旬発表予定の令和８年度学生募集要項（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）を参照のうえ，あらためて出願してください。

② いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

③ 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。

④ その他不明な点があれば，島根大学医学部学務課入試担当（出雲キャンパス）へ問い合わせてください。

７　試験場

島根大学医学部（出雲キャンパス）　島根県出雲市塩冶町89－１

（２１，２２ページ「位置図」「建物配置図」を参照してください。）

８　受験上の留意事項

（１）国公立大学の学校推薦型選抜合格者は，他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く）の個別学力試験を受験しても入学許可は得られません。

ただし，特別の事情があり，学校長を経由して「学校推薦型選抜入学辞退願」を提出し，令和８年２月１８日（水）までに辞退を許可された場合を除きます。

※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については，公立大学協会ホームページ（http://www.kodaikyo.org/nyushi）を参照してください。

（２）入試に不正があった場合には，入学を許可しません。

（３）**受験者は，試験当日必ず島根大学受験票を持参してください。**

（４）試験場の下見は，試験前日の 13 時から 17 時の間です。ただし，**建物内へは入れません。**

なお，医学部（出雲キャンパス）構内（講義棟玄関前）に試験室配置図及び注意事項を掲示していますので，確認しておいてください。

９　合格発表

（１）合格者には合格通知書を送付します。また，学校長（教育施設の長）にも選考結果通知書を送付します。

なお，合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

（ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）

また，メールや電話等による合否の照会には応じません。

（２）合格発表日時

令和８年２月１０日（火）　１３時

（３）合格通知書が令和８年２月１２日（木）までに到着しない場合は，医学部学務課入試担当へ申し出てください。

10　入学手続

（１）入学手続期日

令和８年２月１８日（水）　９時から１７時まで

合格者は，本人が直接来学し次のとおり入学手続を行ってください。

（２）国公立大学の合格者は，一つの国公立大学・学部に入学手続を行った場合には，それ以後，これを辞退して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことができません。

（３）入学手続時に必要な書類等

①入学届（本学所定の様式）

②入学料の「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」

③国公立大学入学確認票

④島根大学受験票

上記以外の書類等，入学手続の詳細については，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

（４）入学手続時に必要な経費

入学料　282,000円（予定額）

※入学手続時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。

※島根県の奨学金（１０ページ「**16　医学生地域医療奨学金**」を参照）を受給する場合であっても，入学手続期日までに入学料を振り込んでいただく必要があります。

（５）ノートパソコンの必携化についてのご案内

本学では，オンライン学修の促進，対面授業の学修効果の向上，情報機器に関する基礎的な知識の習得及び各種配布物や提出物のペーパーレス化等を推進することなどを目的として，ノートパソコンを必携化しています。

ノートパソコンの必携化とは，教員から指示があった場合に，ノートパソコンを活用できる状態にしておくことを言います。

令和8(2026)年度の学部新入生に対する推奨スペックなど詳細については，11月頃に以下のWeb サイトで公表予定です。

https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/note_pc.html

（参考）経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な方へ

経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち，本学が定める条件を満たす希望者には，本学からノートパソコンを１年間無償で貸与します。本学が定める条件については，入学手続書類送付時にお知らせいたします。

（６）入学手続場所

医学部　〒693-8501　出雲市塩冶町89-1（出雲キャンパス）

島根大学医学部学務課入試担当　　電話（0853)20-2087　FAX（0853)20-2079

11　その他の注意事項

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため，氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って，学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報が，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

12　入試に関する情報提供

（１）本学ホームページ上で，入試情報等を提供しています。

アドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

（２）入学者選抜試験成績の提供

令和８年度地域枠学校推薦型受験者の個人成績については，開示希望者に対して次のとおり開示します。

①開示内容

大学入学共通テストの得点と個別学力試験等の科目ごとの得点並びに総合順位(ランク区分)を開示します。

②申請方法

・ 成績開示を希望する場合は，インターネット出願サイトにおける出願登録時に「入試成績開示申請」の欄を「申請する」と選択してください。なお，**この登録期間以外に開示申請登録を行うことはできませんので，注意してください。**

・ 出願内容の確認画面で，選択が正しく反映されているかご確認ください。

③開示方法

インターネット出願サイトにアクセスし，出願の際に作成したマイページにログインしてください。「申込内容を確認する」をクリックすると，個人成績が表示されます。

④開示期間

令和８年５月１日（金）～令和８年５月３１日（日）まで

⑤注意事項

・入試情報の開示には，マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。
マイページ登録の際は，必ず次年度以降も使用できるメールアドレスを登録してください。

・総合順位のランク区分は，上位から10名単位を１ランクとして表記します。

○問合せ先　：島根大学医学部学務課入試担当　電話　0853-20-2087

13　授業料について

授業料は，入学後にお支払いいただくことになります。

（１）授業料の額　（前期分）267,900 円　（後期分）267,900 円　【年額　535,800 円】
※入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

（２）授業料のお支払方法
授業料のお支払は，預金口座からの「口座振替」を原則としています。

14　入学料の徴収猶予

入学料は，経済的理由により入学手続き時に入学料の支払いが困難であると認められる方については，入学料の徴収が猶予される制度があります。

詳細は，合格者に送付する「入学案内」の中でお知らせします。

15　離脱要件

従事要件(注1)からの離脱は，以下の離脱要件のいずれかに該当した場合に認められます。

（１）死亡したとき。
（２）退学等により，医学科の教育課程を修了する見込みがなくなったとき。
（３）医師国家試験の不合格により，医師になることを断念したとき(注2)。
（４）その他，（１）から（３）に準ずるやむを得ない事由(注3)があるとして，島根県及び島根大学が地域医療対策協議会（島根県地域医療支援会議）に協議した上で離脱を承認したとき。

（注１）従事要件とは，出願要件の（９）及び（１０）を指す。
（注２）（３）により離脱したのち，他の入学枠に基づく医学科の教育課程を修了することなく医師国家試験に合格したことが判明した場合は，離脱承認を取り消す。この場合，島根大学医学部医学科地域枠学校推薦型選抜で入学し卒業した医師として従事要件を履行する。
（注３）心身故障のうち，回復の見込みがない場合を想定している。

16　医学生地域医療奨学金

島根県の地域医療を担う医師育成のために，島根県による奨学金が設けられています。

（１）貸与目的
へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持ち，地域枠で入学される方に奨学金を貸与し，県内の医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

（２）貸与額（令和８年度貸与予定額）
入学金相当額　282,000円（入学年のみ）

月額　100,000円
授業料相当額　535,800円（年額）

（３）貸与期間
大学の課程を修了する月まで貸与します。ただし，６年を超えることはできません。

（４）返還免除
医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間（返還猶予期間）に，指定医療機関において臨床研修を受け，かつ，その期間を含めて９年間，指定医療機関（うち４年間は特定地域医療機関）で医師の業務に従事した場合，貸与金全額の返還が免除されます。
指定医療機関及び特定地域医療機関については，１２ページの「主な指定医療機関及び特定地域医療機関(令和７年４月現在)」を参照ください。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。
https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ
問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室
電　話　(0852)22-6684　E-mail　iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

17　キャリア形成について

（１）しまね地域医療支援センター
地域枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。
（しまね地域医療支援センターホームページ http://www.allshimane.jp/）

（２）キャリア形成プログラム
地域枠学校推薦型選抜の入学者は，円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に，卒業後，必ず参加していただきます。
（キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/）

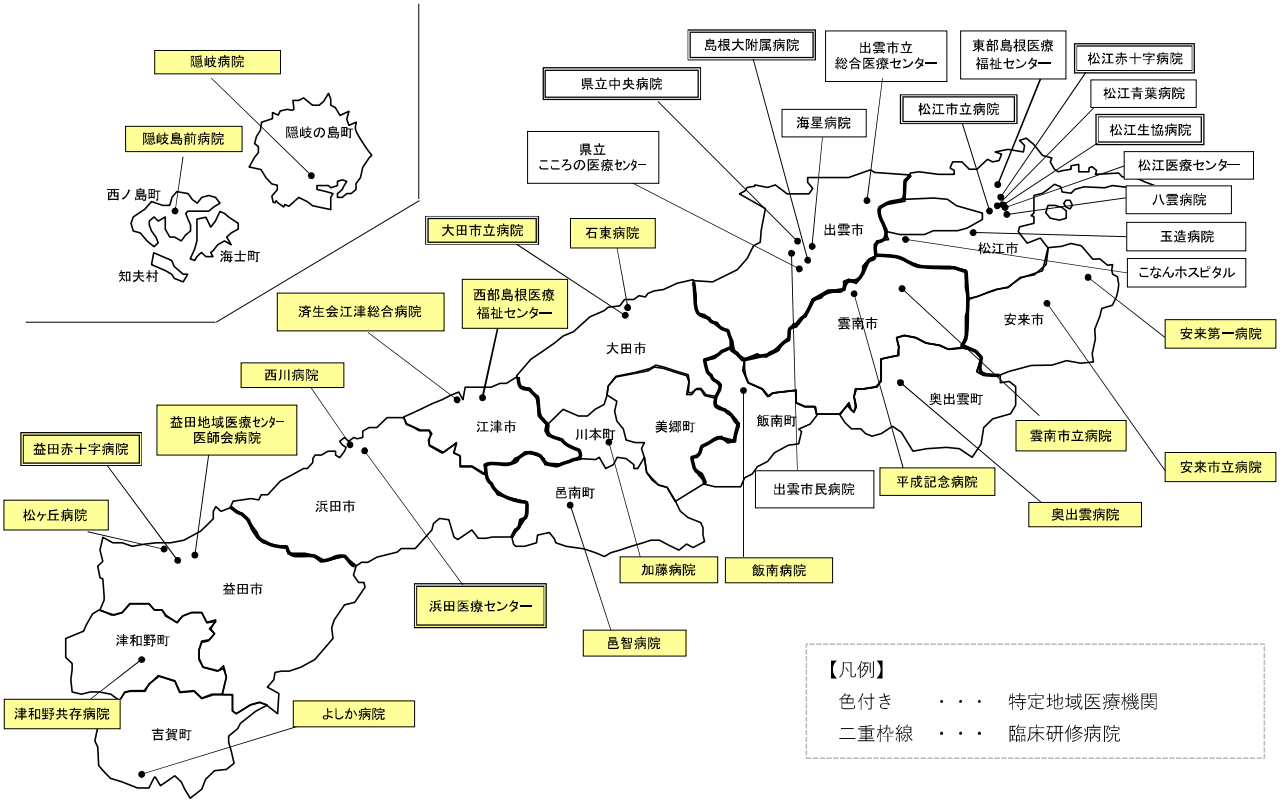
（３）キャリア形成卒前支援プラン
地域枠学校推薦型選抜の入学者は，学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り，地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に，在学中，参加していただきます。
（キャリア形成卒前支援プラン　https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

主な指定医療機関及び特定地域医療機関　（R7年4月現在）

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
松江	松江市立病院	○	
	松江保健生活協同組合総合病院　松江生協病院	○	
	日本赤十字社　松江赤十字病院	○	
	独立行政法人国立病院機構　松江医療センター	○	
	医療法人青葉会　松江青葉病院	○	
	社会福祉法人島根整肢学園　東部島根医療福祉センター	○	
	医療法人仁風会　八雲病院	○	
	地域医療機能推進機構　玉造病院	○	
	医療法人同仁会　こなんホスピタル	○	
	安来市立病院	○	○
	社会医療法人昌林会　安来第一病院	○	○
雲南	雲南市立病院	○	○
	医療法人陶朋会　平成記念病院	○	○
	奥出雲町立　奥出雲病院	○	○
	飯南町立　飯南病院	○	○
出雲	出雲医療生活協同組合　出雲市民病院	○	
	島根県立中央病院	○	
	国立大学法人　島根大学医学部附属病院	○	
	出雲市立総合医療センター	○	
	島根県立こころの医療センター	○	
	医療法人同仁会　海星病院	○	

圏域	医療機関名	指定医療機関	特定地域医療機関
大田	大田市立病院	○	○
	医療法人恵和会　石東病院	○	○
	社会医療法人仁寿会　加藤病院	○	○
	邑智郡公立病院組合　公立邑智病院	○	○
浜田	独立行政法人国立病院機構　浜田医療センター	○	○
	社会医療法人清和会　西川病院	○	○
	社会福祉法人島根整肢学園　西部島根医療福祉センター	○	○
	社会福祉法人恩賜財団済生会　島根県済生会江津総合病院	○	○
益田	日本赤十字社　益田赤十字病院	○	○
	公益社団法人益田市医師会立　益田地域医療センター医師会病院	○	○
	社会医療法人正光会　松ヶ丘病院	○	○
隠岐	隠岐広域連合立　隠岐病院	○	○
	隠岐広域連合立　隠岐島前病院	○	○

※上記のほか、公立診療所（保健所含む）も指定医療機関等に入ります。



18　障がい等を有する志願者との事前相談

本学部に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合，本学での検討及び準備に要する期間が必要なため，事前相談の期限までにご連絡ください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は，次の「（３）連絡先」に相談してください。

（１）事前相談の方法

本学所定の様式（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し，「（２）事前相談の期限」までに「（３）連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

主な配慮事項の例

「解答方法」や「試験時間」に関する配慮	「試験室や座席」に関する配慮	「持参使用するもの」に関する配慮
・代筆解答 ・試験時間の延長	・出入口近くの座席 ・トイレに近い試験室 ・前列の座席	・補聴器 ・杖 ・車椅子 ・読書補助具

（２）　事前相談の期限

令和７年１０月１６日（木）

※本学からの回答書の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

（３）　連絡先　　医学部（出雲キャンパス）

〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1　　島根大学医学部学務課入試担当

電話（0853)20-2087　FAX（0853)20-2079　E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

19　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続きを行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

ただし，国公立大学の入学者選抜における合格者決定業務を円滑に行うため，氏名，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切

に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては，下記のＵＲＬを参照してください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

20　地域人材育成コースカリキュラム

地域枠学校推薦型選抜で入学した学生は，実際に所属する学部の専門教育を受けるとともに「地域人材育成コース」に所属し，地域関連科目を系統的に学ぶことで，地域の現状と課題を知り，学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得していきます。

令和８年度

入学者選抜要項

各入試の出願方法は次のとおりとなります。

区分	出願方法	募集要項・出願書類
一般選抜	インターネット出願	本学ＨＰから取得
専門高校・総合学科 卒業生選抜		
総合型選抜Ⅰ「へるん入試」		
学校推薦型選抜Ⅱ		
私費外国人留学生選抜		
地域枠学校推薦型選抜		
緊急医師確保対策枠 学校推薦型選抜		
帰国生選抜	紙媒体による出願	本学ＨＰから取得
社会人選抜		
バイリンガル教育コース選抜		

インターネット出願については，本学HPー「入試情報」ー「インフォーメーション」ー「インターネット出願」を参照してください。

人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

令和８年度入試日程の概要

区分	学部等	大学入学共通テスト	出願期間	第１次選考（第１段階選抜）結果発表	個別学力試験等の日程	合格発表	入学手続	入学式
一般選抜 前期日程	全学部	1月17日（土）～1月18日（日）	1月26日（月）～2月4日（水）	医学部医学科のみ 2月10日（火）	2月25日（水） 医学部は2月26日（木）まで	3月6日（金）	3月9日（月）～3月15日（日） 追加合格 入学定員に満たない場合（入学手続期間を含む） 3月28日（土）～3月31日（火）	4月2日（木）
専門高校・総合学科卒業生選抜	医学部 看護学科							
一般選抜 後期日程	全学部			人間科学部のみ 2月10日（火）	3月12日（木）	3月20日（金）	3月23日（月）～3月27日（金）	
総合型選抜Ⅰ「へるん入試」	法文学部	課さない	9月29日（月）～10月3日（金）	10月24日（金）	11月8日（土）～11月9日（日）	11月28日（金）	12月1日（月）～12月5日（金）	
	教育学部							
	人間科学部							
	総合理工学部							
	材料エネルギー学部							
	生物資源科学部							
学校推薦型選抜Ⅱ	医学部	1月17日（土）～1月18日（日）	11月4日（火）～11月7日（金）		12月6日（土）	2月10日（火）	2月12日（木）～2月18日（水）	
	総合理工学部		1月20日（火）～1月27日（火）		2月5日（木）			
	材料エネルギー学部							
地域枠学校推薦型選抜	医学部 医学科		11月4日（火）～11月7日（金）		12月6日（土）～12月7日（日）		2月18日（水）	
緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜			未定		未定	未定		
社会人選抜	法文学部	課さない	9月29日（月）～10月3日（金）		11月8日（土）	11月28日（金）	12月1日（月）～12月5日（金）	
帰国生選抜	法文学部		9月29日（月）～10月3日（金）		11月8日（土）	11月28日（金）	12月1日（月）～12月5日（金）	
	生物資源科学部							
私費外国人留学生選抜	法文学部		8月25日（月）～9月3日（水）		課さない	10月1日（水）	10月24日（金）～10月30日（木）	
	人間科学部							
	総合理工学部							
	材料エネルギー学部							
	生物資源科学部							
バイリンガル教育コース選抜	総合理工学部		8月25日（月）～9月3日（水）		課さない	10月1日（水）	10月24日（金）～10月30日（木）	

地域志向の強い学生を受け入れる入試を全学部で下記のとおり実施します。

- **法文学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**
- **教育学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**
- **人間科学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**
- **医学部：一般選抜前期日程（県内定着枠）〈注〉，学校推薦型選抜Ⅱ（看護学科地域枠），地域枠学校推薦型選抜，緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜〈注〉**
- **総合理工学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**
- **材料エネルギー学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**
- **生物資源科学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）**

上記の選抜で入学した学生は，実際に所属する学部の専門教育を受けるとともに「地域人材育成コース」にも学部横断的に所属し，地域関連科目を系統的に学ぶことで，地域の現状と課題を知り，学部で学んだ専門的な知識を地域の課題に対して応用するための高度な知識と技能を修得していきます。

目　　次

Ⅰアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）…… 1

Ⅱ募集人員 ……15

Ⅲ一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜
1入試実施方式等 ……16
2出願資格 ……16
3学部，学科等の選定方法 ……17
4入試の方法等（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）……18
5入試の実施教科・科目等
法文学部 ……19
教育学部 ……21
人間科学部 ……26
医学部【県内定着枠を含む】 ……27
総合理工学部 ……29
材料エネルギー学部 ……30
生物資源科学部 ……31

Ⅳ特別選抜
1入試の方法等 ……33
2大学入学共通テストを課さない総合型選抜（総合型選抜Ⅰ「へるん入試」）
法文学部【地域志向入試を含む】 ……34
教育学部【地域志向入試を含む】 ……36
人間科学部【地域志向入試を含む】 ……38
総合理工学部【地域志向入試を含む】 ……39
材料エネルギー学部【地域志向入試を含む】 ……42
生物資源科学部【地域志向入試を含む】 ……44
3大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（学校推薦型選抜Ⅱ）
医学部 ……46
総合理工学部 ……49
材料エネルギー学部 ……50
4地域枠学校推薦型選抜
医学部 ……51
5緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜
医学部 ……52
6帰国生選抜
法文学部 ……53
生物資源科学部 ……53
7社会人選抜
法文学部 ……54
8私費外国人留学生選抜
法文学部 ……55
人間科学部 ……55
総合理工学部 ……55
材料エネルギー学部 ……55
生物資源科学部 ……55
9バイリンガル教育コース選抜
総合理工学部 ……57

Ⅴ障がい等を有する志願者との事前相談 ……58

Ⅵ個別の入学資格審査について ……59

Ⅶ学生募集要項及び各種資料の請求方法等 ……60

〈注〉医学部医学科一般選抜前期日程（県内定着枠）及び緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の募集人員等を含めた内容については文部科学省と協議中であり，変更になる場合があります。協議の結果については，学生募集要項でご確認ください。

不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により，学生募集要項等で公表した入学者選抜試験の方法による実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験日時，選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を以下のホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

島根大学入試情報ホームページ　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

《医学部》

■医学科

●求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能
1. 高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力
2. 人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
3. 地域医療を担う意欲と使命感を有している。
4. 生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
5. 探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
6. 異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
7. 自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
8. コミュニケーション能力に長けている。
9. 相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	大学入学共通テストでは，英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 個別学力試験では，数学，英語の筆記試験を課し，これらの科目の知識，思考力，判断力，表現力を評価し，さらに面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。 なお，県内定着枠では，卒業後は島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献する意欲・使命感を面接によって評価します。
学校推薦型選抜Ⅱ		大学入学共通テストでは，英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価します。 小論文では，出題された文章等に対し，主として論述式により解答する問題を課し，知識，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価します。
地域枠 学校推薦型選抜		出願前に，市町村長等による面接を受けます。この面接は，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。 小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。
緊急医師確保対策枠 学校推薦型選抜		出願前に，島根県担当者による面接を受けます。この面接は，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに，医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極めます。 小論文では，物事の判断，論理的思考，分析・考察，問題解決等の能力を評価します。 面接では，医療人として必要な豊かな人間性，幅広い教養と高い倫理観，コミュニケーション能力，主体的な行動力，問題を自ら発見し解決を図る能力，情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに，志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性	地域医療に 対する意欲・ 使命感
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		個別学力試験	◎	○		
		面接		○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ		推薦書・調査書	★	★	★	★
		大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		○	◎	◎
地域枠 学校推薦型選抜 ・ 緊急医師確保対策枠 学校推薦型選抜		推薦書・調査書	★	★	★	★
		大学入学共通テスト	◎	○		
		小論文	○	◎		
		面接		○	◎	◎
		地域医療等に関する論文	★	★	★	★
		学外第三者*による面接	★	★	★	★

★：参考とするもの
*：市町村長等または県担当者

Ⅱ　募集人員

学部	学科・課程・専攻等		入学定員(名)	日程・募集人員(名)													
				一般選抜		専門高校・総合学科卒業生選抜	総合型選抜Ⅰ「へるん入試」						学校推薦型選抜Ⅱ	社会人選抜	帰国生選抜	私費外国人留学生選抜	バイリンガル教育コース選抜
							(共通テストを課さない)										
				前期日程	後期日程		一般型	地域志向(島根県・鳥取県枠)	地域志向(全国枠)	専門高校	グローバル英語	芸術・ｽﾎﾟｰﾂ	(共通テストを課す)				
法文学部	法経学科		76	27	19		23							若干名	若干名	若干名	
	社会文化学科		47	19	9		13	6	6	2	6			若干名	若干名	若干名	
	言語文化学科		52	23	8		14							若干名	若干名	若干名	
	小計		175	69	36		50	6	6	2	6			若干名	若干名	若干名	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	小学校教育専攻	130	53	10		28	14									
		特別支援教育専攻															
		国語科教育専攻															
		英語科教育専攻															
		社会科教育専攻															
		数学科教育専攻															
		理科教育専攻															
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻		7								3					
		音楽科教育専攻		5								5					
		美術科教育専攻		3								2					
	小計		130	68	10		28	14				10					
人間科学部	人間科学科		80	40	8		21	8		3						若干名	
	小計		80	40	8		21	8		3						若干名	
医学部	医学科		102	58									44				
	看護学科		60	32	7	3以内							18				
	小計		162	90	7	3以内							62				
総合理工学部	総合理工学科	先端ものづくり分野	370	167	55		91	14	4	4	7		20			若干名	若干名
		数理データサイエンス・IT・デジタル分野								4							
		自然環境・住環境分野								4							
	小計		370	167	55		91	14	4	12	7		20			若干名	若干名
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科		80	40	8		12	8		3	3		6			若干名	
	小計		80	40	8		12	8		3	3		6			若干名	
生物資源科学部	生命科学科		70	37	5		22								若干名	若干名	
	農林生産学科		60	31	5		15	9	3	5	3				若干名	若干名	
	環境共生科学科		70	33	9		16			7					若干名	若干名	
	小計		200	101	19		53	9	3	12	3				若干名	若干名	
合計			1,197	575	143	3以内	255	59	13	32	19	10	88	若干名	若干名	若干名	若干名

注 1．教育学部の総合型選抜Ⅰ「へるん入試」地域志向入試（島根県枠・鳥取県枠）は地域教員育成型（島根県枠）７名，地域教員育成型（鳥取県枠）７名の合計１４名です。
2．医学部医学科の前期日程には県内定着枠３名を含んでいますが，県内定着枠の募集人員は文部科学省と今後協議を行いますので，変更になる場合があります。
3．医学部医学科の学校推薦型選抜Ⅱには，地域枠学校推薦型選抜10名以内及び緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜９名以内を含んでいますが，緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の募集人員は文部科学省と今後協議を行いますので，変更になる場合があります。
4．医学部看護学科の学校推薦型選抜Ⅱには地域枠5名を含んでいます。
5．総合型選抜，学校推薦型選抜の合格者が募集人員に満たないときは，不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
6．一般選抜（前期日程）及び一般選抜（後期日程）の募集人員には，社会人選抜，帰国生選抜，私費外国人留学生選抜及びバイリンガル教育コース選抜の募集人員若干名を含みます。

Ⅲ　一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜

1　入試実施方式等

(1) 本学では，全学部において「分離分割方式」による前期日程，後期日程（教育学部学校教育課程Ⅱ類並びに医学部医学科及び医学部看護学科専門高校・総合学科卒業生選抜を除く。）で実施します。

(2) 本学の大学入学共通テストを課す令和８年度入試においては，令和８年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(3) 学内併願
本学の「前期日程」の学部・学科（課程）又は「専門高校・総合学科卒業生選抜」から一つ，「後期日程」の学部・学科（課程）から一つの，合計二つの学部・学科（課程）との併願を認めます。

2　出　願　資　格

(1) 一般選抜

一般選抜へ出願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和 8 年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅲ５入試の実施教科・科目等」（19～32 ページ）参照〕を受験した者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者

② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和８年３月修了見込みの者

③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和８年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※ 上記③に該当する者は，次のとおりです。

ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和８年３月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部科学省告示第 153 号）

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和８年３月 31 日までに修了見込みの者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び令和８年３月 31 日までに修了見込みの者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第1号）により，文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和８年３月 31 日までに合格見込みの者で，令和８年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第２項の規定により大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

キ 本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和８年３月 31 日までに 18 歳に達するもの

【医学部医学科「県内定着枠」出願資格】

医学部医学科「県内定着枠」に出願できる者は，令和 8 年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅲ５入試の実施教科・科目等」（27～28 ページ）参照〕を受験した者で，次の①から⑥の要件を満たす者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校又は中等教育学校を令和 5 年 3 月以降に卒業した者並びに令和 8 年 3 月卒業見込みの者

② 合格した場合は，入学することを確約できる者

③ 合格した場合は，島根県の奨学金を受給する者

④ 卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

⑤ 卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者

⑥ 卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から 12 年を経過する日までの間に，⑤の期間を含めて 9 年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち 4 年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者

※出願資格の記載内容は変更になることがあります。詳細は学生募集要項（11月下旬公表予定）を必ずご確認ください。

(2) 専門高校・総合学科卒業生選抜

専門高校・総合学科卒業生選抜へ出願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和 8 年度大学入学共通テスト〔本要項の「Ⅲ５入試の実施教科・科目等」（27～28 ページ）参照〕を受験した者とします。ただし，指定された教科・科目を受験していない場合は，無資格者として取り扱います。

① 高等学校の職業に関する学科を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者

② 高等学校の総合学科を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者

3 学部，学科等の選定方法

学部，学科等の選定方法は，いずれか1学部を選び，さらに，法文学部，医学部及び生物資源科学部については志望する1学科を，教育学部についてはⅠ類又はⅡ類（志望する1専攻）を，選んでください。

4　入試の方法等（一般選抜，専門高校・総合学科卒業生選抜）

日程	入試方法等 ／ 学部，学科・課程・専攻		一般選抜							専門高校・総合学科卒業生選抜				個別学力試験等の日程	備考（欠員補充の方法等）
			学力試験	実技試験等					2段階選抜	学力試験	実技試験等				
				実技	面接	小論文	ペーパーインタビュー	総合問題			実技	面接	小論文		
一般選抜・前期日程，専門高校・総合学科卒業生選抜	法文学部	法経学科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	原則として追加合格により補充します。なお，欠員が生じた場合には欠員補充第2次募集を行います。
		社会文化学科	○	—	—	—	—	—							
		言語文化学科	○	—	—	—	—	—							
	教育学部	学校教育課程Ⅰ類	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	
		学校教育課程Ⅱ類 保健体育科教育専攻	—	○	—	—	—	—							
		学校教育課程Ⅱ類 音楽科教育専攻	—	○	—	—	—	—							
		学校教育課程Ⅱ類 美術科教育専攻	—	○	—	—	—	—							
	人間科学部	人間科学科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	
	医学部	医学科	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	2月25日～26日	
		看護学科	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○		
	総合理工学部	総合理工学科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	
	材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	
	生物資源科学部	生命科学科	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2月25日	
		農林生産学科	○	—	—	—	—	—							
		環境共生科学科	○	—	—	—	—	—							
一般選抜・後期日程	法文学部	法経学科	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	3月12日	
		社会文化学科	—	—	—	—	—	○							
		言語文化学科	—	—	—	—	—	○							
	教育学部	学校教育課程Ⅰ類	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	3月12日	
	人間科学部	人間科学科	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	3月12日	
	医学部	看護学科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	3月12日	
	総合理工学部	総合理工学科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	3月12日	
	材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	3月12日	
	生物資源科学部	生命科学科	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	3月12日	
		農林生産学科	—	—	○	—	—	—							
		環境共生科学科	—	—	○	—	—	—							

備考 1　○印は実施する項目を，－印は実施しない項目を示します。
2　教育学部の学校教育課程Ⅰ類とは，小学校教育専攻，特別支援教育専攻，国語科教育専攻，英語科教育専攻，社会科教育専攻，数学科教育専攻，理科教育専攻です。
3　一般選抜・後期日程の人間科学部人間科学科の２段階選抜は，志願者数が募集人員の約16倍を超えた場合に，大学入学共通テストの成績により第１段階の選抜を行い，その合格者について更に必要な試験等を行います。
4　一般選抜・前期日程の医学部医学科の２段階選抜は，志願者数が募集人員の約８倍を超えた場合に，主として，大学入学共通テストの成績により第１段階の選抜を行い，その合格者について更に必要な試験等を行います。

医学部

学科名	区分等	教科等	配点 共通テスト	配点 個別試験	利用科目等 大学入学共通テスト	利用科目等 個別学力試験等	2段階選抜
医学科	前期日程	国語	250	—	『国語』		約8倍
		地理歴史	100	—	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』 から1		
		公民		—			
		数学	100	300	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』の 計2	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」	
		理科	350	—	『物理』，『化学』，『生物』から2		
		外国語	100	300	『英語（リスニングを含む）』	「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」	
		情報	30	—	『情報Ⅰ』		
		面接	—	120		面接	
		合計	930	720	6教科8科目		
看護学科	前期日程	国語	200	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』 から1		
		公民					
		数学	100	—	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	—	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	—	『情報Ⅰ』		
		小論文	—	100		小論文	
		面接	—	60		面接	
		合計	730	160	6教科6科目		
看護学科	後期日程	国語	200	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』 から1		
		公民					
		数学	100	—	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	200	—	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	—	『情報Ⅰ』		
		面接	—	60		面接	
		合計	730	60	6教科6科目		
	専門高校・総合学科卒業生選抜	国語	100	—	『国語』		—
		地理歴史	100	—	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『公共，倫理』，『公共，政治・経済』，『地理総合／歴史総合／公共』 から1		
		公民					
		数学	100	—	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅱ，数学B，数学C』から1		
		理科	100	—	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（※），『物理』，『化学』，『生物』から1		
		外国語	100	—	『英語（リスニングを含む）』		
		情報	30	—	『情報Ⅰ』		
		小論文	—	100		小論文	
		面接	—	60		面接	
		合計	530	160	6教科6科目		

医学部

備考１　大学入学共通テストについて

⑴　地理歴史，公民及び理科について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，第１解答科目を採用します。

⑵　数学について，利用科目を１科目としている場合において２科目を受験しているときは，高得点の科目を採用します。

⑶　(※) 看護学科で，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，物理基礎，化学基礎，生物基礎から2出題範囲を選択するものとし，地学基礎を選択することはできません。

２　個別学力試験等について

⑴　「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ」は全範囲を，「数学Ｂ」は数列，「数学Ｃ」はベクトル及び平面上の曲線と複素数平面を出題範囲とします。

３　大学入学共通テスト・個別学力試験等の配点等について

⑴　大学入学共通テストの外国語で「英（リスニングを含む）」については，医学科及び看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点）を50点とした後，その合計得点を100点満点に圧縮して利用します。

また，看護学科（前期日程，後期日程）ではリーディング（100点満点）を200点とし，リスニング（100点満点） を50点とした後，その合計得点を200点満点に圧縮して利用します。

なお，聴覚障がい者の内，重度難聴者等でリスニングが免除された場合には，次のとおり取扱います。

①医学科では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

②看護学科（専門高校・総合学科卒業生選抜）では，リーディング（100点満点）の得点をそのまま利用します。

③看護学科（前期日程，後期日程）では，リーディング（100点満点）の得点を200点満点として利用します。

Ⅳ　特別選抜

1　入試の方法等

学部，学科・課程・専攻 ＼ 入試方法等			総合型選抜				学校推薦型選抜			帰国生選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜	バイリンガル教育コース選抜
			総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）（へるん入試）	試験内容			学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	試験内容					
				読解・表現力試験	面接	実技等		小論文	面接				
法文学部	法経学科		○				―			○	○	○	―
	社会文化学科		○	○	○	―	―	―	―	○	○	○	―
	言語文化学科		○				―			○	○	○	―
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	小学校教育専攻	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―
		特別支援教育専攻					―			―	―	―	―
		国語科教育専攻					―			―	―	―	―
		英語科教育専攻					―			―	―	―	―
		社会科教育専攻					―			―	―	―	―
		数学科教育専攻					―			―	―	―	―
		理科教育専攻					―			―	―	―	―
	学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―
		音楽科教育専攻	○	○	○	○	―			―	―	―	―
		美術科教育専攻	○	○	○	○	―			―	―	―	―
人間科学部	人間科学科		○	○	○	―	―	―	―	―	―	○	―
医学部	医学科		―	―	―	―	○	○	○	―	―	―	―
	看護学科		―				○	○	○	―	―	―	―
総合理工学部	総合理工学科		○	○	○	―	○	―	○	―	―	○	○
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科		○	○	○	―	○	―	○	―	―	○	―
生物資源科学部	生命科学科		○	○	○	―	―	―	―	○	―	○	―
	農林生産学科		○				―			○	―	○	―
	環境共生科学科		○				―			○	―	○	―

備考　1　○印は実施する項目を，―印は実施しない項目を示します。

５　緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜

医学部

<table>
<tr><td rowspan="6">医学科</td><td>募集人員</td><td>９名以内（島根県内枠５名以内）</td></tr>
<tr><td>出願要件</td><td>【一般枠】
次の１から１０の各号に該当し，かつ，令和８年度大学入学共通テスト〔下記（入試方法）に定める６教科８科目〕を受験する者であって，学校長（教育施設の長）が責任をもって推薦できるもの
１　島根県の医療に貢献する強い意志のある者
２　次の①又は②のいずれかに該当する者
①　高等学校又は中等教育学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者
②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を令和６年４月以降に修了した者及び令和８年３月31日までに修了見込みの者
３　島根県の担当者による面接を受ける者
４　人物及び学習成績が優秀で，かつ，調査書の全体の学習成績の状況が4.1以上である者
５　高等学校又は中等教育学校において数学Ⅲ，数学Ａ，数学Ｂ及び数学Ｃを，物理，化学及び生物のうちから２科目以上並びに英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅱを履修（見込みを含む。）した者または，文部科学省高等学校学習指導要領に定められた上記に相当する科目を履修（見込みを含む。）した者
６　合格した場合は，入学することを確約できる者
７　合格した場合は，島根県の奨学金を受給する者
８　卒業後は，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者
９　卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けることを確約できる者
１０　卒業後は，医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から１２年を経過する日までの間に，９の期間を含めて９年間キャリア形成プログラムで規定する指定医療機関（うち４年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事することを確約できる者
【島根県内枠】
上記の【一般枠】の出願要件に加え，次の要件を満たす者
１　島根県内の高等学校を令和７年３月に卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者
※島根県内枠の出願者は，一般枠の併願者として取り扱います。</td></tr>
<tr><td>入試方法</td><td>学校長（教育施設の長）の推薦書，調査書，島根県の医療に関する論文，小論文，面接並びに大学入学共通テストの成績を総合して選考します。
<table>
<tr><th colspan="2">個別学力試験等</th><th colspan="3">大学入学共通テスト</th></tr>
<tr><th>利用科目等</th><th>配点</th><th>教科等</th><th>配点</th><th>利用科目等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">小論文</td><td rowspan="3">200</td><td>国語</td><td>100</td><td>「国語」</td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」
「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」
「公共，政治・経済」　} から１</td></tr>
<tr><td>公民</td></tr>
<tr><td rowspan="4">面接</td><td rowspan="4">600</td><td>数学</td><td>300</td><td>「数学Ⅰ，数学Ａ」と「数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ」の計２</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>300</td><td rowspan="2">「物理」，「化学」，「生物」から２</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>200</td></tr>
<tr><td>情報</td><td>30</td><td>「情報Ⅰ」</td></tr>
<tr><td></td><td>合計
800</td><td></td><td>合計
1,030</td><td>６教科８科目</td></tr>
</table>
注　地理歴史，公民から２科目を受験している場合は，第１解答科目を採用します。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>入試期日</td><td>未定</td></tr>
<tr><td>合格発表</td><td>未定</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他</td><td>島根県の面接を受けることを出願要件としています。
緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の募集人員は文部科学省と協議中であり，変更になることがあります。
島根県内枠で出願した者は，島根県内枠において合格とならなかった場合は，一般枠として選抜の対象とします。
※出願要件の記載内容は変更になることがあります。詳細は学生募集要項を必ずご確認ください。</td></tr>
</table>

※未定の部分については，１０月公表予定の学生募集要項でご確認ください。

Ⅴ　障がい等を有する志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合，本学での検討及び準備に要する期間が必要なため，事前相談の期限までにご連絡ください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合については，「3 連絡先」までお知らせください。

１　事前相談の方法

本学所定の用紙（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し，**「３　連絡先」**へ提出してください。本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

２　事前相談の期限

入試区分		事前相談の期限
一般選抜	前期日程 後期日程	令和８年１月 21 日（水）
専門高校・総合学科卒業生選抜	医学部看護学科	
総合型選抜Ⅰ「へるん入試」	法文学部 教育学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	令和７年９月 10 日（水）
社会人選抜	法文学部	
帰国生選抜	法文学部 生物資源科学部	
学校推薦型選抜Ⅱ	医学部	令和７年 10 月 16 日（木）
地域枠学校推薦型選抜	医学部医学科	
緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜		未　定
学校推薦型選抜Ⅱ	総合理工学部 材料エネルギー学部	令和８年１月５日（月）
私費外国人留学生選抜	法文学部 人間科学部 総合理工学部 材料エネルギー学部 生物資源科学部	令和７年８月７日（木）
バイリンガル教育コース選抜	総合理工学部	

本学からの回答書の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

3　連絡先

(1)　法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部（松江キャンパス）
　　島根大学 教育・学生支援部入試課
　　TEL：(0852) 32-6073　FAX：(0852) 32-9726　　〒690-8504　松江市西川津町 1060
(2)　医学部（出雲キャンパス）
　　島根大学 医学部 学務課 入試担当
　　TEL：(0853) 20-2087　FAX：(0853) 20-2079　　〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1

Ⅵ　個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第 150 条第７号（入学資格に関し高等学校卒業者と同等以上と認められる者）により本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については，事前に個別の大学入学資格審査を受け，入学資格が認められた場合に出願できますので，下記の申請期間に間に合うように事前に連絡してください。

区　分	申請期間
総合型選抜Ⅰ・ 学校推薦型選抜Ⅱ・社会人選抜	令和７年８月 25 日（月）～8 月 27 日（水）
一般選抜	令和７年８月 25 日（月）～8 月 27 日（水） 令和８年１月 19 日（月）～1 月 21 日（水）
連絡先 (1)　法文学部，教育学部，人間科学部，総合理工学部，材料エネルギー学部，生物資源科学部（松江キャンパス） 島根大学 教育・学生支援部入試課 TEL：(0852) 32-6073　FAX：(0852) 32-9726　〒690-8504　松江市西川津町 1060 (2)　医学部（出雲キャンパス） 島根大学 医学部 学務課 入試担当 TEL：(0853) 20-2087　FAX：(0853) 20-2079　〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1	

令和８年度

学 生 募 集 要 項

医学部医学科

学士入学（２年次編入学）

学士入学（３年次編入学）

島　根　大　学

学生募集要項
学士入学（２年次編入学・３年次編入学）

目　　次

ページ

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）・・・・・・・・　1

Ⅱ　学生募集要項

【学士入学（２年次編入学）】

１　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２　入学の時期及び年次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

３　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

【学士入学（３年次編入学）】

１　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　入学の時期及び年次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

【２年次編入学・３年次編入学　共通事項】

１　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

２　入学者選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

３　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

４　入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

５　欠員の補充方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

６　その他の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

７　障がい等を有する入学志願者との事前相談　・・・・・・・・・・　8

８　将来研究者を志す方のために　・・・・・・・・・・・・・・・・　9

９　入学者選抜試験成績の提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

10　入試に関する情報提供　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

11　個人情報の取扱い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

12　医学生地域医療奨学金　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

13　キャリア形成について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

位置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

建物配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により，学生募集要項等で公表した入学者選抜試験の方法による実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験日時，選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を以下のホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

島根大学ホームページ入試情報　　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

Ⅰ　アドミッション・ポリシー（ＡＰ　入学者受入方針）

１．求める学生像

医学部医学科では，以下のような能力を身につけてきた学生を求めています。

知識・技能

１．高等学校で履修する英語，数学，理科，社会，国語，情報において，入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している。

思考力・判断力・表現力

２．人のために尽くそうとする明確な意志を有している。
３．地域医療を担う意欲と使命感を有している。
４．生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている。
５．探究心が豊かであり，未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している。
６．異文化や自分と異なる考えを受け入れ，広い視野で物事を判断し思考できる。
７．自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

８．コミュニケーション能力に長けている。
９．相手の気持ちを理解するとともに支持し，周囲の人々と協調性を持って行動できる。

２．入学者選抜の基本方針

（一般枠）

第１次選抜では，学力試験として大学教養レベルの語学力（英語），自然科学総合（化学，生物学）を課し，試験結果から合格者を決定します。

第２次選抜では面接を課し，第１次選抜結果を総合し，学力，適性，将来性共に優れた人材を合格者とします。

（地域枠）

第１次選抜では，学力試験として大学教養レベルの語学力（英語），自然科学総合（化学，生物学）を課し，試験結果から合格者を決定します。

第２次選抜では面接を課し，第１次選抜結果を総合し，学力，適性，将来性共に優れ，また，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者を合格者とします。

Ⅱ　学生募集要項

【学士入学（２年次編入学）】

１　募集人員

医学部医学科　　５人（うち地域枠２人以内）

なお，地域枠合格者が２人に満たない場合は，その不足した人員を一般枠の募集人員に加えます。

２　入学の時期及び年次

⑴　入学の時期　　令和８年４月

⑵　入学年次　　２年次に編入学

3　出願資格

⑴　一般枠　次の１及び２の各号に該当する者

１　次の①から⑤のいずれかに該当する者

①　大学を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。）

②　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）

③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和８年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。）

④ 外国の大学等において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）※

⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること，その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和８年３月修了見込みの者を含む。）

※追加書類を求めることがあります。

２　出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており，その得点が600点以上の者

⑵　地域枠　上記一般枠の出願資格に該当し，かつ，次の１および２の各号に該当する者

１　島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していた者を含む。）

２　卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

なお，地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は，地域枠を優先して行い，地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。

【学士入学（３年次編入学）】

1　募集人員

医学部医学科　　５人（うち地域枠２人以内）

なお，地域枠合格者が２人に満たない場合は，その不足した人員を一般枠の募集人員に加えます。

2　入学の時期及び年次

⑴　入学の時期　　令和８年４月

⑵　入学年次　　３年次に編入学

3　出願資格

⑴　一般枠　　次の１から３の各号に該当する者

１　次の①から⑤のいずれかに該当する者

① 大学を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者（医学部医学科の卒業者及び在学者を除く。）

② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）

③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和８年３月修了見込みの者（医学部医学科の修了者及び在学者を除く。）

④ 外国の大学等において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者（学士（医学）の学位を授与された者を除く。）※
⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること，その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（令和８年３月修了見込みの者を含む。）
※追加書類を求めることがあります。

２　歯科医師，獣医師，薬剤師のいずれかの免許を保持する者(令和８年３月末までに取得見込みの者も含む)
３　出願締切日より遡って２年以内のTOEIC L&Rを受験しており，その得点が600点以上の者

⑵　地域枠　上記一般枠の出願資格に該当し，かつ，次の１および２の各号に該当する者
１　島根県内の高等学校又は高等専門学校卒業者（高等学校等在学中に島根県内に在住していた者を含む。）
２　卒業後は，島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期研修及び専門研修を受けるとともに，島根県の地域医療に貢献することを確約できる者

なお，地域枠志願者は全員一般枠の併願者とします。合格者の選抜は，地域枠を優先して行い，地域枠の合格者とならなかった場合は一般枠としての選抜の対象となります。

※上記⑴２の免許を取得見込みの者は，いずれかの試験に合格した後，免許状の写し又は合格通知の写しを直ちに提出してください。本入学試験に合格しても，令和８年３月末までに免許を取得できなかった場合又はいずれかの試験に合格できなかった場合は，合格を取り消します。

【２年次編入学・３年次編入学　共通事項】

１　出願手続

⑴　出願期間

令和７年７月15日（火）から７月18日（金）午後５時まで

⑵　出願方法

⑶の出願書類を封筒(市販の角型２号)に一括して入れ，厳封のうえ，⑷の提出先に**「簡易書留・速達」郵便により提出してください。**

期限後に到着したものについては，令和７年７月17日（木）までの消印のある「簡易書留・速達」郵便に限り受理します。

⑶　出願書類等

提出書類の１，２，３，７，９及び11（11は地域枠のみ）は，本学ホームページからダウンロードした本学所定の用紙を使用してください。

各種様式掲載ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

提出書類		摘要
1	入学志願票 ①及び②	本学所定の用紙に記入してください。 地域枠志願者は，志願票①の高等学校等在学中の住所を必ず記入してください。

2	受　験　票 写　真　票	本学所定の用紙のそれぞれに出願区分及び氏名を記入のうえ，所定欄に写真（上半身，無帽，正面向きとし，出願前３ヶ月以内に撮影したもので，大きさは，縦４㎝×横３㎝）を貼付してください。なお，眼鏡を着用して受験する者は，眼鏡を着用し撮影してください。
3	推　薦　書 １通	本学所定の用紙を使用し，原則として大学或いは大学院等の指導教員（指導教員に依頼できない場合は志願者の人格，性行，研究意欲など熟知している者）による志願者の人物評価を含めた推薦書で，作成者が厳封したものとします。
4	成績証明書	大学等の成績証明書で，出身大学(学部)等の長が作成し厳封したものとします。 なお，大学院修了者及び在学中の者は，大学等の成績証明書の他に大学院の成績証明書（当該研究科の長が作成し厳封したもの）も提出してください。 令和８年３月卒業見込み又は修了見込みの者は，出願時点での成績証明書とします。 出願資格１の②による出願者については，学位申請時に提出した成績証明書と同様のものを提出してください。
5	卒業証明書 修了証明書	大学等の卒業証明書で，出身大学(学部)等の長が作成し厳封したものとします。 なお，大学院修了者及び在学中の者は，大学等の卒業証明書の他に大学院の修了証明書・修了見込み証明書又は大学院在学証明書（いずれも当該研究科の長が作成し厳封したもの）のいずれかを提出してください。 令和８年３月卒業見込み又は修了見込みの者は，卒業見込み又は修了見込み証明書とします。地域枠志願者は，高等学校等の卒業証明書も提出してください。 また，出願資格１の②による出願者については，学位授与証明書を証明者が厳封したものを提出してください。
6	英語スコア証明書 （TOEIC L&Rの Official Score Certificate（公式認定証））	提出可能なスコア証明書は，令和５年７月19日以降に受験したものとします。 なお，提出された英語スコアの本紙は，受験票送付時に返却します。 注）1　TOEIC S&W，TOEIC Bridge Test 及び団体特別受験制度（IPテスト）により受験したものは対象外とします。 2　提出するスコア証明書は原本のみとし，コピーは認めません。 3　デジタル公式認定証を印刷したものも，紙のスコア証明書と同様に提出可とします。（デジタル認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。）

7	入学検定料 振込金証明書	入学検定料　30,000円 （※災害等による入学検定料免除の特例措置を希望される方は，事前に申請が必要となりますので，本学ホームページ（https://www.shimane-u.ac.jp）の「入試情報」→「学部入試」→「入学検定料免除について」をご確認ください。） 令和８年度島根大学「入学検定料」振込依頼書等用紙の所定欄に必要事項を記入し，銀行・信用金庫・農協等の金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を利用される場合は，「通帳及び印鑑」が必要です。現金による振込はできません。）で，取扱期間中（令和７年７月10日(木)～７月18日(金)）の窓口取扱時間内に同用紙により，**入学検定料30,000円**を振り込んでください。**ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。** 払込手続後，窓口で返却された**「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」**を同封してください。 **なお，以下の場合以外は，納入された入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。** ①　出願書類等を提出したが，受理されなかった場合 該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続を行ってください。 ②　検定料を振り込んだが，島根大学に出願しなかった場合 ③　検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記②又は③に該当する場合は，本人の申し出により納入された入学検定料を返還することができますので，必ず７月 25 日（金）（土曜，日曜日及び祝日を除く９時から17時までの間）までに財務部経理・調達課出納担当（電話0852-32-6029）へ連絡してください。 なお，返還の手続を行う際に「Ⅱ票　振込金受取書（志願者保管）」及び「Ⅲ票振込金証明書（島根大学提出用）」が必要となりますので，大切に保管しておいてください。この書類がないと振込事実の確認ができず，返還ができないことがあります。
8	返信用封筒 （受験票送付用）	市販の長型３号封筒に，郵便番号，住所，氏名を記入し，620円（特定記録・速達）分の切手を貼付してください。
9	宛　名　票	本学所定の「宛名票」に志願者の郵便番号，住所，氏名及び電話番号を記入してください。記入箇所は①～④の４か所ありますので，全てに記入してください。

以下については，３年次編入学出願者のみ提出が必要です。

10	免許状の写し	歯科医師，獣医師，薬剤師の免許保持者は，いずれかの免許状の写しを提出してください。

以下については，地域枠出願者のみ提出が必要です。

11	確　約　書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。

(4)　出願書類等提出先及び照会先

〒693－8501　島根県出雲市塩冶町89-1
島根大学医学部学務課 入試担当
電話　0853-20-2087　　E-mail　nyusi@med.shimane-u.ac.jp

(5) 出願上の留意事項

① いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

② 出願書類等に不備がある場合は，受理しません。

③ 推薦書及び外国の大学等の証明書については，日本語又は英語で作成してください。

④ 改姓（名）をした者は，志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された調査書等も使用できます。なお，この場合は改姓（名）された日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。

⑤ その他不明な点があれば，前記(4)の「出願書類等提出先及び照会先」へ問い合わせてください。

2 入学者選抜方法

(1) 第１次選抜

① 次の日程で「筆記学力試験(大学教養教育修了程度)」を実施します。
なお，自然科学総合問題は，化学，生物学などの自然科学系の科目を出題範囲とします。
また，外国語（英語）は，筆記学力試験に加え，TOEICスコアを本学部医学科が定める換算式に基づいて換算し，総合的に評価します。

② 推薦書などの出願書類とともに総合して判定し，２年次編入学及び３年次編入学それぞれにおいて募集人員の約3.5倍を合格者とします。

期　　日	教 科 名	時　　間
令和７年８月23日（土）	外国語（英語）	10:30 ～ 11:30
	自然科学総合問題	13:00 ～ 14:30

（注意）教科ごとの試験時間は変更になることがあります。

(2) 第２次選抜

第１次選抜合格者に対して次の日程で「面接」を実施します。

期　　日	教 科 名	時　　間
令和７年９月20日（土）	面　　接	8:30 ～ 18:00
令和７年９月21日（日）	面　　接	8:30 ～ 18:00

（注意）第２次選抜試験の実施方法等は，第１次選抜合格通知の際にお知らせします。

(3) 合格判定

第１次及び第２次選抜の結果を総合的に判断し，学力，適性，将来性共に優れた人材を合格者とします。

(4) 試験場

島根大学医学部（出雲キャンパス）
島根県出雲市塩冶町89-1　（11ページ「位置図」，12ページ「建物配置図」を参照）

3 合格発表

(1) 第１次選抜合格発表　　令和７年９月５日（金）　11時

① 第１次選抜合格者本人には，結果通知書を郵送します。

② 第１次選抜合格者は，結果通知の際に同封する様式により「これまでの研究の概要と医学の研究，教育或いは診療への応用に対する抱負」を800字程度にまとめて，「簡易書留・速達」郵便にて**令和７年９月**

12日（金）（17時必着）までに島根大学医学部学務課入試担当へ送付してください。（これまでの研究の概要は研究のレベルを問うものではありません。）

③　第１次選抜合格者のうち地域枠志願者は，同封する様式により「島根県の地域医療の実態と自分の医療に対する考え」を800字程度にまとめて，「簡易書留・速達」郵便にて，令和７年９月12日（金）（17時必着）までに島根大学医学部学務課入試担当へ送付してください。

(2)　合格発表　　令和７年10月８日（水）　11時

合格者本人には合格通知書を郵送します。

注１．上記の(1)，(2)のいずれについても，合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。

（ホームページアドレス　https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）

なお，合格者の受験番号を速報として掲載しますが，正式には合格通知書により確認してください。

２．上記の(1)，(2)のいずれについても，メールや電話等による合否の照会には応じません。

４　入学手続

(1)　入学手続期間

令和７年10月９日（木）９時から　10月16日（木）午後５時まで

なお，令和７年10月16日（木）午後５時までに到着することを最寄の郵便局で確認し送付してください。

（手続期限後に到着した場合は受理できませんので，特に注意してください。）

詳細については，合格通知書送付の際に連絡します。

(2)　入学手続書類等送付先

〒６９３－８５０１島根県出雲市塩冶町８９－１

島根大学医学部学務課入試担当

(3)　入学手続時の注意事項

入学手続期限までに入学手続を完了しなかった場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

(4)　入学料及び授業料

①　入学料　282,000円（予定額）

※　入学手続き時までに改定が行われた場合には，新入学料が適用されます。

②　授業料

授業料は，入学後にお支払いいただくことになります。

ア　授業料の額

（前期分）267,900 円　（後期分）267,900 円　年額　535,800 円（予定額）

イ　授業料のお支払方法

授業料のお支払は，預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

※　入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

(5)　歯科医師，獣医師，薬剤師のいずれかの免許取得見込みで３年次編入学に合格した者

３年次編入学に合格した者のうち，歯科医師，獣医師，薬剤師の免許を取得見込みで出願した者は，いず

れかの資格試験に合格した後，免許状の写し又は合格通知の写しを直ちに提出してください。下記期限までに提出がない場合は，入学を辞退したものとみなします。

提出期限：令和８年３月 26 日(木)17 時必着

5　欠員の補充方法

入学辞退により入学者が入学定員に満たない場合は，追加合格により欠員の補充を行います。追加合格者への通知は，令和７年10月17日（金）以降，入学志願票に記載の「本人の連絡先（住所）」への電話連絡によって行います。なお，電話等による照会には応じません。

6　その他の注意事項

(1)　提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には，入学許可を取り消すことがあります。

(2)　試験当日は，受験票を必ず持参してください。また，受験票に同封する「受験上の注意事項」をよく読んでおいてください。

(3)　試験場の下見は，第１次選抜は令和７年８月 22 日（金），第２次選抜は令和７年９月 19 日（金）のそれぞれ 13 時からです。島根大学医学部（出雲キャンパス）構内（講義棟玄関前）に注意事項等を掲示しますので確認しておいてください。ただし，建物内には入れません。

(4)　受験票は令和７年８月７日(木)に発送する予定です。受験票が令和７年８月 18 日（月）までに到着しない場合には，学務課入試担当へ申し出てください。また，第１次選抜合格通知が令和７年９月９日（火）までに到着しない場合にも，学務課入試担当へ申し出てください。

(5)　受験に際して，宿泊所等の斡旋は行いません。

7　障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚・言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱，重複障がい，発達障がい，精神障がい，その他の障がい等）があり，受験上及び修学上配慮を必要とする場合は，次により相談してください。

なお，上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は，９ページの「(3) 連絡先」に相談してください。

(1) 事前相談の方法

次の事項について，「(2) 事前相談の期限」までに本学所定の用紙「島根大学入試受験相談書」（島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し「(3) 連絡先」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には，本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談を行います。

［1］氏名，志願学部，学科・課程，日程
［2］障がいの種類，程度
［3］受験上配慮を希望する事項
［4］修学上配慮を希望する事項
［5］出身学校でとられていた配慮
［6］日常生活の状況

(2) 事前相談の期限

事前相談の期限：令和７年６月 27 日（金）

「島根大学入試受験相談回答書」の送付までに３週間程度かかりますので，できるだけ早い時期に相談してください。

(3) 連絡先

島根大学医学部学務課入試担当
〒693-8501　出雲市塩冶町 89-1
TEL：(0853) 20-2087　FAX：(0853) 20-2079　E-mail：nyusi@med.shimane-u.ac.jp

8　将来研究者を志す方のために

将来研究者を志す方のために，医学科の基礎系，社会医学系，臨床系の各講座のうち希望する講座を選択し，配属された講座の教員の指導のもとで，卒業に必要な授業科目に加えて，自由選択科目「医学研究の基礎」として，医学の研究についての基礎を学ぶことができます。

また，現在，病理医や法医病理医などの基礎医学者の不足は深刻であり，全国的に各大学で早急な養成を目指す機運にありますので，本学でも基礎医学者の育成を重要な課題として取りあげています。

9　入学者選抜試験成績の提供

入学者選抜試験のうち，第１次選抜試験の成績に限り提供します。

提供内容　学力試験等の科目毎の得点・総合点及び総合順位（ランク区分）

申請時の必要書類	
入試情報提供申請書	申請は，医学部学務課入試担当へ郵送により行ってください。 ・入試情報提供申請書は，島根大学ホームページからダウンロードしてください。
受　験　票	受験票は正本のみとし，写しは不可です。なお，通知の際に返却します。
返信用封筒	返信用封筒（長形３号〔12cm×23.5cm〕）には，必ず申請者本人の住所，氏名を明記し，簡易書留分の切手（460円分）を貼ってください。 ※郵便料金は変更になる場合があります。
申請期間	① 令和８年５月１日（金）から５月29日（金）午後５時必着とします。ただし，土曜日，日曜日及び祝日を除きます。 ② 申請書の記入は，必ず本人が自書してください。 ③ 入試情報提供の通知は，郵送により行います。なお，通知書の発送は，申請書の受理後１ヶ月程度を要します。
申請及び提供場所	〒693-8501　島根県出雲市塩冶町89-1 島根大学医学部学務課入試担当　電話　0853-20-2087

10　入試に関する情報提供

入試問題の閲覧希望に応えるために，試験問題を本学ホームページに，令和８年５月以降に掲載します。ただし，著作権の関係で問題を掲載できない場合があります。

https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

11　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報については，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知及び

入学手続きを行うために利用します。

また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のＵＲＬをご参照ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

12　医学生地域医療奨学金

島根県の地域医療を担う医師育成のために，島根県による奨学金が設けられています。

へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持つ学生に奨学金を貸与し，県内の医師の確保及び充実を図ることを目的としています。

※島根県の奨学金の詳細については，県ホームページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html

○奨学金に関する問合せ

問合せ先　島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室

電　話　(0852)22-6684　E-mail　iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

13　キャリア形成について

⑴しまね地域医療支援センター

学士入学地域枠で入学した学生については，円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。

（しまね地域医療支援センターホームページ：https://www.allshimane.jp/）

⑵キャリア形成プログラム

学士入学地域枠で入学した学生については，卒業後の円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう，島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」が設けられています。

（キャリア形成プログラム　https://www.allshimane.jp/program/）

⑶キャリア形成卒前支援プラン

学士入学地域枠で入学した学生については、学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援することを目的として島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」が設けられています。

（キャリア形成卒前支援プラン https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html）

シラバス基本情報

更新日時	2025/03/04 15:29
科目分類	全学基礎教育科目
時間割コード	PJF0303
授業科目名	早期体験実習
授業科目名（英語）	
科目コード	PJF0300
科目ナンバー	
主担当教員	揖　靖(医学部)
単位数・時間数	単位数:1.0
履修年次	1・2年
開講学期	2025年度　通年
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	実習
授業の目的	入学後の早期に、本学医学部附属病院における医療現場を体験することにより、医療がどのように行われているかについて理解を深めるとともに、患者・医師関係や医療者の役割、チーム医療の重要性などを学び、医師を目指すものとして必要な医の倫理・プロフェッショナリズムやコミュニケーション能力を身につけます。また、医療現場で見いだされた疑問や問題点について、自らが能動的に学習し、解決するための手段について学びます。本実習により、今後の勉学に対する意欲が向上し、各学生の使命感・責任感がより一層強くなることを期待しています。 本実習を実施するに際して、医学生として医療現場に出て、患者や医療者と接するために必要な知識（医療安全、感染対策、個人情報保護、守秘義務等）や態度（マナー、コミュニケーション、アンプロフェッショナル等）についてオリエンテーションを行います。実習では、各診療科の教員の指導のもとで医療体験を行います(新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、病棟での実習は中止し、オンライン実習に変更となることがあります)。実習日誌には、今日の目標、実習内容、今日の振り返りを記載し、指導教員に見せてコメントをもらって下さい。実習後に、発表会を実施し、体験実習を総括します。
授業の到達目標	１．医の倫理、生命倫理を概説し、医師の職責を自覚することができる。 ２．コミュニケーションを通じて、良好な人間関係を築くことができる。 ３．患者の精神的・身体的苦痛を理解し、患者のプライバシーに配慮できる。 ４．保健、医療、福祉と介護のチームの各構成員の役割と連携の意義を説明できる。 ５．患者を取り巻く問題点を見出し、課題を解決するための方法について説明できる。

授業の内容および方法	以下の講義はSDGｓ　3.すべての人に健康と福祉を、4.質の高い教育をみんなに　に該当します。 1.個別の学修目標設定 　早期体験実習の開始に先立ち、診療科の指導教員と、今回の早期体験実習における学修目標を設定してください。これは、先に述べました、到達目標にそって、診療科でどのような知識や技術および態度を学んで修得する、身につけたいかを記述します。 2.実習日誌の記載 出席状況：指導教員の署名をもらい、今日の目標・実習内容・今日の振り返り：学べたこと、反省点を記載します。指導教員からのコメントをもらいます。 3.早期体験実習で学んだことの記載 　今回の早期体験実習で得た診療科のイメージはどのようなものですか？ 　今回の早期体験実習で特に印象に残った診療場面を記述してください。 　なぜその場面が印象に残ったのでしょうか？ 　現在の自分には足りないが、 第4学年の後半の臨床実習までには（医学的知識や技術以外で）身に着けておくべき能力は何か？どうやって身に着けるとよいか？についても記載してください。 その他、臨床現場を観察して気づいたことを自由に記述しておきましょう　の項目を記載して、早期体験実習で学んだことを総括してください。 最後に、Web上で、先に提示した５つの到達目標に対して、5 Excellent…1Very poorで5段階で自己評価をしてください。 指導は配属された講座，診療科等の全教員で行う
授業の進め方	＊ オリエンテーション：12月（決まり次第通知します） 　①医の倫理 　②マナー・コミュニケーション、個人情報保護 　③医療安全・感染対策 ＊ 医学体験実習： 　1/6(火)・1/7(水)終日…Aグループ（詳細後日） 　1/13(火)・1/14(水)終日…Bグループ（詳細後日） ＊ 実習のまとめ（グループワーク）：随時 ＊ 実習のまとめ（全体発表会）：2/5(木)13：00～16：35
授業キーワード	見学型実習、コミュニケーション、医の倫理、プロフェッショナリズム、態度 SDGs: 3.すべての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに
参考文献（その他）・授業資料等	1. Medical professionalism in the new millennium: a physician charter. Ann Intern Med 2002;136:243-6. 2. 緒方洪庵―幕末の医と教えー　中田雅博著　思文閣出版 3. 医療プロフェッショナリズム教育　リチャード・クルーズ　他　日本評論社 4. 医学教育の理論と実践　ロナルド・ハーデン　他　篠原出版新社 5. 医学教育モデル・コア・カリキュラム令和 4 年度改訂版
成績評価の方法およびその基準	指導教員は、実習生の出席状況、実習に対する態度・積極性、医師や病院スタッフとの良好な関係・コミュニケーションの項目について、5 Excellent…1Very poorで5段階で評価をします。 また、実習記録や発表会での内容によって総合的に評価します。
履修上の注意	令和4年11月18日公表された医学教育モデル・コア・カリキュラム令和 4 年度改訂版では、「臨床実習の学修目標には、知識や臨床推論、臨床判断等だけではなく、診察や基本的臨床手技等の技能、医師 のプロフェッショナリズム等の態度も含まれる。」ことが明記されいる。本大学医学部ではアンプロフェッショナルな学生とは、「医療安全・医療倫理の面から、このままでは将来、患者の診療に関わらせることができないと考えられる学生」と定義する（令和5年1月11日教授会制定）。そのため、早期体験実習に患者安全の観点から、学生の態度評価を厳密に行うことに留意されたい。
オフィスアワー	各実習担当指導者から指示します。
ディプロマポリシーとの関係区分	

アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	2:授業回数の15～50%
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	2:授業回数の15～50%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	0:実施していない
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	0:実施していない

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	ー:成績評価に使用していない
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	○:成績評価に使用している
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	ー:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	○:成績評価に使用している
		その他	○:成績評価に使用している
		自由記述	指導教員は、実習生の出席状況、実習に対する態度・積極性、医師や病院スタッフとの良好な関係・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの項目について、5 Excellent…1Very poorで5段階で評価を行う。
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	○:使用する

使用言語区分	日本語のみ
その他	この科目は実務経験のある教員による授業科目です。 医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の中で関連する内容 PR-01-01: 誠実さ PR-02-01: 思いやり PR-02-03: 品格・礼儀 CM-01-01: 患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用 IP-02-04: 他職種の理解

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間
授業の実施方法	面接授業（面接＋総授業時数の半数以下の遠隔授業を含む）／In-person class（In-person and some given as remote class for less than or equal to half of total class hours）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	楫　靖	医学部

シラバス詳細情報を共有している時間割が存在します

時間割所属	時間割コード	授業科目
教養教育・全学基礎教育	PGB3802	地域医療学Ⅰ
教養教育・全学基礎教育	GOB7222	地域医療学Ⅰ

シラバス基本情報

更新日時	2025/07/03 10:42
科目分類	全学基礎教育科目
時間割コード	GOB7222
授業科目名	地域医療学Ⅰ
授業科目名（英語）	
科目コード	GOB7220
科目ナンバー	
主担当教員	佐野　千晶(医学部)
単位数・時間数	単位数:2.0
履修年次	3・4年
開講学期	2025年度　後期
曜日・時限	金5,金6
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	1年次
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	講義・演習
授業の目的	１．地域社会における医療を多元的な視点から理解することを目指す ２．地域医療が抱える課題を解決するための方略を学ぶとともに、地域医療へ対する使命感を養う 【ディプローマポリシーとの関連】
授業の到達目標	１．地域医療の現状と問題点について説明できる ２．島根県の地域医療の現状と問題点について理解し、解決策を提案できる ３．医療を支える多職種間連携の必要性が理解できる ４．病診連携、病病連携、行政との連携の必要性について説明できる ５．へき地における医師の役割が理解できる ６．地域における疾病予防、健康増進の取り組みについて具体的な事例にもとづき説明できる ７．地域包括ケアシステムの概念、保健・医療・福祉・介護のつながりについて説明できる ８．世界の国々と日本との地域医療を相対的に比較検討し、特徴を分析できる ９．災害医療体制の変遷について説明できる 10．地域医療に対する使命感をもつことができる

授業の内容および方法		■講義日程 10． 3(金) 地域医療とは（佐野） 10.10(金) 医学史ー華岡流外科の普及と近代医学（梶谷） 10.17(金) 多職種連携Ⅰ（グループワーク）（堀田） 10.24(金) 多職種連携Ⅱ（伊藤）※特別講演 10.31(金) 市街地の地域医療（花田） 11．7（金） 離島の地域医療（白石） 11.14(金) 中山間地の地域医療Ⅰ（上野） 11.21(金) 中山間地の地域医療Ⅱ（角田） 11.28(金) ネパールでの医療貢献：その限界と将来（森） 12.12(金) 公衆衛生行政と地域医療（村下） 12.19(金) 地域包括ケア（谷口） 12.26(金) 災害医療（渡部） 1． 9(金) 高齢社会と地域医療（杉谷） 1.23(金) 病院前救急（布野） ■講義の時間配分 令和6年度より看護学科も必修となります 13：00～14：40 授業時間 13：00～14：25 講義 14：25～14：40 質疑応答およびレポート作成 １．講義資料はmoodle上で配布する ２．出席はレポート提出で確認する（moodleのレポート提出ボックスまで） ３．授業は基本14:25までとし、その後はレポート作成タイムとする ４．レポート提出の締め切りは講義後2日以内 ５．授業前課題を提示する場合がありますので、指示に従い必ず事前準備を行ったうえで履修すること ※出雲キャンパス開講科目です
授業の進め方		講義およびスモールグループディスカッションを基本とする
授業キーワード		【キーワード】 地域医療、離島医療、中山間地医療、多職種連携、海外医療、地域包括ケア、 公衆衛生行政、高齢社会、病院前救急、災害医療、医学史 【SDGs】 ３．すべての人に健康と福祉を 11．住み続けられるまちづくりを 16．平和と公正をすべての人に
参考文献（図書）	地域医療学入門	
	ISBN	4787823841
	書名	地域医療学入門
	巻次	
	著者名	日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会／監修
	出版社	診断と治療社
	出版年	2019
参考文献（その他）・授業資料等		1. World Health Organization. Increasing access to health workers in remote and rural areas through improved retention. Global policy recommendations. http://www.who.int/hrh/retention/guidelines/en/ 2. Nojima Y, Kumakura S, et al. Job and life satisfaction and preference of future practice locations of physicians on remote islands in Japan. Human Resources for Health 2015, 13:39 3．地域医療テキスト 自治医科大学監修 医学書院 2009 4．これから地域保健を担う人たちへ ー島根県の取り組みの実践からー 2010 5．村で病気とたたかう 若月俊一 岩波新書 1971 6．草の根に生きる―愛媛の農村からの報告 岩波新書 1973 （絶版のため地域医療支援学から貸し出し可） 7．自分たちで生命を守った村 菊地武雄 岩波新書 1972 8．華岡青洲の妻 有吉佐和子 新潮文庫 1970 9．島根の医療 島根県HP https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/shimaneno_iryo/shuchou.html″

成績評価の方法およびその基準	【評価方法】総括評価 各講義レポート　割合：90%（毎回実施） 多肢選択問題・課題テスト　割合：10%　（第10回、第11回、第13回で実施） 【合格基準】 総括評価全体を100点に換算した際の平均点が60点以上
履修上の注意	１．講義資料ならびにレポート用紙は当日紙で配布する ２．出席はレポート提出で確認する ３．授業は基本14:30までとし、その後レポート作成タイムとする ４．レポート提出の締め切りは講義後2日後以内とする ５．第2回の講義前日までに『華岡青洲の妻』を読んでおく（レポート課題に含む） ※出雲キャンパス開講科目です。
オフィスアワー	佐野千晶（地域医療支援学講座教授）、各講師への質問等随時受付中 career@med.shimane-u.ac.jpに連絡して下さい

ディプロマポリシーとの関係区分			
アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	3:授業回数の50%を超える
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	0:実施していない
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	2:授業回数の15～50%
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	0:実施していない

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	○:成績評価に使用している
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	－:成績評価に使用していない
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	－:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	－:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	－:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	－:成績評価に使用していない
		その他	－:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	－:使用しない

使用言語区分	日本語のみ
その他	この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間～1時間半
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	佐野　千晶	医学部

令和６年度 全学基礎教育(全学共通教育) 新規開講科目申請書

授業科目・題目	地域医療学Ⅱ		
科目区分	新カリ（全学基礎教育）：地域創生科目群 旧カリ（全学共通教育）：教養育成科目／発展科目		
学問分野の別	学際分野		
主担当教員	佐野　千晶	開講期別	通年
曜日	その他	時限	その他
単位数	1	週時数	
履修資格	２年生以上，医学部の学生		
備考	令和６年度以降入学の医学科２年生は必修（令和５年度以前入学の学生も履修可） 医学部以外の学生で履修を希望する場合にはあらかじめ医学部学務課教務担当へ連絡すること。		

授業の概要（※記入欄が不足する場合は、適宜枠を拡大して下さい）

授業形態	講義・演習
授業の目的	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野等も持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。 【ディプローマポリシーとの関連】 ＜地域医療への志向力＞ 地域医療が抱える諸問題に対して積極的に取組もうとすることができる
授業の到達目標	（１）相手の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。 （２）相手の語りのコンテクストを想像し、尊重することができる。 （３）医師に求められる品格とはどのようなものかを考えることができる。 （４）人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。 （５）身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。 （６）地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。 （７）地域の医療需要の変化へ対応する必要が理解できる。 （８）地域ごとの公衆衛生上の課題の傾向や違いについて理解できる。 （９）地域医療に対する使命感をもつことができる
授業の内容および授業方法	（※授業全体の計画について説明すべきことがあればこの欄に記入して下さい。） 方略として PBL を含む。

各回の授業内容（※期末試験は１５回目）		担当教員
１.	テーマ１ 医師と患者が綴るダイアローグ ３. すべての人に健康と福祉を（SDGｓ）	佐野
２.	テーマ１　プロダクト作成	佐野
３.	テーマ１　プレゼン　リフレクション	佐野
４.	演習　ロールプレイ	嘱託講師
５.	テーマ２ 公衆衛生ケースメソッド 11. 住み続けられるまちづくりを（SDGｓ）	佐野
６.	テーマ２　プロダクト作成	佐野
７.	テーマ２　プレゼン　リフレクション	佐野
８.	期末試験またはレポート	佐野

授業の進め方	講義およびスモールグループディスカッションを基本とする
授業キーワード	【キーワード】 地域医療、全人的医療、Bio-Psycho-Social モデル、医療における対話、へき地医療、生涯学習、多職種連携、地域包括ケア、公衆衛生行政、 ＜SGDs との関連＞ 3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを 16. 平和と公正をすべての人に
テキスト	ISBN：4787823841 書名：地域医療学入門 著者名：日本医学教育学会地域医療教育委員会・全国地域医療教育協議会合同編集委員会／監修 出版社：診断と治療社 出版年：2019
参考文献	（参考文献・授業資料等） 1. World Health Organization. Increasing access to health workers in remote and rural areas through improved retention. Global policy recommendations. http://www.who.int/hrh/retention/guidelines/en/ 2. 地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか　(編集)鳥取大学医学部地域医療学講座　(監修)谷口晋一、孫大輔 3. 村で病気とたたかう　若月俊一　岩波新書　1971 4. 草の根に生きる一愛媛の農村からの報告　岩波新書 1973 （絶版のため地域医療支援学から貸し出し可） 5. 自分たちで生命を守った村　菊地武雄　岩波新書　1972 6. 島根の医療 島根県 HP https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/shimaneno_iryo/shuchou.html〃
その他授業資料等	
成績評価の方法およびその基準	評価方法：各講義レポート　配点の割合：90 評価方法：プロダクト　配点の割合：10 【合格基準】 • 総括評価全体を 100 点に換算した際の平均点が 60 点以上
履修上の注意	1. スモールグループディスカッションを行う。 2. 出席はレポート提出で確認する 3. 態度評価を行う。 ※出雲キャンパス開講科目です。
オフィスアワー	佐野千晶（地域医療支援学講座教授)、各講師への質問等随時受付中 career@med.shimane-u.ac.jp に連絡して下さい
その他※	

BC,CS 科目記載 ※実務家教員は記載	
準備学修に必要な学修の時間（1回の授業当たり）	1時間
授業の実施方法	面接授業

ベーストーン科目、キャップストーン科目への指定を希望する場合は、「その他」欄にご記載ください。

※ ご記入後、教育企画課までご提出下さい。

シラバス詳細情報を共有している時間割が存在します

時間割所属	時間割コード	授業科目
医学部医学科	114515J	環境保健医学Ⅰ
医学部医学科	114525J	環境保健医学Ⅱ

シラバス基本情報

更新日時	2025/05/07 11:20
科目分類	社会医学系
時間割コード	114515J
授業科目名	環境保健医学Ⅰ
授業科目名（英語）	
科目コード	1145150
科目ナンバー	
主担当教員	名越　究(医学部)
単位数・時間数	時間数:15.0
履修年次	3年
開講学期	2025年度　前期
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	講義
授業の目的	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 地域における疾病予防と健康増進を念頭に置いた保健・医療活動ができるようになるために、社会における健康課題とその成因・背景を、疫学を基礎として理解する。また、ライフサイクルに沿った健康課題に対して、根拠に基づく予防対策を身につける。保健医療政策による疾病予防を理解する。 基礎医学及び臨床医学で臓器別、機能別に学習してきた健康問題を、一人の人間が様々な生活環境とライフスタイルの中で経験する健康問題として総合的にみる視点を習得する。 公衆衛生学・予防医学の理解により、社会や生活と医学・医療の橋渡しができることを目標とする。 【ディプロマシーポリシーとの関連】 ＜知識を統合し活用する能力＞ 基礎医学、社会医学及び臨床医学で習得した知識を統合し、医学・医療に関する事象を幅広い視野で考えることができる。
授業の到達目標	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ １．公衆衛生学がどのような学問か説明できる。 ２．疫学の重要性、疫学手法の種類と特徴、疫学の応用を理解する。 ３．保健統計を理解し、わが国の健康課題を説明できる。 ４．主な生活習慣病の動向、その発生要因、予防方法を概説できる。 ５．国や地方の保健医療行政における健康課題に対する取組について説明できる。 ６．災害等健康危機管理の現状について理解する。 ７．日常生活における環境起因性疾病について説明できる。 ８．空気・水・物理的環境要因等による生体に及ぼす影響について概説できる。 ９．コミュニティヘルスケアの立場から、疾病の予防について説明できる。

授業の内容および方法	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞　SDGs対象は丸数字 ※変更が生じた際はmoodleで報せる 1　5.13（火 ）　 9:40 - 10:40　P3　Ⅰ　公衆衛生学総論　名越　③④ 2　5.13（火 ）　10:50 - 11:50　P3　Ⅰ　環境と健康　名越　③④⑥⑦⑬⑭⑮ 3　5.20（火 ）　 9:40 - 10:40　P3　Ⅱ　社会保障と医療制度　定金①②③④
授業の進め方	面接での講義を基本とする。 オムニバス形式で様々な講師が担当する。

授業キーワード	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 公衆衛生、疫学、精神保健、障害者福祉、疾病予防・健康増進、環境保健、予防医学、産業衛生、母子保健、小児保健、学校保健、医動物学、医療安全、国際保健、高齢者保健福祉 SDGs: 1.　貧困をなくそう 2.　飢餓をゼロに 3．すべての人に健康と福祉を 4．質の高い教育をみんなに 6.　安全な水とトイレを世界中に 7.　エネルギーをみんなに。そしてクリーンに 8.　働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう 15.緑の豊かさも守ろう 17.パートナーシップで目標を達成しよう
参考文献（その他）・授業資料等	【教科書】 赤澤宏平他監修：公衆衛生がみえる、メディックメディア 【参考図書】 厚生労働統計協会編：国民衛生の動向、厚生労働統計協会 小山洋他編：シンプル衛生公衆衛生学、南山堂 柳川洋他編：公衆衛生マニュアル、南山堂 中村好一：基礎から学ぶ楽しい疫学、医学書院 森晃爾編：産業保健マニュアル、南山堂
成績評価の方法およびその基準	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 【評価方法】 出席と小テスト、課題、中間(6/12)・期末(7/15）試験の点数を総合して評価する。 【合否基準】 総合評価６０点以上を合格とする。 知識、技能に加えて態度を観察します。
履修上の注意	遅刻、特別な理由のない途中退出、小テスト未受験などは厳しく減点評価します。
オフィスアワー	随時受付けます。電話、メールで照会してください。 環境保健医学講座　公衆衛生学ユニット(2164）　nagoshi@med.shimane-u.ac.jp

ディプロマポリシーとの関係区分			
アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	3:授業回数の50%を超える
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	2:授業回数の15～50%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	2:授業回数の15～50%
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	2:授業回数の15～50%

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	○:成績評価に使用している
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	ー:成績評価に使用していない
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	○:成績評価に使用している
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	ー:成績評価に使用していない
		その他	ー:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	ー:使用しない
使用言語区分		日本語のみ	
その他		＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ この科目は実務経験のある教員による授業科目です。 【コア・カリ(R4)との関連】 PR-03: 教養 PR-04: 生命倫理 GE: 総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 RE: 科学的探究 PS: 専門知識に基づいた問題解決能力 CM: コミュニケーション能力 IP: 多職種連携能力 SO: 社会における医療の役割の理解	

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間未満
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	谷口　かおり	医学部
2	松本　伸哉	医学部
3	田村　太朗	医学部医学科
4	名越　究	医学部

シラバス詳細情報を共有している時間割が存在します

時間割所属	時間割コード	授業科目
医学部医学科	114515J	環境保健医学Ⅰ
医学部医学科	114525J	環境保健医学Ⅱ

シラバス基本情報

更新日時	2025/05/07 11:20
科目分類	社会医学系
時間割コード	114525J
授業科目名	環境保健医学Ⅱ
授業科目名（英語）	
科目コード	1145250
科目ナンバー	
主担当教員	名越　究(医学部)
単位数・時間数	時間数:15.0
履修年次	3年
開講学期	2025年度　前期
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	講義
授業の目的	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 地域における疾病予防と健康増進を念頭に置いた保健・医療活動ができるようになるために、社会における健康課題とその成因・背景を、疫学を基礎として理解する。また、ライフサイクルに沿った健康課題に対して、根拠に基づく予防対策を身につける。保健医療政策による疾病予防を理解する。 基礎医学及び臨床医学で臓器別、機能別に学習してきた健康問題を、一人の人間が様々な生活環境とライフスタイルの中で経験する健康問題として総合的にみる視点を習得する。 公衆衛生学・予防医学の理解により、社会や生活と医学・医療の橋渡しができることを目標とする。 【ディプロマシーポリシーとの関連】 ＜知識を統合し活用する能力＞ 基礎医学、社会医学及び臨床医学で習得した知識を統合し、医学・医療に関する事象を幅広い視野で考えることができる。
授業の到達目標	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ １．公衆衛生学がどのような学問か説明できる。 ２．疫学の重要性、疫学手法の種類と特徴、疫学の応用を理解する。 ３．保健統計を理解し、わが国の健康課題を説明できる。 ４．主な生活習慣病の動向、その発生要因、予防方法を概説できる。 ５．国や地方の保健医療行政における健康課題に対する取組について説明できる。 ６．災害等健康危機管理の現状について理解する。 ７．日常生活における環境起因性疾病について説明できる。 ８．空気・水・物理的環境要因等による生体に及ぼす影響について概説できる。 ９．コミュニティヘルスケアの立場から、疾病の予防について説明できる。

授業の内容および方法	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞　SDGs対象は丸数字 ※変更が生じた際はmoodleで報せる 1　5.13（火 ）　 9:40 - 10:40　P3　Ⅰ　公衆衛生学総論　名越　③④ 2　5.13（火 ）　10:50 - 11:50　P3　Ⅰ　環境と健康　名越　③④⑥⑦⑬⑭⑮ 3　5.20（火 ）　 9:40 - 10:40　P3　Ⅱ　社会保障と医療制度　定金①②③④
授業の進め方	面接での講義を基本とする。 オムニバス形式で様々な講師が担当する。

授業キーワード	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 公衆衛生、疫学、精神保健、障害者福祉、疾病予防・健康増進、環境保健、予防医学、産業衛生、母子保健、小児保健、学校保健、医動物学、医療安全、国際保健、高齢者保健福祉 SDGs: 1.　貧困をなくそう 2.　飢餓をゼロに 3．すべての人に健康と福祉を 4．質の高い教育をみんなに 6.　安全な水とトイレを世界中に 7.　エネルギーをみんなに。そしてクリーンに 8.　働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう 15.緑の豊かさも守ろう 17.パートナーシップで目標を達成しよう
参考文献（その他）・授業資料等	【教科書】 赤澤宏平他監修：公衆衛生がみえる、メディックメディア 【参考図書】 厚生労働統計協会編：国民衛生の動向、厚生労働統計協会 小山洋他編：シンプル衛生公衆衛生学、南山堂 柳川洋他編：公衆衛生マニュアル、南山堂 中村好一：基礎から学ぶ楽しい疫学、医学書院 森晃爾編：産業保健マニュアル、南山堂
成績評価の方法およびその基準	＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ 【評価方法】 出席と小テスト、課題、中間(6/12)・期末(7/15）試験の点数を総合して評価する。 【合否基準】 総合評価６０点以上を合格とする。 知識、技能に加えて態度を観察します。
履修上の注意	遅刻、特別な理由のない途中退出、小テスト未受験などは厳しく減点評価します。
オフィスアワー	随時受付けます。電話、メールで照会してください。 環境保健医学講座　公衆衛生学ユニット(2164）　nagoshi@med.shimane-u.ac.jp

ディプロマポリシーとの関係区分			
アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	3:授業回数の50%を超える
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	2:授業回数の15～50%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	2:授業回数の15～50%
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	2:授業回数の15～50%

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	○:成績評価に使用している
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	ー:成績評価に使用していない
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	○:成績評価に使用している
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	ー:成績評価に使用していない
		その他	ー:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	ー:使用しない
使用言語区分		日本語のみ	
その他		＜環境保健Ⅰ・Ⅱ共通＞ この科目は実務経験のある教員による授業科目です。 【コア・カリ(R4)との関連】 PR-03: 教養 PR-04: 生命倫理 GE: 総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL: 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 RE: 科学的探究 PS: 専門知識に基づいた問題解決能力 CM: コミュニケーション能力 IP: 多職種連携能力 SO: 社会における医療の役割の理解	

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間未満
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	松本　伸哉	医学部
2	田村　太朗	医学部医学科
3	谷口　かおり	医学部
4	名越　究	医学部

シラバス基本情報

更新日時	2024/10/11 10:56
科目分類	臨床医学系
時間割コード	116401J
授業科目名	総合診療・地域医療
授業科目名（英語）	
科目コード	1164010
科目ナンバー	
主担当教員	牧石　徹也(医学部医学科)
単位数・時間数	時間数:30.0
履修年次	3年
開講学期	2024年度　後期
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	講義
授業の目的	総合診療・地域医療コースでは、生涯学習として必要なスキルである自己主導型学習を学び、それを実践するために、Problem-based-Learning形式での学習を行う。このコースを通じて、臨床推論の流れを理解し、一般的な症候の鑑別疾患を想起できること、また患者の症状・診察・検査結果からプロブレムを抽出できるようになること、在宅医療・介護保険の仕組みを説明できること、Social Determinants of Health（SDH）について理解することを目標としています。内容としては、問診から始まる初期診療の組み立ての学習が中心となる。日常診療で多い症候に対して鑑別診断を挙げ、その仮説を修正しながら考えていく思考プロセスを身につけることになります。
授業の到達目標	1.　問診、身体所見、検査所見から診断に導く初期診療の組み立てを理解し，基本的診療計画を立案できる。 2.　患者の症状・診察・検査結果からプロブレムを抽出できる。 3.　病歴を聴取できる。 4.　患者の疾患・病い・健康観を理解する事について知識を有する。 患者の疾患・病い・健康観を統合して理解する事について知識を有する。 患者のコンテクストを理解する事について知識を有する。 5.　臨床推論について説明できる。 6.　血液検査、尿検査の基準範囲の意義を理解し，測定誤差の要因を説明できる。 7.　日常診療で多い症候（発熱、咳、腹痛、頭痛、胸痛）について、鑑別診断を説明できる。 8.　一般的な身体診察法（基本的な流れ、バイタルサインの解釈）についての知識を有する。 9.　一般的な身体診察法（胸部の聴診）の結果を解釈できる。 10.　疑問を調べる際の適切な方法を説明できる。 11.　論文を読むための基本的な型を理解する。 12.　疑問を調べる際の基本的な医学英語を理解できる。 13.　在宅医療で行う範囲、在宅医療の価値・意義について、患者の自己実現支援という観点から理解する。 14.　介護保険制度の概要について知識を得る。介護保険制度において、医師は主治医意見書を作成する必要がある事を理解する。 15.　主治医意見書の記載方法、ADLレベル、認知症レベルの判定方法について理解する。介護保険制度における介護サービスの種類、内容、適応について知識を得る。 16.　総合診療及び総合診療医の役割について説明できる。 17.　SDHについて説明できる。

授業の内容および方法	一般的検査の種類，結果の解釈，感度特異度・尤度比 疑問の調べ方、論文の読み方 医療面接 症候学：発熱、咳、胸痛、頭痛、腹痛 臨床推論、診断の進め方 全身状態とバイタルサイン、胸部の聴診 総合診療について 健康の社会的決定要因(social determinant of health) 介護保険、在宅診療について
授業の進め方	コース実施期間に講義を行い，試験を実施します。 1つの症例について、グループ単位で内容を検討して最終日に発表します。
授業キーワード	総合診療，地域医療，臨床推論，EBM，介護保険，在宅医療，臨床検査 SDH(Social determinants of health)：健康の社会的決定要因，健康格差 SDGs： 3.すべての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに
参考文献（その他）・授業資料等	参考図書（購入の必要は必ずしもありません） 1.　一目でわかる病態生理（2001），松野 一彦，メディカルサイエンスインターナショナル
成績評価の方法およびその基準	最終発表のプレゼンテーションと筆記試験によって評価を行います。
履修上の注意	授業の中で特に準備が必要なもの ・10月22日火曜日“疑問の調べ方”担当：佐藤誠先生 ネット環境、ノートパソコン、ipadなどネットに接続できる環境を準備しておいてください。またこの授業の前に、島根大学構内で下記のup to dateのサイトにアクセスして、右のサイトで予めregisterとlog inを済ませてから、授業に臨んでください。大学構内でアクセスしていなければ、初回の場合は自宅ではアクセスできません。 佐藤先生の授業中にUp to dateを使用して、実際に疑問の調べ方を行います。 授業開始前に、予め授業中に使用する機器でup to dateが開ける状況にあるか確認しておいてください。 講義及びグループワークの場所について ・授業は、基本的に講義室での講義とオンデマンドで行います。 オンデマンドの授業は、受講するスケジュールの目安を記載しています。 ・グループワークについては、各グループで協力して連絡を取り合いながら各シナリオの課題に取り組んでください。グループ内のディスカッションに参加せず、また和を乱す行為が目立つ場合は、それも含めた評価となります。
オフィスアワー	適宜
ディプロマポリシーとの関係区分	

アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	3:授業回数の50%を超える
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	1:授業回数の5～15%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	3:授業回数の50%を超える
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	3:授業回数の50%を超える

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	○:成績評価に使用している
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	○:成績評価に使用している
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	－:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	－:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	－:成績評価に使用していない
		レポート	－:成績評価に使用していない
		ポートフォリオ評価法	－:成績評価に使用していない
		その他	－:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	○:使用する

使用言語区分	日本語のみ
その他	【局所解剖】なし この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間
授業の実施方法	面接授業（面接＋総授業時数の半数以下の遠隔授業を含む）／In-person class（In-person and some given as remote class for less than or equal to half of total class hours）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	牧石　徹也	医学部医学科

シラバス基本情報

更新日時	2024/12/24 14:42
科目分類	臨床医学系
時間割コード	116416J
授業科目名	環境保健医学実習
授業科目名（英語）	
科目コード	1164160
科目ナンバー	
主担当教員	名越　究(医学部)
単位数・時間数	時間数:30.0
履修年次	3・4年
開講学期	2024年度　年度（後）
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	必修
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	実習
授業の目的	１．防災・減災と緊急時の医療確保について説明できる ２．大規模事業所の産業保健について説明できる ３．災害拠点病院の在り方について説明できる ４．放射線防護について説明できる ５．地球温暖化防止について説明できる ６．高齢者福祉について説明できる
授業の到達目標	１．地域の公衆衛生に医学・医療が関与していることを理解する。 ２．公衆衛生（保健所実習、高齢者保健、環境保健など）の実際の活動の内容を理解する。
授業の内容および方法	10月22日（火）16:20-17:20　オリエンテーション、班分け等 11月5日（火）15:10-17:20　事前学習①
授業の進め方	詳細はMoodleを参照してください。
授業キーワード	環境保健医学実習 SDGs: 3．すべての人に健康と福祉を　全講義 4．質の高い教育をみんなに　　全講義
参考文献（その他）・授業資料等	説明資料はMoodleに掲載します。
成績評価の方法およびその基準	１．実習態度及び実習報告書による。 ２．実習グループのまとまり、グループの共通理解の程度も評価の対象とする。 （同じ実習班なのに、分業して他のメンバーの実習内容が分からないような状況は避けること。） ３．実習であるため原則欠席は認めない。体調不良や忌引等やむを得ない理由で欠席となる場合は、大学規定に従い欠席届を講座に提出する。それ以外は、1日でも欠席した場合は、進級判定の対象となる。 ４．発表会等での積極的な発言は評価の対象となる。

履修上の注意	実習の心得 ・単なる見学にとどまることなく、可能な限り現場を体験すること。インタビューや質問も積極的に行うこと。 ・具体的な実習の内容や日程は、担当教員の指導を受けながら行う。 ・学外訪問の際は、時間管理・服装・言葉遣い・態度など、医学生・成人として失礼のない姿勢で臨むこと。 ・実習先ではマスクを着用し、施設内の感染予防対策に従うこと。 ・実習に備え体調管理を万全にするが、万が一、発熱、体調不良等ある場合は、大学の規定に従い速やかに講座へ連絡する。
オフィスアワー	適宜
ディプロマポリシーとの関係区分	

アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	3:授業回数の50%を超える
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	3:授業回数の50%を超える
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	3:授業回数の50%を超える
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	3:授業回数の50%を超える

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	ー:成績評価に使用していない
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	○:成績評価に使用している
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	ー:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	ー:成績評価に使用していない
		その他	○:成績評価に使用している
		自由記述	実習発表会を開催
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	○:使用する

使用言語区分	日本語のみ
その他	この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間未満
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	田村　太朗	医学部医学科
2	松本　伸哉	医学部
3	名越　究	医学部

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
4	谷口　かおり	医学部

令和７年

臨 床 実 習 の 手 引 き

〔臨 床 実 習 Ⅰ〕

島根大学医学部

臨床実習について

本学医学科における臨床実習は、4年次1月から6年次7月までの間に72週間(変更になることがあります)にわたって、病棟および外来での実習(本学医学部附属病院を中心に関連教育病院・診療所を含む)で行われる重要な卒前医学教育課程である。

実習は、以下の3つの実習から構成されている。

1. 臨床実習Ⅰ(44週)
   - 小児科、産科婦人科、精神科神経科、総合診療／地域医療学:各4週
   - 内科系診療科:血液内科、膠原病内科、呼吸器内科、内分泌内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科(肝臓内科を含む)、腎臓内科、脳神経内科(脳卒中センターを含む)、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、臨床検査(薬剤部、臨床研究センター、病理)、緩和ケア、(精神科、小児科、総合診療科):各1週
   - 外科系診療科:外傷センター、眼科、救急科、形成外科、呼吸器外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、循環器外科、消化器総合外科(乳腺外科、小児外科を含む)、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、(産婦人科):各1週
2. 臨床実習Ⅱ(28週)
   - 内科系診療科:血液内科、膠原病内科、呼吸器内科、内分泌内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科(肝臓内科を含む)、腎臓内科、脳神経内科(脳卒中センターを含む)、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、臨床検査、病理、緩和ケア、(精神科神経科、小児科、総合診療)
   - 外科系診療科:外傷センター、眼科、救急科、形成外科、呼吸器外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、循環器外科、消化器総合外科(乳腺外科、小児外科を含む)、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、(産婦人科)
3. フレキシブル実習

まず、4−5年次の臨床実習Ⅰにおいては、附属病院の全診療科をローテーションして実習を行う。この時、小児科、産科婦人科、精神科神経科、総合診療／地域医療学は4週間連続の実習を行う。それ以外は、1週間の実習である。5−6年次の臨床実習Ⅱでは、内科系診療科と外科系診療科をそれぞれ3つずつ計6診療科を選択して、それぞれ4週間連続の実習を行う。残りの4週間はフレキシブル研修として、本院での実習だけでなく県内外の病院や海外研修などを行うことができる。

臨床実習は、可能な限り、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加する診療参加型形式の実習(クリニカルクラークシップ)を行うようにしており、実習の到達度については、学生、教員双方が端末から CC-EPOC に入力する。臨床実習は、学生自身が直接患者さんに接して実習を行うものであり、とりわけ、クリニカルクラークシップにおいては、当然のこととして、学生にも一定レベル以上の医学知識・技術・態度が求められ、自らの主体性と責任感をもった上で実習に臨む必要があり、本手引きに記載されている注意事項を事前に熟読し、実習に臨まなければならない。

目　　次

Ⅰ．クリニカルクラークシップとは…… 1
Ⅱ．学習目標…… 1
Ⅲ．医学生の臨床実習において，一定条件下で許容される基本的医行為…… 1
Ⅳ．クリニカルクラークシップにおける１日の流れ…… 2
Ⅴ．学生の正規カルテへの記録について…… 3
Ⅵ．個人情報の保護について…… 4
Ⅶ．学生の遵守事項…… 4
Ⅷ．評価・単位認定の要件…… 7
Ⅸ．感染事故への対応…… 8
Ⅹ．賠償責任保険加入の勧め…… 9
Ⅺ．クリニカルスキルアップセンター備品一覧……10

臨床実習Ⅰ
臨床実習Ⅰグループ別日程表……14
内分泌代謝内科……15
血液内科……17
腫瘍内科……19
消化器内科・肝臓内科……21
脳神経内科……23
膠原病内科……26
循環器内科……28
腎臓内科……30
呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）……32
皮膚科……34
形成外科……36
小児科……38
消化器・総合外科……43
循環器・心臓血管外科……45
呼吸器外科……47
整形外科……49
リハビリテーション科……51
脳神経外科……53
泌尿器科……55

精神科神経科……56
産科婦人科……58
耳鼻咽喉・頭頸部外科……65
眼科……66
放射線科……67
放射線治療科……69
麻酔科……71
緩和ケア科……72
歯科口腔外科……74
臨床検査医学　検査部・輸血部・病理部・薬剤部……76
救急科……79
Acute Care Surgery……81
医学部附属病院案内図……84

臨　床　実　習　Ⅰ

（令和 7.1.6～令和 7.12.12）

臨床実習Ⅰグループ別日程表

	1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W		17W	18W	19W	20W	21W	22W	23W	24W	25W	26W	27W	28W		29W	30W	31W	32W	33W	34W	35W	36W	37W	38W	39W	40W	41W	42W	43W	44W	
	1クール				2クール				3クール				4クール					5クール				6クール				7クール					8クール				9クール				10クール				11クール				
	1/6 ～ 1/10	1/14 ～ 1/17	1/20 ～ 1/24	1/27 ～ 1/31	2/3 ～ 2/7	2/10 ～ 2/14	2/17 ～ 2/21	2/25 ～ 2/28	3/3 ～ 3/7	3/10 ～ 3/14	3/17 ～ 3/21	3/24 ～ 3/28	3/31 ～ 4/4	4/7 ～ 4/11	4/14 ～ 4/18	4/21 ～ 4/25	4/28 ～ 5/2	5/5 ～ 5/9	5/12 ～ 5/16	5/19 ～ 5/23	5/26 ～ 5/30	6/2 ～ 6/6	6/9 ～ 6/13	6/16 ～ 6/20	6/23 ～ 6/27	6/30 ～ 7/4	7/7 ～ 7/11	7/14 ～ 7/18	7/22 ～ 7/25	7/28 ～ 8/1	8/4 ～ 8/8	8/11 ～ 8/15	8/18 ～ 8/22	8/25 ～ 8/29	9/1 ～ 9/5	9/8 ～ 9/12	9/16 ～ 9/19	9/22 ～ 9/26	9/29 ～ 10/3	10/6 ～ 10/10	10/14 ～ 10/17	10/20 ～ 10/24	10/27 ～ 10/31	11/4 ～ 11/7	11/10 ～ 11/14	11/17 ～ 11/21	11/25 ～ 11/28	12/1 ～ 12/5	12/8 ～ 12/12	
1G	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				春休み	小児科				放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	夏休み	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外	学年末試験
2G	膠原	内分泌	腫内	血内	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻		リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	
3G	血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS		麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循内	循外	脳内	脳外	消内	消外	
4G	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急		緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	
5G	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				小児科				放射	放治	歯科	検・病		救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿	
6G	消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	腫内	血内	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				小児科				放治	放射	検・病	歯科		ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	
7G	脳内	脳外	消内	消外	血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				小児科				歯科	検・病	放射	放治		耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循内	循外	
8G	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				小児科				検・病	歯科	放治	放射		眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	
9G	循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科					放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	
10G	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	腫内	血内	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科					放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	
11G	腎内	泌尿	循内	循外	脳内	脳外	消内	消外	血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科					歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外	
12G	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科					検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	
13G	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	
14G	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	腫内	血内		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	
15G	皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循内	循外	脳内	脳外	消内	消外	血内	腫内	内分泌	膠原		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	
16G	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科					小児科				検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	
17G	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外		内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科					
18G	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内		膠原	内分泌	腫内	血内	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻					
19G	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循内	循外	脳内	脳外	消内	消外		血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS					
20G	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内		腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科					精神科神経科				検・病	歯科	放射	放治	眼科	耳鼻	ACS	救急					
21G	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿		消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科				放射	放治	歯科	検・病	
22G	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内		循外	循内	脳外	脳内	膠原	内分泌	腫内	血内	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科				放治	放射	検・病	歯科	
23G	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循内	循外		脳内	脳外	消内	消外	血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科				歯科	検・病	放射	放治	
24G	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内		脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域					産科婦人科				精神科神経科				小児科				検・病	歯科	放治	放射	
25G	放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成		循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科				
26G	放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚		循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	内分泌	膠原	血内	腫内		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科				
27G	歯科	検・病	放治	放射	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外		腎内	泌尿	循内	循外	脳内	脳外	消内	消外	血内	腫内	内分泌	膠原		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科				
28G	検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内		泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌		総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科				
29G	小児科				放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和		呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿	消内	消外	脳内	脳外		内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				
30G	小児科				放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔		呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内		膠原	内分泌	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				
31G	小児科				歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ		皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	歯内	循外	脳内	脳外	消内	消外		血内	腫内	内分泌	膠原	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				
32G	小児科				検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形		形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消内	消外		腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				
33G	精神科神経科				小児科				放射	放治	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科		整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	腎内	泌尿		消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科				
34G	精神科神経科				小児科				放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻		リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内		消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	血内	腫内	総診/地域				産科婦人科				
35G	精神科神経科				小児科				歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS		麻酔	リハ	整形	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成	泌尿	腎内	循外	循内		脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科				
36G	精神科神経科				小児科				検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急		緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内		脳内	脳外	消内	消外	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域				産科婦人科				
37G	産科婦人科				精神科神経科				小児科				放射	放治	歯科	検・病		救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和	呼内	呼外	皮膚	形成		循内	循外	泌尿	腎内	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	総診/地域				
38G	産科婦人科				精神科神経科				小児科				放治	放射	検・病	歯科		ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔	呼外	呼内	形成	皮膚		産外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	血内	腫内	総診/地域				
39G	産科婦人科				精神科神経科				小児科				歯科	検・病	放射	放治		耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ	皮膚	形成	呼内	呼外		腎内	循外	泌尿	腎内	脳内	脳外	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域			
40G	産科婦人科				精神科神経科				小児科				検・病	歯科	放治	放射		眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形	形成	皮膚	呼外	呼内		泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	総診/地域		
41G	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科					放治	放射	歯科	検・病	救急	ACS	耳鼻	眼科	整形	リハ	麻酔	緩和		呼内	呼外	皮膚	形成	循内	循外	泌尿	腎内	消内	消外	脳内	脳外	内分泌	膠原	血内	腫内	
42G	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科					放治	放射	検・病	歯科	ACS	救急	眼科	耳鼻	リハ	整形	緩和	麻酔		呼外	呼内	形成	皮膚	循外	循内	泌尿	腎内	消外	消内	脳外	脳内	膠原	内分泌	腫内	血内	
43G	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科					歯科	検・病	放射	放治	耳鼻	眼科	救急	ACS	麻酔	緩和	整形	リハ		皮膚	形成	呼内	呼外	腎内	泌尿	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	
44G	総診/地域				産科婦人科				精神科神経科				小児科					検・病	歯科	放治	放射	眼科	耳鼻	ACS	救急	緩和	麻酔	リハ	整形		形成	皮膚	呼外	呼内	泌尿	腎内	循外	循内	脳外	脳内	消外	消内	腫内	血内	膠原	内分泌	

令和７年

臨 床 実 習 の 手 引 き

〔臨 床 実 習 Ⅱ〕

島根大学医学部

目　　次

令和６年　臨床実習Ⅱ日程表…… 1
内分泌代謝内科…… 2
血液内科…… 4
腫瘍内科…… 6
消化器・肝臓内科…… 8
脳神経内科……10
膠原病内科……13
循環器内科……15
腎臓内科……17
呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）……19
皮膚科……21
形成外科……23
小児科……25
消化器・総合外科……27
循環器外科（心臓血管外科）……29
呼吸器外科……31
整形外科……33
リハビリテーション科……34
脳神経外科……36
泌尿器科……38
精神科神経科……39
産科婦人科……41
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学……44
眼科……45
放射線科……46
放射線治療科……48
麻酔科……50
歯科口腔外科……52
臨床検査……54
病理診断科……55
救急科……57
Acute Care Surgery……59
総合診療科……61
医学部附属病院案内図……63

令和７年　臨床実習Ⅱ日程表

45W	46W	47W	48W	49W	50W	51W	52W	53W	54W	55W	56W	57W	58W	59W	60W			61W	62W	63W	64W	65W	66W	67W	68W	69W	70W	71W	72W	
１クール				２クール				３クール				４クール						５クール				６クール				７クール				
1/6 ～ 1/10	1/14 ～ 1/17	1/20 ～ 1/24	1/27 ～ 1/31	2/3 ～ 2/7	2/10 ～ 2/14	2/17 ～ 2/21	2/25 ～ 2/28	3/3 ～ 3/7	3/10 ～ 3/14	3/17 ～ 3/21	3/24 ～ 3/28	3/31 ～ 4/4	4/7 ～ 4/11	4/14 ～ 4/18	4/21 ～ 4/25	4/28 ～ 5/2	5/5 ～ 5/9	5/12 ～ 5/16	5/19 ～ 5/23	5/26 ～ 5/30	6/2 ～ 6/6	6/9 ～ 6/13	6/16 ～ 6/20	6/23 ～ 6/27	6/30 ～ 7/4	7/7 ～ 7/11	7/14 ～ 7/18	7/22 ～ 7/25	7/28 ～ 8/1	
選択実習				選択実習				選択実習				選択実習				春休み		選択実習				選択実習				選択実習				卒業試験 臨床実習後ＯＳＣＥ
院外実習				院外実習				院外実習				院外実習						院外実習				院外実習				院外実習				
選択実習				選択実習				選択実習				選択実習						選択実習				選択実習				選択実習				

シラバス基本情報

更新日時	2025/03/31 19:27
科目分類	特別系
時間割コード	118615J
授業科目名	地域医療体験実習Ⅰ
授業科目名（英語）	
科目コード	1186150
科目ナンバー	
主担当教員	佐野　千晶(医学部)
単位数・時間数	時間数:20.0
履修年次	1・2・3・4・5・6年
開講学期	2025年度　通年
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	自由
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	実習
授業の目的	地域医療の現状ならびに課題を理解し，その地域に必要な医療・保健・介護・福祉について学び，医師として地域医療に貢献するための能力を獲得する。実際に医療現場を経験することにより，プライマリ・ケアや地域包括ケアの重要性を理解する。（旧名　春季夏季地域医療実習） ＜ディプローマポリシーとの関連＞ ・問題解決・自己研鑽能力 　未知の課題に対して、自ら積極的に解決を図ろうとすることができる。 ・地域医療への志向力 　地域医療が抱える諸問題に対して積極的に取組もうとすることができる。 【概要】 島根県の 医療・保健・介護・福祉の関連施設において，二次医療圏別にプログラムされた3日間の実習を行う。本実習では単なる診療の見学ではなく，二次医療圏内の医療に関わるリソースや特徴を見渡すことが出来，実習施設ごとの特徴のある多彩な参加型の内容が準備されている。実習施設ならびに実習終了時意見交換会を行うことにより参加者へのフィードバックを行い，これから取り組むべき課題を共有する。
授業の到達目標	1.地域でのプライマリ・ケアの実際を体験し，今後に必要な学びを主体的に考察する。 2.医療・保健・福祉・介護の関係者や地域住民との対話や話し合いを行い，多職種連携による地域包括ケアについて理解する。 3.地域の在宅医療，救急医療，災害医療について体験する。 4.中山間地の医療，へき地医療，離島医療を体験する。
授業の内容および方法	春季実習：3月上旬　夏季実習：8月中旬 いずれも3日間プログラム　4日目「意見交換会」 約2か月前に島根大学医学部ホームページ>在学生のみなさん　にプログラム詳細，定員がアップされる。 URL：https://www.med.shimane-u.ac.jp/zaigakusei/sscmt/index.html
授業の進め方	春季実習　3月上旬 夏季実習　8月中旬　いずれも3日間プログラム　4日目「意見交換会」 約2か月前に島根大学医学部ホームページ>在学生のみなさん　にプログラム詳細，定員がアップされる。 地区別プログラム：松江，出雲，大田，雲南，浜田，益田，隠岐島後，隠岐島前

授業キーワード		地域医療体験実習 【SDGs】 ３．すべての人に健康と福祉を 11．住み続けられるまちづくりを 16．平和と公正をすべての人に
参考文献（図書）	地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか	
	ISBN	4815034974
	書名	地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか
	巻次	
	著者名	(編集)鳥取大学医学部地域医療学講座　(監修)谷口晋一、孫大輔
	出版社	デザインエッグ社
	出版年	2022
参考文献（その他）・授業資料等		公衆衛生がみえる2022-2023（ISBN-10：4896328582） 国試・改訂コアカリ対応　地域医療学入門（ISBN-10：4787823841） 事前に読んでおくと実習での理解がより深まります。
成績評価の方法およびその基準		実習レポート，実習受け入れ施設担当者評価表及び「意見交換会」参加・発表
履修上の注意		【対象】 地域医療実習（夏季，春季）に参加する学生。 科目履修の認定は在学期間を通じ１回のみとする。募集対象は全国の医学生である。 なお，一般入試県内定着枠，地域枠推薦入試，緊急医師確保対策枠推薦入試により入学した学生（COC人材育成コース対象者）は，在学中に本科目または地域医療体験実習Ⅱのいずれかを必ず修得するものとする。 【申し込み等】 ホームページ上の実習要項に沿って，島根大学医学部学務課へ申し込む。 実習場所により規定の旅費・宿泊費一部が実習後支給される。食費等一部実費負担。
オフィスアワー		適宜
ディプロマポリシーとの関係区分		

アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	0:実施していない
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	1:授業回数の5～15%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	3:授業回数の50%を超える
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	0:実施していない

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	ー:成績評価に使用していない
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	○:成績評価に使用している
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	ー:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	ー:成績評価に使用していない
		その他	ー:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	ー:使用しない
使用言語区分		日本語のみ	
その他		この科目は実務経験のある教員による授業科目です。 【コア・カリとの関連】 B-1-7）地域医療・地域保健 ねらい：地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。 学修目標：①地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。 ⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 G-4-3）地域医療実習 ねらい：地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。	

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	佐野　千晶	医学部

シラバス基本情報

更新日時	2025/03/31 19:28
科目分類	特別系
時間割コード	118616J
授業科目名	地域医療体験実習Ⅱ
授業科目名（英語）	
科目コード	1186160
科目ナンバー	
主担当教員	佐野　千晶(医学部)
単位数・時間数	時間数:20.0
履修年次	1・2・3・4・5・6年
開講学期	2025年度　通年
曜日・時限	他
必修／選択／選択必修／自由	自由
履修資格	
各種教育プログラム名称	
遠隔授業	

シラバス詳細情報

授業形態	実習
授業の目的	地域医療の現状ならびに課題を理解し，その地域に必要な医療・保健・介護・福祉について学び，医師として地域医療に貢献するための能力を獲得する。実際に医療現場を経験することにより，プライマリ・ケアや地域包括ケアの重要性を理解する。また，島根県の地域医療の魅力や課題を学ぶ。（旧名　フレキシブル地域医療実習） ＜ディプローマポリシーとの関連＞ ・問題解決・自己研鑽能力 　未知の課題に対して、自ら積極的に解決を図ろうとすることができる。 ・地域医療への志向力 　地域医療が抱える諸問題に対して積極的に取組もうとすることができる。 【概要】 島根県の 医療施設および全国の地域医療，災害医療，へき地・中山間地の医療，離島医療の現場で，地域医療に関連した参加型実習を行う。本実習では，本学学生自らが1～数日間の実習内容を立案・計画し，地域医療支援学講座スタッフと相談し，自主的に実施するものである。実習終了時意見交換会を行うことにより参加者へのフィードバックを行い，これから取り組むべき課題を共有する。
授業の到達目標	1.地域でのプライマリ・ケアの実際を体験し，今後に必要な学びを主体的に考察する。 2.医療・保健・福祉・介護の関係者や地域住民との対話や話し合いを行い，多職種連携による地域包括ケアについて理解する。 3.地域の在宅医療，救急医療，災害医療について体験する。 4.へき地・中山間地の医療，離島医療を体験する。
授業の内容および方法	実習日程及び内容は，地域医療支援学講座スタッフと相談の上，実習希望先と調整を行う。希望者は事前に地域医療支援学講座に相談し実習計画書を提出する。地域医療支援学講座では計画書採択について検討する。これまで，「診療所実習」「災害地視察」「救急当直体験」「女性医師密着型実習」「在宅医療体験」「保健所体験」「精神病院実習」等を行っている。
授業の進め方	詳細は地域医療支援学講座にお問い合わせください。 career@med.shimane-u.ac.jp みらい棟２階　地域医療支援学講座スタッフルーム 講座HP　https://www.communityshimane.jp/
授業キーワード	地域医療体験実習 【SDGs】 ３．すべての人に健康と福祉を 11．住み続けられるまちづくりを 16．平和と公正をすべての人に
	地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか

参考文献（図書）	ISBN	4815034974
	書名	地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか
	巻次	
	著者名	(編集)鳥取大学医学部地域医療学講座、(監修)谷口晋一、孫大輔
	出版社	デザインエッグ社
	出版年	2022
参考文献（その他）・授業資料等		公衆衛生がみえる2022-2023（ISBN-10：4896328582） 国試・改訂コアカリ対応　地域医療学入門（ISBN-10：4787823841） 事前に読んでおくと実習での理解がより深まります。
成績評価の方法およびその基準		実習レポート，実習受け入れ施設担当者評価表及び「フレキシブル実習報告会」参加・発表
履修上の注意		【対象】 医学部医学科学生で，本科目履修の認定を希望するもの。 科目履修の認定は在学期間を通じ１回のみとする。 なお，一般入試県内定着枠，地域枠推薦入試，緊急医師確保対策枠推薦入試により入学した学生（COC人材育成コース対象者）は，在学中に本科目または地域医療体験実習Ⅰのいずれかを必ず修得するものとする。 【申込等】 島根大学医学部地域医療支援学講座へ申し込む。 実習場所により規定の旅費・宿泊費一部が実習後支給される。食費等一部実費負担。
オフィスアワー		適宜
ディプロマポリシーとの関係区分		

アクティブラーニング区分	知識の定着・確認志向（思考の活性化）	振り返りシート（ミニッツペーパー）、授業外学習の促進（予習・宿題）、実験、質疑応答（コメント・シートなど）、練習課題、調査、ミニテスト・クリッカー	0:実施していない
	表現志向（表現技能の充実）	プレゼンテーション、ディベート、ライティング	1:授業回数の5～15%
	応用志向（知識・スキルの活用）	問題基盤型学習（Problem- Based Learning）、専門演習、シミュレーション、ケースメソッド	3:授業回数の50%を超える
	知識の活用・創造志向（総合的活動）	プロジェクト型学習（Project-Based Learning）、フィールドワーク、創作活動	0:実施していない

多面的評価区分	評価方法	客観試験（選択解答式など）	ー:成績評価に使用していない
		口頭試験（発表・プレゼンテーション試験、インタビュー試験）	○:成績評価に使用している
		論述試験（論文テスト、記述試験、数学の解法記述）	ー:成績評価に使用していない
		シミュレーション型試験	ー:成績評価に使用していない
		実地試験（実技試験）	ー:成績評価に使用していない
		レポート	○:成績評価に使用している
		ポートフォリオ評価法	ー:成績評価に使用していない
		その他	ー:成績評価に使用していない
		自由記述	
	評価指針	評価基準表（ルーブリック）	ー:使用しない

使用言語区分	日本語のみ

その他	この科目は実務経験のある教員による授業科目です。 【コア・カリとの関連】 B-1-7）地域医療・地域保健 ねらい：地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。 学修目標：①地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。 ②医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。 ③地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。 ④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。 ⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。

授業追加情報

準備学修（予習・復習・宿題）に必要な学修の時間（１回の授業当たり）	1時間
授業の実施方法	面接授業（面接のみ）／In-person class（In-person only）

担当教員一覧

No	担当教員	担当教員所属
1	佐野　千晶	医学部

写

医 第 6 7 9号
令和７年８月８日

厚生労働省医政局長　様

島根県知事　丸山　達也

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和７年８月５日付け７文科高第 666 号、医政発 0805 第５号に基づき、下記のとおり、令和８年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

１７名

・島根大学医学部における地域枠：１２名

・鳥取大学医学部における地域枠：　５名

担　　当：島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室　田中　絵美
電話番号：０８５２－２２－５２５１
メールアドレス：iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

学生の確保の見通し等を記載した書類

１．定員設定の考え方及び充足の見込み

本学の大学憲章「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」の下、島根大学ビジョン 2021 及び第４期中期目標・中期計画において、地域における医療人材の確保を目標に掲げ取組を推進している。この度、地域の医師確保に資するため、令和５年度から令和７年度までの増員措置（令和６年 10 月認可）を継続し、令和８年度の医学部医学科の入学定員を 12 名増員し、全体の入学定員を 102 名とする。

①　学生確保の見通しの調査結果

受験対象者等へのアンケート調査は実施していないが、医学部医学科の学生確保の根拠となる客観的データは、「④ 既存組織の定員充足の状況」の記載のとおりである。

医学部医学科の「全入学試験（２年次・３年次編入学試験を除く）」の志願者数は、令和３年度から令和７年度の平均で 584.4 名であり、定員 102 名に対して、5.7 倍となっている。

また、②、③でも述べているように、18 歳人口は減少局面に入っていると考えられるが、本学以外の中国地区の国立大学においても、志願者数は年度によって異なるものの、堅調に推移していることなどから、令和８年度以降も十分に学生を確保し、定員の充足は可能であると考えられる。

②　中長期的な 18 歳人口の全国的・地域的動向

文部科学省が Web サイトで公開している「18 歳人口及び高等教育機関への入学者・進学率等の推移」によると、今後、令和 16 年までは、減少傾向ではあるが、おおむね 100 万人前後となると予想されている。一方、医学部の入学者の状況を見ると、本学医学部医学科の「全入学試験（２年次・３年次編入学試験を除く）」の出身高校所在地別入学者数は、令和３年度から令和７年度の平均で、県内 19.0 人、県外 82.2 人と、入学者の約８割が県外出身者であるという特徴がある。

また、「緊急医師確保対策枠」及び「県内定着枠」は、令和３年度から令和７年度の平均で、県内 4.2 人、県外 7.8 人であり、入学者の約４割が県内出身者となっている。

「島根県版高等教育のグランドデザイン」によると、島根県の 18 歳人口は令和２年度は 6,117 人であったが、令和 12 年には約 5,700 人、令和 22 年には約 4,900 人まで減少することが予想されている。ただし、文部科学省の学校基本調査によると、令和６年度の島根県の大学進学率は 50.2%であり、上昇傾向にはあるものの、全国平均の 59.1%と比較すると低い数字である。

以上のことから、全国的に 18 歳人口が減少傾向であるが、医学部には県外出身者も多く、全国から志願があること、また、島根県においては大学進学率の上昇の余地が十分にあり、学生確保に向けては、島根県とともに、取り組みを行っていること、令和８年度においても、これまでどおりの枠組みで入試を実施し、過去の入試実績と同等の傾向が予想されることから、今後も、学生を確保することは可能であると見込んでいる。

【全入学試験（２年次・３年次編入学試験を除く）の出身高校所在地別入学者数】

入学年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年間平均
県　内	19	19	21	11	25	19.0
県　外	80	83	81	91	76	82.2
大検等	3	0	0	0	1	0.8

【緊急医師確保対策枠及び県内定着枠の出身高校所在地別入学者数】

入学年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年間平均
県　内	5	3	5	2	6	4.2
県　外	7	9	7	10	6	7.8

③　同分野を有する競合校の状況

競合校としては、同じ中国地区に所在する鳥取大学、岡山大学、広島大学及び山口大学が挙げられる。各大学の募集人員は 105～118 人であり、本学の 102 人とほぼ同等である。

また、実質競争倍率は 2.50～3.51 倍の範囲であり、定員充足率はほぼ 100%を満たしていることから、地域全体を見ても十分な受験ニーズがあり、令和８年度以降も十分に学生を確保し、定員の充足は可能であると考えられる。（資料１）

【中国地区国立大学の状況_令和６年度】

大学名	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争倍率	定員充足率
鳥取大学	105	295	262	105	105	2.50	100%
岡山大学	109	375	335	112	108	2.99	99.1%
広島大学	118	473	442	126	118	3.51	100%
山口大学	109	668	397	116	109	3.42	100%
島根大学	102	594	529	104	102	5.09	100%

（文部科学省のホームページを基に作成）

④　既存組織の定員充足の状況

医学部医学科の「全入学試験（２年次・３年次編入学試験を除く）」の志願者数は、令和３年度から令和７年度の平均で 584.４名であり、定員 102 名に対して、5.７倍となっている。

「緊急医師確保対策枠」の志願者数は、令和３年度から令和７年度の平均で 18.０名であり、定員９名に対

して、2.0倍となっている。

「県内定着枠」の志願者数は、令和３年度から令和７年度の平均で35.８名であり、定員３名に対して、11.９倍となっている。

「緊急医師確保対策枠」及び「県内定着枠」については、これまでどおりの枠組みで入試を実施するため、過去の入試実績と同等の受験者数が期待できることから、定員を充足すると見込んでいる。

【全入学試験（２年次・３年次編入学試験を除く）】

入学年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年間平均
募集定員	102	102	102	102	102	102
志願者数	500	580	779	594	469	584.4
受験者数	442	527	545	529	425	493.6
合格者数	102	104	102	104	104	103.2
入学者数	102	102	102	102	102	102
志願倍率	4.9	5.7	7.6	5.8	4.6	5.7

【緊急医師確保対策枠】

入学年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年間平均
募集定員	9	9	9	9	9	9
志願者数	27	24	14	14	11	18.0
受験者数	27	23	14	14	11	17.8
合格者数	9	8	4	6	5	6.4
入学者数	9	8	4	6	5	6.4
志願倍率	3.0	2.7	1.6	1.6	1.2	2.0

【県内定着枠】

入学年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	５年間平均
募集定員	3	3	3	3	3	3
志願者数	27	38	54	36	24	35.8
受験者数	19	28	35	29	17	25.6

合格者数	3	4	8	6	7	5.6
入学者数	3	4	8	6	7	5.6
志願倍率	9.0	12.7	18.0	12.0	8.0	11.9

２．学生確保に向けた具体的な取り組みと見込まれる効果

①　島根県地域医療奨学金制度について

島根県は、県内の医療機関で勤務する医師の養成・確保を図るため、卒後、医師として一定期間を県内指定医療機関で勤務すれば奨学金の返済を免除することを条件に、医学生に奨学金を貸与する奨学金制度を設けている。

緊急医師確保対策枠及び県内定着枠は、入学にあたり、島根県の奨学金の貸与を受けることが出願要件であり、大学卒業後（医師国家試験合格後）12 年の間に、島根県内の医療機関で臨床研修を行い、その期間も含め島根県内の指定医療機関で９年間（うち４年間は特定地域医療機関）勤務した場合、貸与金全額が返還免除される。

支給額は、入学金相当額 282,000 円、修学費（月額）100,000 円、授業料相当額（年額）535,800 円で６年間の１名あたりの総額は 10,696,800 円となる。

また、令和２年度より、恒久定員内の地域枠においても、同様に島根県の奨学金貸与を受けることを出願要件としている。

②　入試広報活動等について

優れた資質能力と島根県への地域定着の志を備えたより多くの志願者を確保するため、受験生や高校生への説明会、高大連携事業、高校訪問等により積極的に情報提供を行っている。

主に高校生を対象としたオープンキャンパスを毎年開催し、模擬授業や医療手技体験等の特別企画を実施し、広く医学部のアピールを行っている。

また、対面型のオープンキャンパスに加えて、Web 型オープンキャンパスとして、医学科紹介動画や、学生による学生生活を紹介した動画を公開し、広く医学部の魅力を発信している。（資料２）

令和７年度に実施したオープンキャンパス参加者アンケートでは、「オープンキャンパスに参加した後の出願意欲」に関する設問に、87 名中 51 名が「５（出願したい）」と回答していることから、満足度は非常に高く、本学に対する関心がより深まっていることが伺える。（資料３）

３．人材の社会的要請や人材需要の動向について

①　人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

島根大学医学部は、『医の炎』と『医の扉』及び医学部規則第１条の２をもって使命としている。これらの

使命は、島根県のこれまでの医療の歴史と地域の実情を踏まえ、かつ島根医科大学開学の精神や島根大学との統合によって成立した島根大学医学部としての理念を継承するものである。（資料４）

医学部規則（抜粋）

第１条の２　（教育上の目的）

医学部は、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探究心を持ち、医療、医学、看護学及び地域社会の発展に寄与し、人類の福祉に貢献し得る人材の育成を目的とする。

『医の炎』と『医の扉』

島根医科大学初代学長によって設置された石碑『医の炎』と『医の扉』には、本学医学部の目指すべき３ つの理念が込められていると考え、この理念に基づき、『医の扉』を拓く人材を育成する。

「人を見つめる」

生命の尊厳と患者さんの権利・人格の尊重を教育の柱とし、豊かな教養と高い倫理観を備え科学的な探究心と総合的な判断能力を培った、地域の医療と人類の福祉に貢献する医療人を養成することを目指す。

「地域と世界を見つめる」

住民の声に耳を傾け、地域と世界にある課題を学び、社会に開かれ、時代に応じたより良い教育・研究・診療を提供できる、柔軟な医学部を創る。

「未来につなげる」

私たちと一緒に『医の炎』を生涯燃やし続けて、地域から世界へ発信できる人材を育てる。

②　上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

地域社会における医療の確保及び福祉の増進を図ることが求められている中、島根県内の医師充足率は85.1%（令和６年 10 月 1 日現在。医育機関である島根大学医学部附属病院を除く。）であり、中山間地・離島をはじめとした地域における医師不足状況は続いている。県西部地区の充足率は東部地区に比べて低く、医療の地域間格差は依然として大きな問題である。そのため、島根県の医師不足の解消と定着率の向上に向けて継続して取り組む必要があることから、再度の入学定員増を行う。

なお、医学部医学科では、平成 18 年度から医師不足地域出身者による地域枠を開始し、平成 21 年度から緊急医師確保対策枠、平成 23 年度からは県内定着枠の増員を開始し、同時期に学内に寄附講座を設置し、（一社）しまね地域医療支援センターとともに県内の医師定着に取り組んできた。現在、卒業した 271 名のうち 219 名が県内の地域医療に貢献している。

緊急医師確保対策枠及び県内定着枠においては、卒業者 110 名のうち、99 名は島根県内の地域医療病院等で既に勤務しており（令和７年４月現在）、今後も一定の効果が見込まれる。

	入学者	卒業者	医師	
				県内勤務者
地域枠（H18～）	164	137	137	104

緊急医師確保対策枠（H21～）	97	53	52	49
県内定着枠（H23～）	93	57	56	50
学士地域枠（H19~）	27	24	24	16
合計	381	271	269	219

島根県の医師確保計画（令和６年４月）によると、島根県では、これまで地域医療を支える医師養成・確保対策として、「地域医療を担う医師の養成（育てる）」の視点から、地域枠等医学生奨学金制度、地域医療教育の充実、医学生への支援（島根大学医学部地域医療支援学講座の設置）等の取り組みがなされていることから、上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであると判断できる。（資料５）

また、「地域の医療確保のための入学定員増に係る誓約書（令和７年８月８日付け医第679号）」のとおり、地域の病院又は診療所に将来勤務しようとする学生に対して、修学資金を貸与する島根県においても、再度12名の定員増を希望しており、本学としてもこれに応えるとともに、地域医療を担う人材を育成し、医師不足地域の解消に資するため再度の定員増を行う。

資料１

（文科省HPより作成）

令和6年度　医学部医学科入学状況

【国立大学】

	大学名	一般選抜、総合選抜、特別選抜等							編入学		
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率	入学定員充足率	募集人員	志願者数	入学者数
1	北海道大学	*90	311	289	90	90	3.21	100.0%	5	82	5
2	旭川医科大学	95	697	488	97	95	5.03	100.0%	10	150	6
3	弘前大学	112	640	548	112	112	4.89	100.0%	20	166	20
4	東北大学	116	581	458	122	120	3.75	103.4%	0	0	0
5	秋田大学	124	853	442	129	124	3.43	100.0%	5	108	5
6	山形大学	113	769	490	124	113	3.95	100.0%	0	0	0
7	筑波大学	*129	611	528	128	123	4.13	95.3%	5	103	5
8	群馬大学	108	405	276	111	108	2.49	100.0%	15	212	15
9	千葉大学	117	768	377	129	118	2.92	100.9%	0	0	0
10	東京大学(理科Ⅲ類)	*100	435	295	100	100	2.95	100.0%	0	0	0
11	東京科学大学	102	567	360	108	106	3.33	103.9%	5	64	5
12	新潟大学	140	601	493	145	140	3.40	100.0%	0	0	0
13	富山大学	105	294	234	110	105	2.13	100.0%	5	140	5
14	金沢大学	*111	394	243	116	116	2.09	104.5%	5	48	5
15	福井大学	110	964	361	115	110	3.14	100.0%	5	171	5
16	山梨大学	125	1,827	347	144	125	2.41	100.0%	0	0	0
17	信州大学	120	566	398	126	120	3.16	100.0%	0	0	0
18	岐阜大学	110	307	231	111	111	2.08	100.9%	0	0	0
19	浜松医科大学	115	616	372	117	110	3.18	95.7%	5	90	5
20	名古屋大学	107	449	298	112	112	2.66	104.7%	4	70	2
21	三重大学	125	955	439	126	125	3.48	100.0%	0	0	0
22	滋賀医科大学	95	402	362	96	95	3.77	100.0%	15	265	15
23	京都大学	107	302	284	112	112	2.54	104.7%	0	0	0
24	大阪大学	97	290	266	99	97	2.69	100.0%	10	85	8
25	神戸大学	112	435	288	113	112	2.55	100.0%	5	88	5
26	鳥取大学	105	295	262	105	105	2.50	100.0%	5	56	5
27	島根大学	102	594	529	104	102	5.09	100.0%	10	102	10
28	岡山大学	109	375	335	112	108	2.99	99.1%	5	58	5
29	広島大学	118	473	442	126	118	3.51	100.0%	0	0	0
30	山口大学	109	668	397	116	109	3.42	100.0%	10	253	10
31	徳島大学	112	270	215	113	112	1.90	100.0%	0	0	0
32	香川大学	109	514	371	110	109	3.37	100.0%	5	72	5
33	愛媛大学	110	729	434	110	110	3.95	100.0%	5	82	5
34	高知大学	110	759	756	112	110	6.75	100.0%	5	54	5
35	九州大学	105	268	241	108	108	2.23	102.9%	0	0	0
36	佐賀大学	103	534	308	107	104	2.88	101.0%	0	0	0
37	長崎大学	115	485	430	115	115	3.74	100.0%	5	138	5
38	熊本大学	110	476	452	112	112	4.04	101.8%	0	0	0
39	大分大学	100	537	239	103	101	2.32	101.0%	10	218	7
40	宮崎大学	100	699	387	104	100	3.72	100.0%	0	0	0
41	鹿児島大学	110	693	350	117	110	2.99	100.0%	10	239	10
42	琉球大学	112	899	393	118	112	3.33	100.0%	5	150	5
	国立大学　計	4,624	24,307	15,708	4,784	4,644	3.28	100.4%	194	3,264	183

※北海道大学は、医学部医学科の募集人員（総合入試入学者のうち5名が2年次進級時に医学科へ移行）を記載。

※筑波大学は、医学部医学科の募集人員（総合入試入学者のうち5名が2年次進級時に医学類へ移行）を記載。

※東京大学は、理科Ⅲ類の募集人員（3年次進級時に理科Ⅲ類から97名、理科Ⅱ類から10名、その他の全科類から3名が医学科へ移行）

※金沢大学は、医学類の募集人員（理系後期一括入試入学者のうち1名が2年次進級時に医学類へ移行）を記載。

【公立大学】

大学名		一般選抜、総合選抜、特別選抜等							編入学		
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率	入学定員充足率	募集人員	志願者数	入学者数
43	札幌医科大学	110	408	336	112	110	3.00	100.0%	0	0	0
44	福島県立医科大学	130	697	428	135	130	3.17	100.0%	0	0	0
45	横浜市立大学	93	316	239	98	93	2.44	100.0%	0	0	0
46	名古屋市立大学	97	289	206	98	97	2.10	100.0%	0	0	0
47	京都府立医科大学	107	312	292	109	107	2.68	100.0%	0	0	0
48	大阪公立大学	95	369	342	95	95	3.60	100.0%	0	0	0
49	奈良県立医科大学	113	1,451	820	122	113	6.72	100.0%	1	1	1
50	和歌山県立医科大学	100	419	255	105	100	2.43	100.0%	0	0	0
公立大学　計		845	4,261	2,918	874	845	3.34	100.0%	1	1	1

【私立大学】

大学名		一般選抜、総合選抜、特別選抜等							編入学		
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率	入学定員充足率	募集人員	志願者数	入学者数
51	岩手医科大学	130	2,618	2,553	301	131	8.48	100.8%	*0	17	4
52	東北医科薬科大学	100	2,170	2,093	342	100	6.12	100.0%	0	0	0
53	自治医科大学	123	2,026	1,944	168	123	11.57	100.0%	0	0	0
54	獨協医科大学	126	4,604	4,330	263	125	16.46	99.2%	0	0	0
55	埼玉医科大学	130	3,846	3,421	176	130	19.44	100.0%	0	0	0
56	国際医療福祉大学	140	4,343	4,223	467	144	9.04	102.9%	0	0	0
57	杏林大学	119	3,976	3,856	353	119	10.92	100.0%	0	0	0
58	慶應義塾大学	66	1,540	1,327	214	110	6.20	166.7%	0	0	0
59	順天堂大学	140	4,849	4,538	303	140	14.98	100.0%	0	0	0
60	昭和大学	131	3,582	3,139	268	129	11.71	98.5%	0	0	0
61	帝京大学	110	9,516	8,922	259	153	34.45	139.1%	0	0	0
62	東京医科大学	123	3,849	3,549	291	123	12.20	100.0%	0	0	0
63	東京慈恵会医科大学	105	1,968	1,644	204	105	8.06	100.0%	0	0	0
64	東京女子医科大学	110	1,036	971	142	110	6.84	100.0%	0	0	0
65	東邦大学	123	3,323	2,956	245	123	12.07	100.0%	0	0	0
66	日本大学	135	3,697	3,291	229	135	14.37	100.0%	0	0	0
67	日本医科大学	125	3,945	3,604	219	126	16.46	100.8%	0	0	0
68	北里大学	126	2,087	1,979	386	126	5.13	100.0%	*0	38	2
69	聖ﾏﾘｱﾝﾅ医科大学	117	4,805	4,273	116	117	36.84	100.0%	0	0	0
70	東海大学	118	4,780	4,391	240	121	18.30	102.5%	0	0	0
71	金沢医科大学	111	5,868	5,186	196	111	26.46	100.0%	0	0	0
72	愛知医科大学	115	3,304	3,241	394	115	8.23	100.0%	0	0	0
73	藤田医科大学	120	3,492	3,222	431	120	7.48	100.0%	0	0	0
74	大阪医科薬科大学	112	3,578	3,042	266	110	11.44	98.2%	0	0	0
75	関西医科大学	127	5,357	5,055	458	127	11.04	100.0%	0	0	0
76	近畿大学	112	4,453	4,194	269	112	15.59	100.0%	0	0	0
77	兵庫医科大学	112	2,559	2,460	236	112	10.42	100.0%	0	0	0
78	川崎医科大学	126	1,541	1,489	202	126	7.37	100.0%	0	0	0
79	久留米大学	115	2,312	2,122	204	116	10.40	100.9%	0	0	0
80	産業医科大学	105	2,170	1,919	133	105	14.43	100.0%	0	0	0
81	福岡大学	110	2,714	2,542	238	110	10.68	100.0%	0	0	0
私立大学　計		3,662	109,908	101,476	8,213	3,754	12.36	102.5%	0	55	6

※岩手医科大学、北里大学は、編入学にて若干名を募集している。

国公私立大学　計	9,131	138,476	120,102	13,871	9,243	8.66	101.2%	195	3,320	190

（文部科学省医学教育課調べ）

医学部オープンキャンパス

【 動 画 】

医学科

・医学科長による医学科紹介
・医学科生による学生生活紹介
・医学科紹介動画～プロフェッショナリズム～
・医学科紹介動画～島根大学医学部の特徴・魅力～

看護学科

・看護学科長による看護学科紹介
・看護学科紹介
・看護学科の学生生活Q＆A
・卒業生の今を紹介～島根大学医学部附属病院編～
・卒業生の今を紹介～保健師編～
・看護学科卒業生からのメッセージ

【関連サイト】

・医学部HP

令和7年度　島根大学医学部オープンキャンパス参加者アンケート結果

1）実施日時

令和7年8月2日（土）

医学科　：13時00分～17時00分

看護学科：13時30分～16時10分

2）参加人数（保護者等付添者除く）

	医学科		看護学科		総計	
	R6 年度	R7 年度	R6 年度	R7 年度	R6 年度	R7 年度
高校 1 年生	37	20	2	11	39	31
高校 2 年生	59	61	44	39	103	100
高校 3 年生	59	52	68	61	127	113
既卒	7	25	0	1	7	26
不明	0	1	1	0	1	1
計	162	159	115	112	277	271

※都道府県別参加人数

都道府県	医学科	看護学科	計
島根県	33	63	96
鳥取県	2	14	16
岡山県	22	13	35
広島県	33	13	46
山口県	2	－	2
茨城県	1	－	1
福井県	－	1	1
栃木県	1	－	1
長野県	－	1	1
千葉県	2	－	2
埼玉県	1	－	1
東京都	4	－	4
神奈川県	2	－	2

都道府県	医学科	看護学科	計
静岡県	2	1	3
愛知県	5	－	5
滋賀県	－	1	1
京都府	8	2	10
大阪府	13	－	13
奈良県	3	－	3
兵庫県	16	2	18
愛媛県	1	1	2
香川県	1	－	1
徳島県	3	－	3
福岡県	1	－	1
沖縄県	1	－	1
不明	2	－	2

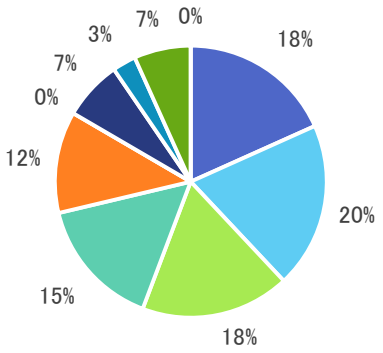
3)アンケート集計結果　（回答率：医学科　55%　　看護学科　90%）

○オープンキャンパスで知りたいと思うのはどのような情報ですか？（複数選択可）

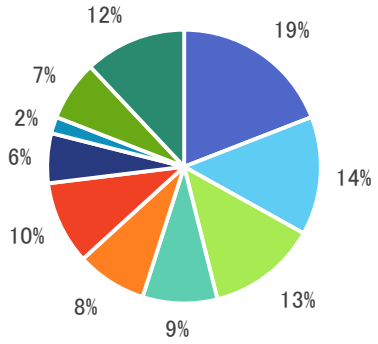
▼選択肢	医学科	看護学科
■大学での勉強内容	65	78
■キャンパスの雰囲気	70	57
■在学生の様子や雰囲気	63	53
■一般選抜（前期・後期）	55	36
■推薦入試	43	34

▼選択肢	医学科	看護学科
■卒業後の進路	0	40
■どんな先生がいるか	25	24
■学費等の詳しい情報	10	8
■部活・サークル	24	29
■取得資格	0	49

医学科



看護学科



○オープンキャンパス全体の満足度を教えてください。

▼選択肢	医学科	看護学科
とても満足	68	83
やや満足	15	17
普通	4	1
やや不満	0	0
不満	0	0

※回答理由は別紙参照

○本学（学部・学科、専攻、入試や学生支援など）に対する理解が進みましたか。

▼選択肢	医学科	看護学科
かなり理解できた	61	76
まあまあ理解できた	26	25
あまり理解できなかった	0	0
理解できなかった	0	0

※回答理由は別紙参照

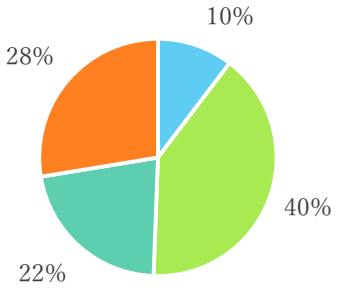
○オープンキャンパスに参加する前と後の出願意欲について、5 段階評価で教えてください。

		出願する気持ちはない ■1	■2	■3	■4	出願したい ■5
医学科	参加前	0	9	35	19	24
看護学科	参加前	0	11	42	28	20

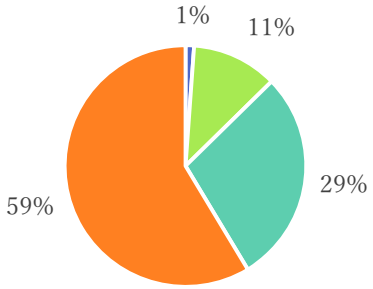
→

		出願する気持ちはない ■1	■2	■3	■4	出願したい ■5
医学科	参加後	1	0	10	25	51
看護学科	参加後	0	2	17	43	39

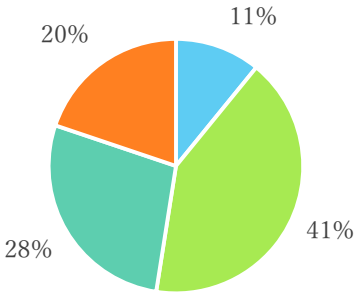
医学科（参加前）



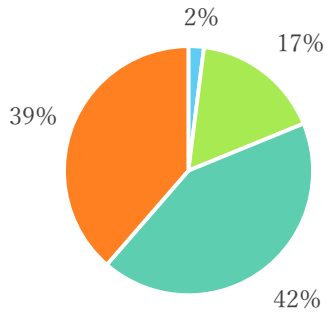
医学科（参加後）



看護学科（参加前）



看護学科（参加後）



※出願意欲の変化	医学科	看護学科
上がった	53	49
変化なし	31	39
下がった	3	2

※回答理由は別紙参照

○感想や、医学部への意見・要望等は別紙をご参照ください。

4）個別相談参加状況

○医学科

▼相談ブース	参加人数
入試制度全般	17
地域枠等入試	10
大学生協	0
在学生相談	14

感想

＊沢山人がいる中で、一人一人に真摯に向き合って下さり、個別相談をしてよかったと感じた。
＊充実した学生生活の話が現役学生から聞けたのはとても良かった。勉強へのやる気に繋がった
＊近年の入試の傾向など細かく教えて頂き、大変参考になりました。
＊地域枠についての疑問点、島根県で専攻できる診療科のお話も詳しくきけたので満足でした。

○看護学科

▼相談ブース	参加人数
学科教員	2
大学生協	0

感想

＊とても分かりやすく教えてもらえました。
＊分からないことも教えていただいて助かった。

別紙　令和７年度医学部オープンキャンパスアンケート結果　【医学科】

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲(5段階)	参加した後の出願意欲(5段階)	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
京都	3	とても満足	英語の授業や血圧測定、採血の実習が楽しかったからです。また、先生方や大学生も親しみやすく雰囲気も良かったからです。	かなり理解できた	重要な部分を簡潔にお話されていたので、分かりやすかったです。	3	5	大学の雰囲気が良く、思ってた以上に医学英語に力を入れている事が分かり興味を持ちました。	他大学のオープンキャンパスにも行きましたが、実際に医療行為を体験できたのは初めてで、とても良い経験でした。英語の授業も分かりやすく、為になりました。
島根	3	とても満足		かなり理解できた		4	4		
兵庫	2	とても満足	実際にどんな授業や現場でやっていることをしれたから。	かなり理解できた	入試制度について詳しくしれたから。	4	5	大学の詳しい授業内容を知れ、行きたいという思いが強くなったから。	
大阪	3	まあまあ満足		かなり理解できた		4	4		
広島	1	とても満足	説明がわかりやすく、理念がはっきりしていたから。	かなり理解できた	学生の方のお話を聞くことができたから。	3	4	他の医学部医学科を見て検討したいと思ったから。	楽しく島根大学医学部医学科を知ることができてよかった。
広島	3	まあまあ満足		かなり理解できた		3	4		
京都	3	とても満足	実際に体験させてくれるのが楽しかった。	かなり理解できた	説明が丁寧だった。	2	4	実感が湧いたから。	
鳥取	3	普通	保護者の企画が少なかったのと、体験が選択制でなかったため	かなり理解できた	在学生との交流会の質疑応答が充実していてとても分かりやすかったため	5	3	他の学校のオープンキャンパスと比べてしまうと他の学校のほうがいいと思ったため	
大阪	3	とても満足	実際に授業を受けることができたり、聴診の体験等をできたりしたのが印象的でした。	かなり理解できた	内容別に違う方からお話を聞けたのがわかりやすかったなと感じました。	5	5	学生の方との交流や模擬授業を通して、より一層島根大学に入学したいと思いました。	去年より学生の方と交流できる時間が増えてお話しできる機会があったのが良かったです。 ありがとうございました！
兵庫	3	とても満足	学生の応対が丁寧で親しみやすくいろんなことを教えてもらったから。英語の模擬授業も面白く、岩田先生にもｅークリニックでお話してもらい楽しかった。	かなり理解できた	学生さんにとても親身に教えてもらったから。学生生活なども想像しやすく、楽しそうだと思った。	3	5	やっぱり実際に来ると全然印象が違う。学生さんや先生も優しく、とても楽しかった。	学食食べたかった。図書館も見られるようになってほしい。
広島	3	とても満足	島根大学に関する情報だけでなく、実際の授業なども体験することができ、より島根大学に進学したいという気持ちが高まったから。	かなり理解できた	求めている医師像や医学部に入ってからのカリキュラムなども知ることができ、島根大学の医学部に対する理解が深まったから。	5	5	実際にオープンキャンパスに参加してみて、学生さんや先生方の雰囲気がとても魅力的だと感じ、自分もここで学びたいという気持ちがより強くなったから。	島根大学医学部についての情報だけでなく、学生さんからのお話や先生方の講義なども聞くことができ、とても充実したオープンキャンパスだった。
愛知	1	とても満足	島根大学について雰囲気や、疑問点を知ることができたから。	かなり理解できた	先生方や学生の皆さんが丁寧に教えてくださったから。	4	5	島根大学へのイメージを持つことができ、興味がさらに出たから。	暑いなか丁寧に説明してくださりありがとうございました。
大阪	2	とても満足	学校の雰囲気や学生の様子が分かり遠方から来て良かったなと思った	かなり理解できた	概要に沿って詳しく説明してもらいよく分かった	3	4	よりリアルに学生生活が思い描けたから	
島根	2	まあまあ満足	普段学べないようなことまで体験することができたから	まあまあ理解できた	詳しく説明してくださったり質問することができたから	5	5	地元であるから	
島根	2	とても満足	光学医療診療部で実際の人のエコーが見られたから 医学生との交流で進路選択をする上で疑問に思っていたことを質問できたから	かなり理解できた	受験方法の違いを知ることができたから	5	5	以前の自身の経験から医学を学びたいと思っていたが、最近の経験から地元の医療に携わり、少しでも貢献したいと思っているため	島大の医学科に入りたい気持ちや、勉強のモチベーションが高まりましたすごく楽しかったですありがとうございました
京都	3	とても満足	全ての企画がとても充実していて、オープンキャンパスに参加してとても良かったからです。	かなり理解できた	実際に大学で先生方からお話をきくことができて、理解が深まったからです。	5	5	今日オープンキャンパスに参加し、あらためて、島根大学医学部で学びたいと思ったからです。	eクリニック見学もすることができて良かったです。超音波診断も実際に体験することができ、医師になりたいと強く思いました。入学できるよう努力したいと思います。
愛知	1	まあまあ満足	実際に体験をすることができたから	まあまあ理解できた	丁寧に説明してくださったから	3	4	見学していいところだと思ったから	在校生に聞けたり色んな企画があってわかりやすかった
東京	3	とても満足	島根大学が地域で果たしてきた役割や地域医療に関して深く学ぶことのできる環境を知ることができました。	かなり理解できた	島根大学と地域との関わりや大学での学び、学生生活の実際の様子を知ることができたからです。	5	5	島根大学を志望していて、今回のオープンキャンパスに参加し、より大学のことを知ることができたからです。	説明会や講義、キャンパスツアーなどを通して、様々な面から島根大学について知ることができました。また、学生の方々との交流の機会を設けていただき、多くの質問にも丁寧にご対応くださいました。 ありがとうございました。
岡山	3	とても満足		かなり理解できた		3	4		
広島	既卒	とても満足		かなり理解できた		5	5		
兵庫	2	とても満足	医療体験がとても楽しかったです。	かなり理解できた	いろんなことをしれたから。	2	4	島根は家から遠いから意欲は少なかったがとても穏やかなきれいな街で島根自体も素敵に感じました大学についてもたくさん知れて魅力を感じたから意欲が上がった	
愛知	2	まあまあ満足	在校生との交流でたくさんのことを学べたし、いい経験になったと思うから。	まあまあ理解できた	以前までは知らないことの方が多かったけどオープンキャンパスを通して興味が湧いたから。	2	3	家から遠く、知るきっかけもなにもない状態から魅力をたくさん知れて視野に入れてこうと思ったから。	
島根	2	とても満足		まあまあ理解できた		4	5		
岡山	2	とても満足	教職員が親切でした。	まあまあ理解できた	学校の雰囲気と立地を確認できたから	4	5	勉強には最適か環境だから	当日はお世話になりました。 改めて感謝申し上げます。
奈良	1	とても満足	採血や血圧測定の体験ができて、医学生とトークの時間も面白くて良かった。	かなり理解できた		2	5	実際訪れてみることで雰囲気がよく、模擬授業での先生が面白かったため。	
愛媛	2	まあまあ満足	医学部の模擬授業だけでなく、病院へ伺い最新医療の紹介や体験をさせていただいた経験がすごく私の勉強への意欲を掻き立ててくれたので、満足しています。	まあまあ理解できた	参考資料もわかりやすく、説明もカテゴリーに分けてしっかりしていただけたからです。	3	4	雰囲気や入学してからの過程を見て、少しの興味だったのが入学を視野に入れさせていただきたいくらいの意欲へ変わりました。	
兵庫	既卒	とても満足	他大学ではなかなか経験できないような体験をできるプログラムだったから	まあまあ理解できた		3	5	教員が他大学よりも学生の面倒をよく見てくれそうだと感じたから	
愛知	既卒	とても満足	学長さんのご挨拶が素敵だった。 医学英語の模擬授業、e-clinicの紹介。 カリキュラムがとても魅力的だった。 学生生活が充実している様子が伝わった。 実際に学生さんとお話ができた。 以上の理由です。	かなり理解できた	入試の方式を理解できたため。	4	5	オープンキャンパスを通して、島根大学医学部医学科で学びたいとより強く思えたから。	島根大学医学部医学科の魅力を肌で感じられた、充実した時間でした。ありがとうございました。 もし合格することができましたら、そのときはよろしくお願い致します。
兵庫	2	とても満足	模擬授業をしていただいた事が嬉しかったです。	まあまあ理解できた	特に無し	3	4	実際にキャンパスを見学したり、教室を見たりして気持ちが上がりました。	
広島	3	とても満足	とても手厚い、色々な対剣をさせて頂き、また在校の学生さんとの質問コーナーもとても有意義でした。	かなり理解できた	島根大学の、歴史など、自分が調べることが出来ていなかった部分まで知ることが出来ました。	3	4	鳥取大学とどちらにしようかな悩んでいましたが、私が考えていたよりも総合診療に力を入れられていたり、他のことにも力を入れられていたので、進学したい気持ちが強まりました。	色々なことを経験できて良かったです。
徳島	3	とても満足	模擬授業や医療体験などが高いクオリティであり、分かりやすかったのでとても満足でした。	かなり理解できた	スライドを用いていたから。	3	4		
広島	1	とても満足	模擬授業や採血・血圧計の体験など、充実していたから。	まあまあ理解できた	入試のことについてまだもう少し理解できてないから。	2	1	とても倍率が高く、入りにくいことが分かったから。	
大阪	既卒	とても満足	内容が充実していた。	かなり理解できた		4	5		キャンパスツアーの場所や講義を選べるようにして欲しかったです。
広島	3	とても満足	在校生の方に質問できる機会があり、島根大学について深く知ることができたから。	かなり理解できた	先生方が丁寧に説明してくださったため。また、在校生の方に質問することでより理解を深めることができたから。	5	5	島根大学医学部医学科の英語教育や地域医療実習といった、他大学にはない特色に魅力を感じているから。	学部の特色や入試方法等について理解を深めることができただけでなく、島根大学医学部の暖かい雰囲気も知ることができました。ありがとうございました。
広島	2	とても満足	実際の授業を体験したり、大学生の話を聞いたりして、島根大学の雰囲気について知ることができたため。	まあまあ理解できた	島根大学が力を入れている部分や求める学生確保-13-知ることができたため。	3	3	他の大学のオープンキャンパスなどにも参加して、よく調べてから出願について考えるため。	実際の授業を体験できるのが特に良かったです。

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
島根	3	まあまあ満足	在校生との交流があり、キャンパス内の雰囲気が少し体感出来たことと、聴診器を使った体験をして実際に島大の医学部で医学生になった時のイメージを持つことが出来て、より島大が魅力的に映るようになったから。	かなり理解できた	最初の説明が丁寧で且つ分かりやすかった。また、実際に授業を体験することができるのは珍しくていいなと思ったから。	5	5	地域医療に積極的な取り組みがあり、自分の関心と合致していることと、キャンパスの雰囲気が個人的に好きだから	
岡山	1	とても満足	とてもよかった	かなり理解できた	わかりやすかったから	3	5	地域医療を支えている病院ということがとても分かったから	
岡山	2	とても満足	リハビリ施設の自動車椅子や機器に触れることができ、とても貴重な体験になったから。 また、英語の授業が先生が明るくて難易度もちょうど良く、とても楽しかったから。	まあまあ理解できた	全体の説明で冊子の見るべき所などを指示してくださったから。	2	3	参加する前はあまり島根大学の事を知らず、今回のオープンキャンパスを通して、決めていこうと思ったから。実際に参加した結果、教授や学生、勤務されている方、案内してくれた方など、関わってくださった方々みなとても良い雰囲気で、親身に寄り添ってくれたため、参加前より出願意欲が上がった。	
広島	3	普通	盛り上がりに欠ける	まあまあ理解できた	十分且つ簡潔な説明	4	5	女子学生が想像より多かった	
兵庫	2	とても満足	英語教育を重視しているということを知れて良かった。また、体験授業やエコーの体験で医学生や医師になってからのイメージを掴むことが出来て有意義だったから。	かなり理解できた	オープンキャンパスで説明を聞くまでは島根大学についてあまり詳しく知らなかったけれど、お話を聞いてから教育理念や教育方法について詳しく理解できたから。	3	4	私自身が地域医療や国際社会での取り組みに興味があり、そこの教育を重点的に行っているということを知ったから。	
岡山	3	とても満足	模擬授業もキャンパスツアーもどれも楽しく、大学の方々とお話させていただいたことで、より一層進学への気持ちが強くなったため。	かなり理解できた	医学生の方との交流の中で、大学の雰囲気や入試の様子などを教えてくださったため。	5	5	昨年のオープンキャンパスに参加した時から出願の気持ちは強かったが、今回参加して出願の意思が固まったから。	どの先生も学生の方もとても楽しそうな様子で、オープンキャンパスに参加出来て良かったです。
岡山	2	とても満足	在校生の雰囲気がとても明るく、充実した学生生活を送っているということが伝わってきたので、自分が実際通う時のイメージをすることができた。情報なども集めることが出来て、自分の大学に対する知識の幅が広がったから。	かなり理解できた	実際に通われている生徒さんの話が具体的だったから。	3	5	学校の雰囲気、学習する内容、医療に対する向き合い方を知り、関心が湧いたから。	今回のような機会を設けて下さり本当にありがとうございました！自分の視野を広げることが出来ました！ 貴校への出願を十分に考えていますので、縁があった時にはよろしくお願い致します！！
島根	2	まあまあ満足	全体的に興味深く、とても勉強になった。 だが、前の医療体験？のときと内容が被っているところがあり、新鮮味に欠けていると思った。	かなり理解できた	学ぶ内容などだけでなく、学校の雰囲気もわかってよかったです。	4	4	興味深いと思ったが、とても難しそうな内容だと思った。	
島根	3	とても満足	医学英語の模擬授業やキャンパスツアーなど普段体験することができないことをさせてもらえて、とても楽しかったです。	かなり理解できた	教授や院長からの医学科の説明があり、島根大学がどのような分野に力を入れているか、地域医療とは何かなど多くのことを吸収することができました。	5	5	島根大学で地域医療について座学や課外学習などを通して学び、将来地元の島根に貢献できる医師になりたいと考えているからです。	貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。すごく楽しかったです。
島根	2	普通	大学の内容や英語の講座で医学英語を学ぶことができ、良かったのですが英語の講座のときに使うプリントが入っていなくて少し困りました。	かなり理解できた	入試の制度とか医学生の視点からの大学について知ることが出来たから。	3	3	参加する前は大学のことをよく分からない状態でしたがオープンキャンパスで大学のことを知れて将来の参考になったからです。	キャンパスツアーでとても優しい先生方が色々説明してくださって器具についての知識を知れてとてもいい経験になりました。ありがとうございました！
大阪	2	とても満足	高度外傷センターでの島根大学の設備や、先生方、先輩方の姿を拝見し、島根大学の雰囲気の良さを実感しました。	かなり理解できた		3	4		
栃木	3	とても満足	島根大学の学部長・病院長の話では、島根大学の魅力や島根における現在の医療の問題点を知ることができ、とても勉強になりました。 シュミレーション体験では、大学病院のあたたかな雰囲気を知れて、自分の医師になった将来像を思い描きモチベーションに繋がりました。 キャンパスツアー後の入試制度個別相談では、学校推薦型選抜に関する質問を聞いていただき、的確なアドバイスを貰いました。お忙しい中、一学生の質問に時間を割いてくださりありがとうございます 栃木から島根大学に訪れましたが、オープンキャンパスの内容は他大学に比べて内容が濃く、受験勉強の励みになる、とても良い刺激になりました。このような素晴らしい、オープンキャンパスを開催できるのは、先生方や学生方、地元の方の愛があってこそだと思います。 重ね重ねになりますが、お忙しい中、島根大学のオープンキャンパスを開催してくださりありがとうございます。	かなり理解できた	文面で読むだけでは得られない情報が知れました。間近でお話を聞くことで、島根大学のどこを特に重要としているのか、また実際に在学している方からみてそれらがどう映ってるのか、多くのこと知ることができました。	5	5	島根大学の求める学生像、島根大学が力をいれている教育、オープンキャンパスで目の当たりにすることで、より島根大学に入学したいと思いました。	附属病院の病院長のお話しは他大学のオープンキャンパスで聞いたことがなく、島根県の医療の問題点を聞くことができて良かったです
島根	2	とても満足	キャンパスの様子や大学の雰囲気を知れて、大学のための準備をするモチベーションが高まったから	まあまあ理解できた	詳しいことは個別相談をしないとわからないが、大枠を知ることが出来たから	5	5	地域枠での出願を考えていて、島根で働きたいから	医学生との交流は、医学生１人に対して高校生５、６人ぐらいが気軽に会話できて良いと思う。今回は高校生が多く、少し話しづらかった
広島	2	まあまあ満足	推薦入試の傾向について学生から直々にお話を伺えたから。	かなり理解できた	大学のホームページで見るよりも直接説明会で聞いた方が身になる事柄が多かったから。	3	5	教員たちの熱意が伝わってきたから。	
奈良	3	とても満足	気管挿管や模擬授業など、入学後の自分を想像することができたからです。	まあまあ理解できた	大学の雰囲気を知ることができたからです。今まで、家から大学までが遠く、大学の雰囲気を想像することしかできなかったので、実際に行くことができてよかったです。	5	4	入試説明で理科の配点が大まかに増えたことを知ったため、出願するか迷っています。しかし、自然豊かで、学びも多くあるであろう島根大学のことを知れたので、出願したいとも思っています。	もう少し、早い時間から開始してほしいです。家が遠方なので、オープンキャンパスが終わってから帰ると、23時を回っていました。私的な事情ですが、できるなら、もっと早めの時間から開催していただきたかったです。
広島	2	とても満足	このオープンキャンパスで、島根大学の英語の授業や、超音波検査を実際に体験したことなど、沢山のことを学ぶことができ、良い経験となり、受験へのモチベーションにも繋がったから。	かなり理解できた	医学科の入試制度や、学生支援のことなど、何から何まで丁寧に教えてくださったから。	4	5	オープンキャンパスで、医大生と実際に話したり、医学科で受ける英語の授業や、超音波検査など、この時でしかできないことを沢山でき、より医師として働きたいと言う思いが芽生え、島根大学で医師になるまでの道を学びたいと思ったから。	
茨城	3	とても満足	学生の方から学校の雰囲気などを詳しく聞けたから。	まあまあ理解できた	学校や島根県の魅力、英語に力を入れている事を知ることができたから。	3	4	雰囲気が良かったので出願意欲が上がりました	
島根	2	まあまあ満足	大学や学生の雰囲気が知れたため	まあまあ理解できた	実際に行くことで自分で見て感じることができたため	3	3	進路に悩んでおり、来年までじっくり考えたいため	
島根	2	まあまあ満足	附属病院の最先端の救急医療に触れられたので	まあまあ理解できた	共テや２次の配点が知れたので	4	5	医学生が島根大学での生活が楽しいと仰っていたので	法医学教室を見学してみたいです
広島	3	とても満足	キャンパスを実際に自分の目で見てみてより入学したいと思ったから。	かなり理解できた	教育理念について詳しく知ることが出来たから。	5	5	高度外傷センターが魅力的だったから。	実際に模擬授業を受けたり、医療体験ができて楽しかったです。

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
沖縄	既卒	とても満足	大学の説明だけではなく模擬授業に参加できたり、病院内に行って先生から説明を受けて模擬人体で血圧を測ったり採血できて盛り沢山で色々な経験ができたからです。	かなり理解できた		4	5		今回このようなオープンキャンパスを開催していただきありがとうございます。私は県外出身者で島根大学がどんな大学なのかなど気になっていることが沢山ありました。当日の英語の模擬授業で実際に病院で働く際に使える英語の勉強が出来ると知りその授業がとても魅力に感じました。また採血や血圧の測り方の練習がでは大学に入ってからのイメージが明確になりました。そして実際に先輩方と話をすることで島根大学で学びたい気持ちが高まり勉強を頑張ってこの大学に行きたいと強く思うきっかけになりました。オープンキャンパスを通して色んな体験が出来てとても刺激になりました。ありがとうございます。島根大学に入学出来るように勉強頑張ります。
山口	2	とても満足	大学が何に力を入れており、大学の雰囲気が自分に合っているか判断することができたからです。また、医療体験ができ、自分の目標を再確認することができたからです。	かなり理解できた	実際に大学を訪問し、先生方のお話しを聞くことでキャンパスや学生の方々の雰囲気を感じることができ、大学の制度も理解することができたからです。また、オープンキャンパスを通じて医師になりたいという志をより強固なものとすることができました。私も医の扉を開けられる一員となりたいです。	4	5	グローバルな視点から医療を見て、プロフェッショナリズムを有する医療人の育成を目指している大学の志に引かれました。また、一年次からの早期体験実習から六年次後半までに行う臨床教育の充実を図っていると知り、知識だけではなく医師として必要な臨床能力と倫理観に重点をおかれているということを強く実感したからです。	百聞は一見に如かずと言いますが実際に大学を訪れ、学生の方々の声に触れることで想像でしかなかったキャンパスや医療のイメージが鮮明となり、自分のモチベーションも上がりました。
岡山	2	とても満足	雰囲気もすごく良くて在校生の方との懇談会が楽しかったし、キャンパスツアーも楽しかった。	まあまあ理解できた		3	5		
鳥取	2	とても満足	在校生に質問でき、知りたかったことを知れたから。	まあまあ理解できた		3	4	各学年との関わりもあり、住居や通学方法が他の場所より良いと思ったから。	
広島	2	とても満足	実習がとても興味深かったから	かなり理解できた	説明があったから	3	4	大学附属病院の実習が楽しそうだったから	
島根	1	とても満足		まあまあ理解できた		2	4		
島根	2	まあまあ満足	実際に実習があって楽しかったから	かなり理解できた	懇切丁寧な説明	3	3		
島根	1	とても満足		まあまあ理解できた		3	4		
京都	3	とても満足	職員の対応が良かったから。	かなり理解できた		5	5	実際に大学に行き雰囲気がすごく自分にあっていてここで学びたいと思えたから。	すごく良かったです。 合格が頂けるように頑張ろうと思えました。
島根	3	とても満足	模擬授業や学生さんとのフリートークなどで、島根大学さんの雰囲気を肌で感じることができたから。	かなり理解できた	学生さんから実際の学生生活やそれ以外の過ごし方などについてお話が聞け、医学科はどのような生活になるのかが知れたから。	5	5	高校に入学したときから島根大学医学部医学科に合格したいという気持ちがあり、目指しているから。	参加後ますます島根大学医学部医学科に興味が湧き、合格したいと思い、勉強のモチベーションが益々高まりました。 ありがとうございました。
岡山	2	とても満足		かなり理解できた		5	5		
広島	1	とても満足	様々な情報をたくさん提示してくれた。また、オープンキャンパスでしか体験できないことがほとんどで、非常に興味深かったから。	かなり理解できた	オープンキャンパスでのスライドや、もらった資料がわかりやすかったから。	4	5	とても興味深い施設や授業があったから。他にも大学や在校生の雰囲気を知ることができたから。	
福岡	既卒	とても満足	体験講義及び構内見学	かなり理解できた		3	5		
兵庫	3	とても満足	・島根大学の強み、歴史が端的に知れた ・案内が分かりやすかった ・医療体験（呼吸器）が楽しく、また地域医療の責任の大きさについて学ぶことができた ・島根大学生の休日過ごし方が分かった	かなり理解できた	教授や生徒の話を遠くから、また近くから聞くことができ幅広い視点を得ることができたため。	3	5	始めは地域医療ばかり力を入れていると思っていたが、それだけではなく島根大学は英語が大変強く、また外科の知識について幅広く学ぶことができ、かなり自分の志望に合っている大学だと思ったから。	大変充実したオープンキャンパスでした。ありがとうございました。来年古き良き出雲の地で学べるように頑張ります。
東京	既卒	とても満足	医学英語の授業で、実際に島根大学で学んでいる自分の姿が想像できたから。	かなり理解できた	全体を通して、入試概要から先輩後輩間の繋がりまで、幅広い説明を受けたから。	5	5	e-clinicなどで先輩方のモチベーションの高さに感化され、島根大学で学びたいという気持ちがより一層高まったから。	とてもアットホームな雰囲気で、是非島根大学に入学したいという気持ちが強まりました。 ありがとうございました。
島根	3	とても満足		かなり理解できた		5	5		
山口	2	とても満足	医学部の先輩や先生方が優しく接してくれたから。	かなり理解できた	英語教育に力を入れていることが分かったから。	3	5	英語教育が充実していたから興味を持てた	
大阪	3	まあまあ満足	入試個人相談で聞きたいことを質問してもしっかりとした回答を得れず、知りたいことを知れなかった、その他のイベントは満足	かなり理解できた		3	3		
岡山	既卒	とても満足	実際に医療体験をしてみて、大学と現在の自分との距離が近づいたように感じたから。	かなり理解できた	具体的な説明を通して、大学の方針をしっかり理解できたから。	4	5	キャンパス内の雰囲気と島根県民の人の良さに改めて惹かれたから。	来年はオープンキャンパスの企画側として参加したいです
奈良	既卒	とても満足	リハビリ体験を通じて実際の診療に触れることができたのでとても満足しています。	かなり理解できた	英語教育に重きをおいているという認識は持っていました。ただ単に日本語を英語に置き換えたようなカリキュラムではないことが英語模擬授業通じてわかりました。	4	5	オープンキャンパスを通して、大学のことのみならず島根の土地柄もある程度はわかり、出願の気持ちが高まりました。	大学学部の内容だけではなく、大学周辺が自然豊かで勉学に励むことができる環境にあることもわかり、オープンキャンパスに参加して非常に有意義でした。
島根	1	とても満足	在校生のお話や、気管挿管の体験、英語の授業体験などをできたのですべて充実していました。在校生の様子もしっかりと自分の目で見聞きできたので、満足でした。	かなり理解できた	個別の時の質疑応答や、ブースの際に親身になって聞いてくださったことで心配事も疑問点も参加する前よりも理解が深まったと思うからです。	3	5	地域枠に応募しようと思っていたが、まだちゃんと理解ができてなかったので、今回のオープンキャンパスに参加してよかったと思った。	特になし。
広島	2	とても満足	在校生との交流がとてもためになったから。	まあまあ理解できた	相談会などには参加していないため。	3	4	実際に学校の雰囲気を見たり、話を聞いたりすることで魅力を感じたから。	在校生の方の話を聞けたことが1番よかった思えました。素敵なオープンキャンパスでした。ありがとうございました。
広島	1	とても満足	勉強のモチベーションが上がった。医学部の概要が知ることができた。	まあまあ理解できた		3	5	英語の授業に力を入れているから	
兵庫	3	まあまあ満足	学生との交流や医療機器の体験ができたから	まあまあ理解できた	eclinicについて知れたため	3	4	島根大学が楽しそうに思えたから	とても楽しかったです。
岡山	1	とても満足	実際の授業を受けることができたり、大学生の生の声を聞くことができたり、さらに人形を使って実習を行ってみたりすることができて大学でなにをするのかを肌で感じることができたから	かなり理解できた	1から先生方が説明をしてくれたから	2	4	島根大学に行ってみて周りが自然に囲まれていてとても勉強するのには集中できる環境であると思ったから	
広島	2	とても満足	エコーと大学の授業を体験できたから。	かなり理解できた	医学部に対する関心が高まったから。	5	5	島根県で働くイメージが湧いたから。	学生の方が優しかったです。
広島	2	とても満足	自分の興味のある高度医療についての見学のみにか変わらず体験ができたから。また模擬講義を実際の教授から受けることができて授業の雰囲気を知ることができたから。	かなり理解できた	詳しい説明をしてくださってより分かりやすかったから。	5	5	もともと志望大学だったためオープンキャンパスに参加したかった。またオープンキャンパスの内容にとても満足したから。	とても充実した時間が過ごせ、より島根大学の進学への気持ちが強くなった。
広島	2	とても満足	オープンキャンパスのスケジュールがとても充実していたから。	まあまあ理解できた	キャンパスや在学生の雰囲気がよく分かったから。	2	3	島根大学の良さがわかったから。	
兵庫	既卒	とても満足		かなり理解できた		5	5		
兵庫	3	普通	オーソドックスな感じでした。	まあまあ理解できた	保護者に全て見せてほしかった。他大学はだいたい見せてくださいま	3	3	まだ考え中です	学生生活相談の学生さんの態度は、大学全てのイメージになるのだなと思いました。

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
岡山	2	とても満足	血圧の測定や採血などの貴重な体験をさせてもらえたから。	かなり理解できた	入試においてどのような点で変更があったのか、どのような点を重視しているのかや、各学年で学べることなどを詳しく知ることができたから。	4	5	初めは大学の雰囲気や学生生活などがあまりわかってなかったが、実際にオープンキャンパスに行くことでそれらを知ることができたため、より出願したいと思うようになったから。	
大阪	既卒	まあまあ満足		かなり理解できた		4	5	大学や街の雰囲気や環境が良かったから	大阪からですとライブ配信してくれると助かりました。参加者も増えると思います。

別紙　令和７年度医学部オープンキャンパスアンケート結果　**【看護学科】**

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
島根	1年	とても満足	分かりやすい説明と、明るい雰囲気で大学の様子を知ることができたからです。	かなり理解できた	学部の様子を知ることができたから。	4	5	島根大学の特徴を知ることができたからです。	
島根	2年	とても満足	分かりやすく簡潔な説明が多かったから。	まあまあ理解できた	何年でどのようなことをするのかが分かったから。	4	5	実習でどんなことができるのかが分かり、島大の利点が分かったから。	
岡山	2年	とても満足	自分が知りたかったことについて知れて雰囲気がとてもよかったから。	かなり理解できた	実習や国家試験の勉強でいそがしくなるのかなと思っていたけど楽しそうで行きたいと思った。	4	5	なんとなく行きたいなと思っていたけど、オープンキャンパスに参加して、もっと行きたくなった。	２年生のうちから英単語や苦手な数学を克服できるように、勉強を頑張って、大学受験に合格して、島根大学に行きたいと思いました。
島根	3年	とても満足		かなり理解できた		5	5	地域医療に興味があるから	
兵庫	2年	とても満足	演習もあって学べたし、おもしろかった。	まあまあ理解できた	あんまり知らずに行ったけど面白そうだと思ったから	3	4	寝れるときいて良いと思った。	部活とか楽しそう
島根	1年	とても満足	詳しく島大のことが知れたからです。	かなり理解できた	詳しくわかりました。	5	5	看護について興味があるからです。	
島根	3年	とても満足	とても先生方と生徒さん方との雰囲気が良くて、もっと島根大学に入学したい気持ちになりました。	かなり理解できた	詳しく内容を教えていただきまし	5	5	地域密着型の看護を学びたいから。	とても優しく対応してくださりありがとうございました。
広島	2年	まあまあ満足	知りたかったことやキャンパスの雰囲気を学べた	かなり理解できた	在学生との交流を通して、ホームページだけでは知ることができない様子を知れた。	4	4	他の大学とも合わせて考えていきたい	
京都	3年	とても満足		かなり理解できた		3	4		
滋賀	2年	まあまあ満足	・施設もきれいで満足。・実際に器具を使用して体験ができた。	かなり理解できた	地域医療を重視しているとわかっ	2	3	施設や立地も悪くなかったが、地域医療を重視していることがわかり卒業後地元に戻って仕事をできるのか不安になった。	先生が明るく、生徒とも仲が良いのだなと感じました。
島根	2年	とても満足		かなり理解できた	説明が１つ１つ丁寧だった	5	5	もともと島大に進学したいと考えていたから。	
島根	2年	とても満足	実習体験もさせていただいて、大学での学びや授業に対してのイメージがつかめたから。	かなり理解できた	丁寧に教えていただいたり、演習までさせていただけて、知らなかったことを知れたから。	3	4	他と迷っていたり、受験は来年のことなのでそんなに出願までは考えていなかったけど、雰囲気や環境が自分と合っていると思ったから。	
鳥取	2年	とても満足	模擬授業を受けて、大学の雰囲気を知ることができたから。	かなり理解できた	優しい雰囲気で楽しかったから。	3	4	他にも気になっている大学があったけれど、オープンキャンパスに参加して興味が出たから。	
島根	2年	とても満足	体験や先輩の話を聞けたりしてよかったです。大学について詳しく知ることができました。	かなり理解できた	体験をしたり、先輩の話を聞くことができたから。	3	4	大学について知ることができ、とても興味がわいたから。	他の体験もしてみたいな、と思いました。先輩の話も聞けてよかったです。
島根	2年	とても満足	島根大学の入試についてや学べることなど、詳しいことを知ることができたから。また、模擬体験ができたり、雰囲気を感じたりできたから。	まあまあ理解できた	入試方法が分かったから。	3	4	どの大学にするか迷っていたが、雰囲気が良かったから。	
岡山	3年	とても満足	その大学の特徴やできることを知りたいと思ったから。	かなり理解できた	たくさん話した聞けたから。	3	3	まだ迷っているから。	
島根	2年	とても満足	異常な呼吸音をきいたり在学生の話を聞けたから。	まあまあ理解できた	助産師についてもっと詳しく知り	3	4	少し看護師への興味が高まった。	
島根	2年	とても満足	入試のことなどをよく知れたし、学生さんのお話をきけたからです。	まあまあ理解できた	学生さんなどのお話も聞けてたくさん知れて理解できた。	3	3	まだ決まっていないから。	とてもよかったです。
島根	2年	とても満足	普段どのような活動をしているのか、取得できる資格について詳しく知ることができたから。	かなり理解できた	パンフレットだけでは知ることができない情報を多く得ることができたから。	3	4	まだ２年生だけどこれからの進路選択について参考になる場面が多々あったため	
岡山	1年	とても満足	詳しく知ることができたから。	まあまあ理解できた	在学生の方が詳しく教えてくれたから。	3	4	看護師がかっこいいと思ったから。	
広島	1年	とても満足	とても分かりやすく。楽しく学べたため	かなり理解できた	資料があったため分かりやすかった。	5	5	良い印象を持てたため	
岡山	3年	まあまあ満足	説明が充実していた。	まあまあ理解できた	雰囲気が分かった	3	3	まだ迷っている。	
島根	1年	とても満足	学生さんの話をきけて、いろんなことが知れたから。	まあまあ理解できた	丁寧に説明してくれたから。	3	3	まだ悩み中だから。	
鳥取	1年	とても満足	演習もあって楽しかったから	かなり理解できた	分かりやすかった	3	4	詳しい内容が分かった	
島根	2年	とても満足	島根大学の実習についての雰囲気や、部活やサークル、バイトとの両立などいろいろ聞きたかったことを全部知ることができたから	かなり理解できた	一般入試についても、科目など詳しく知れたから。	3	5	最初は島大ではどのような実習や国家試験の対策を行っているのか分からなかったけど、たくさんのことを知れて楽しそうだなと思いました。	説明が詳しくてとても分かりやすかったし、模擬演習もとても楽しかったです。
島根	2年	とても満足	最初の話しのときも、くわしい学校のことを知れたし、体験も楽しく学ぶことができたから。	かなり理解できた	附属病院があるので、最新の医療が学べたり、いろんな所に実習にいって、多様な健康ニーズに対応する力を育めると知ったから	4	5	他の大学ではできないことがこの大学ではできると知ったから。	
島根	2年	とても満足	大学で勉強できる内容や職業の資格取得についてたくさん知ることができたから。	かなり理解できた	いろいろな資格取得について知れたから。	2	4	看護教諭の資格取得について知れたから。	体験がとても興味深くて楽しかったです。ありがとうございました。
島根	2年	とても満足	在校生のお話を聞いて雰囲気を少しでも知ることができたから。	かなり理解できた	N11での説明が分かりやすかったから。	3	3	看護の他に医療系で興味のある学部があるから。	在校生との交流で島根大学の雰囲気が少し分かったのでとても良かったです。
愛媛	2年	とても満足		かなり理解できた		3	3		
島根	1年	とても満足	勉強内容や進路について知れた	まあまあ理解できた	どんな学科があるのか知れたから	2	3	まだ将来について決まってないけど興味を持てたから	
島根	3年	とても満足	いろんなことが知れたから。	かなり理解できた	在校生がどんな風に生活しているのかがよくわかったから。	5	5	２次試験がテストないから。	
岡山	3年	とても満足	知りたいことを知れたから。	かなり理解できた	雰囲気が分かったから。	4	5	理解が深まり興味がわいたから。	
岡山	3年	とても満足	大学生の授業や、キャンパスツアーなどの他の大学では体験できないことができて新鮮で楽しかったから。	かなり理解できた	入試についてや、大学生活について詳しく知ることができたから。	3	4	保健師についての興味がわいたから。	
岡山	3年	とても満足	キャンパスツアーで大学の雰囲気を知れたから。	かなり理解できた	先輩の方々に質問できたから。	4	5	キャンパスが広くとてもきれいだったから。	
島根	3年	まあまあ満足	私もトリアージの体験がやりたかったから。	まあまあ理解できた	ざっくりした説明だったから。	5	5	ずっと第１志望だから。	
島根	3年	とても満足	チラシやパンフレットに載ってないことも質問したりして、知ることができたから。	かなり理解できた	たくさん有益な情報を知ることができたから。	5	5	島根大学に出願したいと考えているから。	楽しかったです！ありがとうございました。
鳥取	3年	とても満足	分かりやすく説明してもらえたから。	かなり理解できた	実際に看護学生に質問できたから。	4	4	もともと候補に入れていたから。	
島根	2年	とても満足		かなり理解できた	理解が深まった。	4	4	大学の雰囲気がよかったから。	
島根	3年	とても満足	全ての景色が新鮮でおもしろかったです。	かなり理解できた	現場の声がリアルに聞けてよかっ	3	4	第一希望は違いますが、これから島根大学も見当していきたいです。	
島根	3年	とても満足	実際に在学生の方の話しも聞けて雰囲気だったりを知ることができました。島根大学へ入学できるようがんばろうと強く思いました。	かなり理解できた	島根大学の魅力を改めて知ることができ、自分も早く医療に貢献できるような人材になれるよう島根大学で学びたいと思いました。	5	5	もともと島根大学へ出願するつもりでしたが、さらに出願したいという思いが強くなりました。	大学の雰囲気だったりを知ることができ、これからの勉強意欲を高めることができました。
島根	3年	まあまあ満足	もう少し在校生との交流がほしかった	まあまあ理解できた	色々な部分について細かく知れた	5	5	楽しく学ぶことができたから。	
広島	3年	とても満足	説明も分かりやすいスライドで見れて、話も分かりやすかったです。	かなり理解できた	詳しく理解できました。	5	5	島根大学が第１志望校だから。	とても楽しかったです。辻先生の講義を受けてみたいと強く思えました。
広島	3年	まあまあ満足	大学内で学ぶようなことも理解することができたから。	まあまあ理解できた	ここの大学の強みなども知ることができたから。	4	5	参加前は浅い知識であったが参加したことによって理解も深いところまでできたから。	すごく貴重な体験になりました
島根	3年	とても満足	島根大学について、今まで知らなかった良さを知れたから。	かなり理解できた	取得できる資格や、入試などについて詳しく説明されて、分かりやすかったから。	4	5	オープンキャンパスに参加する前は、島根大学についてあまり知らなかったけど、参加してみて先生や大学生の雰囲気などを知ることができたから。	

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
島根	3年	とても満足	学部の学習内容だけでなく、大学の雰囲気や生徒さんの様子などの話をきけて、楽しかったし、勉強になったから。	かなり理解できた	学部の学習内容や実習内容を詳しく知ることができたから。	4	5	実習内容や地域連携の話を聞いて、島根大学に入りたいと感じたから。	島根大学を第一希望として、高校で勉強をしてきたけど、思うように学力が伸びず、少し諦めていたけど、具体的な学習や実習、学部の雰囲気をきいて、入学したい！と思いました。しっかり勉強をして、島根大学に入りたいと思いました！
島根	3年	とても満足	今までインターネット上でしか島根大学看護学科の内容を知らなかったので、知ることができたから。	かなり理解できた	実際に在学生さんの話も聞けたか	4	4	病院とも隣接していて魅力的だったから。もう少し検討してみようと思った。	オープンキャンパスに参加して大学の雰囲気を知ることができてよかったです。
静岡	3年	とても満足	学生も先生もとても優しく分かりやすく島根大学について教えてくれたから。模擬演習がとても分かりやすくおもしろかった。	かなり理解できた	パンフレットやインターネットなどの情報では分からない情報まで分かりやすく教えてくれたため知ることができたから。	5	5	もともと出願するつもりでいたけど実際に来て様々なことを知ることができたことによって出願したいという気持ちがより強まった。	看護学科についての説明や入試の説明などとても分りやすかったです。模擬演習などもとても分かりやすくかつおもしろかったです。保健師についてもくわしく知ることができました。貴重な体験ありがとうございました。
島根	3年	とても満足	学生さんの雰囲気もよく、体験もとても楽しかったから。キャンパスツアーも説明が分かりやすくていいと思ったから。	かなり理解できた	質問などできたり、説明や配布された物でしっかり確認できたから。	3	3	まだ悩んでいるため。	とても楽しく参加でき、いろいろ知れて参考になりました。ありがとうございました。
島根	3年	とても満足	学生さんや先生方が丁寧に教えてくださり、質問にも笑顔で答えてくれたから。	かなり理解できた	４年間の中でどれくらい実習があるかや、取得できる資格だったりと分かりやすかったから。	4	5	雰囲気がよかったから。	今回オープンキャンパスに参加させていただいて、大学の雰囲気や先生と生徒の距離や、体験までわかりやすく、更に興味が深まるようなオープンキャンパスでした。ありがとうございました。
島根	3年	とても満足	たくさんのことを知れたから。	まあまあ理解できた	学生さんが質問に答えてくれたり、説明が分かりやすかったから。	3	4	島根大学の良さや魅力を感じることができたから。	模擬演習や交流会で様々なことを知れたので良かった。建物内を見学できたのも良かった。
島根	3年	とても満足	様々な情報を知れたから。楽しかったから。	かなり理解できた	在学生さんがリアルに答えておられたから。	4	5	他の志望校とかと比べて迷っていたけど行きたいという思いが前より強くなったから。	模擬演習でトリアージをしてみて、災害が実際に起こった時を想定してできました。ドラマみたいですごいなと思いました。キャンパスツアーが楽しかったです。
島根	3年	とても満足	島大の魅力から、学校の雰囲気まで見ることができたから	かなり理解できた	オープンキャンパスでしか味わえない雰囲気を見れた。	3	4	とても魅力的だったが、貴学でしかできない事のお話が少なかった。	・在学生との交流でのグループをもう少し小さいものにした方が質問しやすいかなと思った。・説明からキャンパスツアーまで参加して、出願意欲が高まった。
島根	3年	とても満足	看護師になった後にもっと資格をとっておきたいから。	かなり理解できた	認定看護師についてとても丁寧に教えてくださったから。	4	5	自分の興味があることがなかなか他の大学でできない中、ここでしかできないから。	とても学びを得た１日でした。本当に楽しかったです。
兵庫	3年	とても満足	模擬演習などで雰囲気などを知ることができ、とても楽しかったから。	かなり理解できた	入試説明や交流で学科がどんなことをしているのかや勉強方法について詳しく聞くことができたから。	3	4	附属病院とのつながりがとても良いと思ったから。	交流では、盛り上げてくれるような保健師の模擬授業で、とても楽しく、質問も「実は、、、」ということもあって、より深く知ることができました！ありがとうございました！！
広島	3年	とても満足	先生や在校生の人が明るくて楽しそうだなと思ったから。	かなり理解できた	入試情報について知れたから。	5	5	第一志望でとても興味があったから。	丁寧な説明をしてくださりありがとうございました。入学したいという気持ちがさらに高まりました。
島根	3年	とても満足	島根大学の看護学科の特徴について知ることができたからです。	かなり理解できた	学校の雰囲気について知ることができたからです。	4	5	島根大学医学部看護学科で学びたいと思ったからです。	
広島	2年	まあまあ満足	自分の知りたかったことを、知ることができたから。キャンパスツアーができなかったから。	かなり理解できた	学生からの経験談をたくさん聞くことができたから。	3	4	出願するつもりはなかったけど、志望校に入れて考えていこうと思えたから。	学生からの経験談を聞いて、大変そうだなと思ったけど、皆と協力してやり遂げていて、素敵だなと思いました。大変だと思うけど、キャンパスツアーを全員にしてほしいです。
鳥取	1年	とても満足	説明が分かりやすかったです。	まあまあ理解できた	詳しく説明していただいたから。	3	4	看護師だけでなく、助産師、保健師、養護教諭の先生にもなれるところに魅力を感じたから。	
島根	2年	まあまあ満足	パソコンの調子が悪かった。→その間にもっと話をききたかった。	かなり理解できた	県内に住んでいるので地域枠のことを詳しく知れてよかった	3	4	自分の生まれた県の看護の問題を学べると思ったから。	企画プリントのタイムスケジュールのコースごとの色をもらったチケットと同じ色にしてあった方が分かりやすい。
島根	1年	とても満足		かなり理解できた		3	3		
鳥取	1年	とても満足	在校生の人と話をできて、すごくよかった。	かなり理解できた		4	4	調べていたイメージよりもよかった。	高１生もキャンパスツアーしたい
島根	2年	まあまあ満足	大学についてもう少し詳しく知れても良かったなと思いました。	まあまあ理解できた	入試についてもう少し詳しく知りたかった。	3	4	興味が少しわいた	
島根	2年	普通	話が難しかった	まあまあ理解できた	説明されたから	2	2	医学との交流があるから	
広島	3年	とても満足	楽しかったし大きくてすごかった	まあまあ理解できた	学生さんが親切に答えて下さった。	4	4		
鳥取	3年	とても満足	保健師や看護師の免許をとれることに魅力を感じた	まあまあ理解できた	在学生の大学生活について深く知れたから。	2	3	キャンパスツアーなどにより魅力を感じた。	
長野	3年	とても満足	島根大学について、先生や在学生がとても丁寧に教えてくれて、様々なことを知れたから。	かなり理解できた	質問にも詳しく答えてくれて知りたかったことも知ることができた。	3	5	キャンパスツアーや説明会を通して、とても過ごしやすそうな雰囲気だと思ったから。	
岡山	3年	とても満足		かなり理解できた		3	4		
島根	2年	とても満足		かなり理解できた		2	3		
島根	3年	まあまあ満足		まあまあ理解できた		2	2		
島根	2年	まあまあ満足	知りたいことは知れたから	かなり理解できた	大体分かった	4	5	魅力を確認できた	
島根	2年	まあまあ満足	キャンパスの雰囲気や生徒と先生との雰囲気を知ることができたから	かなり理解できた		5	5	キャンパスの雰囲気や生徒と先生との雰囲気、入試の説明を聞くことができたから	
岡山	2年	とても満足	わかりやすかった	かなり理解できた		3	4		
島根	3年	とても満足	実際の学生にたくさんのことを聞くことができてよかったから	かなり理解できた		5	5	地域医療に興味があるから	
島根	2年	とても満足	在学してる学生さんと話せて、リアルな学校生活をしれたから	かなり理解できた	詳しく説明があったからパンフレットに書いてあること以外のこともしることができたから	4	5	悩んでいたけど、行きたいという気持ちが大きくなったから	楽しかったです！ありがとうございました
広島	2年	とても満足	入試の内容や生徒像勉強の仕方など手厚く教えていただけたから。	かなり理解できた	とてもよかった	4	4		
岡山	3年	とても満足	体験講義での雰囲気がとても良く楽しかったから	かなり理解できた		3	4		
鳥取	3年	とても満足	説明もわかりやすくて模擬授業のとき先生や学生さんが関わりやすいだけじゃなくて明るくて楽しかったです！	かなり理解できた	島根大学にしかないいいところが自分が知らなかった様々なことまで知ることができてきてよかったと思いました	3	5	一年生の時から実習が多く他の大学に比べて実践力が高まると思ったから。また地域に即した実習が行えるから	
島根	2年	とても満足	在学生の方々がすごく優しくて場を盛り上げてくださった	かなり理解できた	スライドを見せていただいたり、在学生の方々のお話で詳しく理解できた。	5	5	すごくオープンキャンパスに来ることを楽しみにしていた。とても充実していた。	特になし
島根	2年	とても満足	看護についての学習が多様にできるし島根大学病院が近い	かなり理解できた	いろいろな話を聞いて参考になったから	3	4	この大学についてくるときよりも知れたし、どんなことを学ぶのかがわかったから	
広島	2年	とても満足	スライドや模擬演習もわかりやすく、学生の皆さんも優しかったから。	かなり理解できた	どんなことが学べるかや入試について知ることができたから。	4	4	第一志望の大学にまだ行けていないから。	
島根	2年	とても満足	実際に在学している生徒さんにお話を聞くことができて嬉しかったから	かなり理解できた	詳しく教えてくれたから	2	3	島根大学の魅力を知れたから	
岡山	2年	とても満足	教員、生徒さんともに明るく楽しそうにしていたので、島根大学がどのような雰囲気であるかがつかめました	かなり理解できた	学生さんと教員のかたが丁寧に教えてくださったため	2	3	紹介や誘いでとりあえず行ってみようという気もちだったが興味が湧いたため	
島根	3年	まあまあ満足		まあまあ理解できた		3	4		
京都	3年	とても満足	実際に在学生の方の意見が聞けて良い勉強になりました。	かなり理解できた	キャンパスツアーを通して実際に通う感覚を実感しました。	3	3	もう少し、進路を考えます	参加させていただきありがとうございました。
島根	3年	とても満足	キャンパスツアーでキャンパスのことを詳しく知ることができたから。	かなり理解できた		4	4		
広島	3年	とても満足	オープンキャンパスに来ないと知れないことも知ることが出来たから。	かなり理解できた	実際に大学に通っている在校生や先生と交流出来たから。	5	5	自分が学びたいことが学べるから。	
鳥取	3年	まあまあ満足	体験が楽しかったから	かなり理解できた	学生の生活をしれたから	4	4		
島根	3年	とても満足	実際に演習を通して看護について少しでも学ぶことができたらから。在校生との交流では、入試や学校生活について多くのことを知ることができ、大学生活を想像できたから。	かなり理解できた	様々な企画を通して実際に話を聞くことができたから。	4	5	詳しく大学について知る事ができ、自分のしたい看護を学べる感じたから。	
広島	3年	とても満足	島根大学医学部看護学科について詳しく知れたから。	かなり理解できた	実際に来てみてキャンパスや在校生の様子が知れたから。	5	5	行きたいと思ったから。	

属性		全体の満足度	←の回答理由	本学に対する理解が進んだか	←の回答理由	参加する前の出願意欲（5段階）	参加した後の出願意欲（5段階）	←の回答理由	感想等
都道府県	学年								
鳥取	3年	まあまあ満足	ホームページだけではわからないことを知れたから	まあまあ理解できた	去年も参加してなんとなく理解していたから	4	4	学力を上げないといけないから	
島根	3年	とても満足	実際に模擬講義を受けてみて在校生の雰囲気や内容が深く知れたため。	かなり理解できた	自分が事前に知っていた知識と新しい知識を確認することができたため。	3	3	他の大学の看護学科も視野に入れながら考えていきたいため	本日は看護学科についての模擬講義やご説明の機会を設けて頂きありがとうございました。楽しい時間が過ごせました！
鳥取	3年	とても満足	私の質問にも丁寧に答えてくださって 疑問に思っていたことがわかってスッキリしました。 車椅子を出してくださったり 体が不自由な私に丁寧に対応してくださって嬉しかったです。	かなり理解できた	質問に丁寧に回答してくださった	2	4	生徒さんや先生の関係性やキャンパスの雰囲気が良かったため	
鳥取	3年	とても満足	普段体験することのないトリアージを体験することができて楽しかったです。四年生の学生さんもとても優しくて楽しかったです。	かなり理解できた	パンフレットや話を聞いて知らなかったことも知れたから。（学校推薦一般枠３人増えたこと）	5	5	より楽しそうだなと思いました。島根大学に向けて勉強頑張りたいです。	
岡山	3年	とても満足	キャンパスツアーや講義体験ができたから	かなり理解できた	カリキュラムを詳しく知れたから	3	4	保健師の資格が取れることに魅力を感じた	
島根	3年	とても満足	大学の雰囲気を知ることができたし、看護学科について詳しく知れたから	まあまあ理解できた	資料や説明を頂いて入試や資格について知れたから	5	5		
島根	3年	とても満足	模擬授業やキャンパスツアー、在学生との交流を通してより大学の雰囲気を知ることができたから	かなり理解できた		3	4	大学のことが参加前よりもよく分かり、より興味がわいた	
島根	3年	とても満足	様々なことを知れて、大学の雰囲気も見れて良かった	まあまあ理解できた		3	4	大学病院が近い所がこの大学の魅力だと感じた	
島根	3年	まあまあ満足	大学の雰囲気が良かったから	まあまあ理解できた	入試のことについて理解することができたから	3	4	大学の魅力を感じることができたから	
島根	3年	とても満足	模擬授業では実際どんな感じでやってるのかを見ることができ、受験の参考になったから。	かなり理解できた	受験のことや学生生活のことを詳しく聞けたから。	3	4	英語に力を入れていることを知り、交換留学もしてみたいからと敷地内に附属病院があるのが強みだと思ったから。	
鳥取	3年	とても満足		まあまあ理解できた		2	3		
福井	2年	まあまあ満足	学校の雰囲気について知ることができたから。	かなり理解できた	どのようなカリキュラムを取っているか知ることができたから。	4	4	大学について詳しく知ることができたから	

１．島根大学医学部の使命

島根大学医学部は、『医の炎』と『医の扉』および医学部規則第１条の２をもって使命としている。これらの使命は、島根県のこれまでの医療の歴史と地域の実状を踏まえ、かつ島根医科大学開学の精神や島根大学との統合によって成立した島根大学医学部としての理念を継承するものである。

これらの使命のもと、具体的にどのような入学者を求めるかを定めるアドミッション・ポリシー（AP）、教育課程実施の方針を定めたカリキュラム・ポリシー（CP）、到達すべき知識・態度・技術を定めたコンピテンス・コンピテンシー（CC）、学士修得に必要な能力の方針を定めたディプロマ・ポリシー（DP）を策定し、広義での使命としている。

医学部規則抜粋
第１条の２　（教育上の目的）
医学部は，国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え，かつ，科学的探究心を持ち，医療，医学，看護学及び地域社会の発展に寄与し，人類の福祉に貢献し得る人材の育成を目的とする。

２．『医の炎』と『医の扉』の再定義

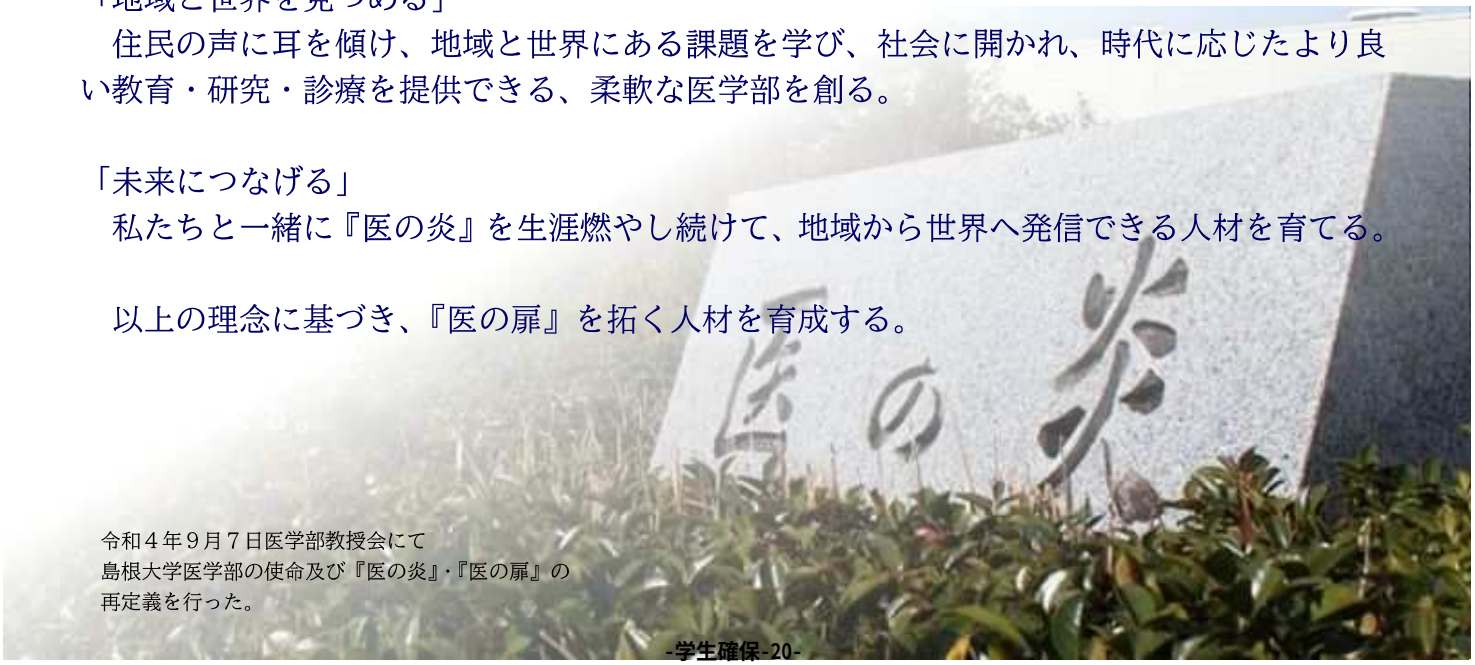
深瀬政市島根医科大学初代学長によって設置された石碑『医の炎』と『医の扉』には、本学医学部の目指すべき３つの理念が込められていると考え、下記の通り再定義する。

「人を見つめる」
生命の尊厳と患者さんの権利・人格の尊重を教育の柱とし、豊かな教養と高い倫理観を備え科学的な探究心と総合的な判断能力を培った、地域の医療と人類の福祉に貢献する医療人を養成することを目指す。

「地域と世界を見つめる」
住民の声に耳を傾け、地域と世界にある課題を学び、社会に開かれ、時代に応じたより良い教育・研究・診療を提供できる、柔軟な医学部を創る。

「未来につなげる」
私たちと一緒に『医の炎』を生涯燃やし続けて、地域から世界へ発信できる人材を育てる。

以上の理念に基づき、『医の扉』を拓く人材を育成する。



令和４年９月７日医学部教授会にて
島根大学医学部の使命及び『医の炎』・『医の扉』の
再定義を行った。

資料５

島根県保健医療計画

令和６(2024)年４月
島　　根　　県

目　　次

第１章　　基本的事項

第１節　計画の策定趣旨 …… 2
第２節　計画の基本理念 …… 3
第３節　計画の目標 …… 4
第４節　計画の位置づけ …… 4
第５節　計画の期間 …… 5

第２章　　地域の現状（保健医療提供体制の基本的な状況）

１　地域の特性 …… 7
２　人口 …… 7
３　人口動態 …… 9
４　健康状態と疾病の状況 …… 11
５　医療施設の状況 …… 16
６　二次医療圏の受療動向 …… 17

第３章　　医療圏及び基準病床数

第１節　医療圏 …… 20
第２節　基準病床数 …… 21

第４章　　地域医療構想

第５章　　医療提供体制の現状、課題及び施策の方向

第１節　住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築
１　医療連携体制の構築 …… 35
２　医療に関する情報提供の推進 …… 41
第２節　疾病・事業ごとの医療提供体制の現状、課題及び施策の方向
１　がん …… 43
２　脳卒中 …… 59
３　心筋梗塞等の心血管疾患 …… 72
４　糖尿病 …… 81

５　精神疾患 …… 92
６　救急医療 …… 118
７　災害医療（災害時公衆衛生活動を含む） …… 128
８　感染症に対する医療［感染症予防計画］ …… 138
９　地域医療（医師確保等によるへき地医療の体制確保） …… 167
10　周産期医療 …… 185
11　小児救急を含む小児医療 …… 199
12　在宅医療 …… 204
第３節　外来医療に係る医療提供体制の確保［外来医療計画］ …… 217
第４節　その他の医療提供体制の整備充実
１　緩和ケア及び人生の最終段階における医療 …… 259
２　医薬品等の安全確保対策 …… 262
３　臓器等移植 …… 269
４　難病等保健・医療・福祉対策 …… 272
第５節　医療安全の推進 …… 277

第６章　健康なまちづくりの推進

第１節　健康長寿しまねの推進［健康長寿しまね推進計画］ …… 281
第２節　健やか親子しまねの推進［健やか親子しまね計画］ …… 337
第３節　高齢者の疾病予防・介護予防対策 …… 373
第４節　食品の安全確保対策 …… 376
第５節　健康危機管理体制の構築 …… 378

第７章　保健医療従事者の確保・育成

第１節　医師の確保・育成［医師確保計画］ …… 381
第２節　薬剤師の確保・育成［薬剤師確保計画］ …… 432
第３節　その他の保健医療従事者の確保・育成 …… 444

第８章　将来の保健医療提供体制の確保に向けた事業の推進

第１節　保健医療計画の推進体制と役割 …… 453
第２節　保健医療計画の評価 …… 454
第３節　保健医療計画の周知と情報公開 …… 454

第７章
保健医療従事者の確保・育成

第１節　医師の確保・育成［医師確保計画］
第２節　薬剤師の確保・育成［薬剤師確保計画］
第３節　その他の保健医療従事者の確保・育成

（２）これまでの医師確保の取組

県では、これまで、地域医療を支える医師養成・確保対策として、「現役の医師の確保（呼ぶ）」「地域医療を担う医師の養成（育てる）」「地域で勤務する医師の支援（助ける）」の３つの視点から次のとおり積極的に取り組んできました。

１）呼ぶ

①　赤ひげバンク（医療従事者無料職業紹介所）

- 赤ひげバンクは、平成 14(2002)年度に開始した医師等の医療従事者登録制度で、令和５(2023)年３月末現在の登録者のうち医師は 451 人、大学医学部の学生は 555 人となっています。

- 赤ひげバンクに登録した医師のうち、専任担当医師による面談、医療機関や地域の雰囲気を視察してもらう「地域医療視察ツアー」等を通して、令和５年(2023)年３月末までに 195 人を県内の医療機関に招へいしました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった令和元年度以降は医師の招へい数が減少しておりますが、この期間を除くと毎年 10 名前後の医師を招へいしています。

表7-1-8　赤ひげバンクによる招へい医師数

（単位：人）

年　度	総数	二次医療圏等							
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	その他
平成14(2002)～平成17(2005)	15		3	6	1	1	1	3	
平成18(2006)～平成21(2009)	42	6	2	14	4	3	10	3	
平成22(2010)～平成25(2013)	59	6	7	17	9	8	7	4	1
平成26(2014)～平成29(2017)	42	5	5	10	7	6	6	3	
平成30(2018)	14		2	5	3		1	3	
令和元(2019)	7		2	4		1			
令和２(2020)	3			1			1	1	
令和３(2021)	6			1	1	2		2	
令和４(2022)	7	1	1		1			4	
合　計	195	18	22	58	26	21	26	23	1

資料：県医師確保対策室

②　研修サポート制度（地域勤務医師確保枠）

- 将来、地域医療に携わる熱意のある医師を招へいし、地域勤務する前に県立病院等で研修することで安心して地域勤務が行えるようサポートする制度です。

- その他にも、県立病院で、総合診療専門医や病院総合医の専門研修を受けることができる制度や、県立病院に医師を確保し、地域医療機関の不足診療科へ代診医派遣を行うための制度を設けています。今後も、継続した支援を行えるよう、医師の確保に努めていきます。

２）育てる

①　自治医科大学（医学生、自治医科大学卒業医師）

● 自治医科大学卒業医師は義務年限（９年間）の内外に関わらず、中山間地域・離島の医療機関を中心に、総合医として県内の医師不足や医師偏在の是正に大きな成果を上げています。

● 自治医科大学の都道府県ごとの入学定員は通常２名とされていますが、島根県は自治医科大学の独自の指標の中で医師不足県と位置づけられており、近年は安定して３名入学が実現できています。

表7-1-9　島根県の自治医科大学卒業医師の動向

（単位：人）

	総　数	島根県内					島根県外		
		県立病院	その他の病院	診療所	行政	計	自治医科大学	その他	計
義務年限内	25	7	13	1	1	22		3	3
義務年限後	70	13	16	13	1	43	2	25	27
合　計	95	20	29	14	2	65	2	28	30

（注）　令和５(2023)年４月現在。
資料：県医師確保対策室

②　地域枠、医学生奨学金制度

● 島根大学地域枠推薦は、平成 18(2006)年度の制度開始から 17 年を経過し、令和５(2023)年度までに 102 名の医師が誕生しました。今後もその数は増え、出身地をはじめとした地域医療の中核的存在となることが期待されています。

● また、地域医療の確保を図る観点から、地域枠を医学部定員の臨時増員も活用して島根大学と鳥取大学に設置しています。入学者には県内の勤務等や奨学金の貸与を義務付け、将来の地域医療を担う医師の着実な確保を図っています。

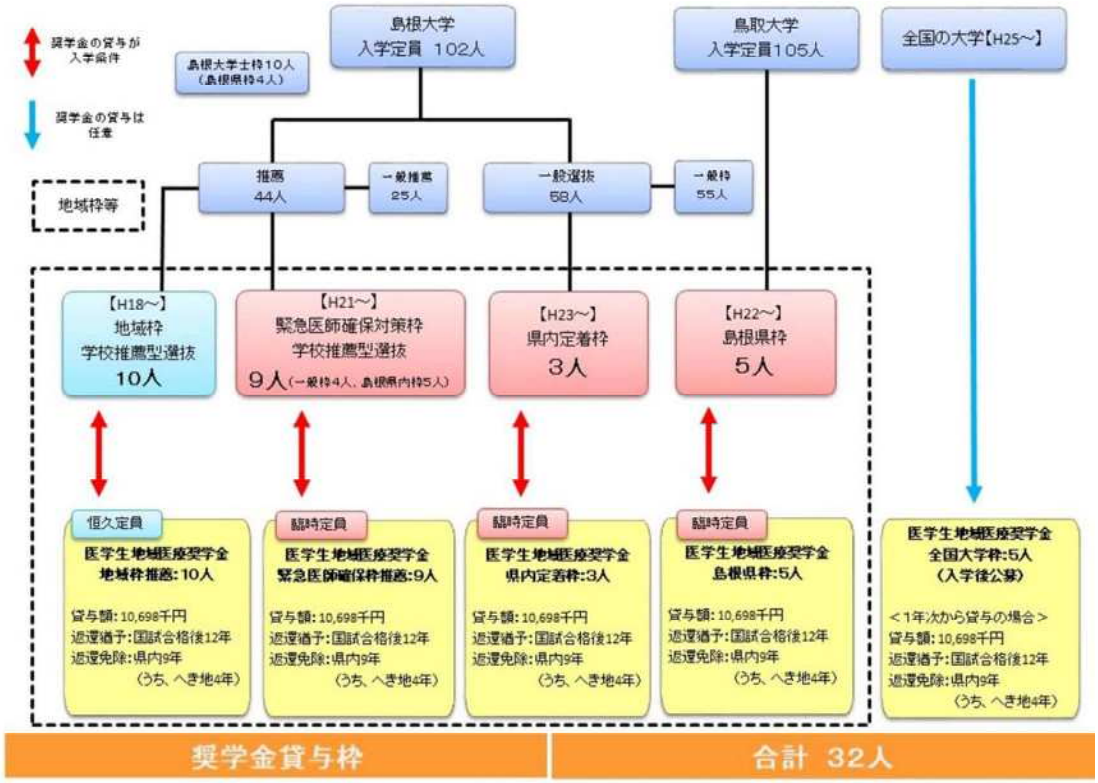
● 上記を含めた奨学金貸与枠は年 32 名で運用しており、地域枠・奨学金貸与医師は、毎年 30 名程度増加する見込みとなっています。

③　研修医研修支援資金制度

● 専攻医（後期研修医）の増加と地域勤務医師の確保を図るため、県内の医療機関で従事する意欲のある研修医に対し、研修支援資金を貸与する制度を平成 22(2010)年度に創設しました。

● その後、制度見直しを行い、平成 29(2017)年度以降は、県内で勤務する産婦人科医師等の緊急的な確保対策として、産婦人科研修医及び小児科研修医に対し貸与を行っています。

図 7-1-6　大学入学定員と奨学金制度の概要（令和５(2023)年度）



④　地域医療教育の充実

● 継続的かつ安定的な医療提供体制の確保のためには、県内出身の医学部進学者を増やし、医師を育成することが重要です。県は、教育委員会や市町村、医療機関と連携し、段階に応じて児童・生徒が医療従事者を目指すきっかけを創出するとともに、地域医療の課題の理解や、その解決に向けた意欲の喚起を促すための取組等を実施しています。

表7-1-10　県・市町村の医師確保対策部局と教育委員会との連携事業

時期		目的	事業
小学生	５・６年生	医療従事者を目指すきっかけ（憧れ）	・ふるさと教育 （地域医療教育推進事業補助金）
中学生	１年生		
中学生	全学年	医療課題の理解、解決に向けた意欲の喚起（やりがい）	・医療現場体験
	２・３年生		・メディカル・アカデミー
高校生	全学年	医師について理解を深め、将来の医療従事に向けた明確な意志を持たせる	・医療現場体験
	１年生		・夢実現進学チャレンジセミナー

（注）　中学生メディカルアカデミー、高校生チャレンジセミナーは、県医療政策課と県教育委員会教育指導課合同で開催する医療体験セミナー。

⑤　医学生への支援（島根大学医学部地域医療支援学講座の設置）

- 県は、「地域医療に興味を持ち、地域医療へのモチベーションを高めながら、医師としてのキャリアアップと県内の医療機関で安心して働ける環境づくりを支援する」ことを目的として「地域医療支援学講座」を平成 22(2010)年に島根大学医学部に寄附講座で設置しました。

- 島根大学医学部地域医療支援学講座では、専任の教授をはじめとするスタッフにより、地域枠で入学した医学生（以下、「地域枠医学生」という。）や奨学金を貸与した医学生との面談、地域医療に関する講義や臨床実習、体験実習、セミナーなどを通して、キャリア形成支援を行っています。

- 医学生の頃から県内の地域医療に接する機会を継続的に設け、地域医療に対する意識の維持・向上を図るため、島根大学医学部、県内各保健所、地域の医療機関の連携・協力のもと、「夏季・春季地域医療実習」を実施しています。

⑥　若手医師への支援（しまね地域医療支援センターの設置）

- 若手医師の県内定着を図るためには、卒前から卒後までの一貫したキャリア形成支援や、研修・指導体制の充実などが必要であり、地域枠・奨学金等貸与医師をはじめとした若手医師のキャリアアップを支援するため、平成 23(2011)年、島根大学医学部と県医療政策課のそれぞれに地域医療支援センターを開設し、その後、平成 25(2013)年３月に、県、島根大学、医療機関、県医師会、市町村の合計 54 団体が会員となり、「一般社団法人しまね地域医療支援センター」を設立しました。（令和５年現在は正会員 55 団体、鳥取大学が賛助会員）

- しまね地域医療支援センターでは、地域枠・奨学金等貸与医師に対して面談等を実施し、円滑な地域勤務と能力の開発・向上を図るためのキャリアプラン作成のサポート、専任医師による相談・助言、情報提供を行うなど、キャリア形成に関する様々な支援を行っています。

- また、研修体制の充実を図るため、臨床研修医合同研修会の実施や若手医師による自主的な研修等を支援するための助成、指導医の養成・確保を図るための指導医講習会などを実施しています。

⑦　臨床研修医・専攻医の増加に向けた取組

- 臨床研修医・専攻医の増加と県内定着を図るため、しまね地域医療支援センター、島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター、県内臨床研修指定病院、県等が連携し、臨床研修プログラム及び専門研修プログラムの県内外での説明会の開催や、病院見学を希望する医学生や研修医への旅費助成、SNS 等による情報発信を行っています。

- 島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センターは、平成 30(2018)年４月から始まった新専門医制度の円滑な実施や、地域医療に配慮した研修体制の整備に取り組んでいます。

- 県は、「地域医療支援会議医師研修部会」等において、各専門研修プログラムの検証や関係病院との調整等を行っています。

３）助ける

①　代診医派遣制度

- 県は、へき地、離島等の公的医療機関に勤務する医師の学会参加や研修等による不在を補うため、地方自治法に基づき県立病院の協力を得て、主に総合診療科（内科を含む）、精神科、外科へ代診医を派遣しています。

②　医療機関における勤務環境の改善支援

- 平成 27(2015)年４月に県医療政策課に設置した「島根県医療勤務環境改善支援センター」では、医療機関の実態やニーズ等を把握するとともに、医業経営アドバイザー、医療労務管理アドバイザーによる訪問支援を行っています。

- 医療機関の勤務環境改善を効果的に支援するために、島根県医師会、島根県看護協会、各病院団体、島根県薬剤師会、島根県社会保険労務士会、日本医業経営コンサルタント協会島根県支部、島根県労働局等からなる「島根県医療勤務環境改善支援センター運営協議会」を設置し、医療機関に対する総合的な支援方法等の協議を行っています。

- 「勤務環境改善計画」が策定されている病院は、67.4%（令和４(2022)年 12 月１日現在、46 病院中 31 病院）であり、PDCA サイクルにより計画的に勤務環境改善に取り組む仕組である「医療勤務環境改善マネジメントシステム」の導入・定着を推進しています。

- 令和６年(2024)年４月から医師にも時間外労働の上限規制が適用されることとなり、勤務医の労働時間短縮に向けた取組を推進しています。

③　子育て医師等の支援

- ワーク・ライフ・バランスの推進のため、島根大学医学部地域医療支援学講座内に「えんネット」を設置し、出産、育児後の女性医師等の復職支援や、仕事と子育ての両立支援等を行っています。

④　その他

- 勤務医師の負担軽減のため、ブロック制による医師の相互診療、隠岐島遠隔医療支援システムの運用、ドクターヘリの運航、しまね医療情報ネットワーク（愛称：まめネット）の運用等を行っています。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
―	学長	オオタニ　ヒロキ 大谷　浩 〈令和６年４月〉		医学博士		島根大学　学長 〈令和6.4～令和9.3〉